

住みやすさ指標に係るアンケート

調査報告書



令和6年12月
守山市

目 次

序 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象および調査方法	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査項目	1
(4) 調査期間	1
(5) 回収状況	1
3. 調査結果の記号表示について	2
○主観的な評価による記号表示	2
○総合評価による記号表示	2
(1)「住みやすさ実感度」の記号表示	2
(2) 総合評価の記号表示	2
(3) 評価項目の記号表示	2
(4) 評価項目のハート数の求め方	3
4. その他	3
第1章 主観によるハート数について(アンケート問1、問2)	4
第2章 住みやすさ実感度について	6
第3章 評価項目の肯定的回答について	8
第4章 回答者の属性	9
(1) 性 別	9
(2) 年 齢	9
(3) 職 業	10
(4) 自由に使える時間	10
(5) 世帯年収	11
(6) 通勤先・通学先	11
(7) 住まいの形態	12
(8) 配偶者の有無	12
(9) 世帯構成	13
(10) 学 区	13

(11)居住年数	14
(12)居住の意思	14
(13)市政への意思の反映	15

第5章 主観による「住み心地」について	16
1. 全体平均について	16
2. 「住み心地」についての属性別平均ハート数	17
第6章 主観による「幸せ感」について	24
1. 全体平均について	24
2. 「幸せ感」についての属性別平均ハート数	25
第7章 住みやすさ実感度（総合評価）	32
第8章 評価分野ごとのアンケート結果について	33
(1)健康・医療について	33
(2)教育・学習・子育てについて	45
(3)環境について	57
(4)安全・安心について	69
(5)福祉について	79
(6)暮らしと働きについて	89
(7)文化・スポーツについて	99
(8)つながりについて	111

【資料編】

アンケート調査票依頼文	1
アンケートおよび回答用紙.....	3
守山市市民参加と協働のまちづくり条例および施行規則	5

序章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の皆さまの幸せに対する実感や日常生活への思いに関する意識を調査するために実施。アンケート結果は、本市の住みやすさ実感度としての評価に用い、地域課題の解決等に向けた基礎データとして活用するほか、現在策定中の本市の将来像や方向性を描く「守山市長期ビジョン 2035」にも活用する。

2. 調査対象および調査方法

(1) 調査対象

住民基本台帳に記載された 18 歳以上の市民を無作為に抽出した 2,000 人

(2) 調査方法

郵送またはインターネット

(3) 調査項目

全 61 項目

(「住み心地」に関する項目:24 項目、「幸せ感」に関する項目:24 項目、年齢など回答者の属性に関する項目:13 項目)

(4) 調査期間

令和6年9月1日(日)から令和6年9月 30 日(月)まで

(5) 回答状況

年度	送付数	全体	回 答 数				回答率
			郵送(割合)		インターネット(割合)		
R3 (前回)	2,000	917	702	(76.6%)	215	(23.4%)	45.9%
R6 (今回)	2,000	361	197	(54.6%)	164	(45.4%)	18.0%

※同時期に市民懇談会を開催。対象者(18 歳以上、無作為抽出)が同一であることから、市民懇談会の案内文に本アンケートを同封したが、それが回答率を低下させた一因と考えられる。

(6) その他

インターネットでご回答いただいた方には、インセンティブとして QUO カード Pay100 円分を付与

■住みやすさ指標について

- ・この指標は守山市市民参加と協働のまちづくり条例第2条第1項第7号で定義されており、施行規則において「もりやま“大好き”指標」と定義されています
- ・もりやま“大好き”指標のイメージを表現するため、評価の単位を♡で表現することとします

3. 調査結果の記号表示について

調査結果は以下の方法で行います。

○主観的な評価による記号表示

回答者の主観的な思いとしての『住み心地』と『幸せ感』をそれぞれ 10 段階(実感度の数値の単位は♡(読み「ハート」))で評価して表示します。

○総合評価による記号表示

(1) 「住みやすさ実感度」の記号表示

総合評価の『住み心地』と『幸せ感』を 10 段階(実感度の数値の単位は♡(読み「ハート」))で表示します。)で評価して、その合計ハート数を【住みやすさ実感度】として表示します。

(2) 総合評価の記号表示

8つの評価分野のうち、『住み心地』は「健康・医療」・「教育・学習・子育て」・「環境」・「安全・安心」で、『幸せ感』は「福祉」・「暮らしと働き」・「文化・スポーツ」・「つながり」で構成し、それぞれ5段階(総合評価の数値の単位は♡(読み「ハート」))で評価します。

4つの評価分野で構成された『住み心地』と『幸せ感』を総合評価として、4つの評価項目の平均ハート数(♡)を総合評価として表示します。この結果を、主観による評価と比較できるように 10 段階に換算して表示します。

また、住みやすさ実感度は、総合評価の平均値とします。

住みやすさ実感度	総合評価 (1評価最高 10♡)	評価分野 (1分野最高5♡)			
総合評価の平均値	『住み心地』 平均評価×2	健康・医療	教育・学習 ・子育て	環 境	安全・安心
	『幸 せ 感』 平均評価×2	福 祉	暮らしと働き	文化・スポーツ	つ な が り

(3) 評価項目の記号表示

8つの評価分野には、それぞれ5つ～7つの評価項目を設けており、全 46 項目となります。それぞれの指標項目はアンケートの調査項目と対応しており、アンケートの回答からハート数を算出し、その平均を評価項目の5段階(評価項目の数値の単位は♡(読み「ハート」))で表示)で評価します。

評価項目のハート数の求め方は次頁に記載します。

(4) 評価項目のハート数の求め方

全 46 項目ある評価項目に対応したアンケート調査項目に対する回答から、以下の方法により実感度を算出し、その平均値をハート数(♡)として表示します。

実感度		選 択 肢	選 択 肢
ハート数	数値		
♡♡♡♡♡	5	そう思う	感じる
♡♡♡♡	4	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば感じる
♡♡♡	3	どちらともいえない	どちらともいえない
♡♡	2	どちらかといえばそう思わない	どちらかといえば感じない
♡	1	そう思わない	感じない
なし	0	わからない	わからない

実感度(平均値)のハート数

{「そう思う」の回答数×(5♡)+「どちらかといえばそう思う」の回答数×(4♡)+「どちらともいえない」の回答数×(3♡)+「どちらかといえばそう思わない」の回答数×(2♡)+「そう思わない」の回答数×(1♡)}÷{回答数－(「わからない」+「不明・無回答」)}

※ハート数の平均値は、少数点第2位を切り上げて求めます。

(一例)平均値: 3.33 → 3.4 とします。

合計	総合評価	評価分野		評価項目 (0.1♡単位)		
【住みやすさ実感度】 総合評価の平均値	『住み心地』平均評価×2	(1)健康・医療	評価項目ごと平均評価	①健康の実感、②病気への予防、③介護予防、④運動の実施、⑤医療の充実、⑥心の安らぎ	23項目	評価項目ごと5段階評価
		(2)教育・学習・子育て		①子育てへの安心感、②子育て・教育環境の整備、③子育てへの理解・協力、④学習環境の整備、⑤教育内容の充実、⑥青少年の社会参加の推進(奉仕活動)		
		(3)環境		①自然環境保全、②緑化推進、③水辺環境の保全、④良好な都市景観の形成、⑤廃棄物対策・地球温暖化対策、⑥ホテル愛護		
		(4)安全・安心		①治安・防犯、②防災機能の整備、③防災意識、④交通安全(ハード)、⑤交通安全(ソフト)		
	『幸せ感』平均評価×2	(5)福祉	評価項目ごと平均評価	①高齢者福祉の充実、②障害者福祉の充実、③多文化共生の推進、④支え合う地域福祉の推進、⑤まちのバリアフリー	23項目	評価項目ごと5段階評価
		(6)暮らしと働き		①ワークライフ・バランス、②雇用環境の充実・安定した就労機会、③移動環境の快適さ、④買い物の利便性、⑤ライフデザイン(現在の生活に対する満足感)		
		(7)文化・スポーツ		①地域行事の保存・参加、②スポーツ活動の充実、③芸術活動の充実、④社会教育資本の整備・充実(文化)、⑤社会教育資本の整備・充実(生涯学習)、⑥社会教育資本の整備・充実(スポーツ)		
		(8)つながり		①地域と学校との協力、②子どものコミュニケーション力の育成、③人権意識の推進、④男女共同参画社会意識の推進、⑤コミュニティ活動の充実、⑥市民公益活動・協働の推進、⑦地域コミュニケーション		

4. その他

- ・グラフ中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は 100.0%にならない場合があります。
- ・グラフ中の構成比(%)は、「不明・無回答」を除いて表しています。
- ・本文中の「ポイント」とは、「%」の差を表しています。
- ・前回調査との比較についても「ポイント」を使用しています。

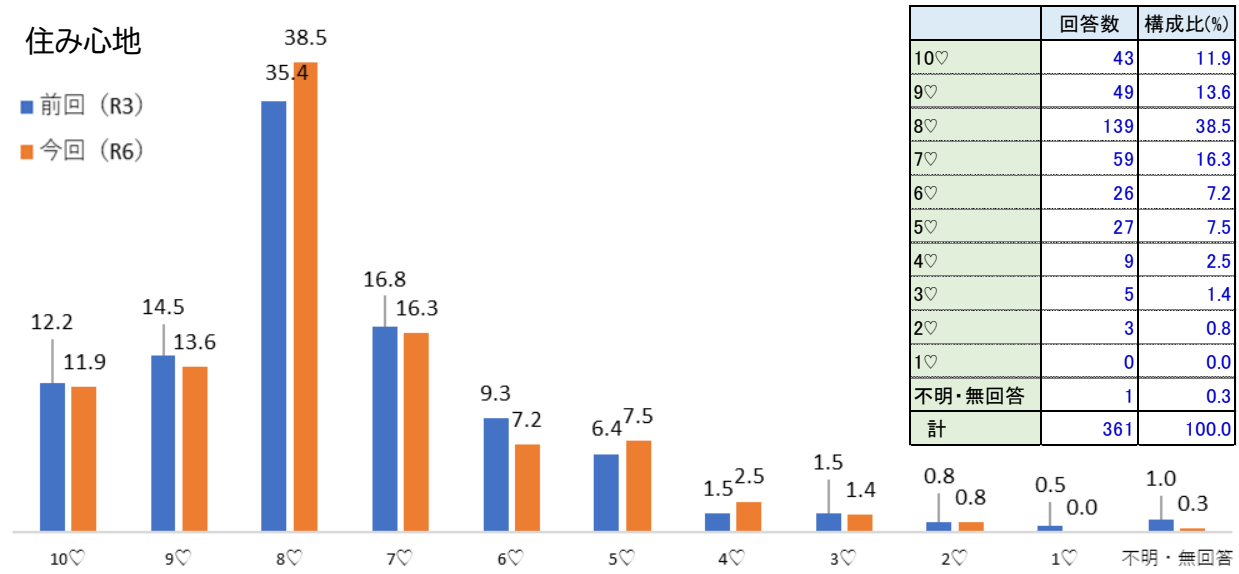
第1章 主観によるハート数について

アンケートでは問1、問2で回答者の主観的な思いとしての『住み心地』と『幸せ感』を 10 ハート数で評価しています。それを 10 ハートに換算すると

『住み心地』は、7.6♡(前回 7.6♡)

『幸 せ 感』は、7.3♡(前回 7.3♡)となりました。

問1 守山市は住みやすいまちだと思いますか。
「とても住みやすい」を 10「とても住みにくい」を1とすると、何くらいになると思いますか。

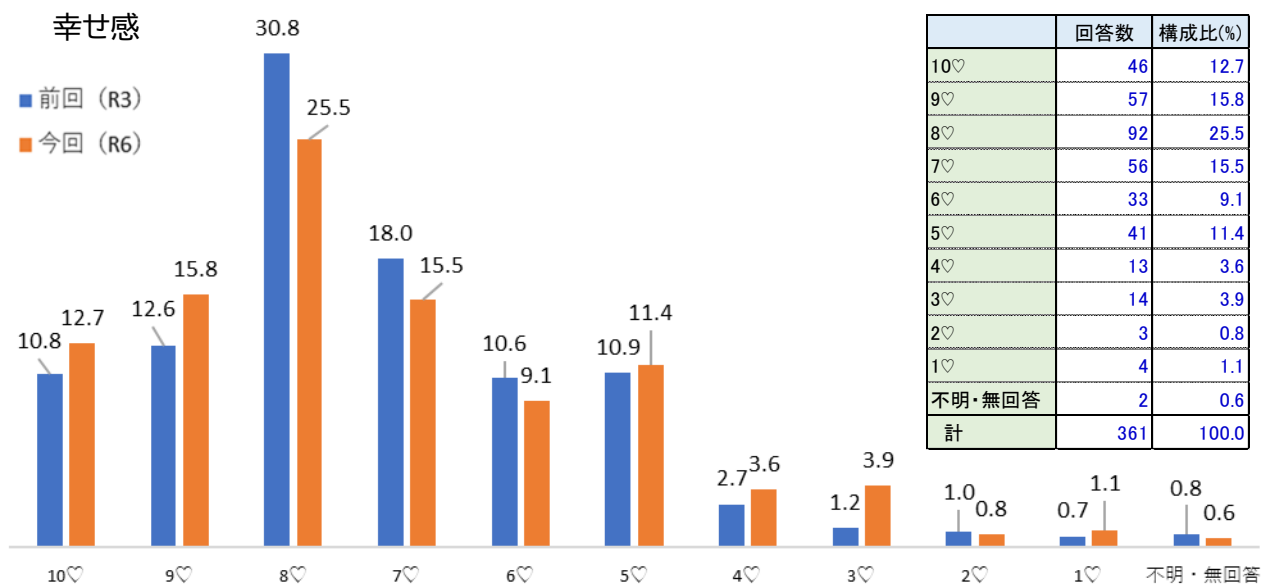


主な意見・理由等(自由記載)

「住みにくい」 ↑ ↓	1	・バスが少なすぎる
	2	・保育園やこども園が少なく、共働き世帯には不便
	3	・車道が狭く交通渋滞もひどい ・道が混む、狭い、車がないと不便。お店があちこちにあり、買い物が不便 ・特別支援学級を通常学級により多く参加できる、インクルーシブ的な方法に変えて欲しい。
	4	・電灯が少なく、夜は歩きにくい
	5	・歩道の狭さや、道路の段差が日々に気になる ・自然豊かなまちはいいが、守山駅前の何もなさ寂しい
	6	・守山を知らない起業家達がフィールド実験することに”市民はおもちゃ？”と感じる ・高齢者社会への施策が少なく、一部の若者や女性に偏っている
	7	・自家用車以外の移動手段がほとんどない ・駅から離れた地域はたいへん不便を感じる ・他の市に住んだことがないので比べられない ・買い物には困らないが渋滞も多い。子供の治療費・薬代がかからないのは助かります ・程よい人口数、都会へのアクセス、災害の少なさから ・「坂のないまち守山」は高齢者には最適!! ・ほど良く都会で自然も多い
「住みやすい」	8	・自然災害がほとんどない、設備・施設が整っている
	9	・公園や医療施設など日常生活に必要な施設が整っているから ・住民の方の優しさが、いつも感じられる土地柄だと思う ・事件や事故が少なく子ども安心できる町だと思う
	10	・スポーツ施設や買い物できる施設もたくさんある。教育施設も多い ・道路整備が行き届いていて病院も多く自然豊かでJRも新快速が止まる
		・静かで良い、空気が良い、人柄が良い ・街が綺麗 若い人が多い 新しく変わっていく感じがする

問2 あなたは現在幸せですか。

「とても幸せ」を10、「とても不幸せ」を1とすると、何くらいになると思いますか。



主な意見・理由等(自由記載)

「不幸せ」	1	・税金の高さ、品物などの高さ
	2	・がんで入院中のため
	3	・交通不便、買物不便、他 ・退職金はほとんどなく年金もなく、給料は半減、介護で思うように働けず苦しい ・物価高騰・健康保険料等の値上げ等生活に大きな影響が出ているため
↑	4	・高齢者でも働ける職場が少ない。年金生活への不安、老人ホームに入りやすくして欲しい ・将来の親の介護や自分の老後の生活に不安がある為
	5	・シングルで小学生の子ども3人を育てていて、実家は遠方でほとんど手伝ってもらえずしんどい ・生きるのには困ってないが、生きがいが見つけれない ・子育て、お金に関する悩みがつきない
	6	・人生こんなものだと思う ・独り暮らしですが、近所の人や友がいるので、話ができる
	7	・独り身で、遠方に暮らす両親の今後の介護が心配だから ・とても幸せと思えるものはないが、不幸とも感じていないため ・家族が健康でいられている ・家族にもめぐまれ、金銭的にも普通に生活がおくれている
↓	8	・個人的にも社会的にも充実した生活を送れている ・ご近所や自治会が見守って下さるから
	9	・深く悩む事もなく、元気に暮らせているので幸せだと思う ・老後でもグランドゴルフや卓球等、人と触れ合い運動ができる ・子どもに恵まれ、金銭的な問題はあがあるが、日々充実している
	10	・好きな友達と好きなものがあって親にも恵まれていると思う ・家族に恵まれて、子どもも産まれて笑顔で過ごせているから ・子供と孫に囲まれて何も文句ない
「幸せ」		

属性別の平均ハート数など、詳しい結果は第5章(P.15～)以降に記載しています。

第2章 住みやすさ実感度について

評価分野ごとの結果による住みやすさ実感度は、

7.1♡（前回7.0♡）となりました。

評価分野の表示

本調査は「健康・医療」、「教育・学習・子育て」、「環境」、「安全・安心」、「福祉」、「暮らしと働き」、「文化・スポーツ」、「つながり」の8つの評価分野で構成しており、各評価分野に5つ～7つの評価項目を設けています。それぞれの評価項目はアンケートの調査項目と対応しており、それぞれの評価項目の回答から平均評価（最高5♡）を算出します。

総合評価の表示

8つ評価分野のうち、「健康・医療」、「教育・学習・子育て」、「環境」、「安全・安心」は『住み心地』を、評価分野の内「福祉」、「暮らしと働き」、「文化・スポーツ」、「つながり」は『幸せ感』を構成するものとします。

4つの評価分野で構成された『住み心地』と『幸せ感』を総合評価と称し、4つの評価分野の平均値（最高5♡）を主観による評価と比較できるように10段階（最高10♡）に換算して表示します。

住みやすさ実感度の表示

総合評価の『住み心地』と『幸せ感』の平均値を【住みやすさ実感度】として表示します。

結果の内訳は、次頁のとおりです。

第3章 評価項目の肯定的回答について

評価項目の肯定的回答『「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」、「感じる」または「どちらかといえば感じる」等の割合』は、以下のとおりです。

肯定的回答が50%を超えている項目は、全46項目中20項目です(前回18項目)。

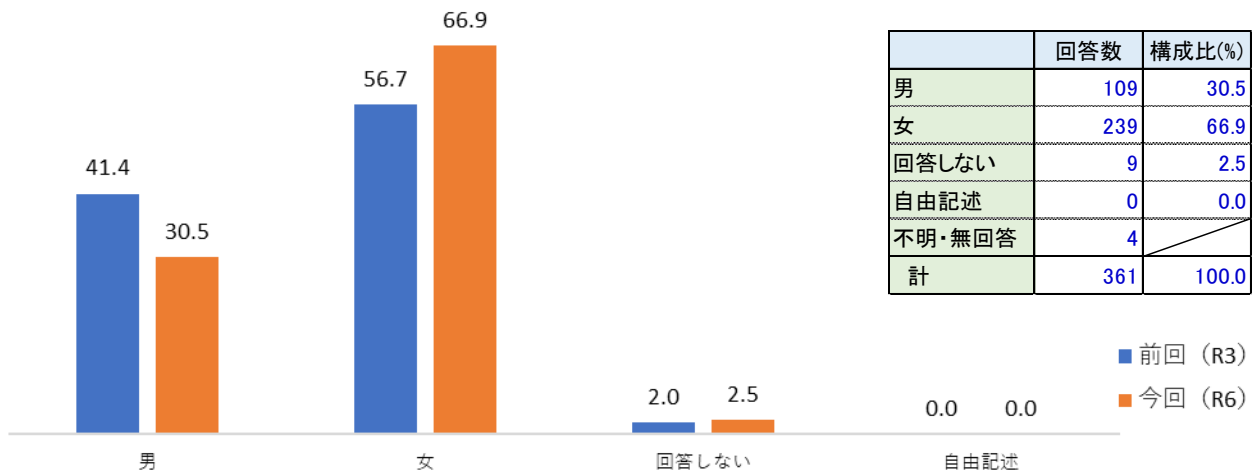
順位	質問文	評価分野	割合	
			今回(R6)	前回(R3)
1	守山市は、治安が良く、安心して暮らせるまちだと思いますか。	安全・安心	79.4%	72.1%
2	あなたは、ホテルが飛び交う景色に親しみを感じますか。	環境	74.5%	73.1%
3	あなたは、地域で顔を合わせたときに、挨拶や声掛けができていますか。	つながり	72.9%	69.1%
4	あなたは、琵琶湖や地域の水辺(川など)に親しみを感じますか。	環境	72.3%	70.1%
5	あなたは、病気予防を意識していますか。(定期健康診断など)	健康・医療	71.5%	71.6%
6	守山市は、草木など「緑」が多いまちだと思いますか。	環境	68.5%	64.3%
7	守山市は、生涯学習のための施設・環境(図書館、公民館など)が充実しているまちだと思いますか。	文化・スポーツ	67.5%	59.4%
8	守山市は、日常の買い物をするのに便利なまちだと思いますか。	暮らしと働き	66.8%	63.3%
9	守山市は、必要ときに安心して医療サービスを受けられるまちだと思いますか。	健康・医療	65.7%	61.5%
10	守山市は、スポーツに関する施設・環境(体育館、運動公園など)が充実しているまちだと思いますか。	文化・スポーツ	65.1%	53.6%
11	守山市は、自治会など地縁団体の活動(地域清掃や相互交流など)が活発に行われているまちだと思いますか。	つながり	63.2%	57.0%
12	守山市は、まちなみ・景観・風景が美しいまちだと思いますか。	環境	62.0%	52.6%
13	あなたは、生きがいのある充実した生活を送っていますか。	暮らしと働き	61.3%	50.2%
14	守山市は、安心して子どもを産み、育てやすいまちだと思いますか。	教育・学習・子育て	60.8%	64.7%
15	あなたは、健康であると思いますか。	健康・医療	58.7%	63.0%
	守山市は、文化活動に関する施設・環境(市民ホールなど)が整備されているまちだと思いますか。	文化・スポーツ	58.7%	50.5%
17	守山市は、交通安全施設(信号機や道路標識など)が整備されているまちだと思いますか。	安全・安心	56.9%	48.8%
18	学校・職場・地域・家庭において、あなた自身の人権が尊重されていると感じますか。	つながり	54.4%	49.4%
19	あなたは、休養やリラックスのための余暇の時間を十分に取れていると思いますか。	健康・医療	53.3%	53.6%
20	守山市は、保育園・幼稚園・こども園が整備されているまちだと思いますか。	教育・学習・子育て	51.6%	60.8%
21	あなたは、地域活動や公益活動に参加するなど、社会のために役に立ちたいと思いますか。	つながり	49.6%	44.5%
22	守山市は、ごみの減量化や節水・節電など地球環境にやさしい取り組みが充実しているまちだと思いますか。	環境	48.7%	44.7%
23	守山市は、大雨・台風・地震などの災害に対する備えができていますか。	安全・安心	47.5%	48.1%
24	あなたは、普段の生活のなかで体を動かしたり運動したりしていますか。	健康・医療	47.4%	42.6%
25	守山市は、地域と学校が深く結び付いているまちだと思いますか。	つながり	46.7%	46.8%
26	あなたは、仕事と生活のバランスが取れていると思いますか。	暮らしと働き	46.1%	45.8%
27	守山市は、地域の伝統文化行事(祭りなど)に参加する機会が充実しているまちだと思いますか。	文化・スポーツ	44.3%	43.8%
28	守山市は、性別の区別なく、働きやすく、暮らしやすいまちだと思いますか。	つながり	44.2%	42.1%
	守山市は、交通ルールやマナーが守られているまちだと思いますか。	安全・安心	44.2%	37.9%
31	守山市は、子育てについて情報交換や交流、相談のできる場所、機会や人が身近にあるまちだと思いますか。	教育・学習・子育て	44.2%	47.1%
	守山市は、子どもたちの学びを支える施設(社会教育施設)や環境が充実しているまちだと思いますか。	教育・学習・子育て	43.7%	47.0%
32	守山市は、高齢者福祉に関する情報やサービスの提供が充実しているまちだと思いますか。	福祉	43.6%	44.0%
33	あなたは、市内で行われる環境美化活動に積極的に参加していますか。	環境	42.7%	47.7%
34	守山市は、子どもたちにとって教育の内容が充実しているまちだと思いますか。	教育・学習・子育て	42.4%	42.6%
35	守山市は、地域、近所で困った人がいれば互いに助け合いができるまちだと思いますか。	福祉	41.7%	39.4%
36	守山市は、通勤圏内に働く場所がある、もしくは仕事が見つけやすく、仕事に就きやすいまちだと思いますか。	暮らしと働き	41.3%	38.7%
37	あなたは、介護予防を意識して取り組んでいますか。(日頃の体力づくりなど)	健康・医療	40.6%	40.0%
38	あなたは、徒歩や自転車、バスや「モーリーカー」などの公共交通による移動で、生活することは可能ですか。	暮らしと働き	40.3%	42.5%
39	守山市は、文化や考え方が異なる者同士でも互いを尊重できる、誰もがともに住みやすいまちだと思いますか。	福祉	38.5%	35.3%
40	守山市は、子どもたちが地域の活動(清掃活動など)に参加する機会が充実しているまちだと思いますか。	教育・学習・子育て	35.3%	35.0%
41	守山市は、子どもたちが挨拶ができていますか。	つながり	35.0%	34.9%
42	あなたは、大雨・台風・地震などの災害に対する備えが普段の生活の中でできていると思いますか。	安全・安心	33.3%	29.1%
43	守山市は、障害者(児)に関する情報やサービスの提供が充実しているまちだと思いますか。	福祉	33.0%	32.3%
44	守山市は、まちなかのバリアフリーが充実しているまちだと思いますか。	福祉	30.0%	21.5%
45	あなたは、日常的に文化・芸術に接する機会があると思いますか。	文化・スポーツ	27.4%	22.6%
46	あなたは、日常的にスポーツに接する機会があると思いますか。	文化・スポーツ	26.3%	26.1%

第4章 回答者の属性

本アンケートは、無作為に抽出した 18 歳以上の市民 2,000 人を対象に調査を行い、361 人 から有効回答をいただきました。

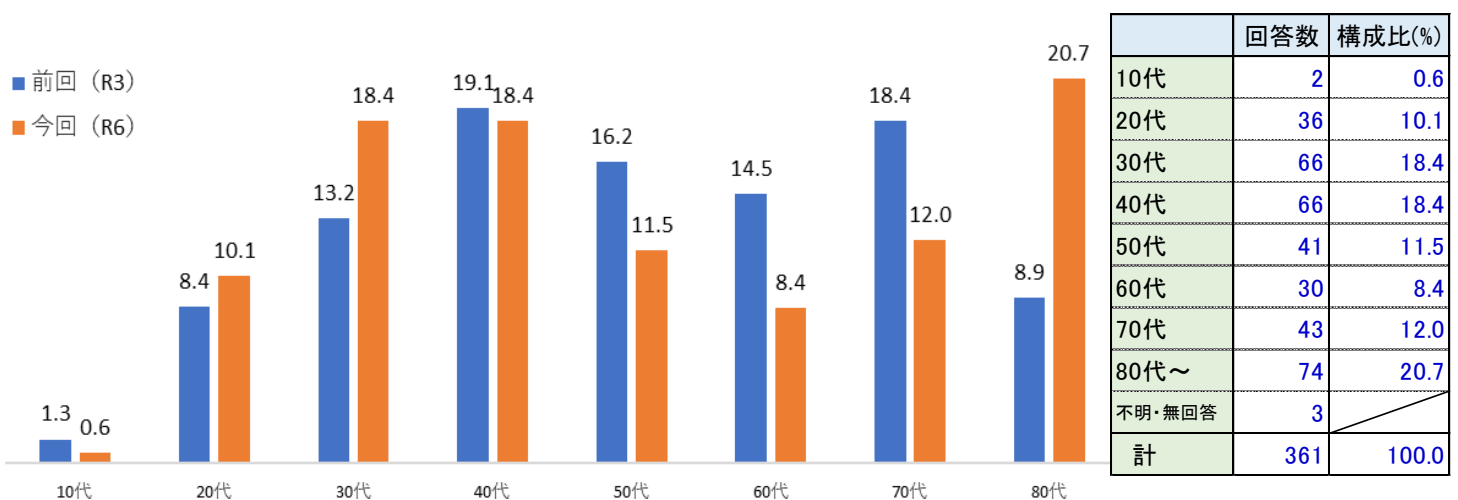
性別や年齢など回答者の属性については、以下のとおりです。

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。【単位：%】



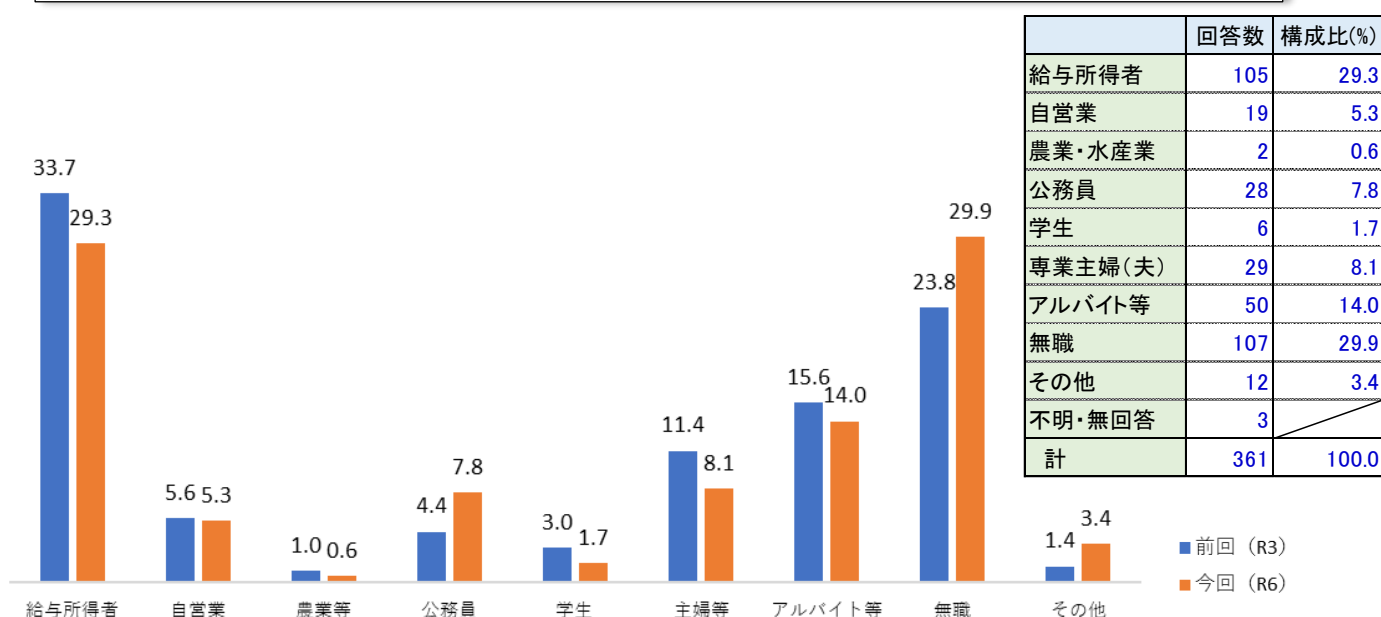
前回同様に男性に比べて女性の回答割合が高くなっていますが、今回の調査ではその傾向がより顕著となっています。

(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。【単位：%】



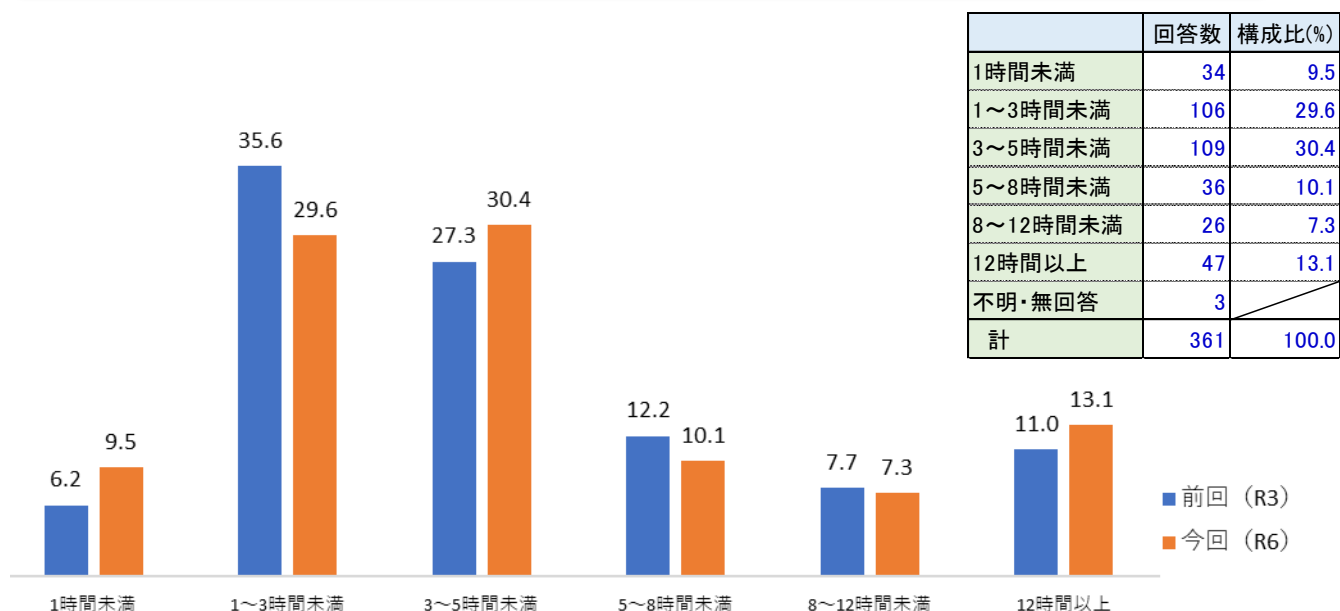
今回は対象者の条件(住民基本台帳から 18 歳～79 歳の市民を無作為で 2,000 人抽出)が重複する 10 代～70 代については、同時期に開催した市民懇談会の案内文にアンケート用紙を同封しました。「80 代～」のみ別途郵送したことが回答割合の増加につながったと考えられます。

(3)あなたの職業は、次のうちどれですか。【単位：％】



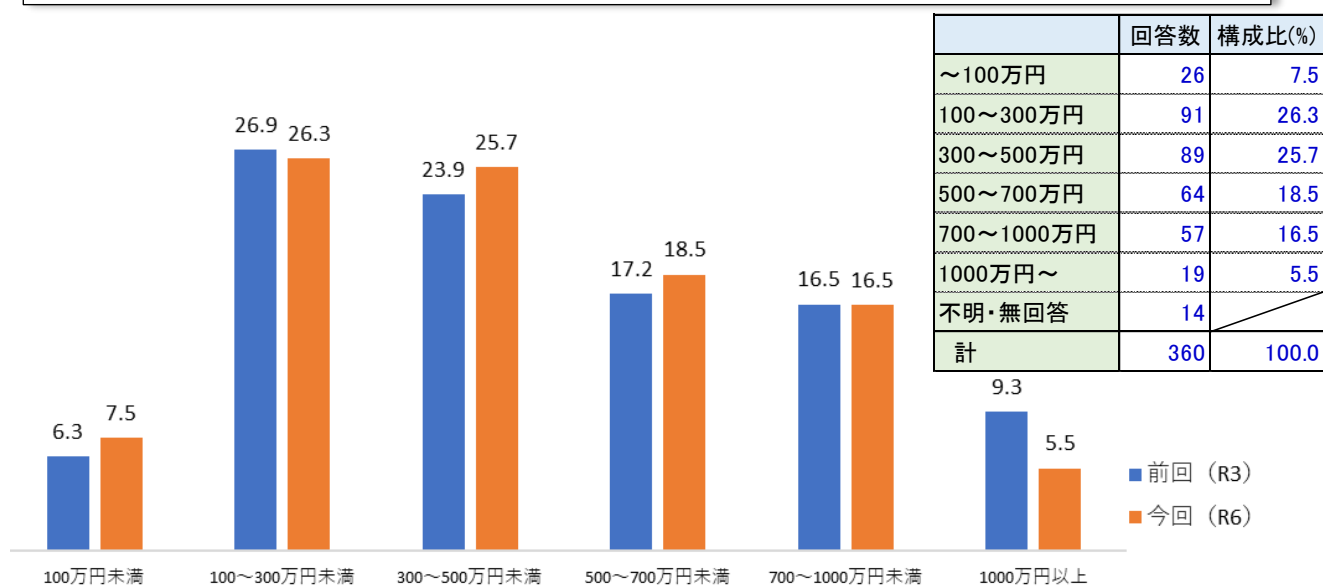
「無職」が 29.9%と最も高く、次いで「給与所得者」が 29.3%となっています。前回から回答割合が逆転しているのは、(2)のとおり「80 代～」の回答割合が増加していることが要因と考えられます。

(4)あなたが一日あたり自由に使える時間はどのくらいですか。【単位：％】



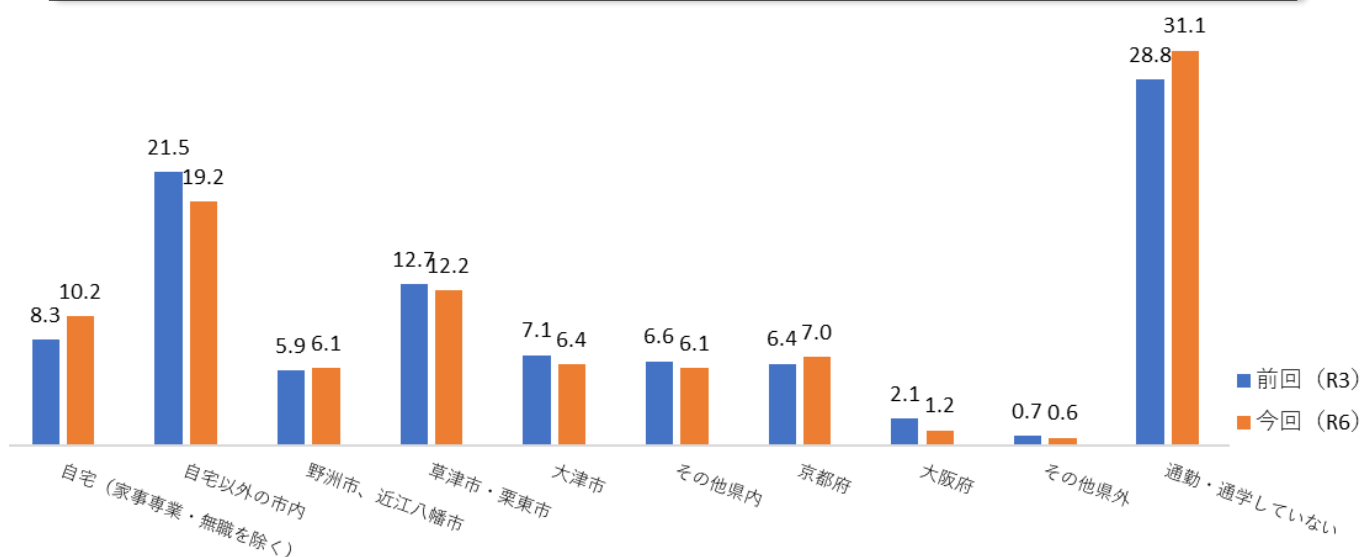
「3～5時間未満」が 30.4%と最も高く、次いで「1～3時間未満」が 29.6%となっています。自由時間が5時間未満の割合は、全体の約7割を占めています。

(5)あなたの世帯年収(年金を含む。)は、おおよそどのくらいですか。【単位：%】



「100～300 万円未満」が 26.3%と最も高くなっています。「1000 万円以上」の割合が減少していますが、全体的には前回調査に近い比率となっています。

(6)あなたの通勤先・通学先は、次のうちどれですか。【単位：%】

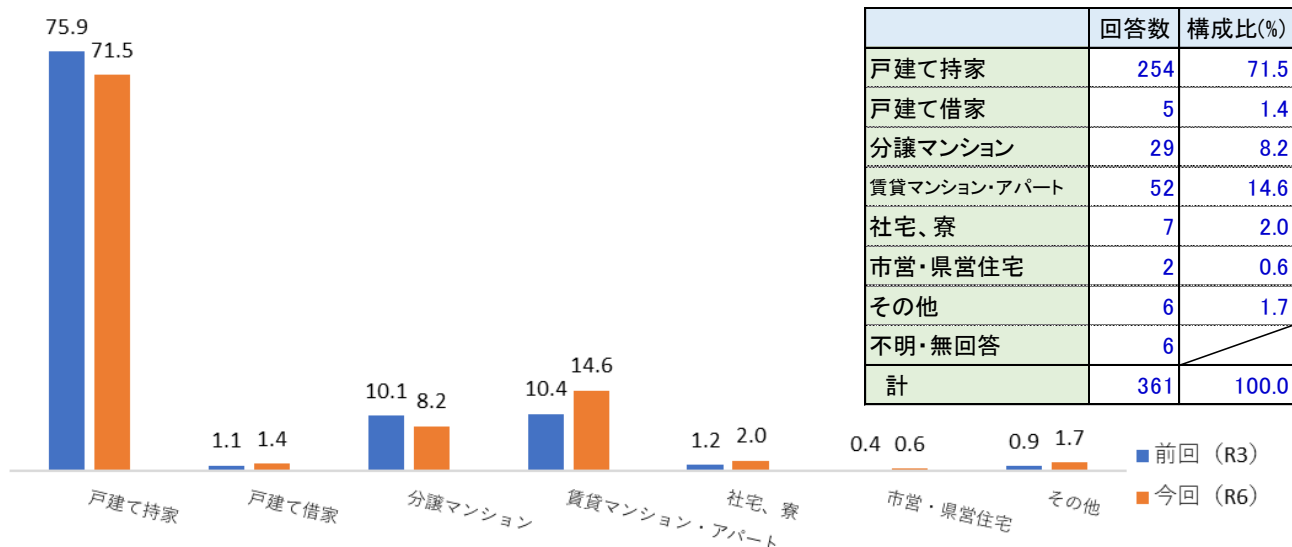


通勤・通学している方は 62%を占めており、この内「市内」は 19.2%で最も高く、次いで「草津市・栗東市」の 12.2%となっています。

また、県外へ通勤・通学している方は 8.8%となっています。

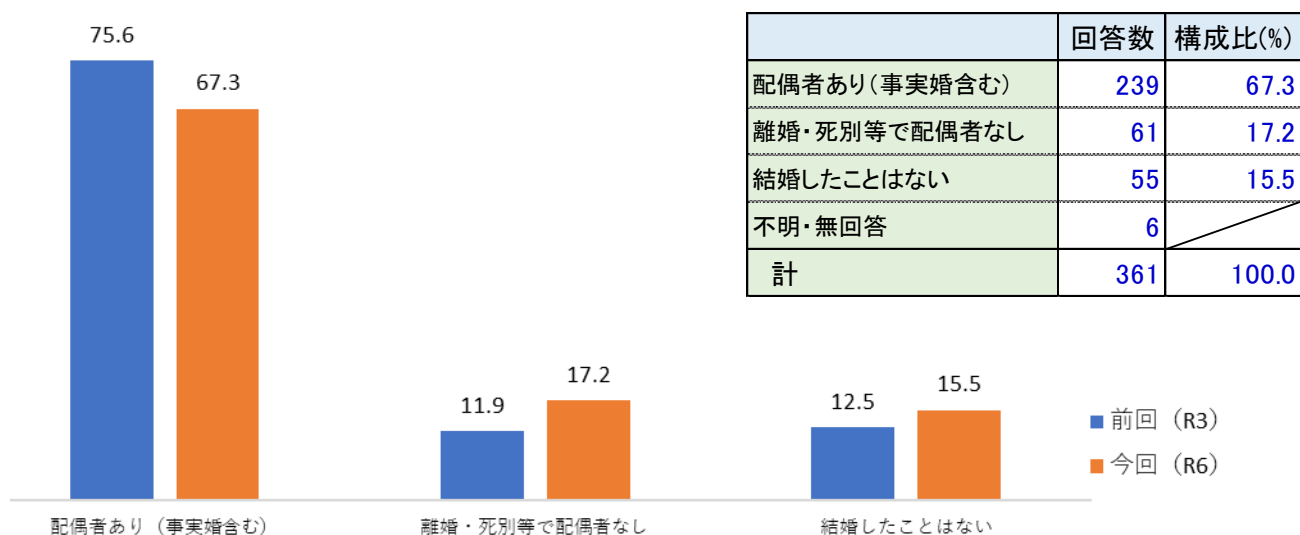
	回答数	構成比(%)		回答数	構成比(%)
自宅	35	10.2	京都府	24	7.0
自宅以外の市内	66	19.2	大阪府	4	1.2
野洲市、近江八幡市	21	6.1	その他県外	2	0.6
草津市・栗東市	42	12.2	通勤・通学していない	107	31.1
大津市	22	6.4	不明・無回答	17	
その他県内	21	6.1			
			計	361	100.0

(7)あなたのお住まいは、次のうちどれですか。【単位：％】



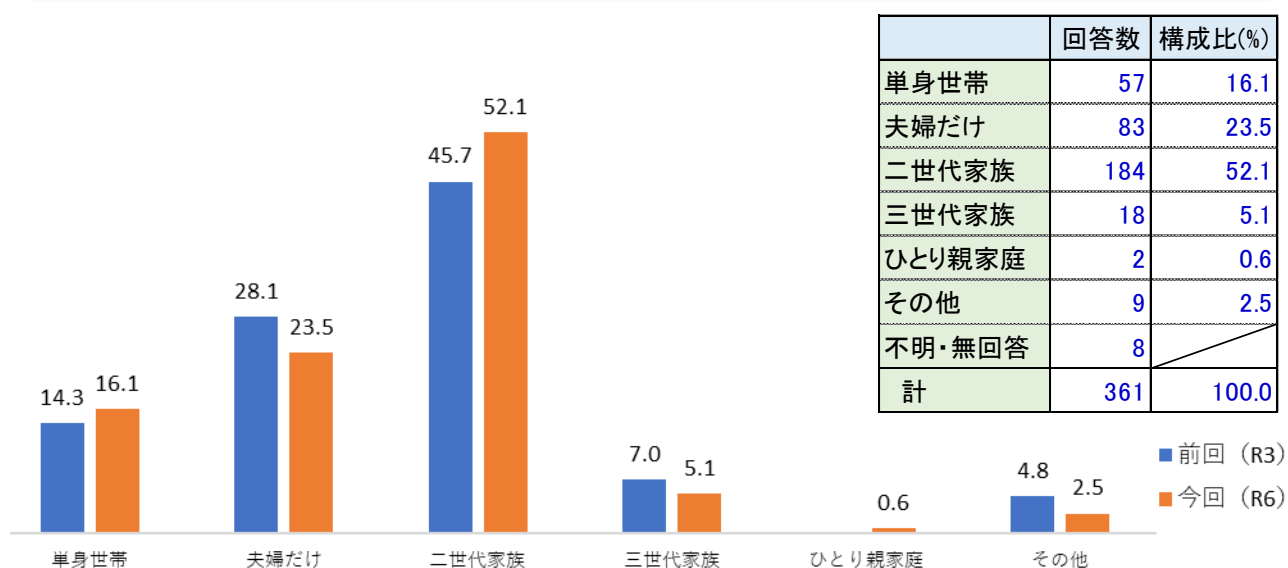
「戸建て持家」が71.5％と最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート」が14.6％となっています。「分譲マンション」の8.2％も含めた上位3形態で94.3％となっています。

(8)あなたには配偶者がいますか。【単位：％】



「配偶者あり」が67.3％となっています。「離婚・死別等で配偶者なし」の割合が前回より5.3％増加していることは、(2)のとおり「80代～」の回答割合の増加が要因と考えられます。

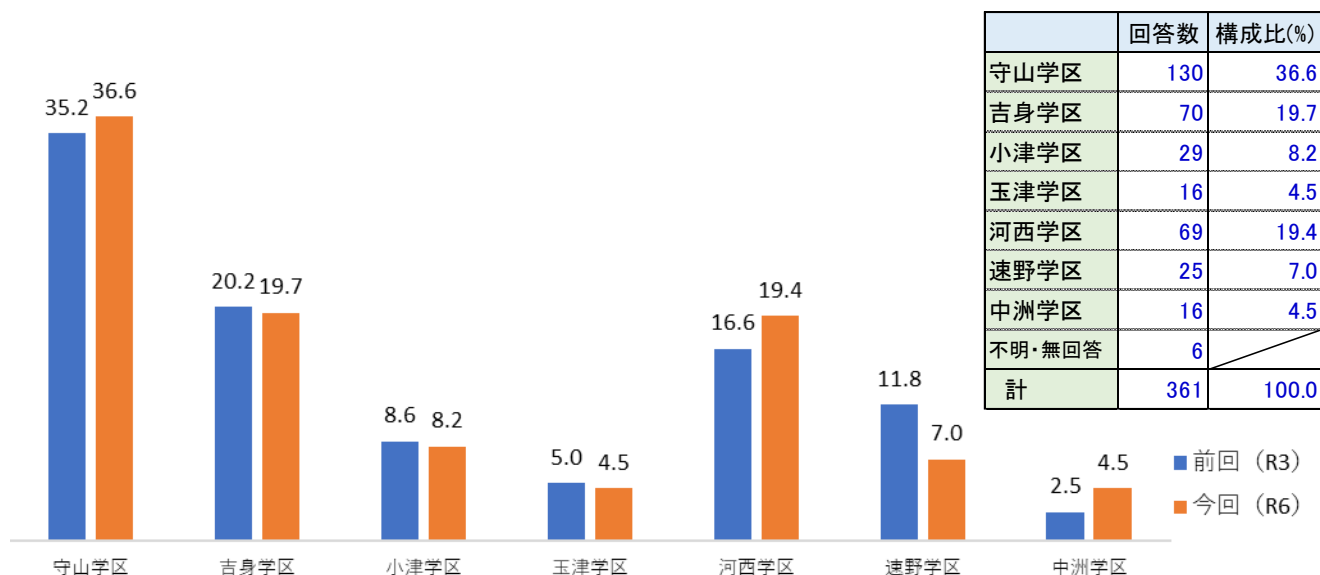
(9)あなたの世帯構成は、次のうちどれですか。【単位：%】



「二世世代家族」が52.1%と最も高く、次いで「夫婦だけ」が23.5%、「単身世帯」が16.1%となっています。

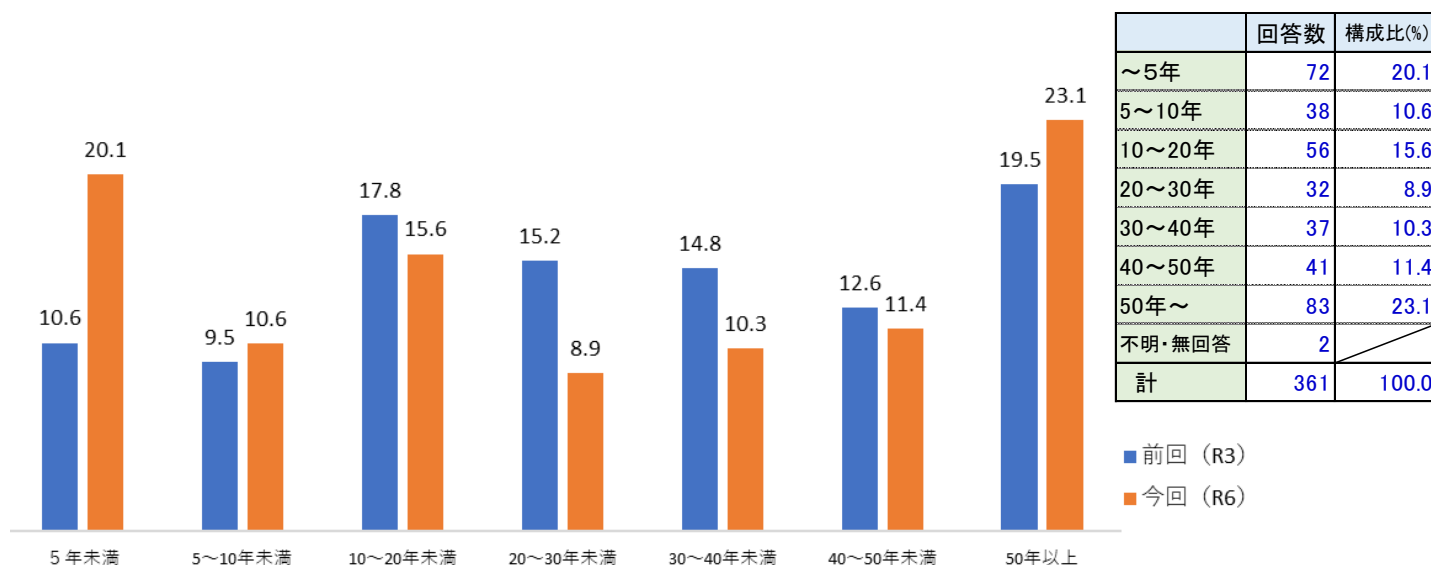
※「ひとり親家庭」の選択肢は新たに追加のため前回との比較データなし

(10)あなたが住まいの学区はどこですか。【単位：%】



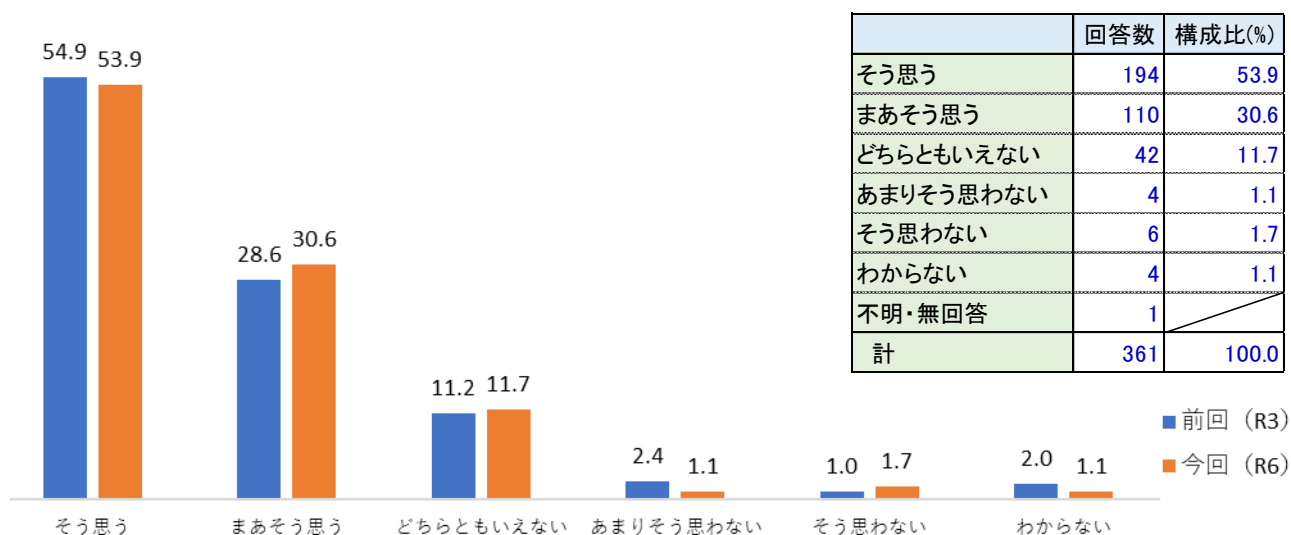
「守山学区」が36.6%と最も高く、次いで「吉身学区」が19.7%、「河西学区」が19.4%となっています。やはり人口が多い学区の回答割合が高い結果となっています。

(11)あなたは、守山市に居住して何年になりますか。【単位：%】



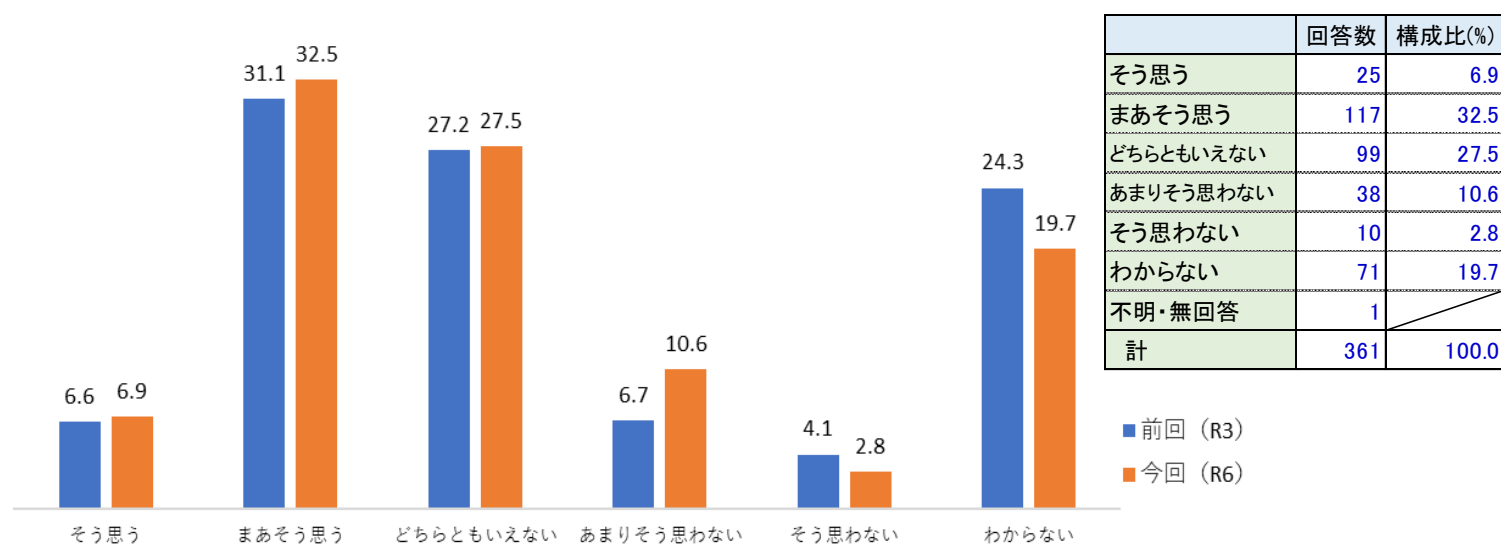
「50 年以上」が 23.1%と最も高く、次いで「5年未満」が 20.1%となっています。「50 年以上」の回答割合が増加しているのは、(2)のとおり「80 代～」の回答割合が高いことが要因と考えられます。

(12)今後も守山に住み続けたいですか。【単位：%】



肯定的回答(「そう思う」と「まあそう思う」の合計)が 84.5%を占める一方で、否定的回答(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計)は 2.8%にとどまっています。

(13) 守山市政は、住民の意思が活かされていると思いますか。【単位：％】

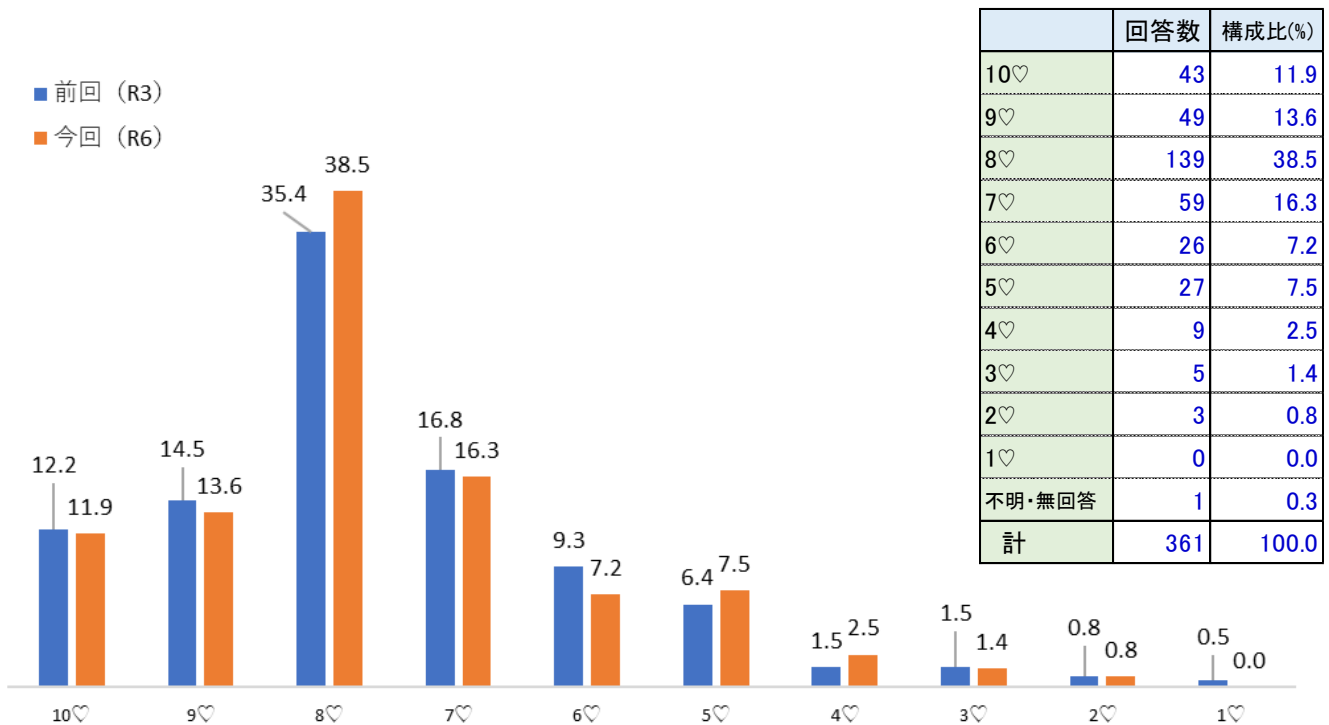


「まあそう思う」が32.5%と最も高く、次いで「そう思う」が27.5%となっています。また、「わからない」が19.7%と3番目に多い割合になっています。

第5章 主観による「住み心地」について

住み心地

問1 守山市は住みやすいまちだと思いますか。「とても住みやすい」を 10、「とても住みにくい」を1とすると、何くらいになると思いますか。



1. 全体平均について

すべての回答の平均は7.6♡です。前回調査(R3)も同様に7.6♡だったので、横ばいの結果となりました。

ハート数で見ると、「8♡」が38.5%と最も高く、次いで「7♡」が16.3%、「9♡」が13.6%となっています。

総合評価による『住み心地』は7.2♡です。前回調査(R3)も同様に7.2♡だったので、横ばいの結果となりました。

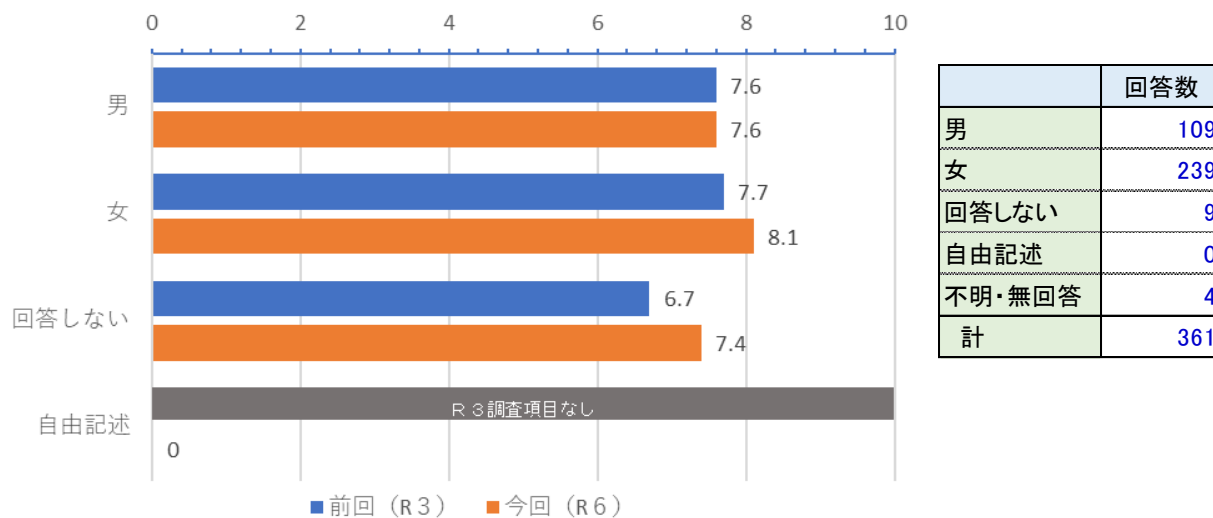
※総合評価の算出方法:「健康・医療」、「教育・学習・子育て」、「環境」、「安全・安心」の各評価分野の平均値(最高5♡)を、主観による評価と比較できるように10段階(最高10♡)に換算します。

主観による『住み心地』は、総合評価による『住み心地』より0.4ポイント高くなっています。

2.「住み心地」についての属性別平均ハート数

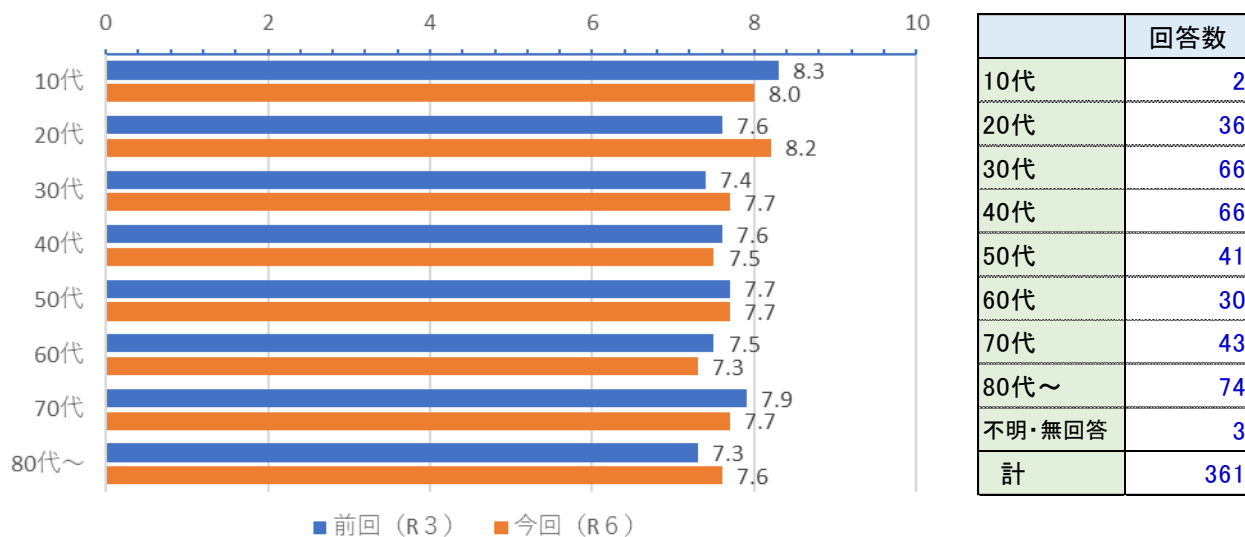
主観による「住み心地」のハート数について、属性ごとに平均を算出します。

性別



前回調査では男女でのハート数の差はほとんどありませんでしたが、今回は女性の方が0.5ポイント高くなりました。

年齢別

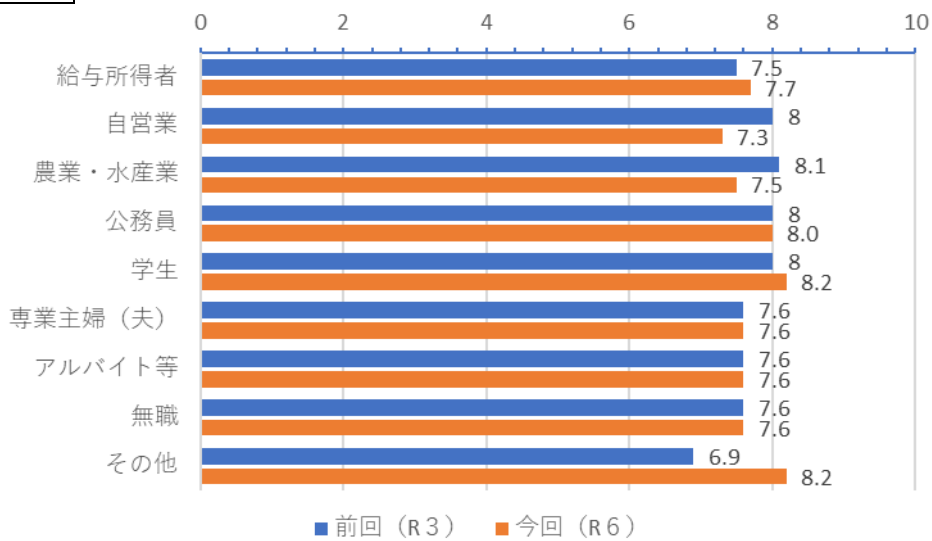


「60代」が7.3♡と最も低く、「20代」が8.2♡と最も高くなっています。

特に「20代」は0.6ポイント良化しました。

「10代」の回答者は18歳と19歳だけであり回答数も2人と少ないので、平均ハート数の解釈には注意が必要です。

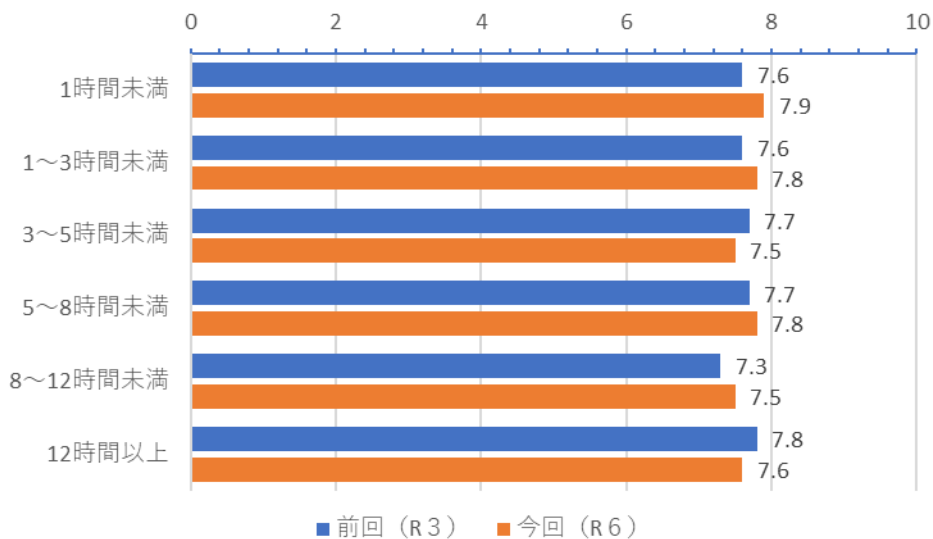
職業別



	回答数
給与所得者	105
自営業	19
農業・水産業	2
公務員	28
学生	6
専業主婦(夫)	29
アルバイト等	50
無職	107
その他	12
不明・無回答	3
計	361

「自営業」と「農業・水産業」のポイントが前回調査より大きく悪化しました。「農業・水産業」の回答者は2人、「学生」の回答者は6名と少ないので、平均ハート数の解釈には注意が必要です。

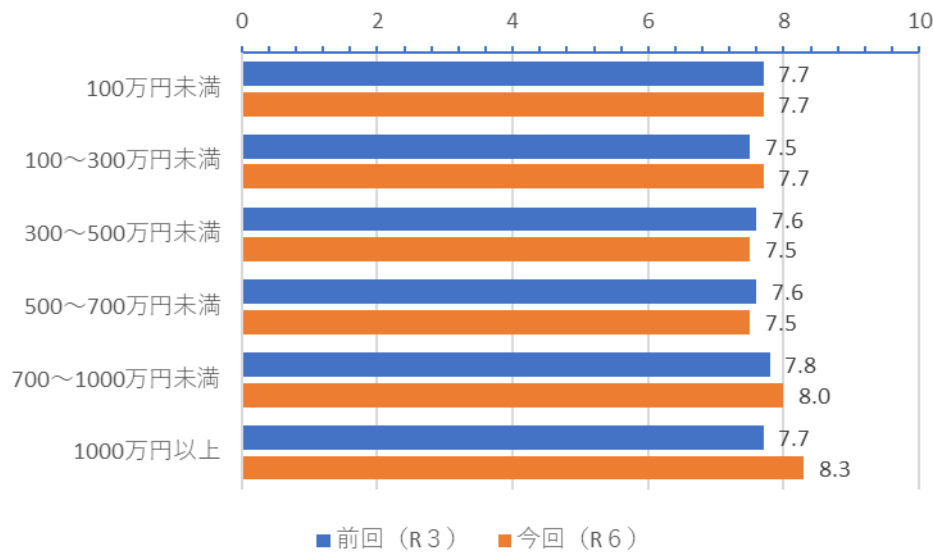
自由時間別



	回答数
1時間未満	34
1～3時間未満	106
3～5時間未満	109
5～8時間未満	36
8～12時間未満	26
12時間以上	47
不明・無回答	3
計	361

自由時間が最も短い「1 時間未満」は 7.9♡、最も長い「12 時間以上」は 7.6♡となりました。本アンケートから「住み心地」と自由時間の長短に相関関係は見られません。

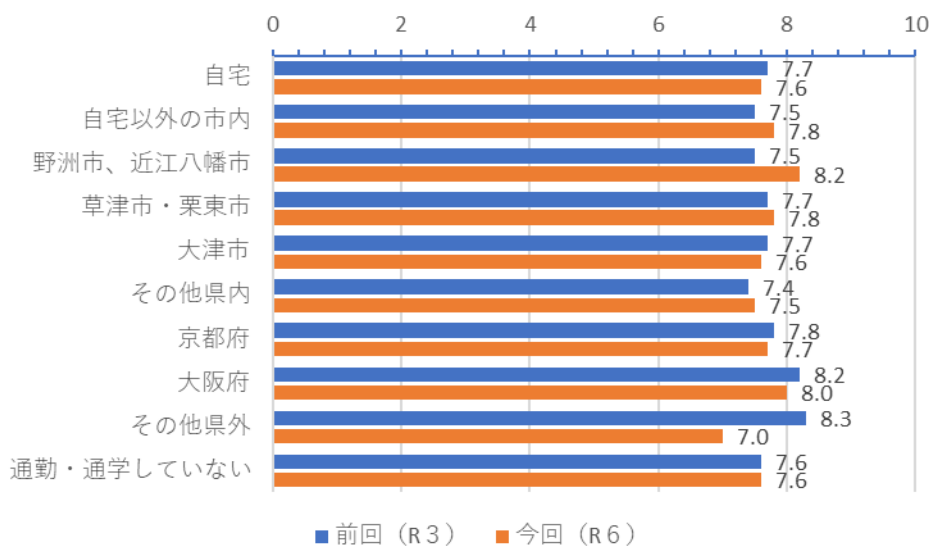
世帯年収別



	回答数
100万円未満	26
100～300万円未満	91
300～500万円未満	89
500～700万円未満	64
700～1000万円未満	58
1000万円以上	19
不明・無回答	14
計	361

「1000 万円以上」が 8.3♡と最も高く、次いで「700～1000 万円未満」が 8.0♡となりました。そのほかは世帯年収の多寡が、「住み心地」に直結するということではなく、近しいポイントとなりました。それぞれの収入に応じた住みやすさを感じておられるようです。

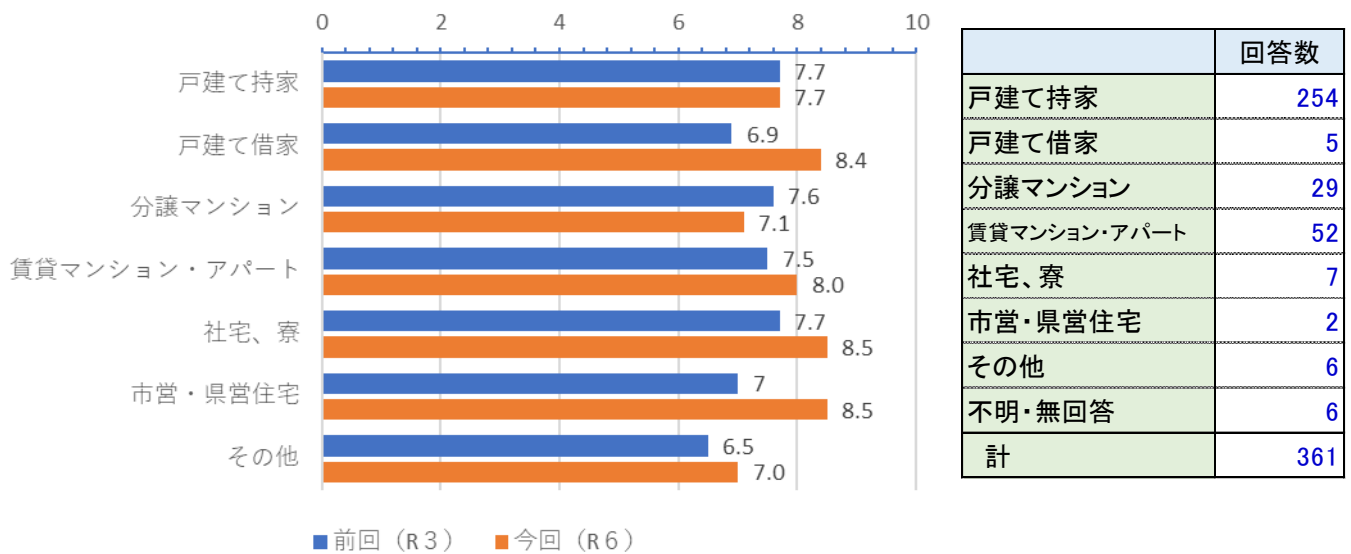
通勤先・通学先別



	回答数
自宅	35
自宅以外の市内	66
野洲市、近江八幡市	21
草津市・栗東市	42
大津市	22
その他県内	21
京都府	24
大阪府	4
その他県外	2
通勤・通学していない	107
不明・無回答	17
計	361

「野洲市・近江八幡市」が 8.2♡と最も高く、次いで「大阪府」が 8.0♡となっています。通勤・通学に要する時間が「住み心地」に直接影響するとは言えないようです。

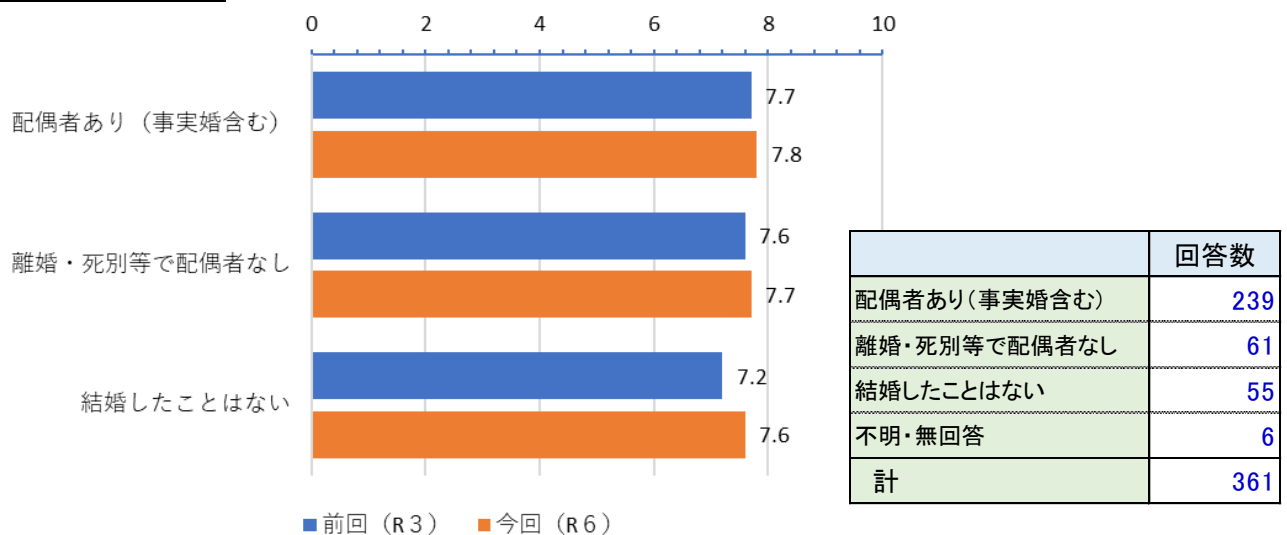
住まい形態別



「社宅、寮」および「市営・県営住宅」が 8.5♡と最も高く、次いで「戸建て借家」が 8.4♡となっています。多くの項目が前回調査より良化している反面、「分譲マンション」のハート数は 0.5 ポイント低くなりました。

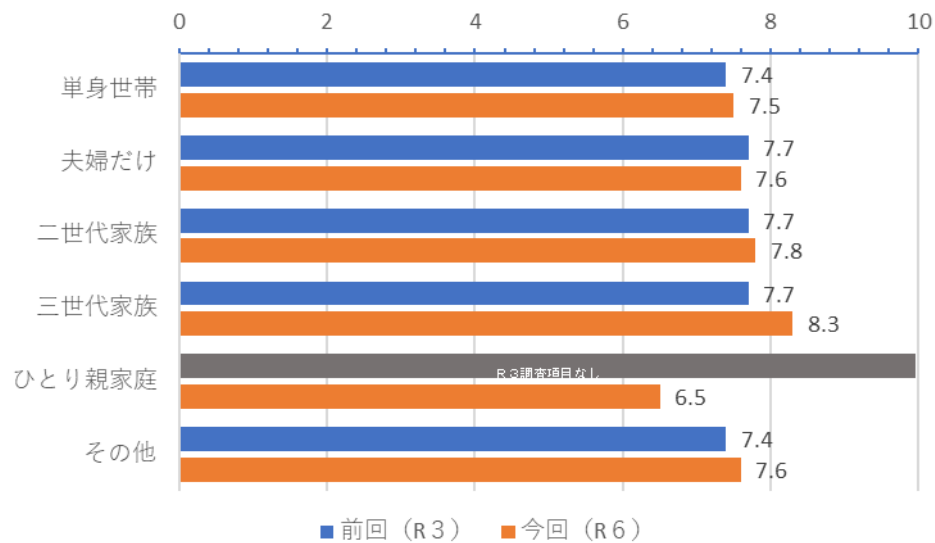
ただし、「社宅、寮」「市営・県営住宅」とともに回答者数が少ないので、平均ハート数の解釈には注意が必要です。

配偶者の有無別



配偶者の有無によるハート数に大きな差はありません。前回調査と比較すると、「結婚したことはない」のハート数が 0.4 ポイント高くなりました。

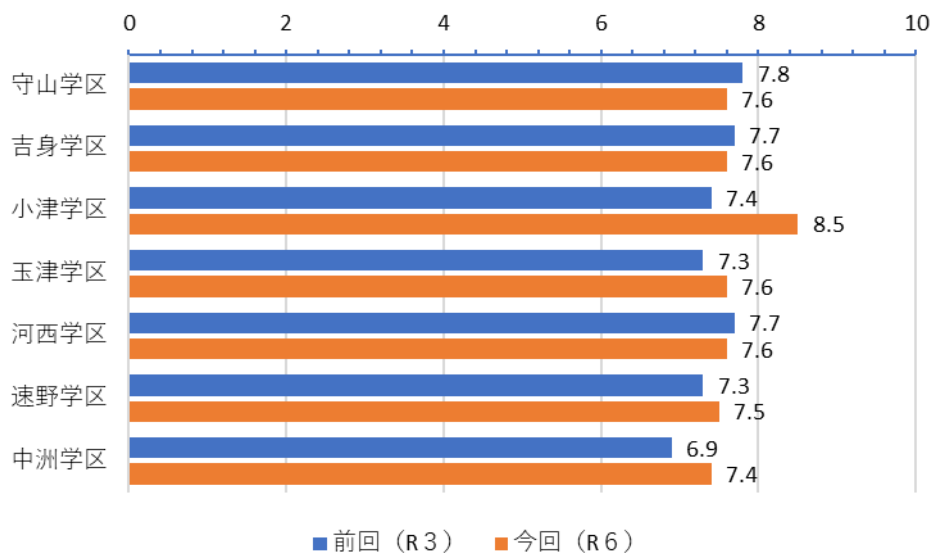
世帯構成別



	回答数
単身世帯	57
夫婦だけ	83
二世帯家族	184
三世帯家族	18
ひとり親家庭	2
その他	9
不明・無回答	8
計	361

「三世帯家族」が8.3♡と最も高くなっています。前回調査にはなかった「ひとり親家庭」は回答数2件と少ないものの6.5♡となり、他の世帯構成に比べて1.0ポイント以上低い結果となりました。

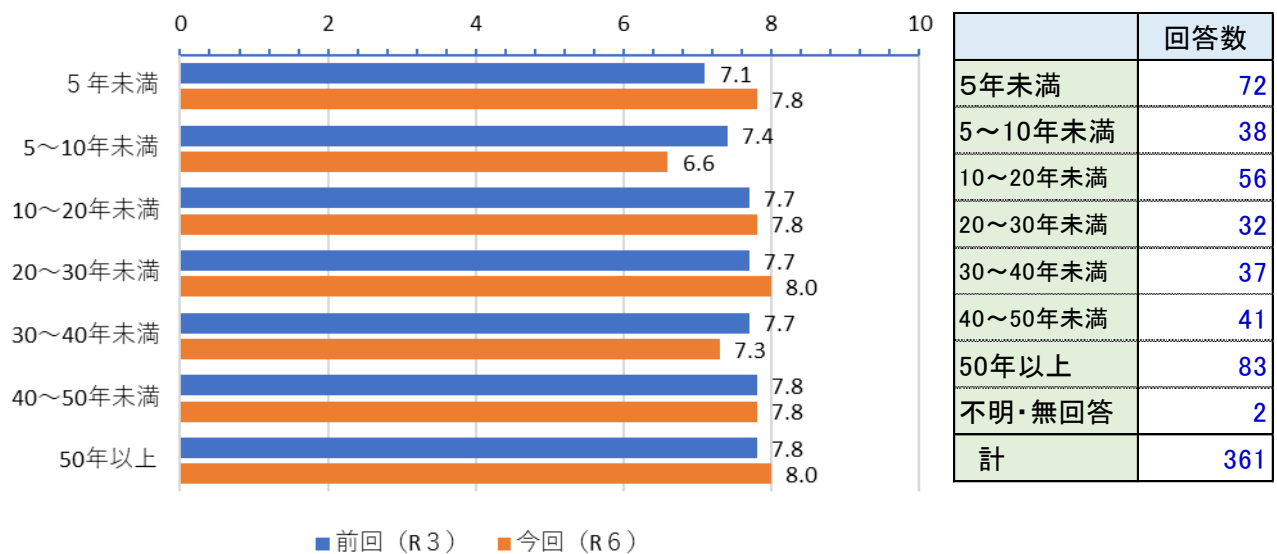
居住学区別



	回答数
守山学区	130
吉身学区	70
小津学区	29
玉津学区	16
河西学区	69
速野学区	25
中洲学区	16
不明・無回答	6
計	361

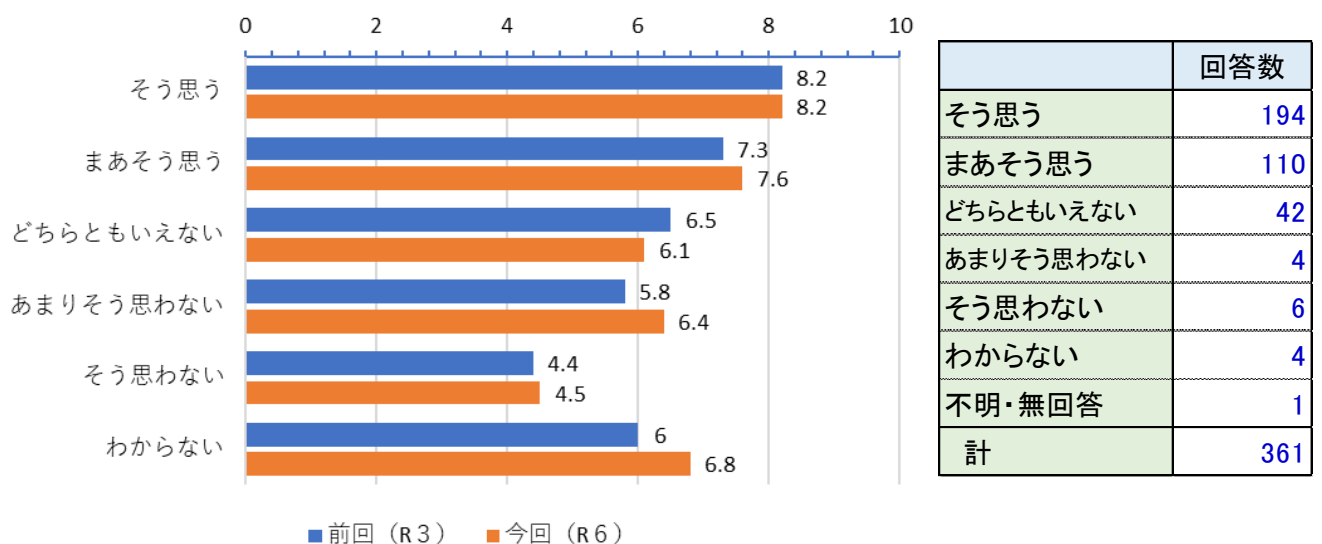
「小津学区」が8.5♡と最も高くなり、前回調査より1.1ポイントと大幅に良化しました。その他の学区では、ハート数に大きな差はありません。

居住年数別



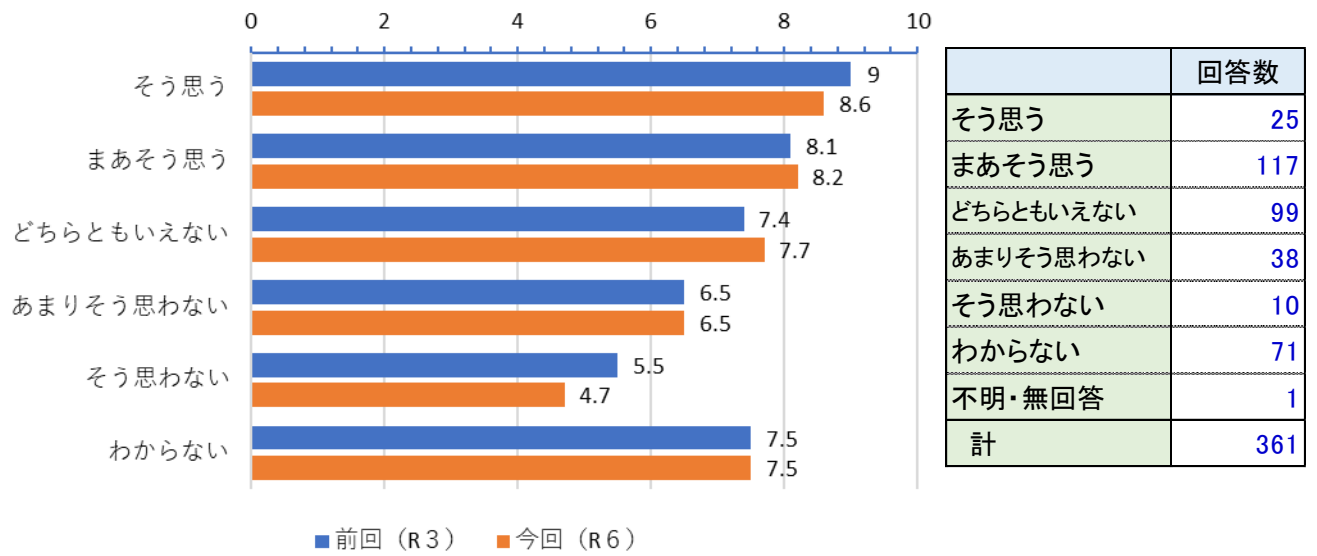
前回調査では居住年数が長いほど平均ハート数が高くなる傾向が見られましたが、今回調査ではその傾向は見られません。「5～10年未満」が6.6♡、「30～40年未満」が7.3♡と他の項目に比べてやや低い値となっています。

居住の意思別



「そう思う」が8.2♡に対して、「そう思わない」は4.5♡となりました。平均ハート数と居住の意思は密接に関連していることがよく分かります。「そう思う」「まあそう思う」と肯定的な回答をされた割合は84.2%と高くなっています。

市政への意思反映

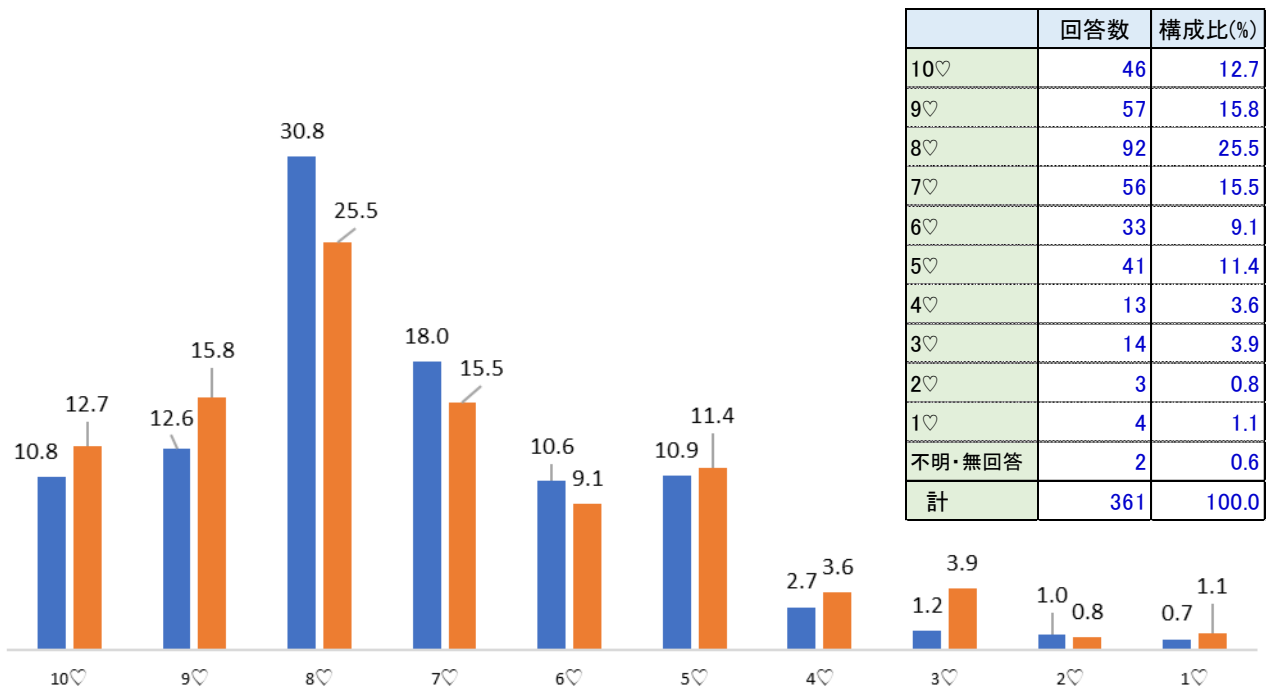


前回調査と同様に、「そう思う」や「まあそう思う」の住民の意思が市政に反映されていると感じている回答者の平均ハート数が高くなっています。

第6章 主観による「幸せ感」について

幸せ感

問2 あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を 10、「とても不幸せ」を1とすると、何くらいになると思いますか。



1. 全体平均について

すべての回答の平均は7.3♡です。前回調査(R3)も同様に7.3♡だったので、横ばいの結果となりました。

ハート数で見ると、「8♡」が25.5%と最も高く、次いで「9♡」が15.8%、「7♡」が15.5%となっています。

総合評価による『幸せ感』は7.0♡です。前回調査(R3)は6.8♡だったので、0.2良化しました。

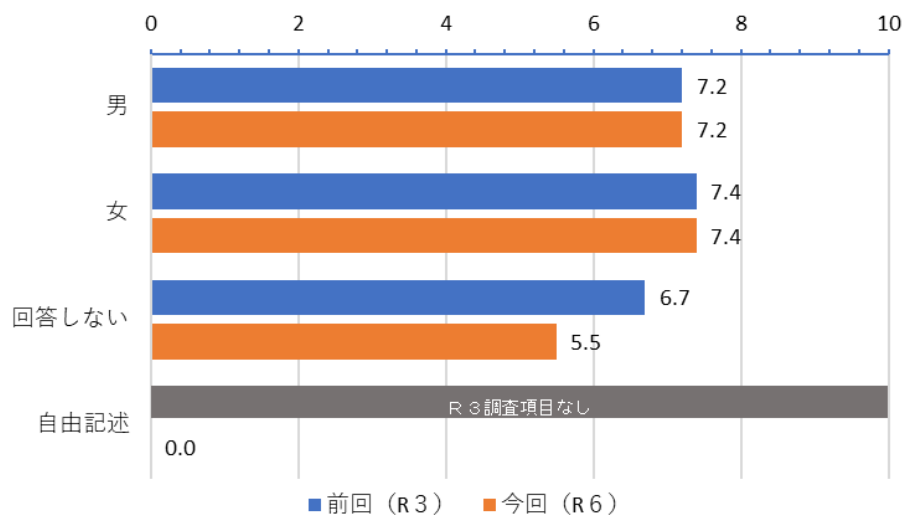
※総合評価の算出方法:「福祉」、「暮らしと働き」、「文化・スポーツ」、「つながり」の各評価分野の平均値(最高5♡)を、主観による評価と比較できるように10段階(最高10♡)に換算します。

主観による『幸せ感』は、総合評価による『幸せ感』より0.3ポイント高くなっています。

2.「幸せ感」についての属性別平均ハート数

主観による「幸せ感」のハート数について、属性ごとに平均を算出します。

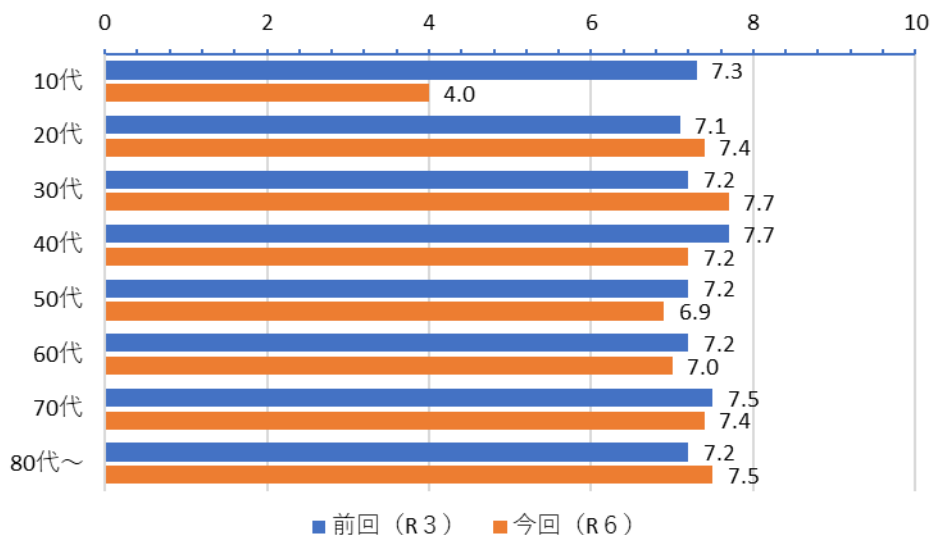
性別



	回答数
男	109
女	239
回答しない	9
自由記述	0
不明・無回答	4
計	361

男女での平均ハート数の差はほとんどなく、前回調査と比較しても差はありませんでした。「回答しない」については前回調査より 1.2 ポイント悪化しています。

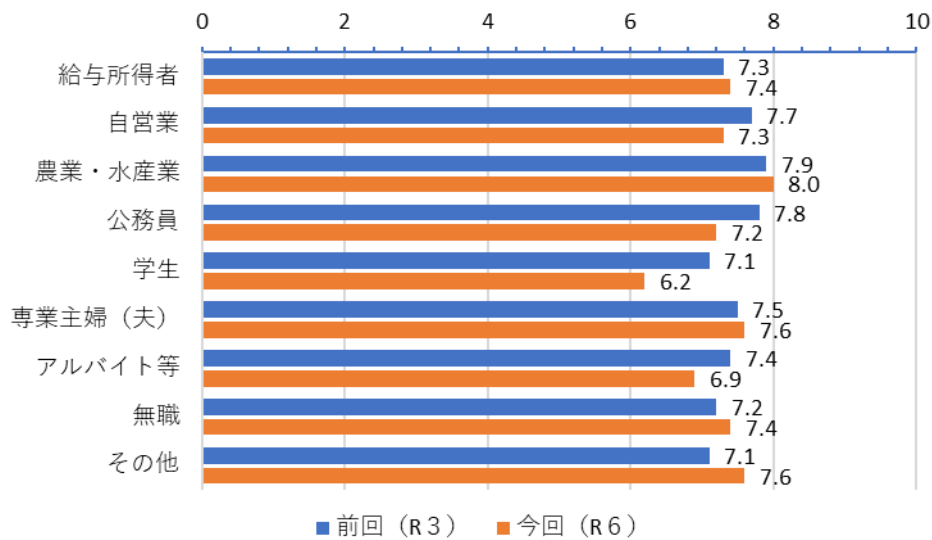
年齢別



	回答数
10代	2
20代	36
30代	66
40代	66
50代	41
60代	30
70代	43
80代～	74
不明・無回答	3
計	361

「30代」が 7.7♡と最も高く、「10代」が 4.0♡と最も低くなっています。ただし、「10代」は回答者が2名と少数のため、平均ハート数の解釈には注意が必要です。

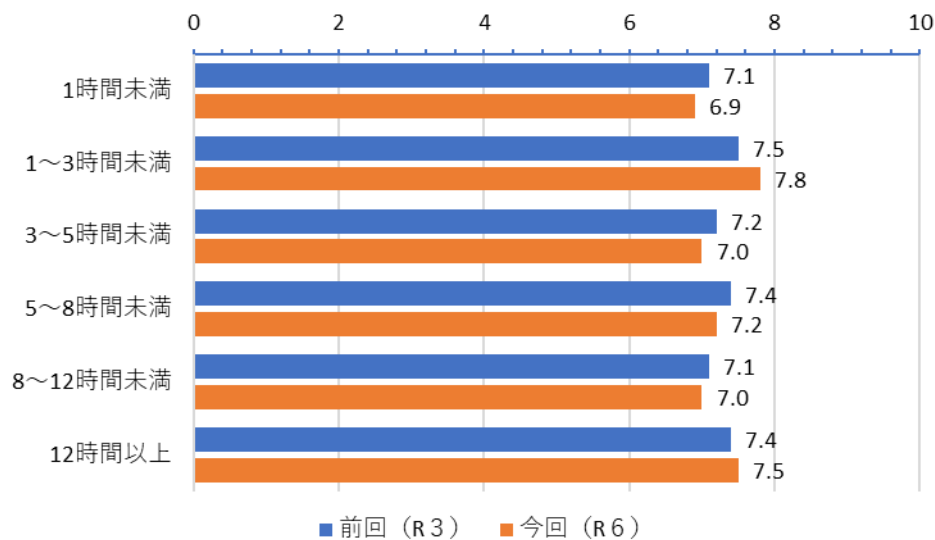
職業別



	回答数
給与所得者	105
自営業	19
農業・水産業	2
公務員	28
学生	6
専業主婦(夫)	29
アルバイト等	50
無職	107
その他	12
不明・無回答	3
計	361

「農業・水産業」が8.0♡と前回調査に引き続き最も高くなっています。ただし、回答者は2名と少数のため、平均ハート数の解釈には注意が必要です。同様に回答者は少数ですが、「学生」の平均ハート数が6.2♡と全体で最も低くなっています。

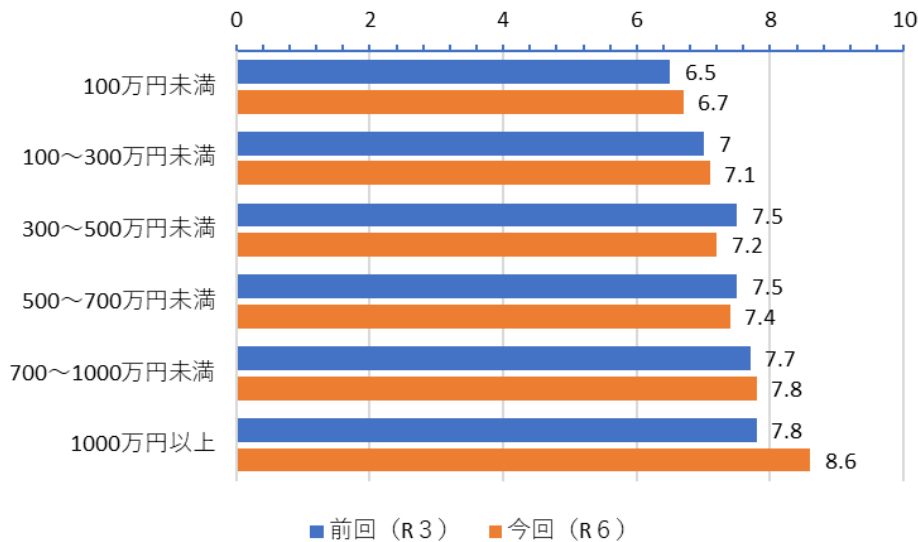
自由時間別



	回答数
1時間未満	34
1～3時間未満	106
3～5時間未満	109
5～8時間未満	36
8～12時間未満	26
12時間以上	47
不明・無回答	3
計	361

「1～3時間未満」が7.8♡と最も高くなっています。その他の平均ハート数に前回調査からの大きな増減はありません。「住み心地」と同様に、本アンケートから「幸せ感」と自由時間の長短に相関関係は見られません。

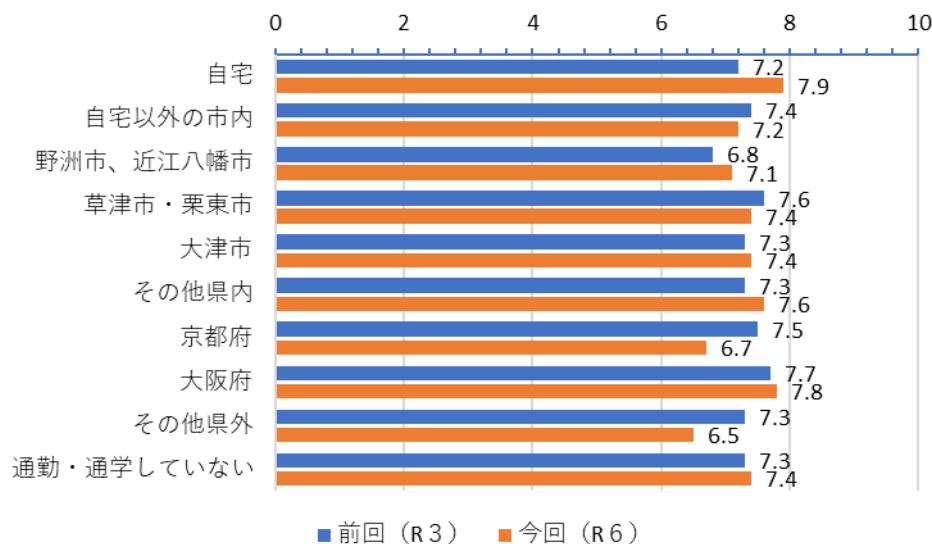
世帯年収別



	回答数
100万円未満	26
100～300万円未満	91
300～500万円未満	89
500～700万円未満	64
700～1000万円未満	58
1000万円以上	19
不明・無回答	14
計	361

前回調査と同様に、「1000 万円以上」が 8.6♡と最も高く、世帯年収が上がるに従ってハート数が高くなる傾向が伺えます。「住み心地」とは異なり、世帯年収の多寡が「幸せ感」に大きく影響することが見られます。

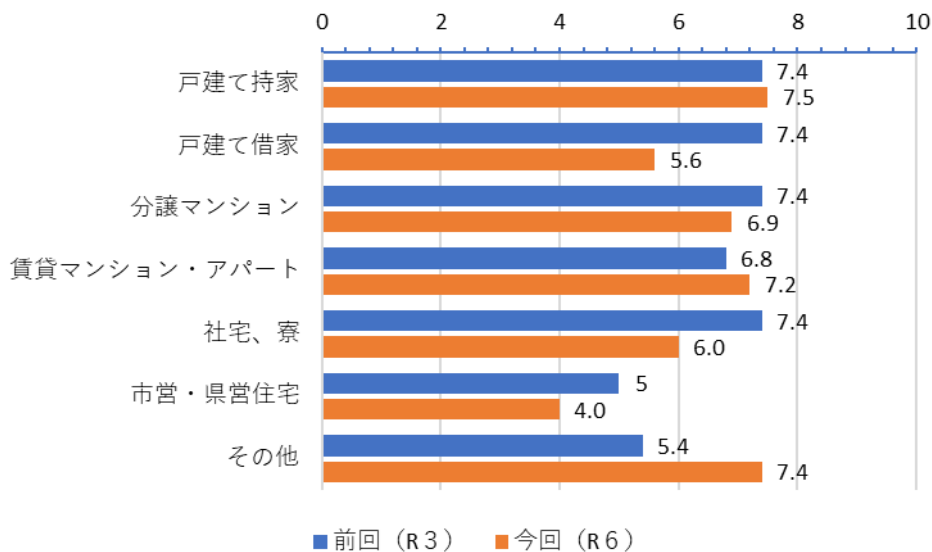
通勤先・通学先別



	回答数
自宅	35
自宅以外の市内	66
野洲市、近江八幡市	21
草津市・栗東市	42
大津市	22
その他の県内	21
京都府	24
大阪府	4
その他の県外	2
通勤・通学していない	107
不明・無回答	17
計	361

「自宅」が 7.9♡と最も高く、「その他県外」が 6.5♡と最も低くなっています。「住み心地」と同様に、通勤・通学に要する時間が「幸せ感」に直接影響するとは言えないようです。

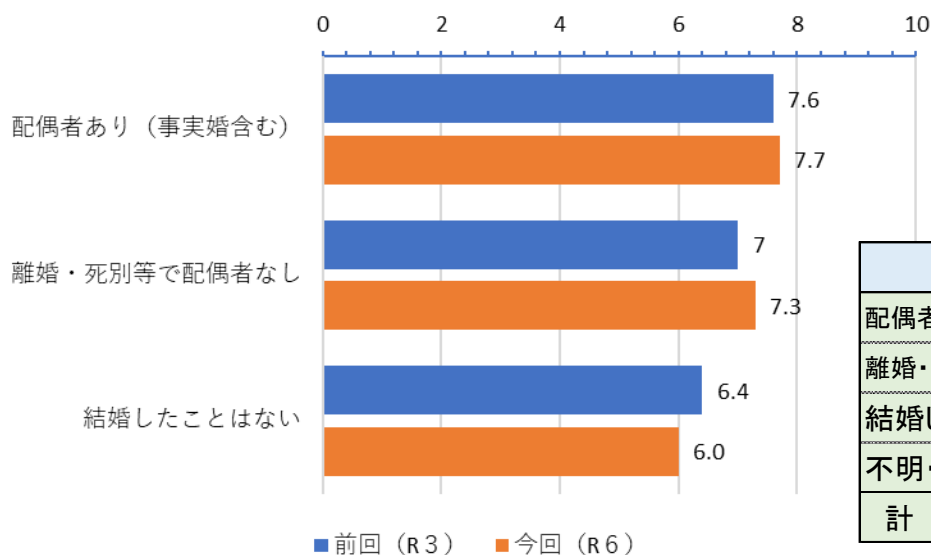
住まい形態別



	回答数
戸建て持家	254
戸建て借家	5
分譲マンション	29
賃貸マンション・アパート	52
社宅、寮	7
市営・県営住宅	2
その他	6
不明・無回答	6
計	361

「戸建て持家」が7.5♡と最も高くなっています。前回調査と比較して、「戸建て借家」は1.9ポイント、「社宅、寮」は1.4ポイント、「市営・県営住宅」は1.0ポイントとそれぞれ大きく悪化していますが、それらは回答者数が少ないため、平均ハート数の解釈には注意が必要です。

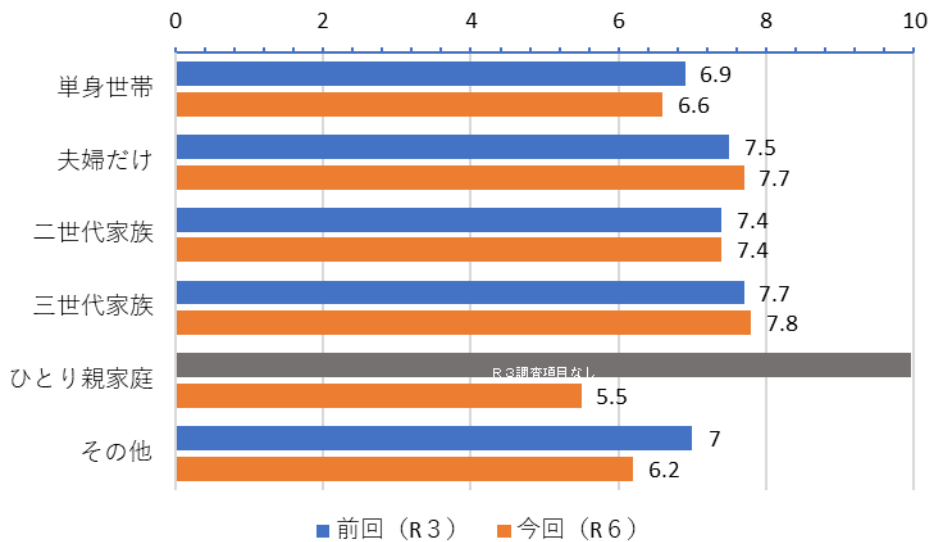
配偶者の有無別



	回答数
配偶者あり(事実婚含む)	239
離婚・死別等で配偶者なし	61
結婚したことはない	55
不明・無回答	6
計	361

「配偶者あり」が7.7♡と最も高くなる一方で、「結婚したことはない」と回答された方の幸せ感はこの項目に比べて平均ハート数が低くなっています。

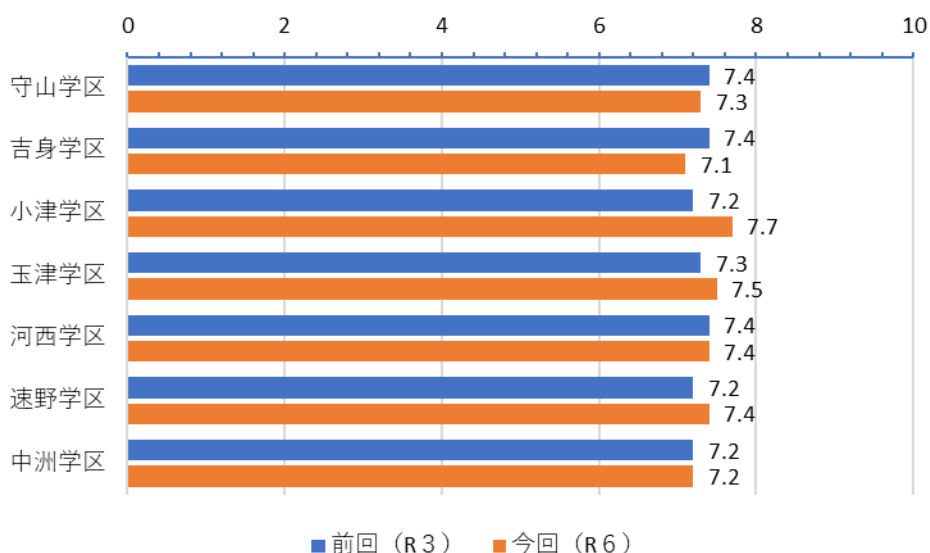
世帯構成別



	回答数
単身世帯	57
夫婦だけ	83
二世代家族	184
三世代家族	18
ひとり親家庭	2
その他	9
不明・無回答	8
計	361

「三世代家族」が7.8♡と最も高くなっています。前回調査にはなかった「ひとり親家庭」は回答数2件と少ないものの5.5♡となり、他の世帯構成に比べて1.0ポイント以上低い結果となりました。また、「単身世帯」も6.6♡と低い値となっていることから世帯員の人数が多いほど、「幸せ感」が高くなる傾向が見られます。

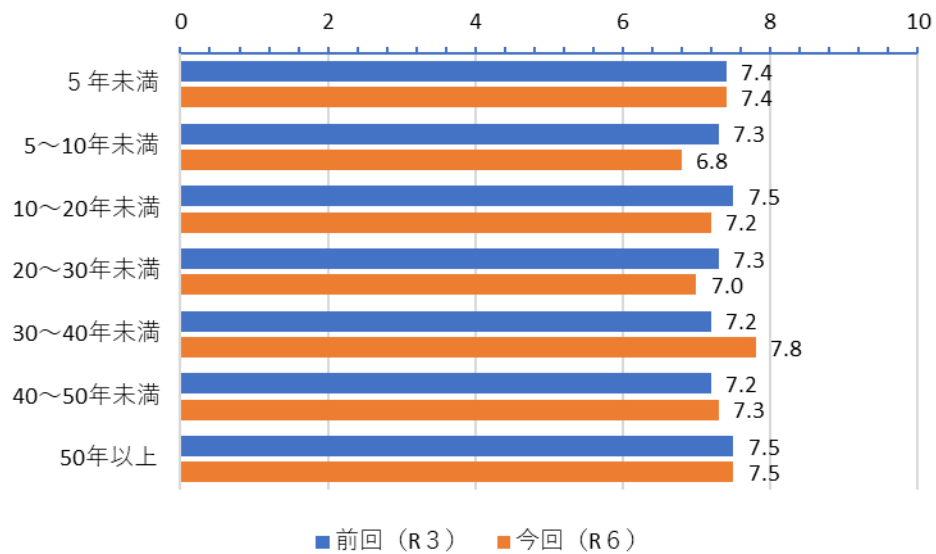
居住学区別



	回答数
守山学区	130
吉身学区	70
小津学区	29
玉津学区	16
河西学区	69
速野学区	25
中洲学区	16
不明・無回答	6
計	361

「小津学区」が7.7♡と最も高くなり、他の学区と比べて少し高い値となっていますが、居住学区による平均ハート数に大きな差は見られません。

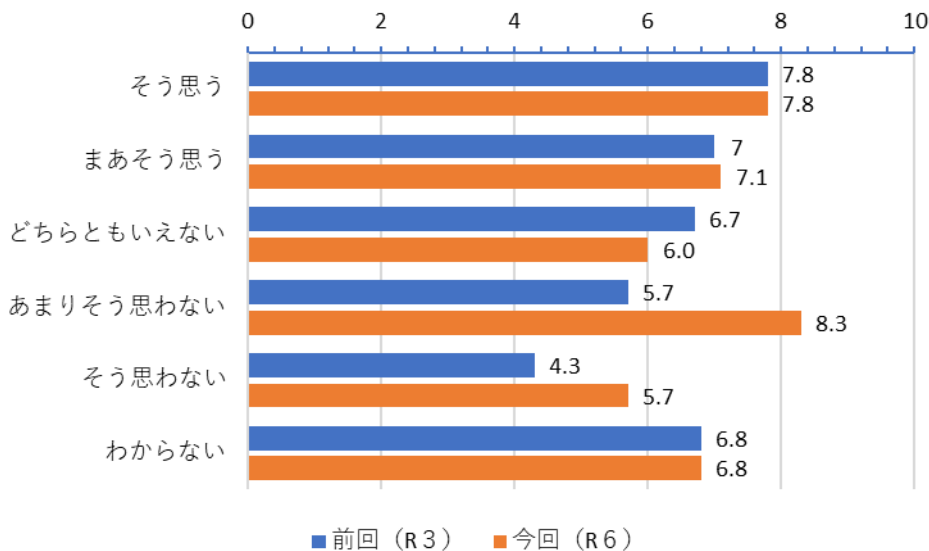
居住年数別



	回答数
5年未満	72
5～10年未満	38
10～20年未満	56
20～30年未満	32
30～40年未満	37
40～50年未満	41
50年以上	83
不明・無回答	2
計	361

「30～40 年未満」が 7.8♡と最も高く、「5～10 年未満」が 6.8♡と最も低くなりましたが、前回調査と同様に、居住年数と平均ハート数の相関関係は見られません。

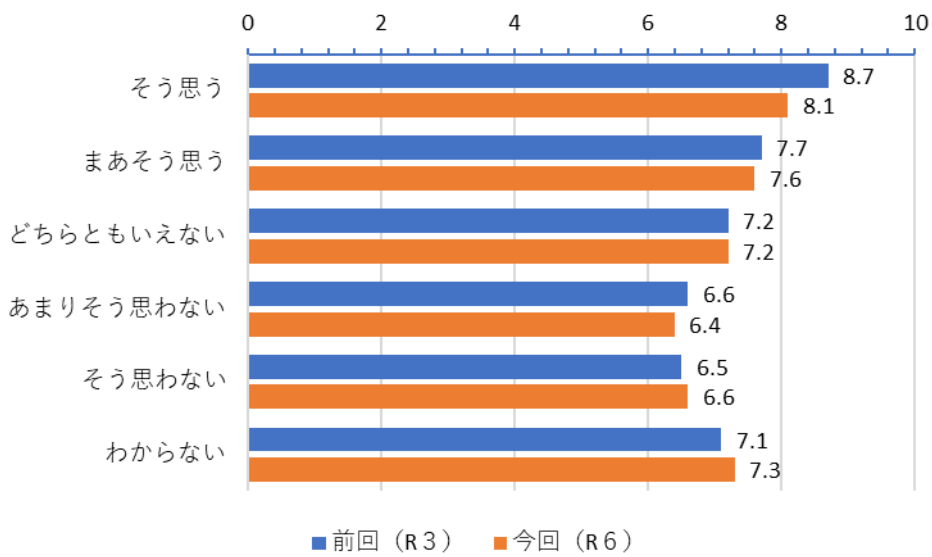
居住の意思別



	回答数
そう思う	194
まあそう思う	110
どちらともいえない	42
あまりそう思わない	4
そう思わない	6
わからない	4
不明・無回答	1
計	361

前回調査では継続して居住したいと思う方ほど平均ハート数の値が高いという結果となりましたが、今回は「あまりそう思わない」が 8.3♡と最も高くなりました。ただし、「あまりそう思わない」の回答者は4名と少数であるため、平均ハート数の解釈には注意が必要です。

市政への意思反映



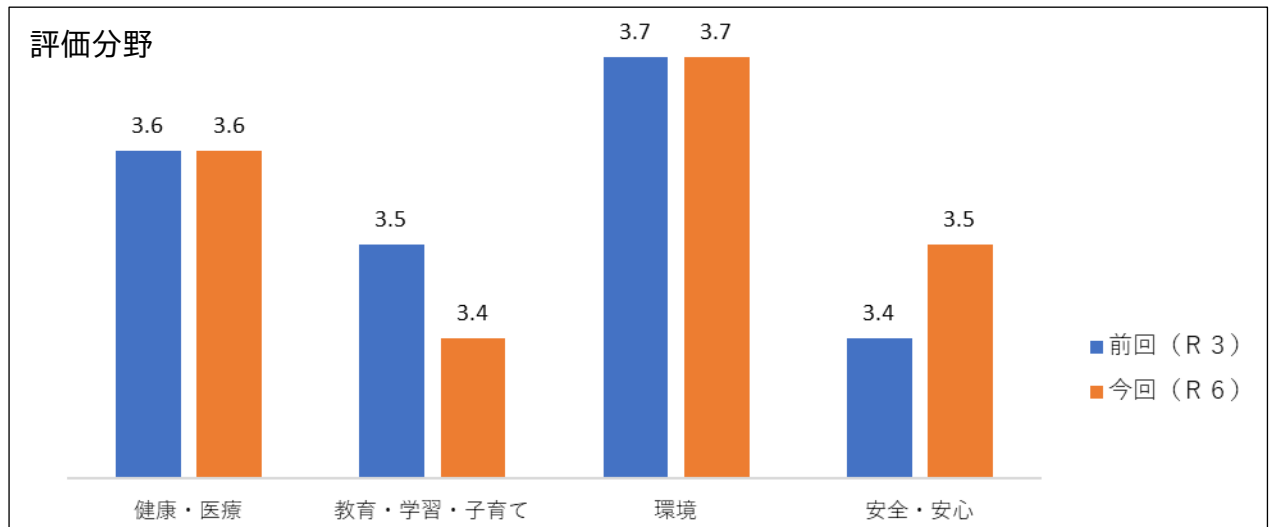
	回答数
そう思う	25
まあそう思う	117
どちらともいえない	99
あまりそう思わない	38
そう思わない	10
わからない	71
不明・無回答	1
計	361

前回調査と同様に、「そう思う」や「まあそう思う」のと回答された方の平均ハート数が高くなっています。

第7章 住みやすさ実感度(総合評価)

住みやすさ実感度(総合評価)は、『住み心地(7.2♡)』より『幸せ感(6.8♡)』が低くなっています。

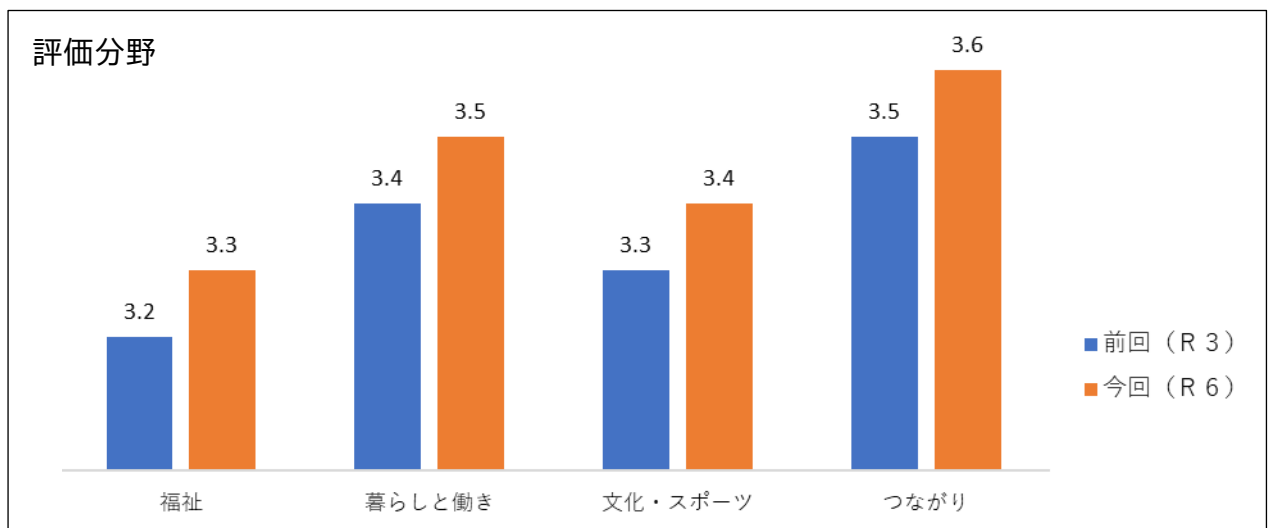
【住み心地】



すべての回答の平均は 7.2♡です。前回調査(R3)も同様に 7.2♡だったので、横ばいの結果となりました。

「健康・医療」(3.6♡)と「環境」(3.7♡)の評価分野が高くなっています。

【幸せ感】



すべての回答の平均は 7.0♡です。前回調査(R3)は 6.8♡だったので、0.2 ポイント良化しています。個別評価でも、各項目ともに前回調査より 0.1 ポイント良化しています。

※総合評価は、評価分野(5段階評価)を 10段階評価に換算しています。

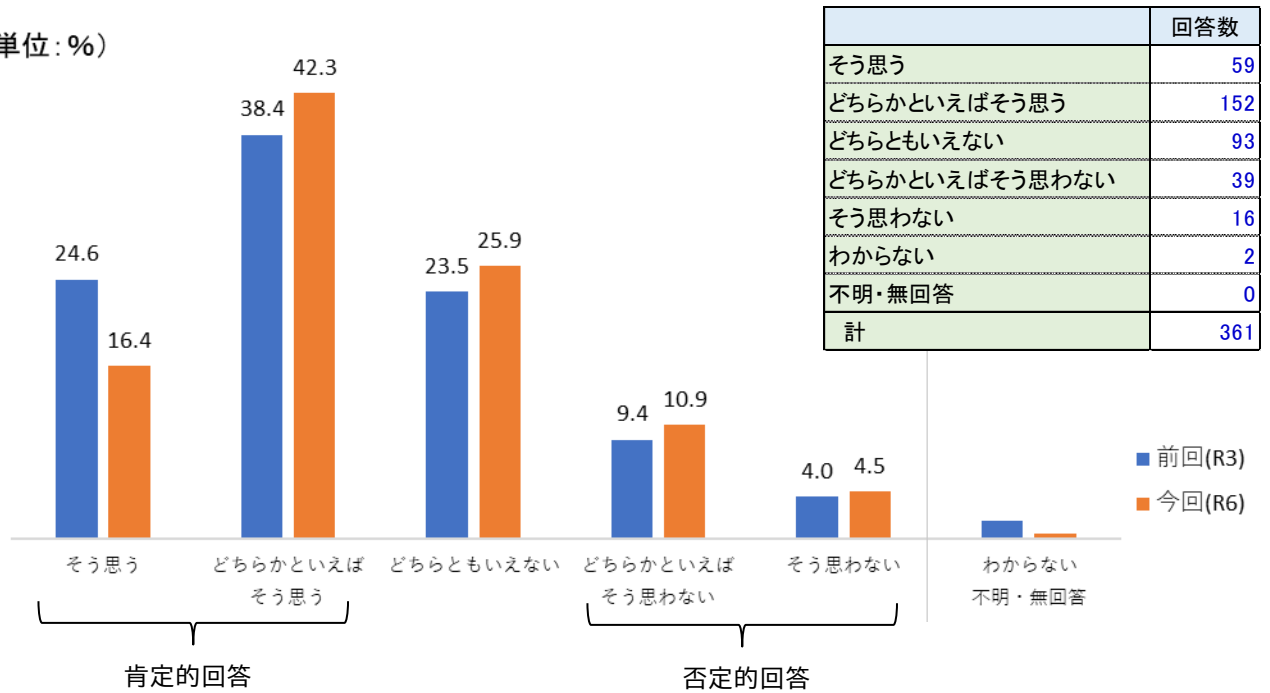
第8章 評価分野ごとのアンケート結果について

(1)健康・医療について

① 健康の実感

問3(1) あなたは、健康であると思いますか。

(単位: %)



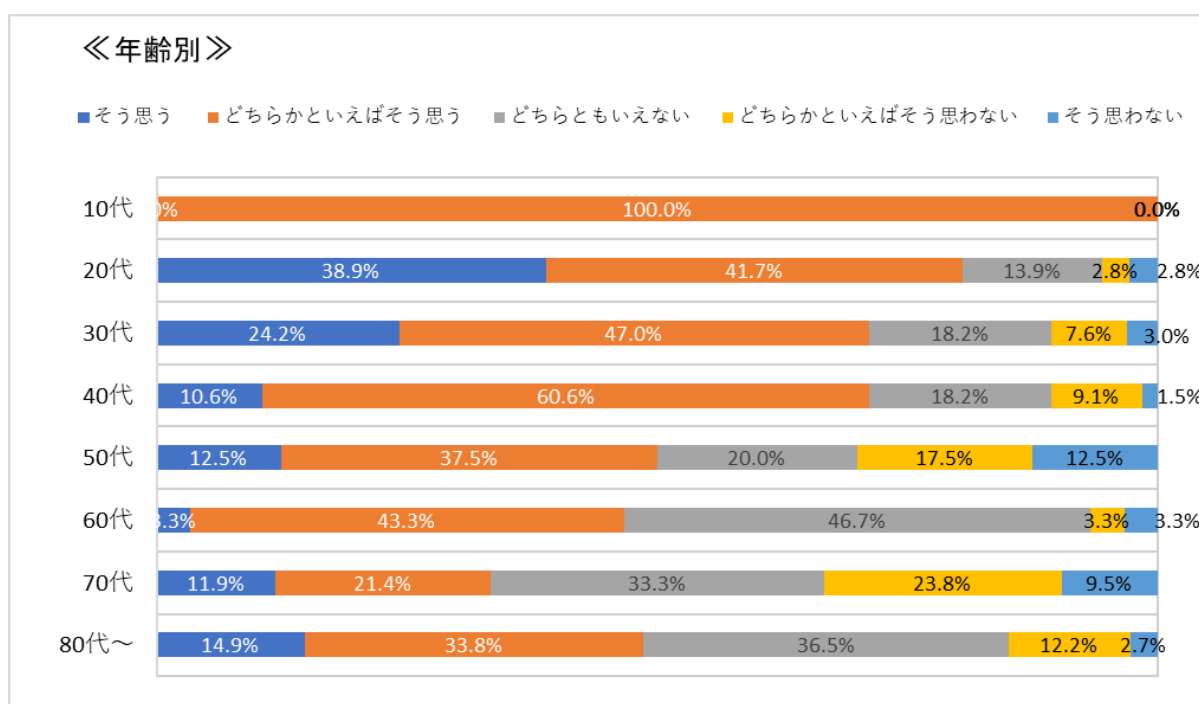
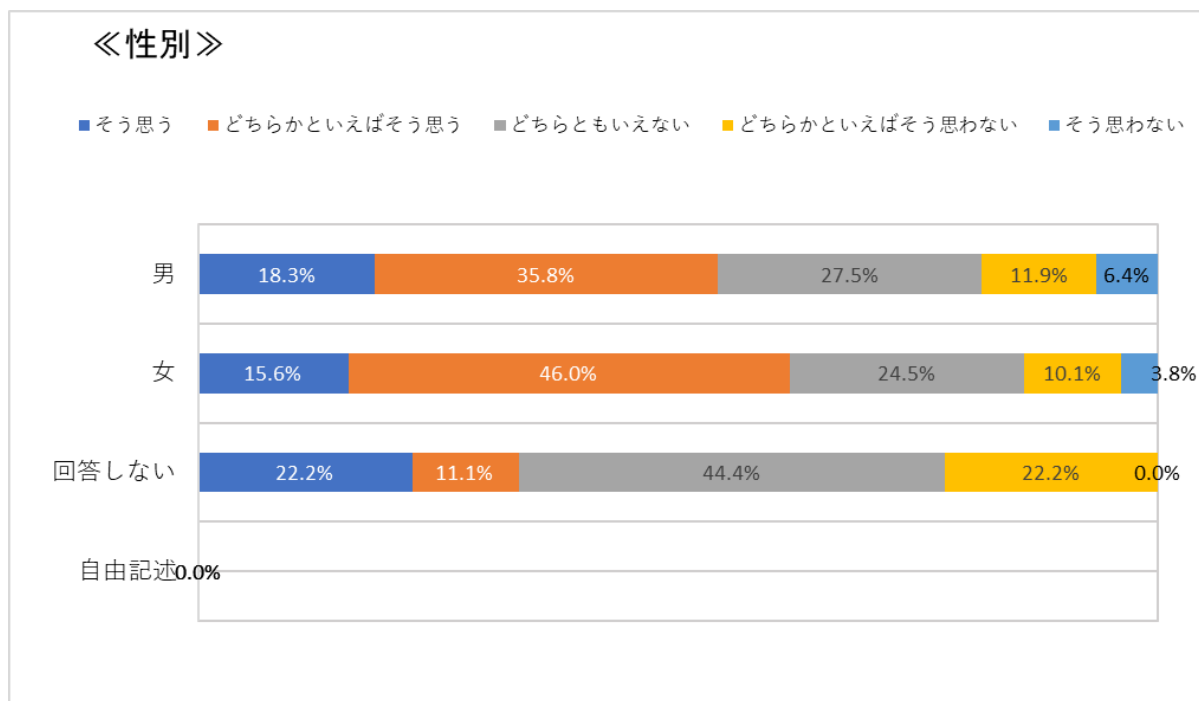
○「どちらかといえばそう思う」が42.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.9%となっています。

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた、肯定的回答は58.7%であり、前回調査(63.0%)から4.3ポイント下落しました。

○全体の平均ハート数は3.6♡となっています。

※属性別のアンケート結果グラフ

第8章の各設問【問3～問10】について、関連があると思われる属性について掲載しています。



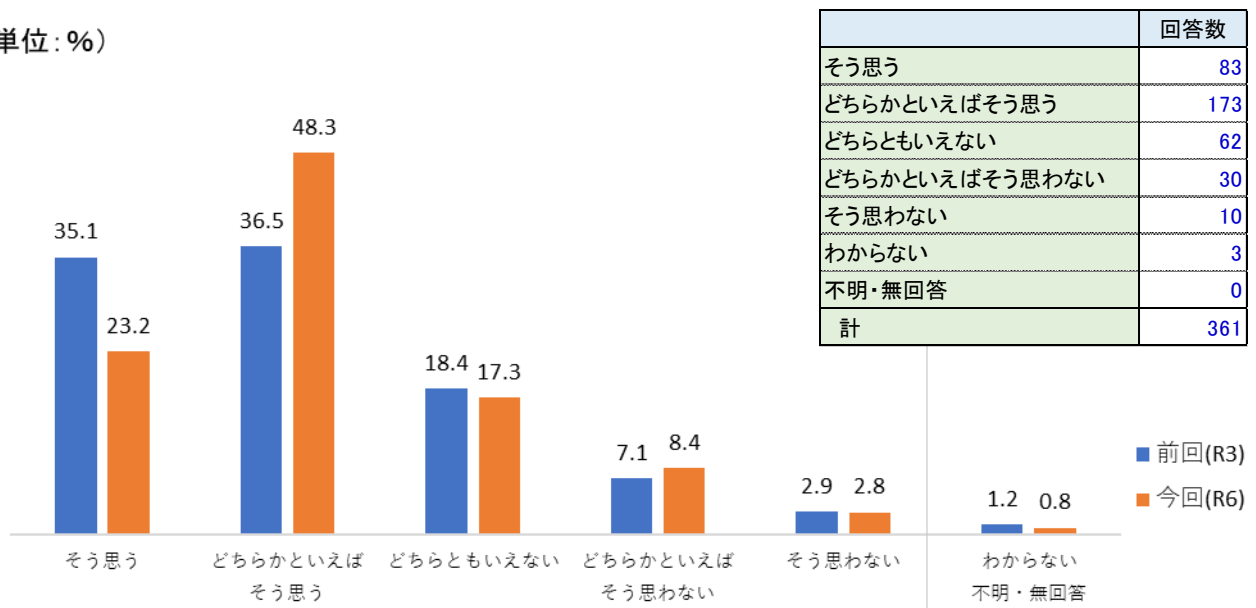
性別を見ると、「女性」の肯定的回答が61.6%と「男性」よりも7.5ポイント高くなっています。

年齢別の肯定的回答割合は、回答数が2名である「10代」を除くと、「20代」が80.6%と最も高く、「70代」が33.3%と最も低くなっています。年齢が上がるに従って肯定的回答が低くなる傾向が伺えます。

② 病気への予防

問3(2) あなたは、病気予防を意識していますか。(定期健康診断など)

(単位: %)

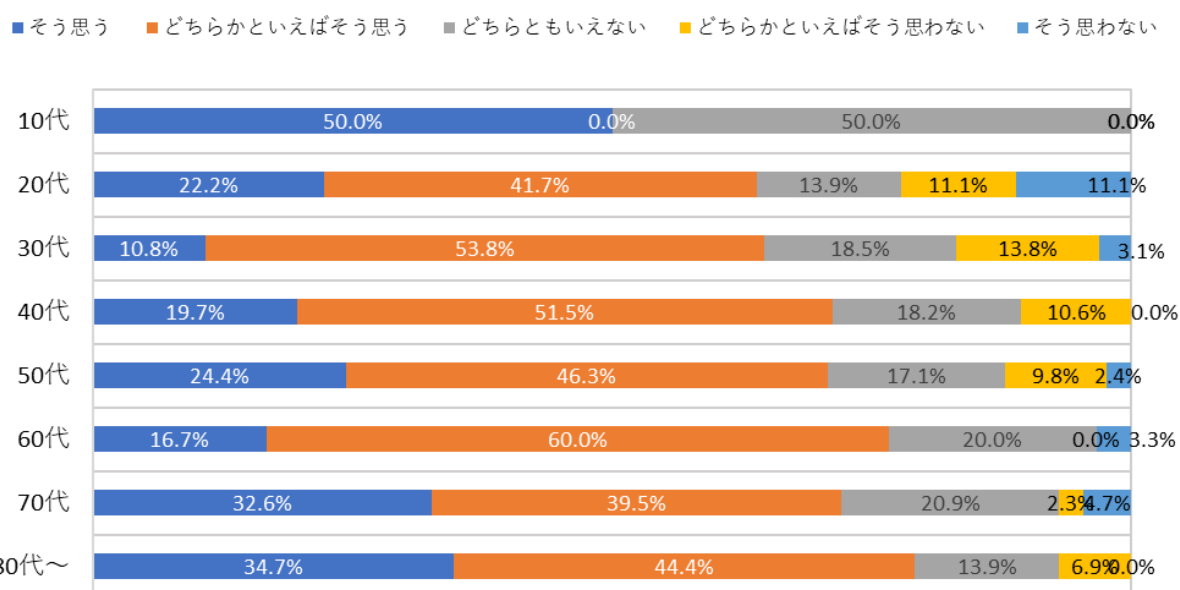


○「どちらかといえばそう思う」が48.3%と最も高く、次いで「そう思う」が23.2%となっています。

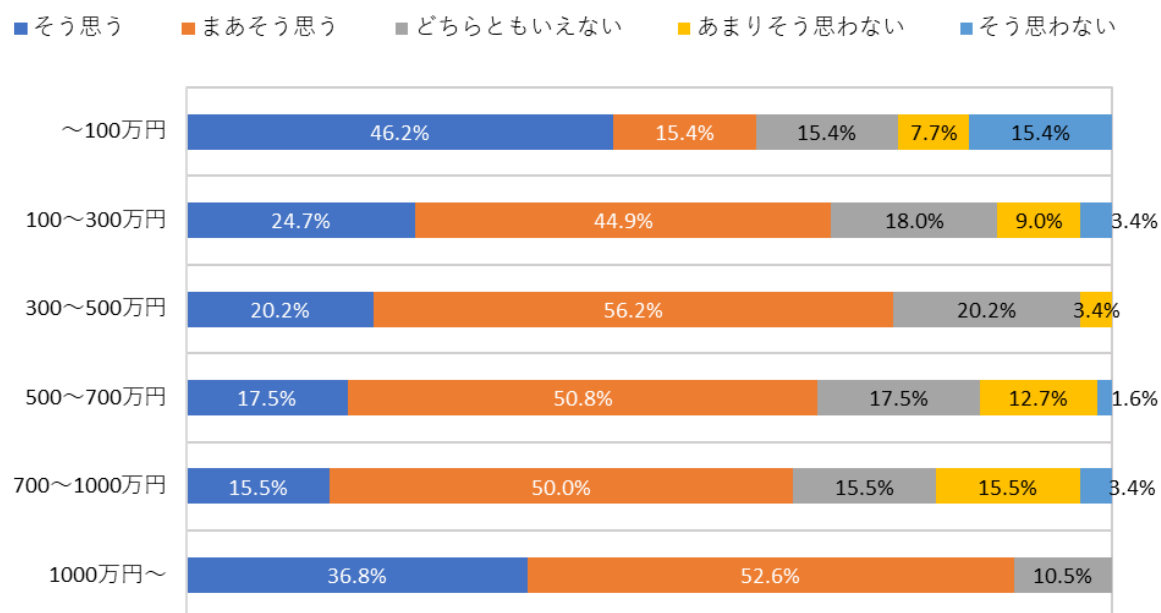
○肯定的回答は71.5%となり、前回調査(71.6%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は3.9♡となっています。

《年齢別》



《世帯年収別》



年齢別を見ると、年齢が上がるに従って病気予防に対する意識が高くなる傾向が伺え、「80代～」では肯定的回答が79.1%と最も高くなっています。

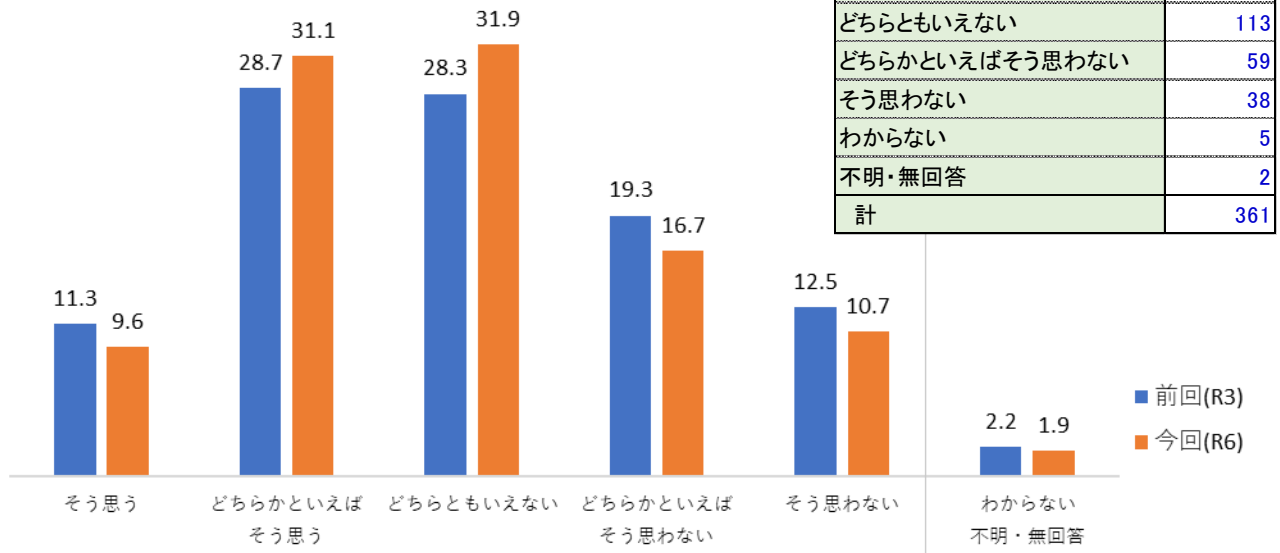
世帯年収別の肯定的回答は、「～100万円」が61.6%と最も低く、「1,000万円～」が89.4%と最も高くなっています。

③ 介護予防

問3(3) あなたは、介護予防を意識して取り組んでいますか。

(日頃の体力づくりなど)

(単位: %)

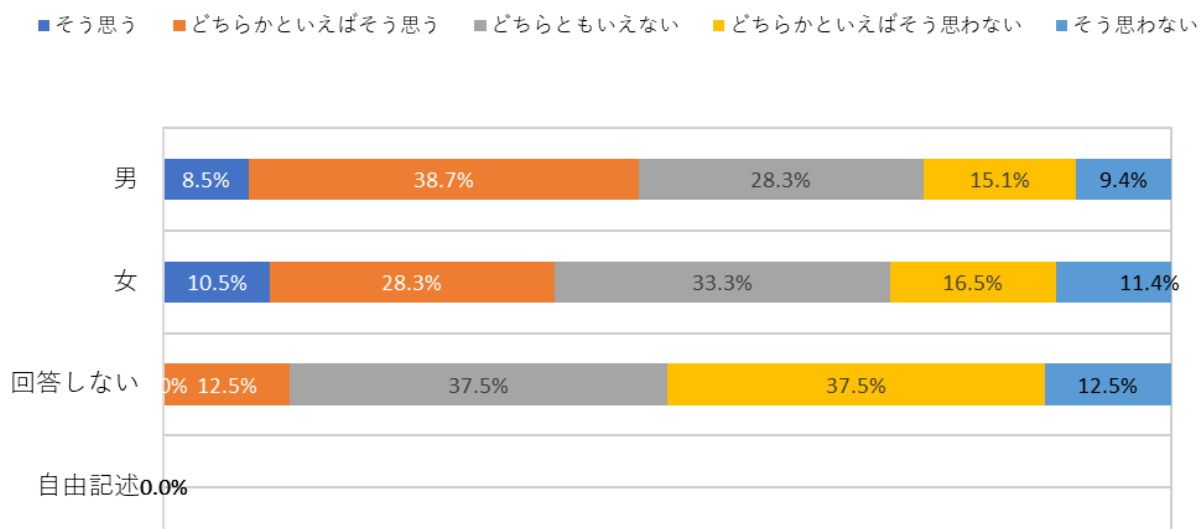


○「どちらともいえない」が 31.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.1%となっています。

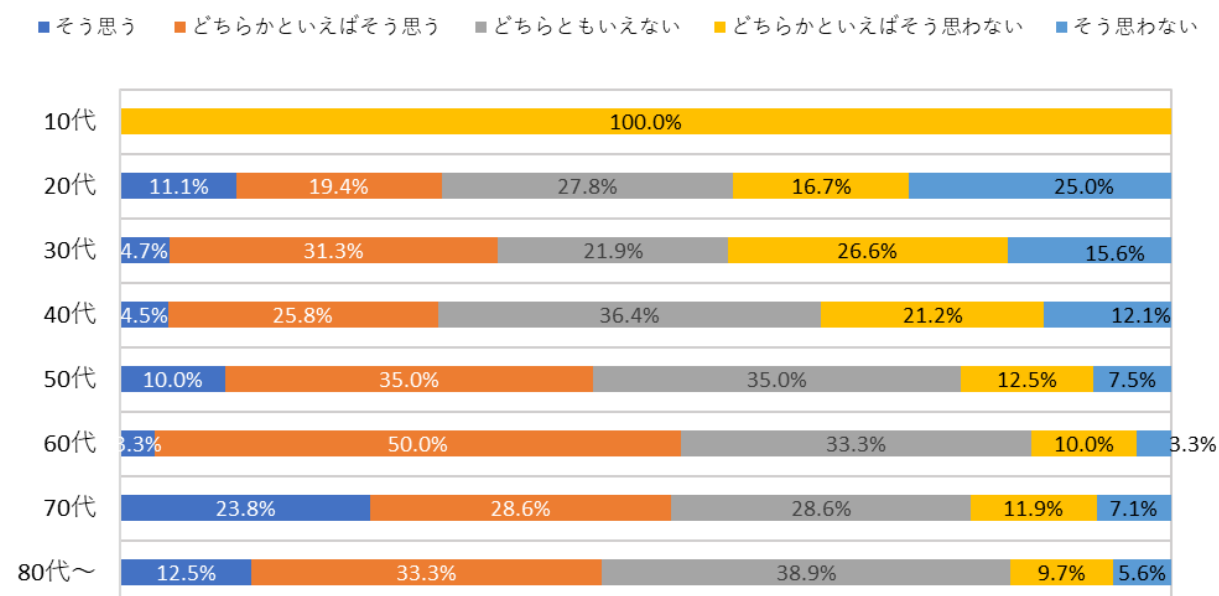
○肯定的回答は 40.7%であり、これは前回調査(40.0%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は 3.2♡となっています。

《性別》



《年齢別》

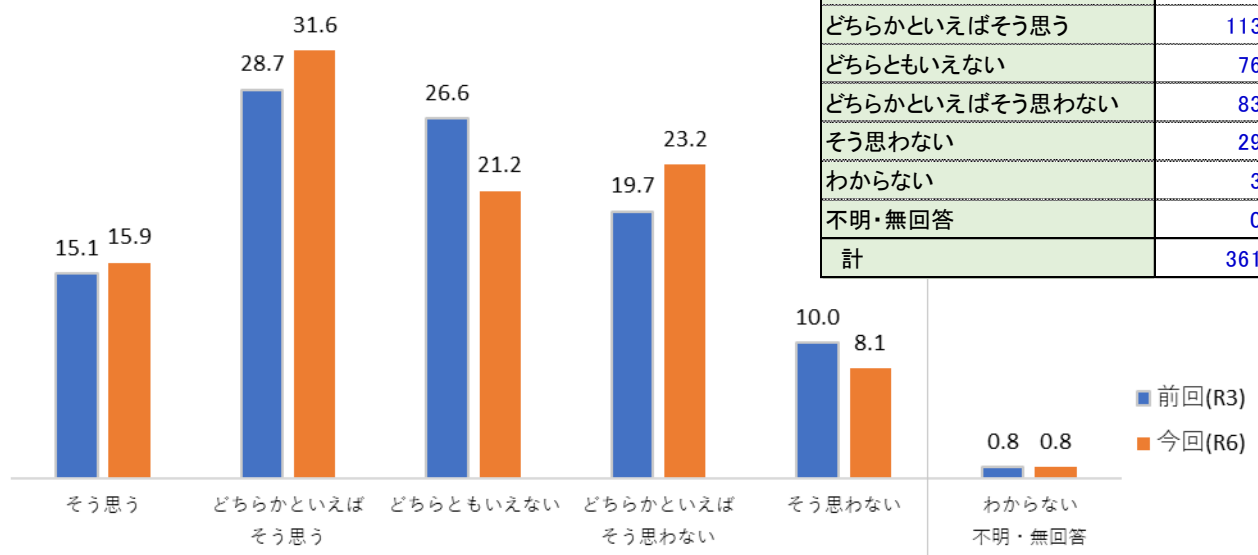


性別を見ると、「男性」の肯定的回答が「女性」よりも 8.4 ポイント高くなっています。
年齢別では、「50 代」以上の肯定的回答が高くなる傾向が見られます。

④ 運動の実施

問3(4) あなたは、普段の生活のなかで体を動かしたり運動したりしていますか。

(単位: %)

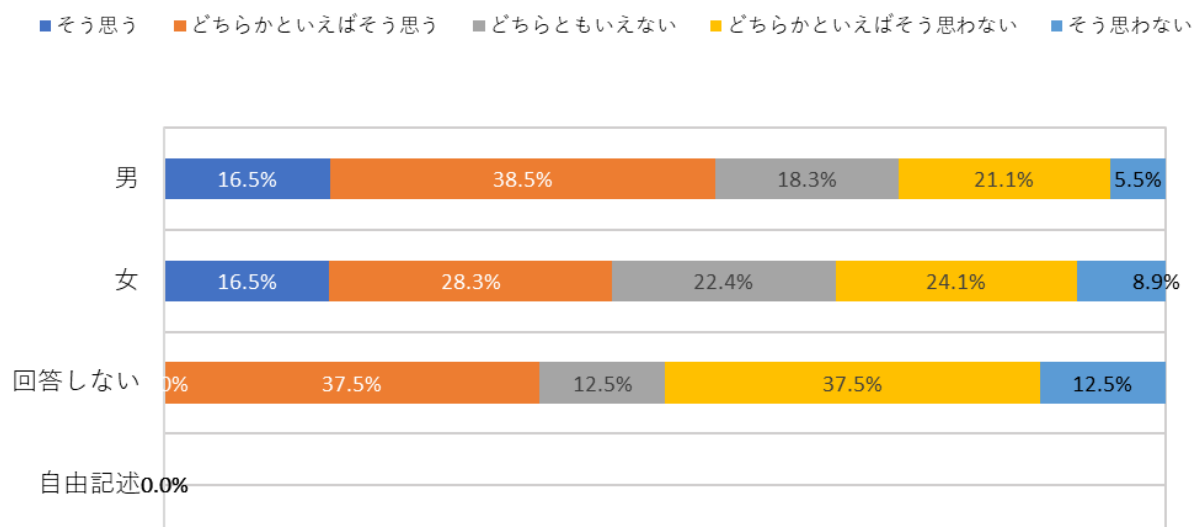


○「どちらかといえばそう思う」が 31.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.2%となっています。

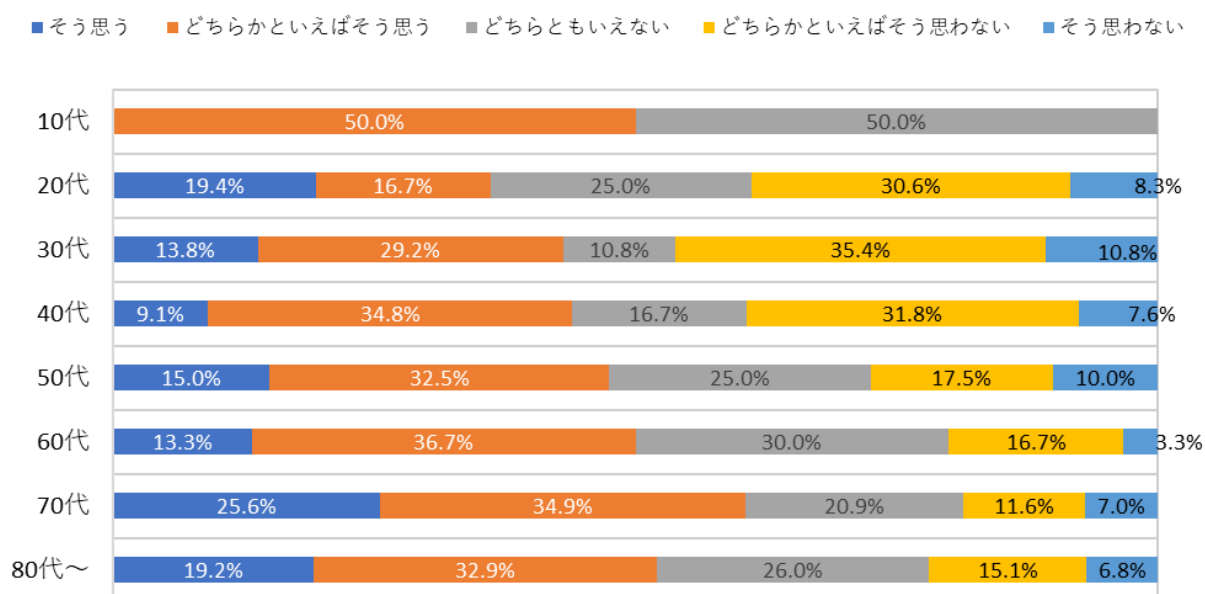
○肯定的回答は 47.5%であり、前回調査(43.8%)よりも少し高くなりました。

○全体の平均ハート数は 3.3♡となっています。

《性別》



《年齢別》



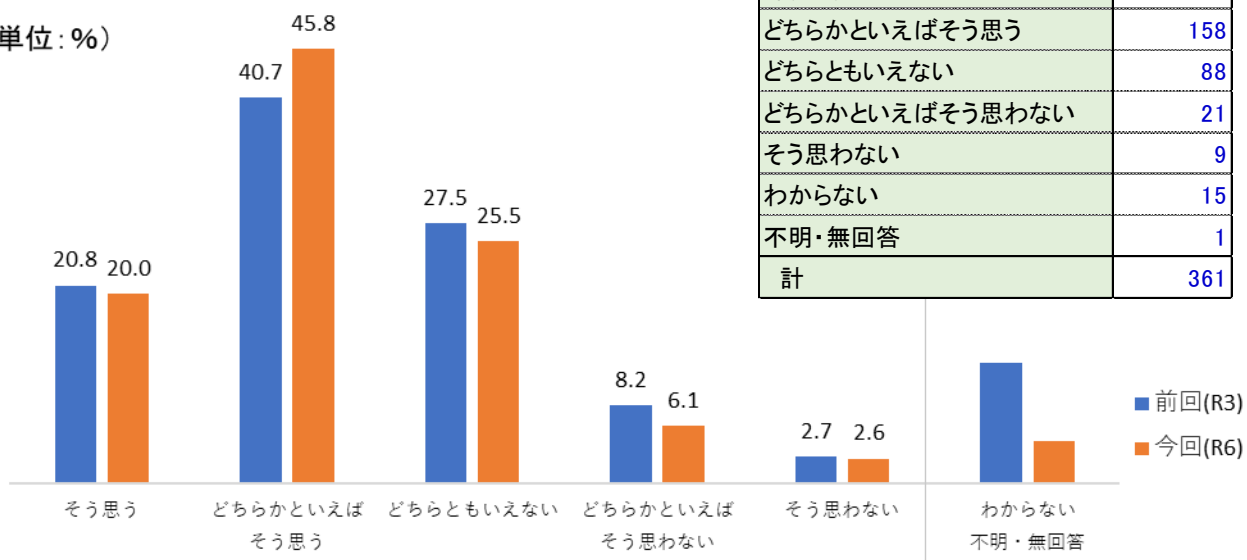
性別を見ると、「男性」の肯定的回答が55.0%と「女性」よりも10.2ポイント高くなっています。男性の方が運動に対する意識が高いことが伺えます。

年齢別では、「70代」の肯定的回答が60.5%と最も高くなっています。前回調査でも「70代」(59.2%)の肯定的回答が最も高くなっていました。一方、「20代」から「50代」の働き盛り世代は低く、その中でも特に「20代」が36.1%と最も低くなっています。

⑤ 医療の充実

問3(5) 守山市は、必要なときに安心して医療サービスを受けられるまちだと思いますか。

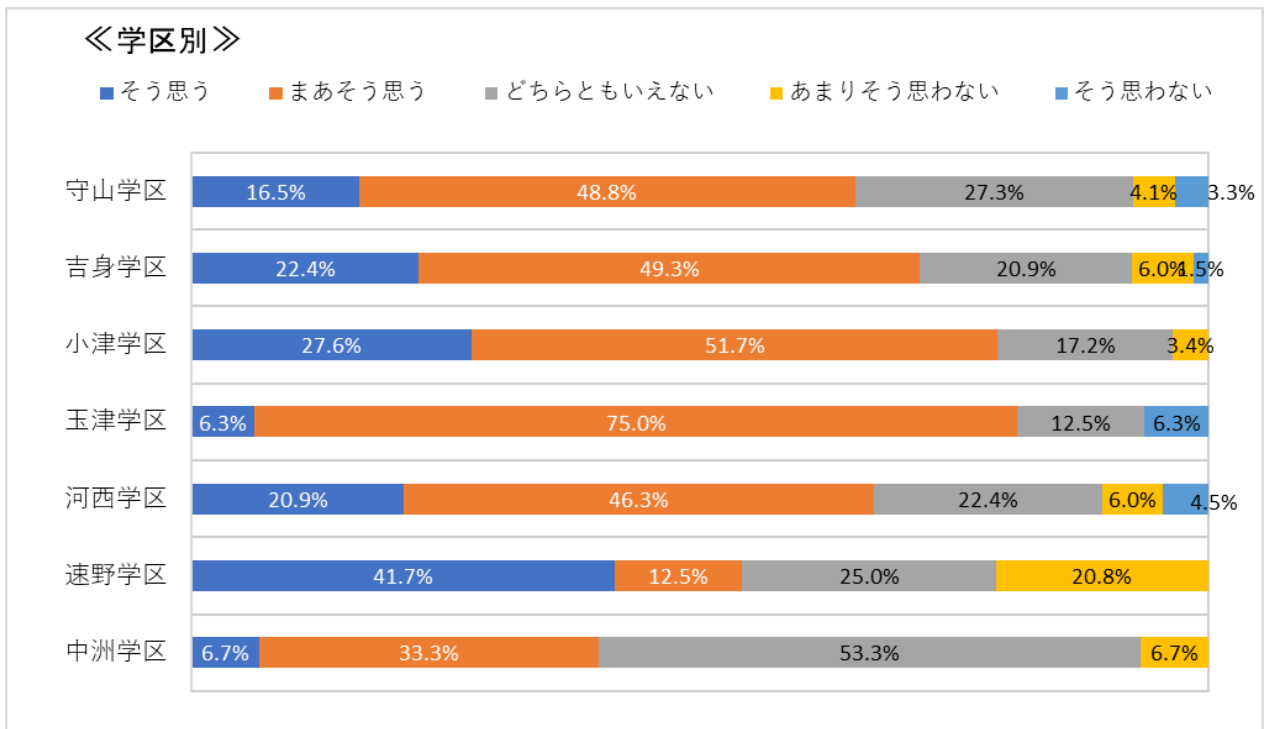
(単位: %)



○「どちらかといえばそう思う」が45.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.5%となっています。

○肯定的回答は65.8%であり、前回調査(61.5%)から4.3%と高くなった一方で、否定的回答は8.7%となりました。県立総合病院や済生会守山市民病院などの総合病院があり、クリニックや診療所も充実していることが評価されたと考えられます。

○全体の平均ハート数は3.8♡となっています。

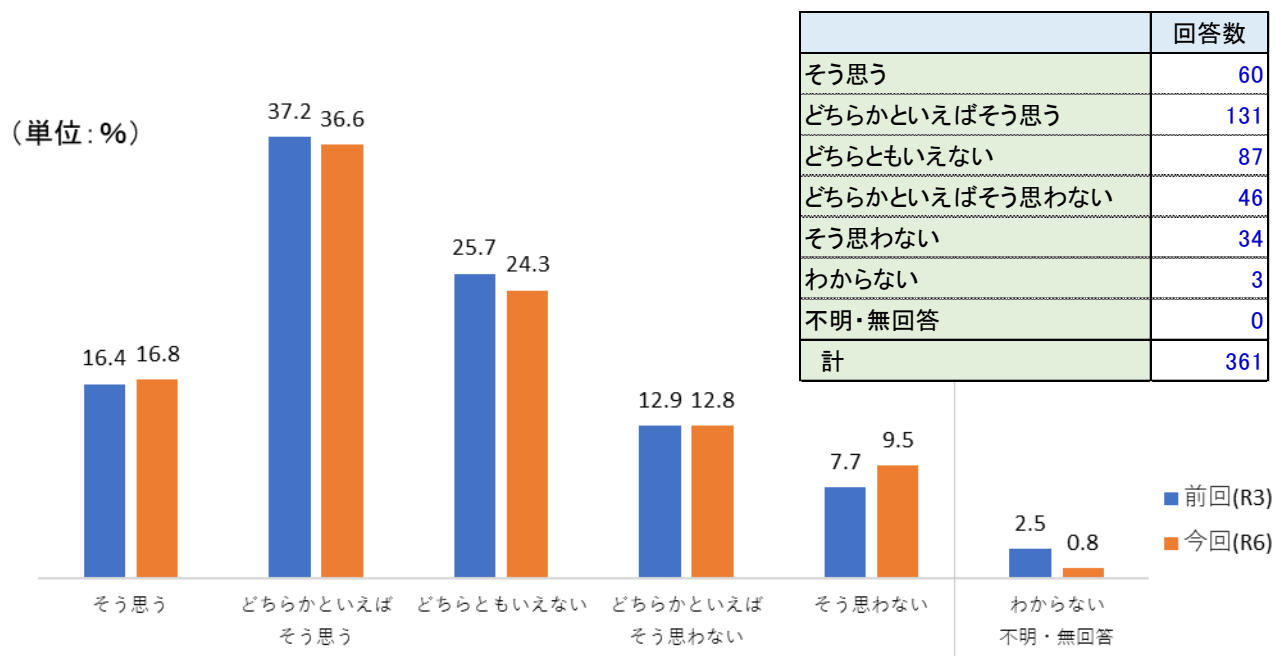


学区別で見ると、「玉津学区」が81.3%と最も高く、「小津学区」が79.3%と続きます。市北部へ行くほど、肯定的回答の割合が低下し、「中洲学区」は40%と玉津学区の半分以下となっています。医療機関へのアクセス等が結果に影響していると推測されます。

その他に性別や年齢別に、特段の傾向は見られませんでした。

⑥ 心の安らぎ

問3(6) あなたは、休養やリラックスのための余暇の時間を十分に取れていると思いますか。



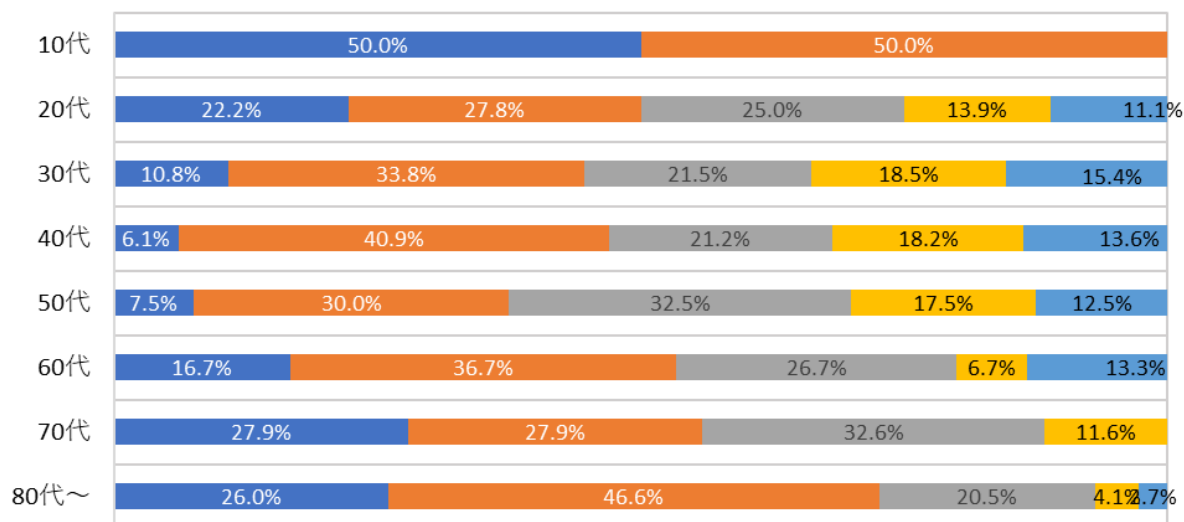
○「どちらかといえばそう思う」が 36.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.3%となっています。

○肯定的回答は 53.4%であり、前回調査(53.6%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は 3.4♡となっています。

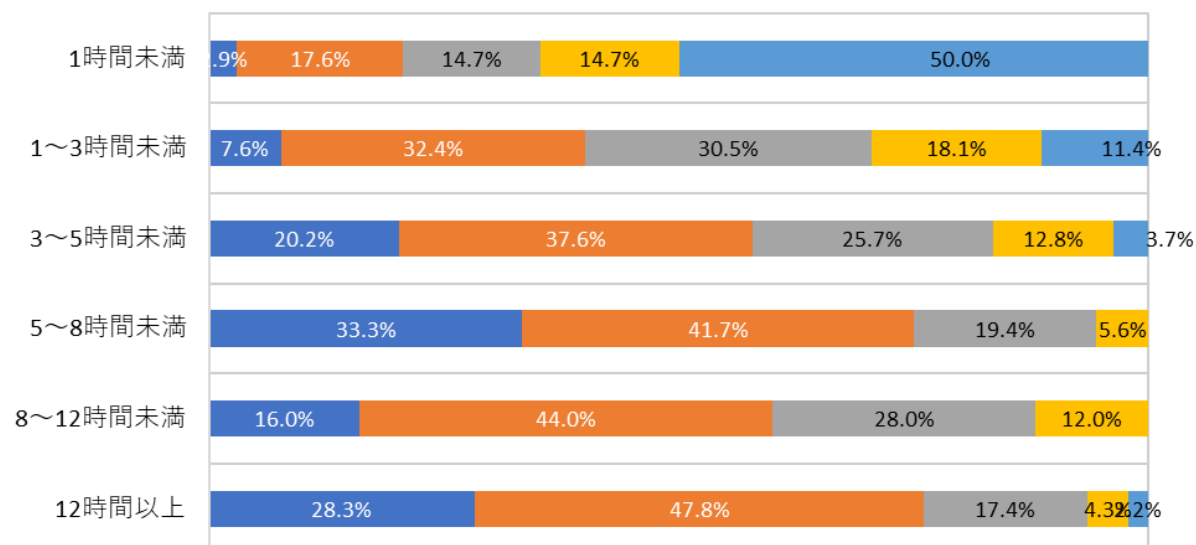
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《自由時間別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



年齢別を見ると、「80代」の肯定的回答が72.6%と高くなる一方で、「50代」が37.5%と最も低くなっています。仕事で管理的役職に就いている割合が相対的に高いことが推測される年代で、ワークライフバランスをとることが難しいことが伺えます。

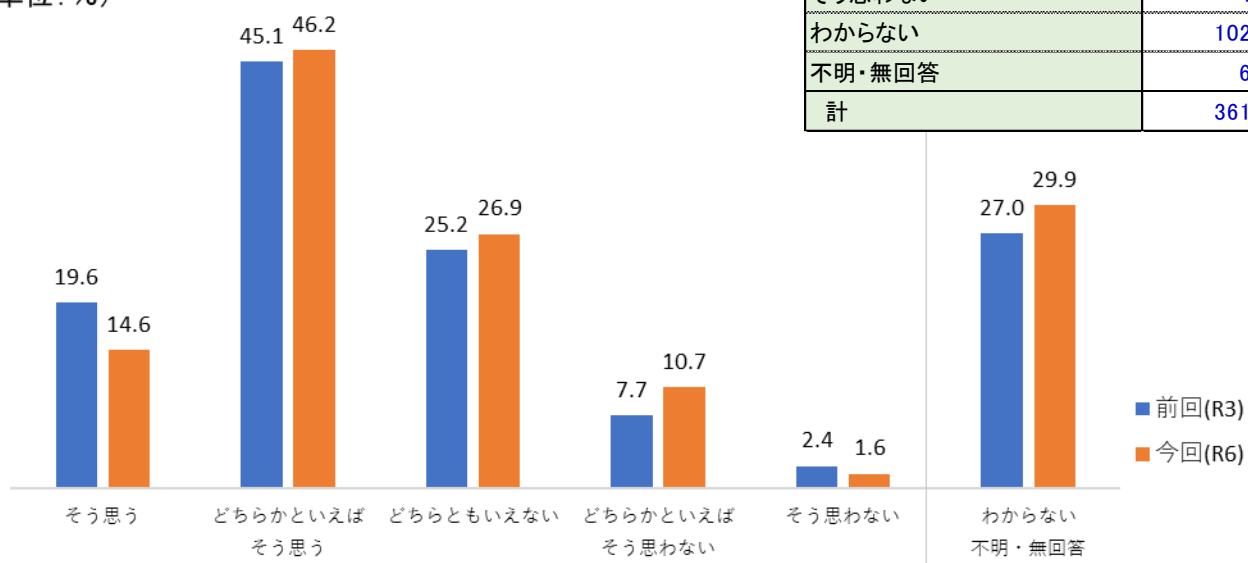
自由時間別では、自由時間が多く取れるほど肯定的回答が高くなる傾向が伺えます。

(2)教育・学習・子育てについて

① 子育てへの安心感

問4(1) 守山市は、安心して子どもを産み、育てやすいまちだと思いますか。

(単位: %)



○「どちらかといえばそう思う」が46.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.9%となっています。

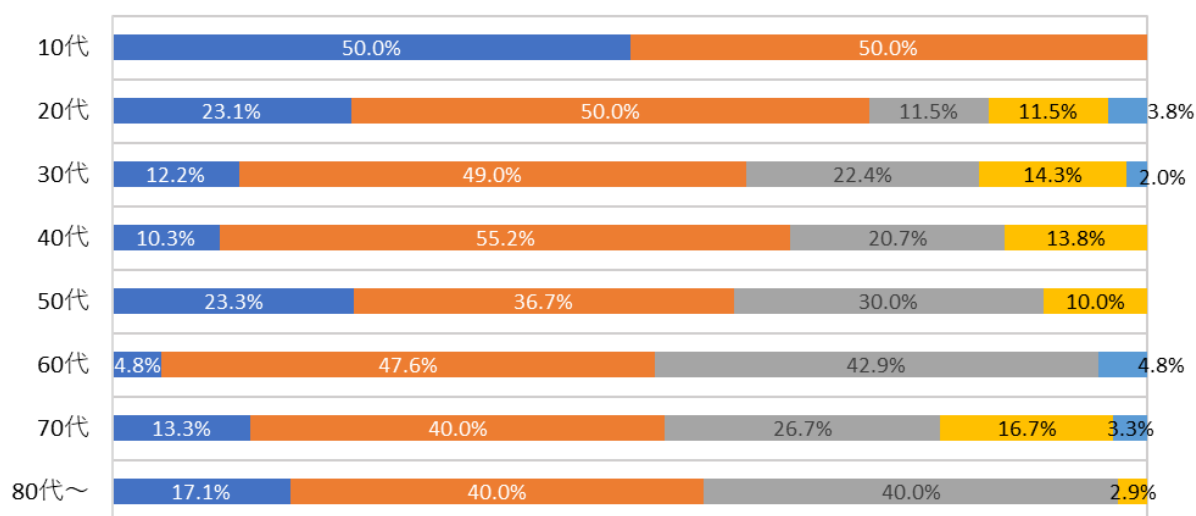
○肯定的回答は60.8%であり、前回調査(64.7%)よりも3.9%悪化しました。

○全体の平均ハート数は3.7♡となっています。

※「わからない」の回答数は102件(全体の29.9%)となっています。

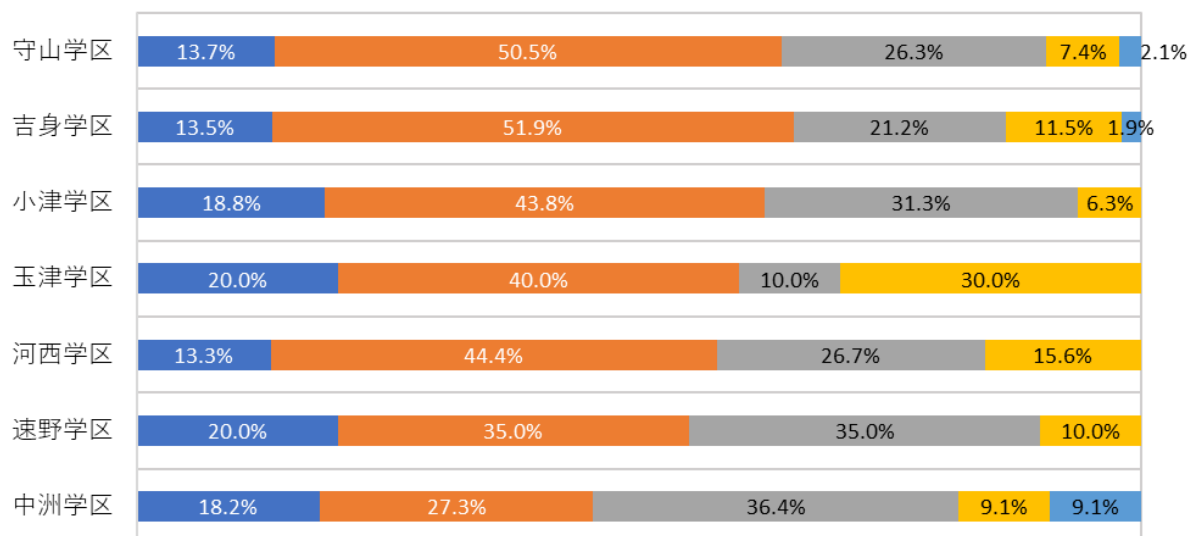
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



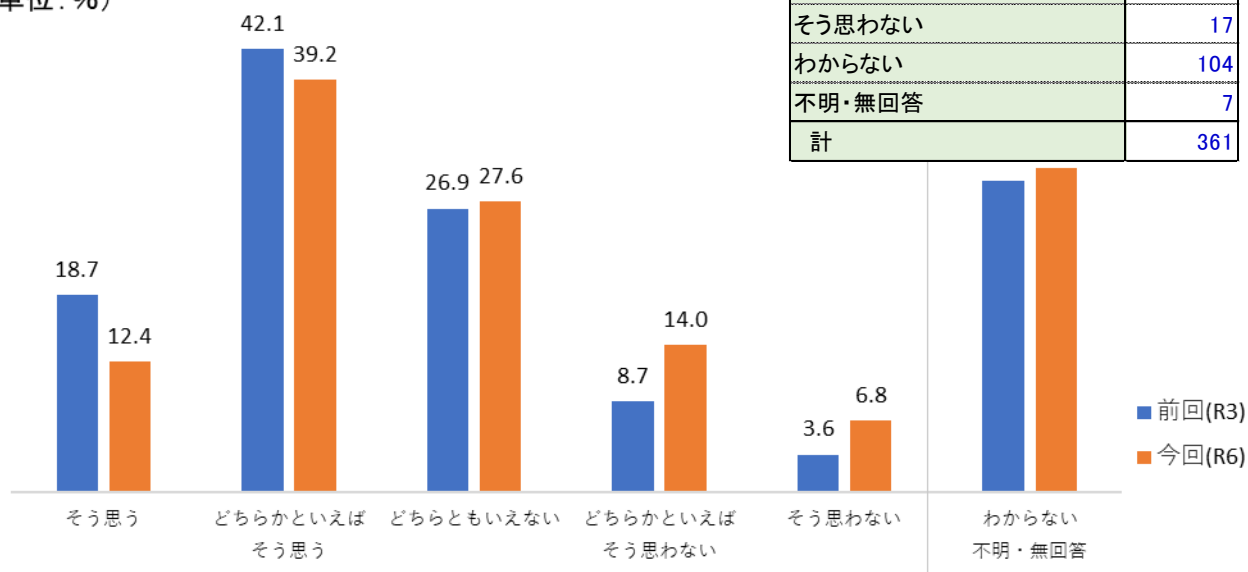
年齢別では、全ての年代で肯定的回答が5割を超えています。その一方で、子育て世代である20代～40代の15%前後が否定的回答となっています。

学区別では、「吉身学区」の肯定的回答が65.4%と最も高く、次いで「守山学区」が64.2%となっています。守山駅や守山市役所などがある市中心部が比較的高く、市北部へ行くほど低くなる傾向が見られます。

② 教育環境の整備

問4(2) 守山市は、保育園・幼稚園・こども園が整備されているまちだと思いますか。

(単位: %)



○「どちらかといえばそう思う」が 39.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 27.6%となっています。

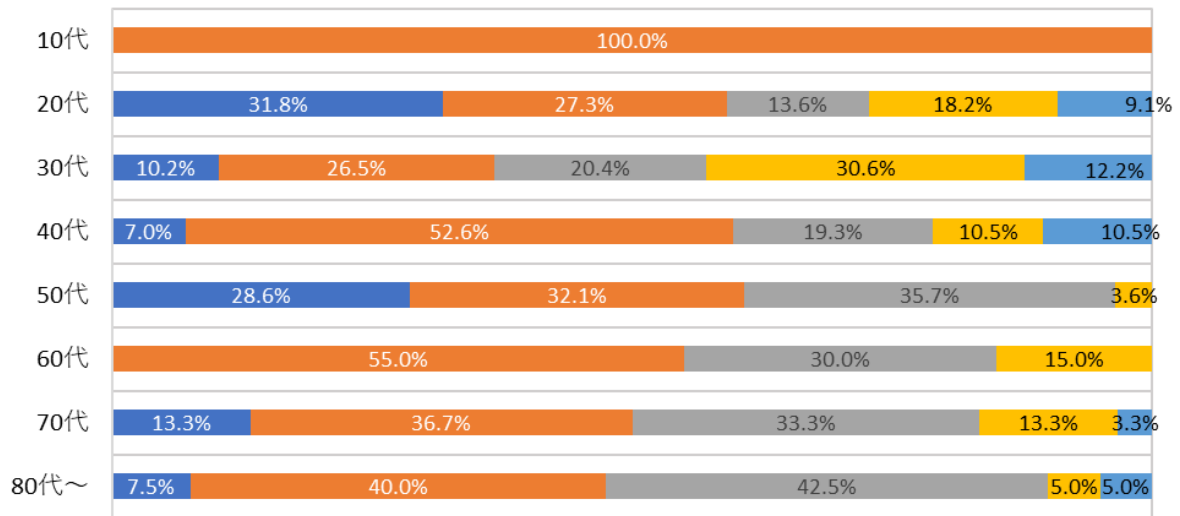
○肯定的回答は 51.6%であり、前回調査(60.8%)から 9.2%悪化しました。待機児童数等がこの結果に影響を与えている可能性があります。

○全体の平均ハート数は 3.4♡となり、こちらも前回調査(3.7♡)から大きく悪化しています。

※「わからない」の回答数は 104 件(全体の 28.9%)となっています。

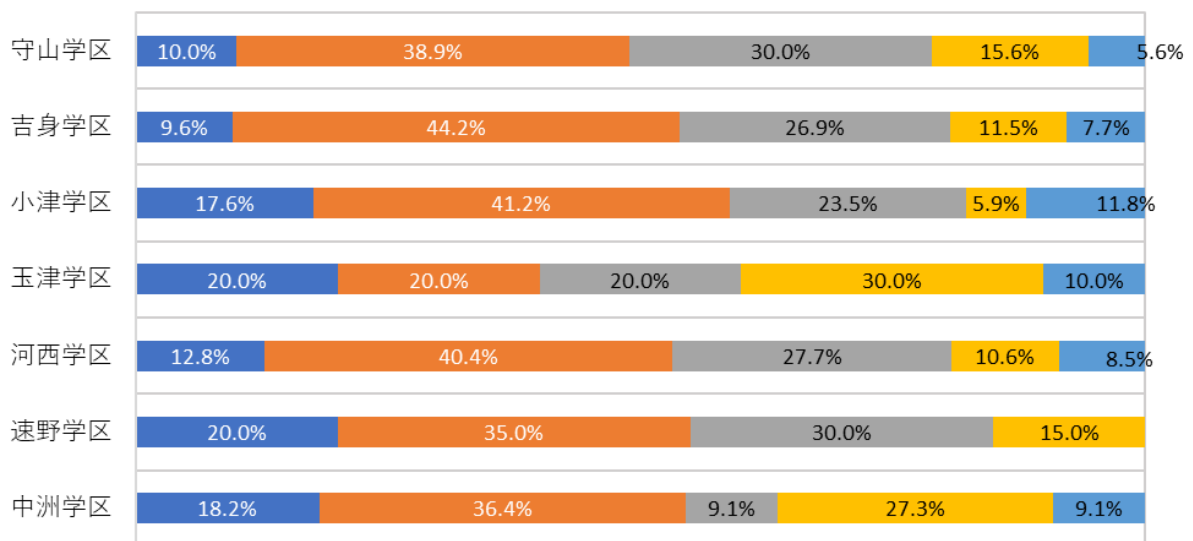
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

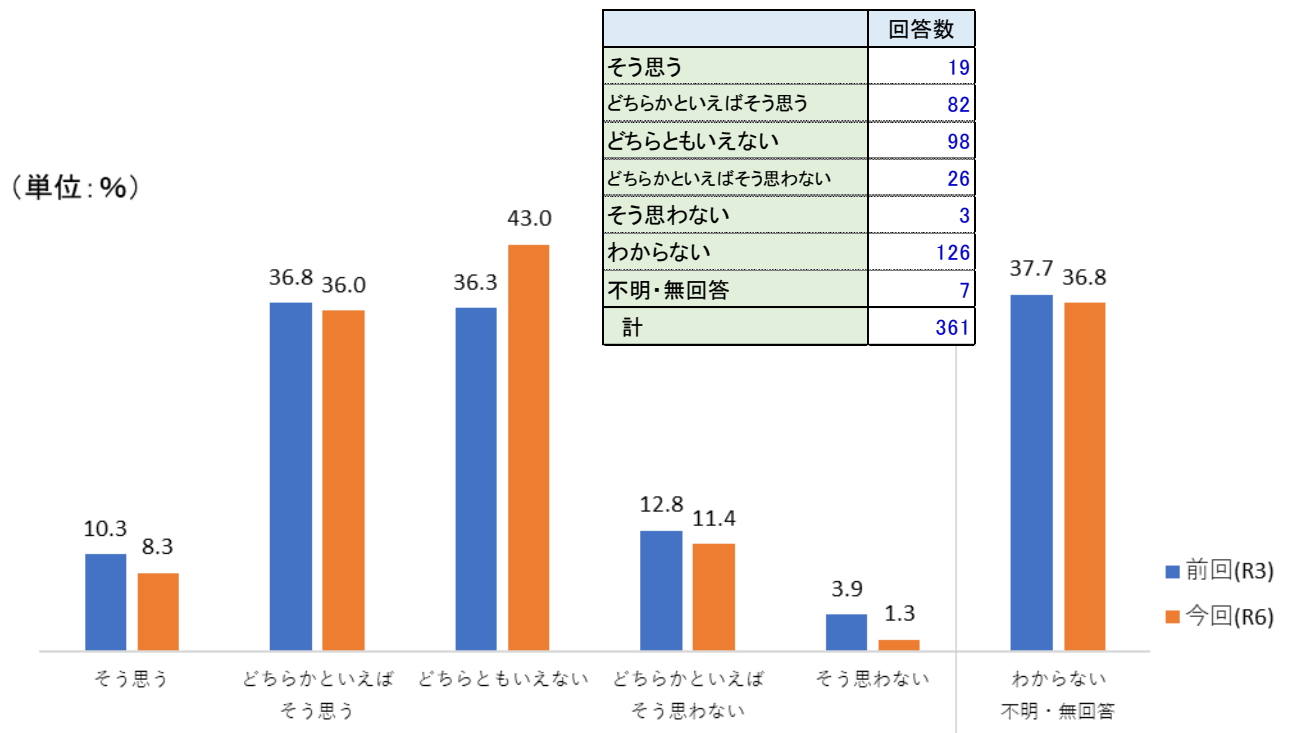


年齢別を見ると、子育て世代である「30代」の肯定的回答が36.7%と最も低くなっています。前回調査でも同じく30代が最も低い結果となっており、子どもを保育園等に預けることに苦労している方が多い可能性があります。

学区別では、「小津学区」の肯定的回答が58.8%と最も高く、「玉津学区」が40.0%と最も低くなっています。その他の学区では大きな差は見られません。

③ 子育てへの理解協力

問4(3) 守山市は、子育てについて情報交換や交流、相談のできる場所、機会や人が身近にあるまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が43.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が36.0%となっています。

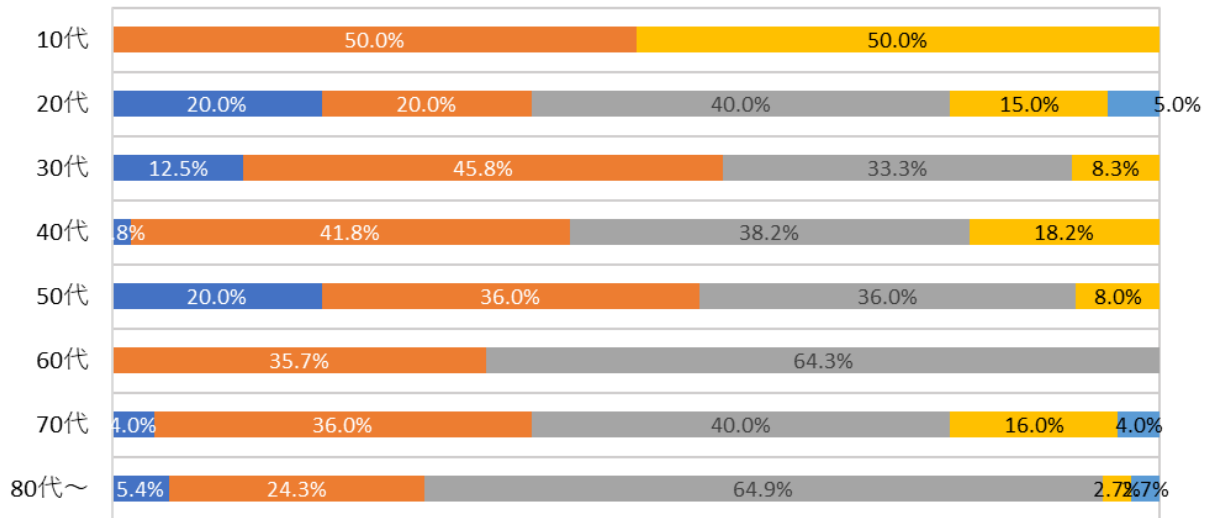
○肯定的回答は44.3%であり、前回調査(47.1%)から2.8%悪化しました。

○全体の平均ハート数は3.4♡となっています。

※「わからない」の回答数は126件(全体の36.8%)となっています。

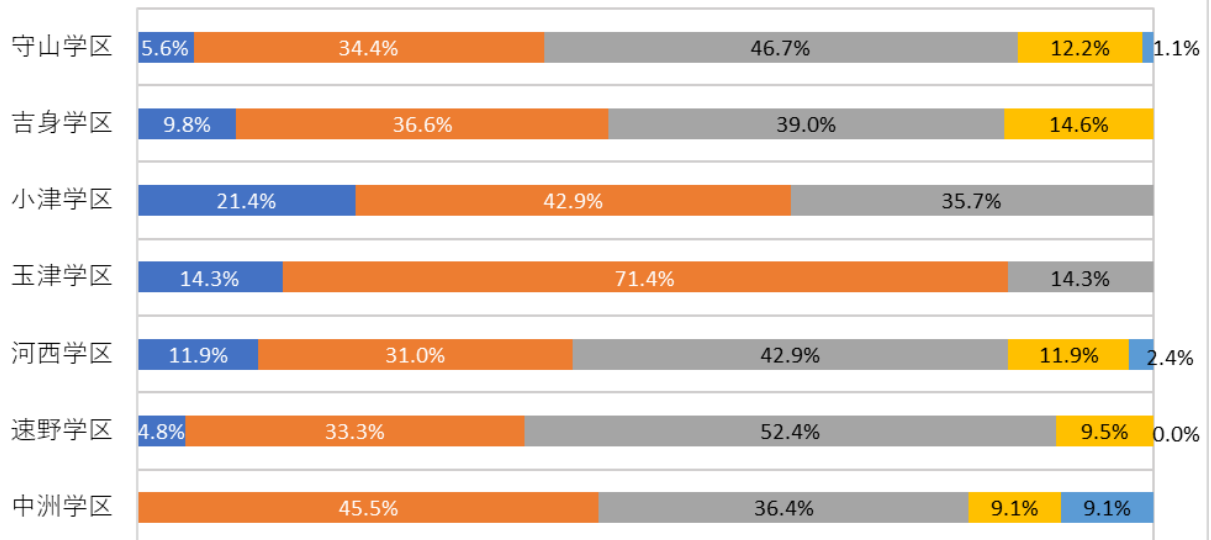
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

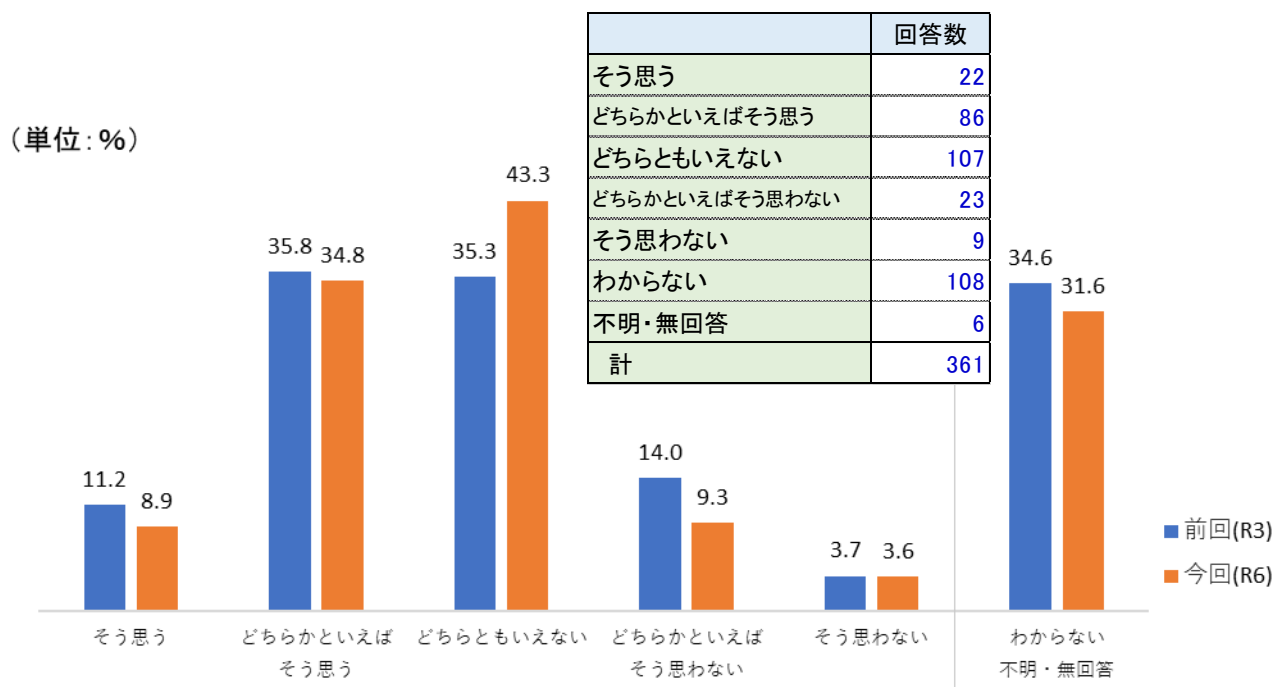


年齢別を見ると、「30代」の肯定的回答が58.3%と最も高くなっています。

学区別では、「玉津学区」の肯定的回答が85.7%と最も高く、次いで「小津学区」(64.3%)となっています。その一方で、「守山学区」「速野学区」では低くなっています。

④ 学習環境の整備

問4(4) 守山市は、子どもたちの学びを支える施設(社会教育施設)や環境が充実しているまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が43.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.8%となっています。

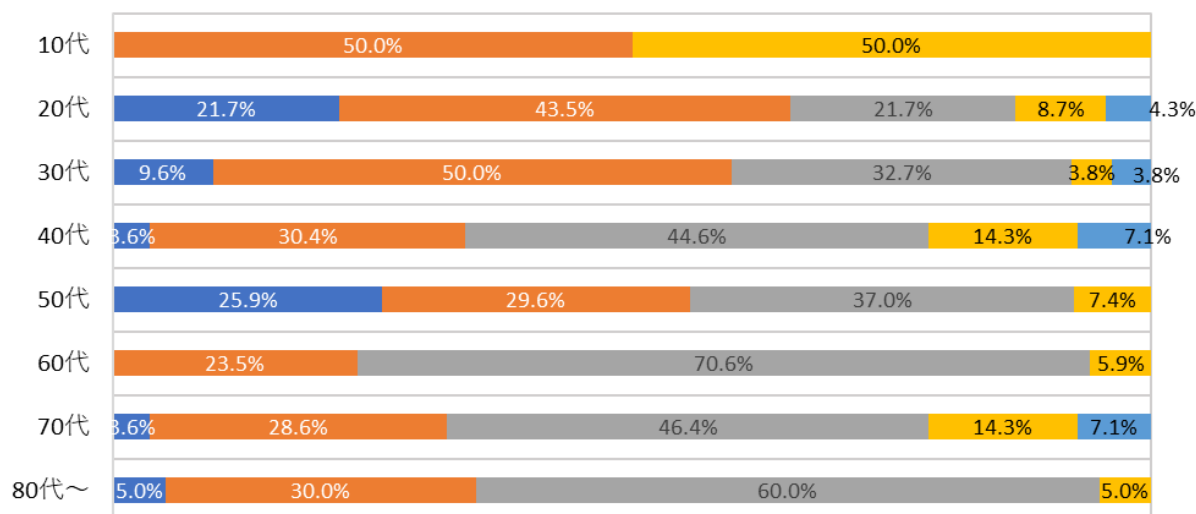
○肯定的回答は43.7%であり、前回調査(47.0%)から3.3%減となりました。

○全体の平均ハート数は3.4♡となっています。

※「わからない」の回答数は108件(全体の31.6%)となっています。

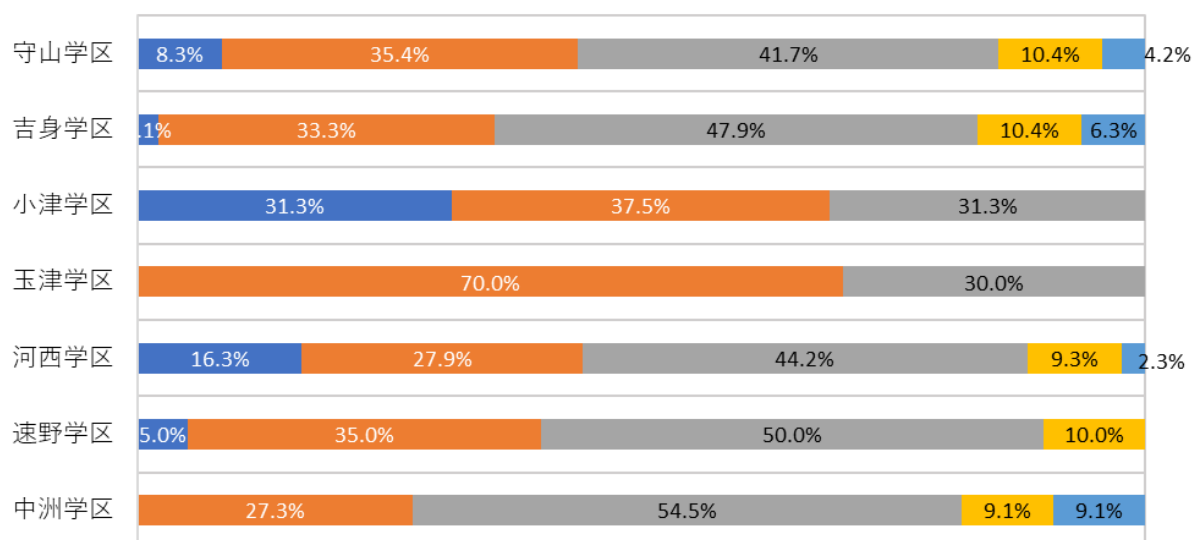
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



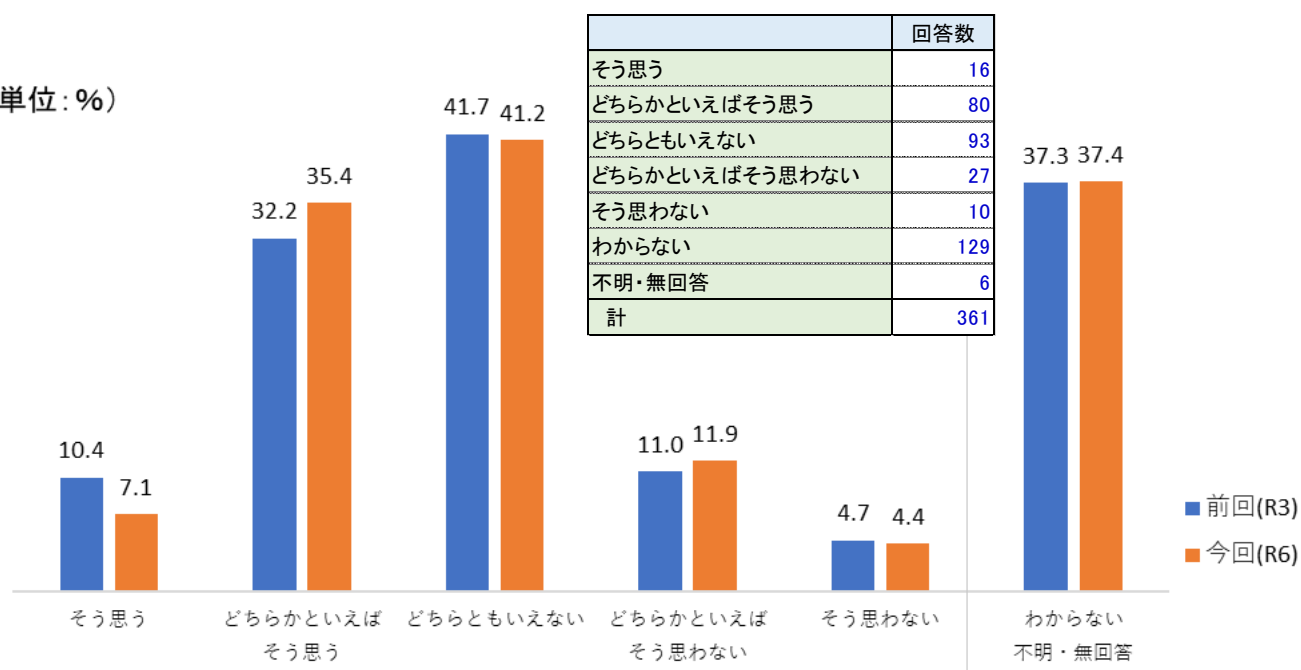
年齢別を見ると、「20代」の肯定的回答が65.2%と最も高く、次いで「30代」が59.6%となっています。

学区別で見ると、「玉津学区」の肯定的回答が70%と最も高く、次いで「小津学区」が68.8%となっています。「中洲学区」が最も低く27.3%となっています。

⑤ 教育内容の充実

問4(5) 守山市は、子どもたちにとって教育の内容が充実しているまちだと思いますか。

(単位: %)



○「どちらともいえない」が 41.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.4%となっています。

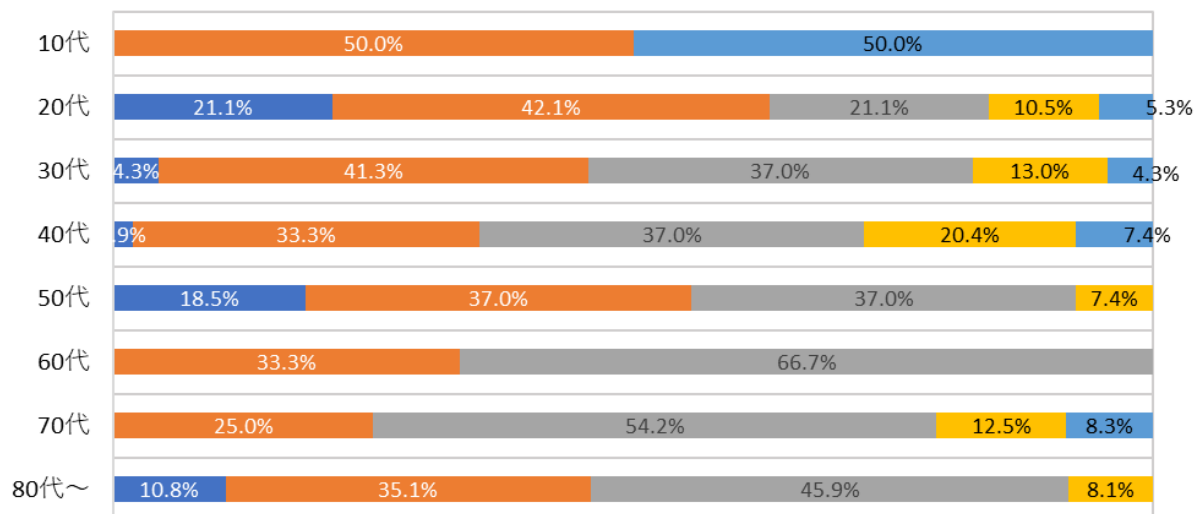
○肯定的回答は 42.5%であり、前回調査(42.6%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は 3.3♡となっています。

※「わからない」の回答数は 129 件(全体の 37.4%)となっています。

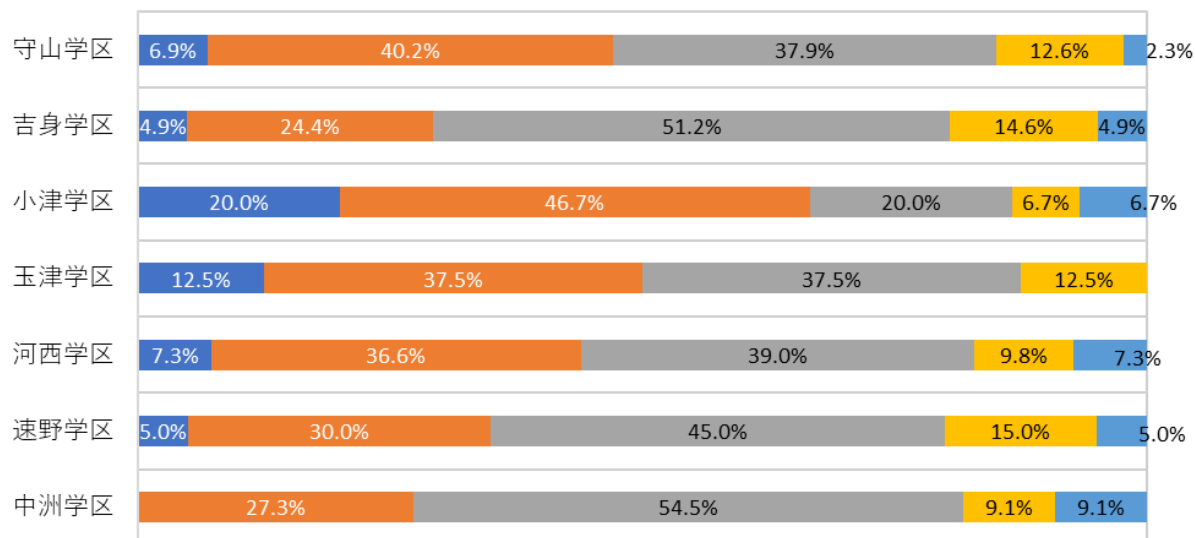
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

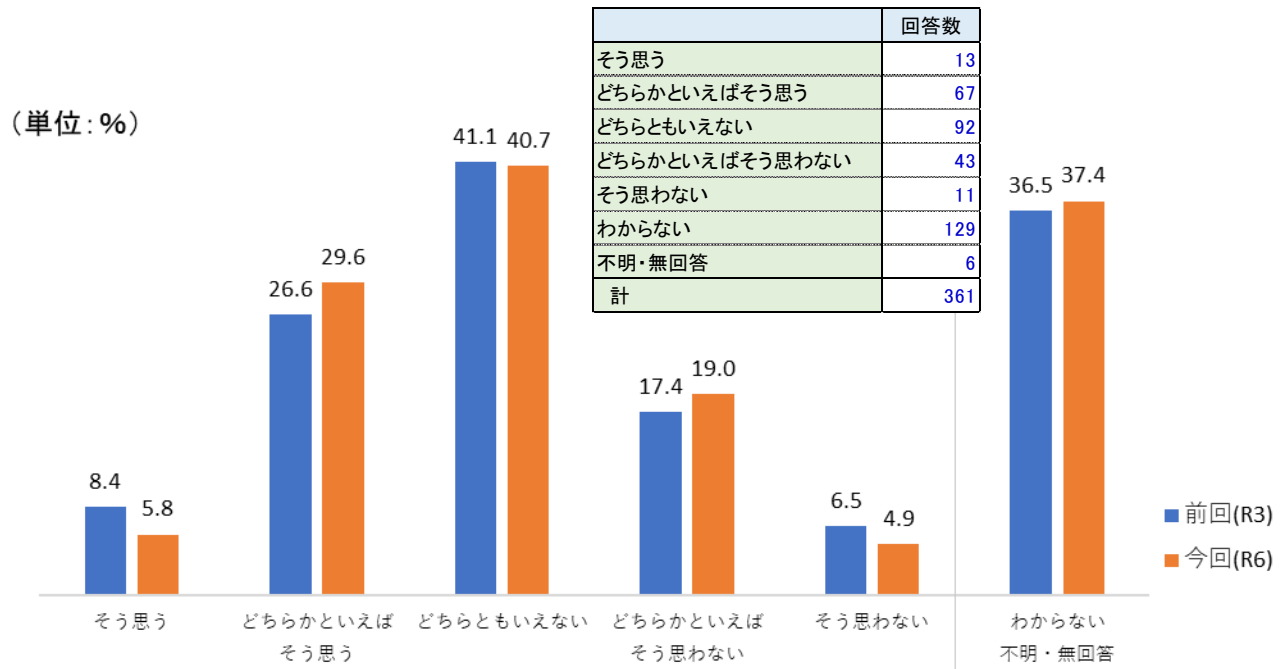


年齢別を見ると、「20 代」の肯定的回答が 63.2%と最も高く、次いで「50 代以上」(55.5%)となっています

学区別で見ると、「小津学区」の肯定的回答が 66.7%と最も高く、次いで「玉津学区」が 50.0%となっています。「中洲学区」が最も低く 27.3%となっています。

⑥ 社会参加の推進

問4(6) 守山市は、子どもたちが地域の活動(清掃活動など)に参加する機会が充実しているまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が40.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が29.6%となっています。

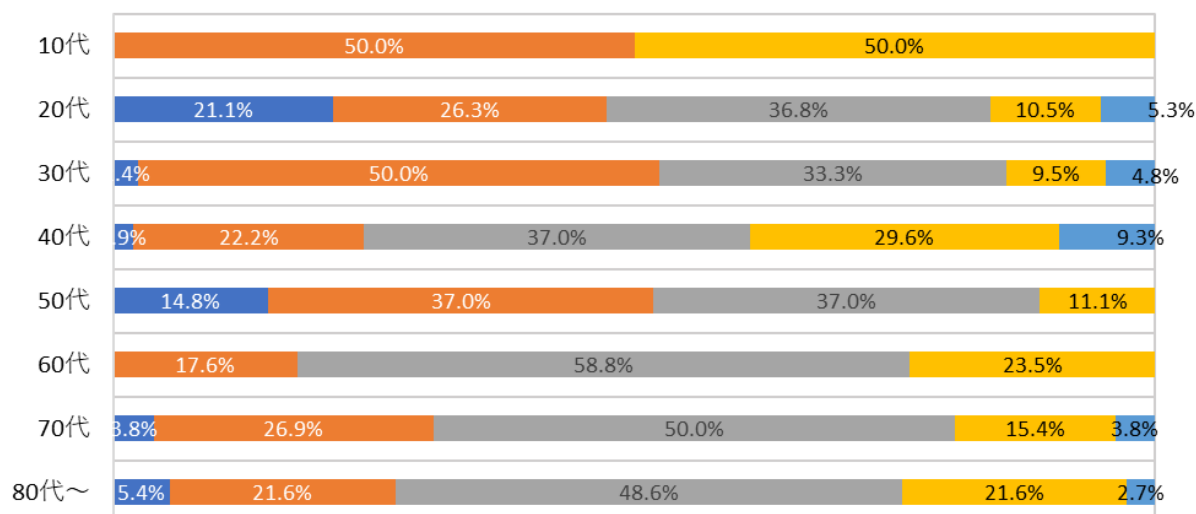
○肯定的回答は35.4%であり、前回調査(35.0%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は3.2♡となっています。

※「わからない」の回答数は129件(全体の37.4%)となっています。

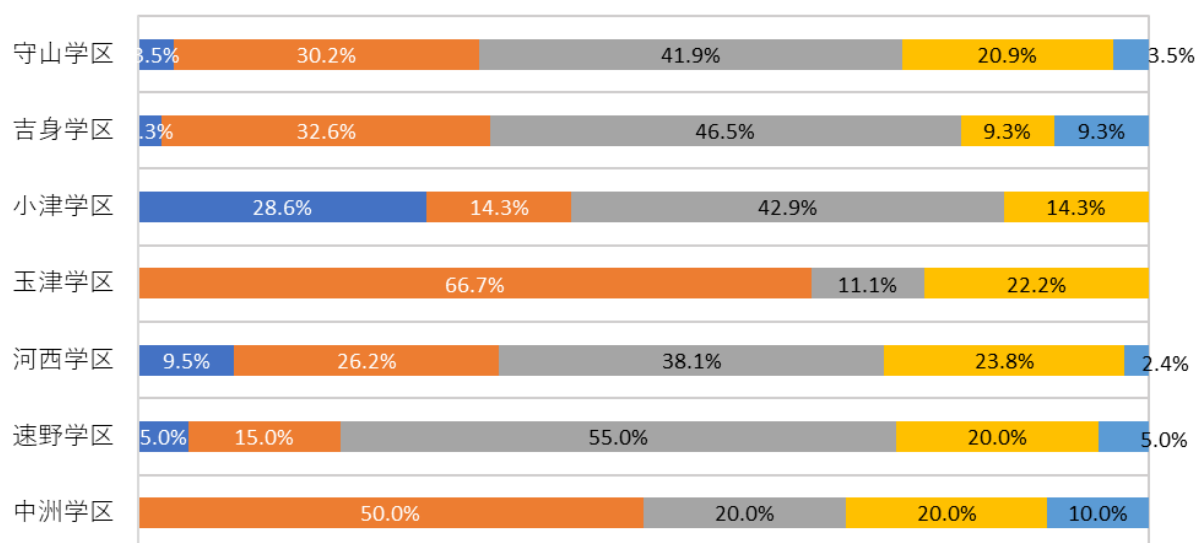
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



年齢別を見ると、「30代」の肯定的回答が52.4%と最も高く、次いで「50代」が51.8%となっています。

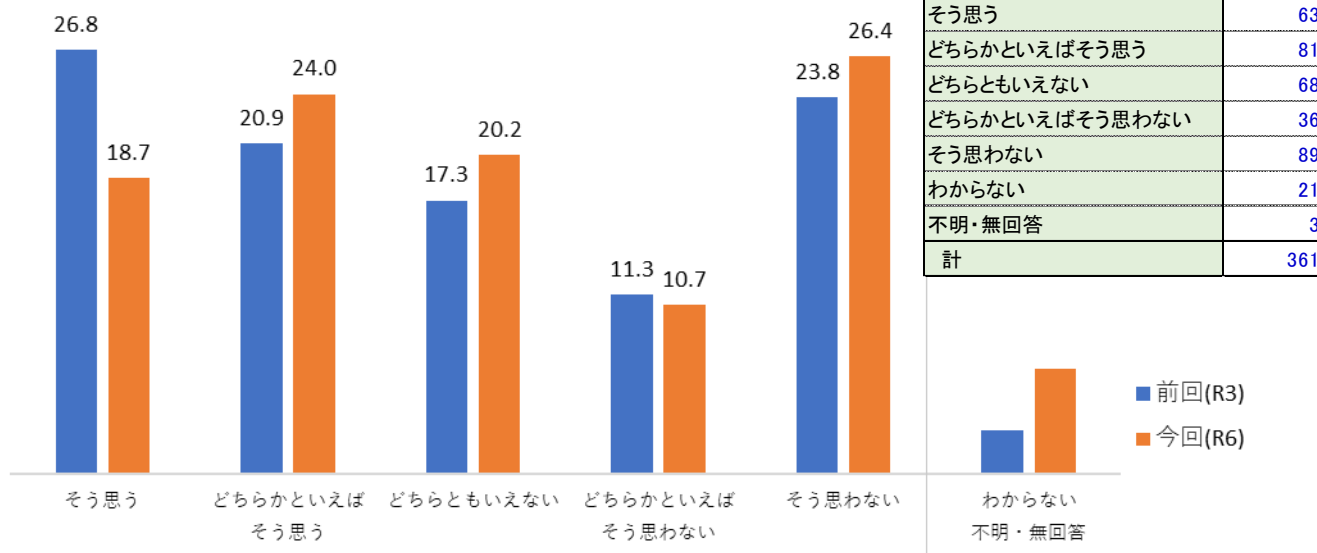
学区別で見ると、「玉津学区」の肯定的回答が66.7%と最も高く、次いで「中洲学区」が50.0%となっています。「速野学区」が最も低く20.0%となっています。

(3)環境について

① 自然環境保全

問5(1) あなたは、市内で行われる環境美化活動に積極的に参加していますか。

(単位: %)



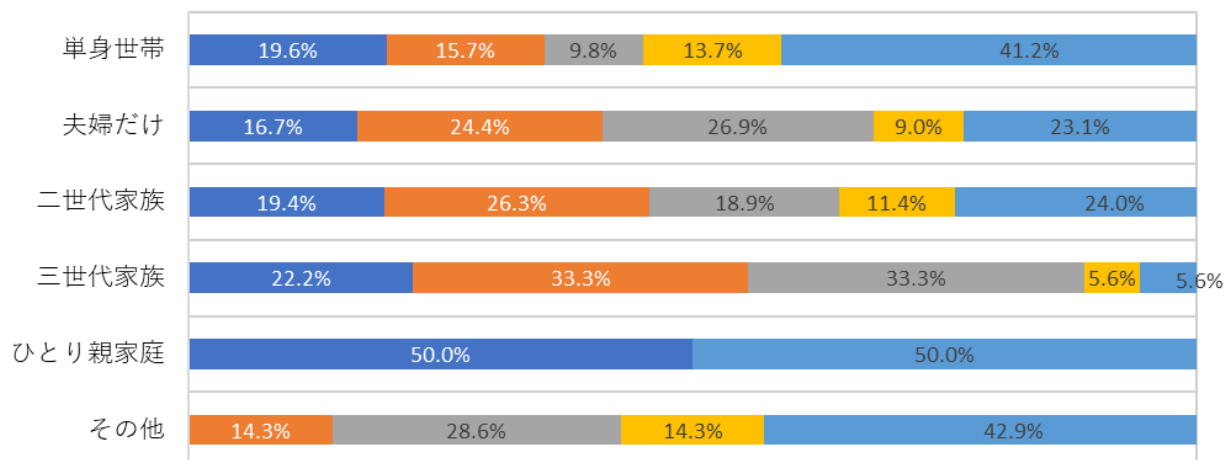
○「そう思わない」が26.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.0%となっています。

○肯定的回答は42.7%であり、前回調査(47.7%)より5.0%悪化しました。

○全体の平均ハート数は3.0♡となっています。

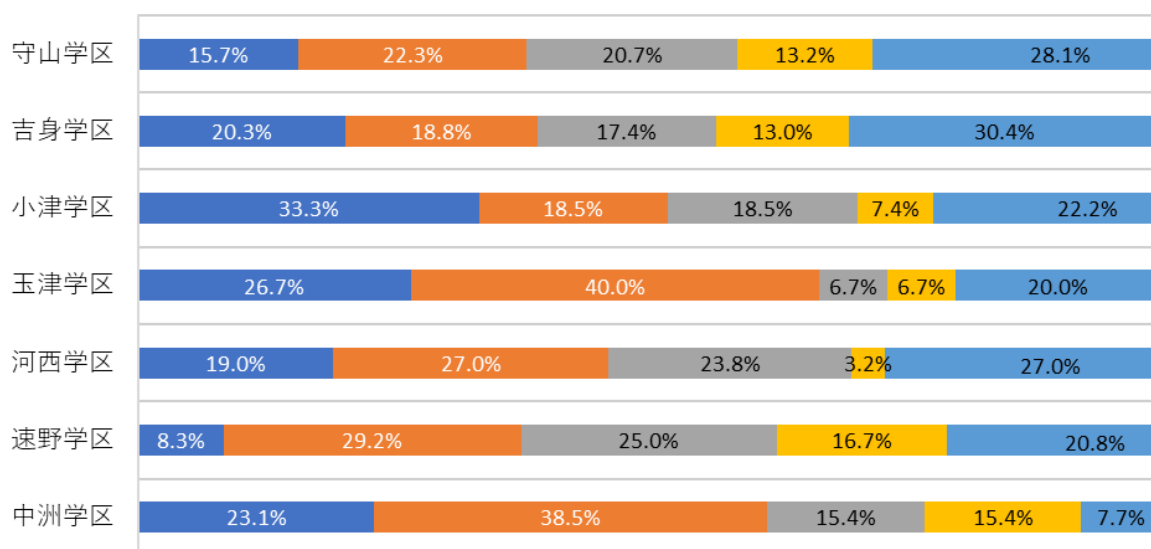
《世帯構成別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



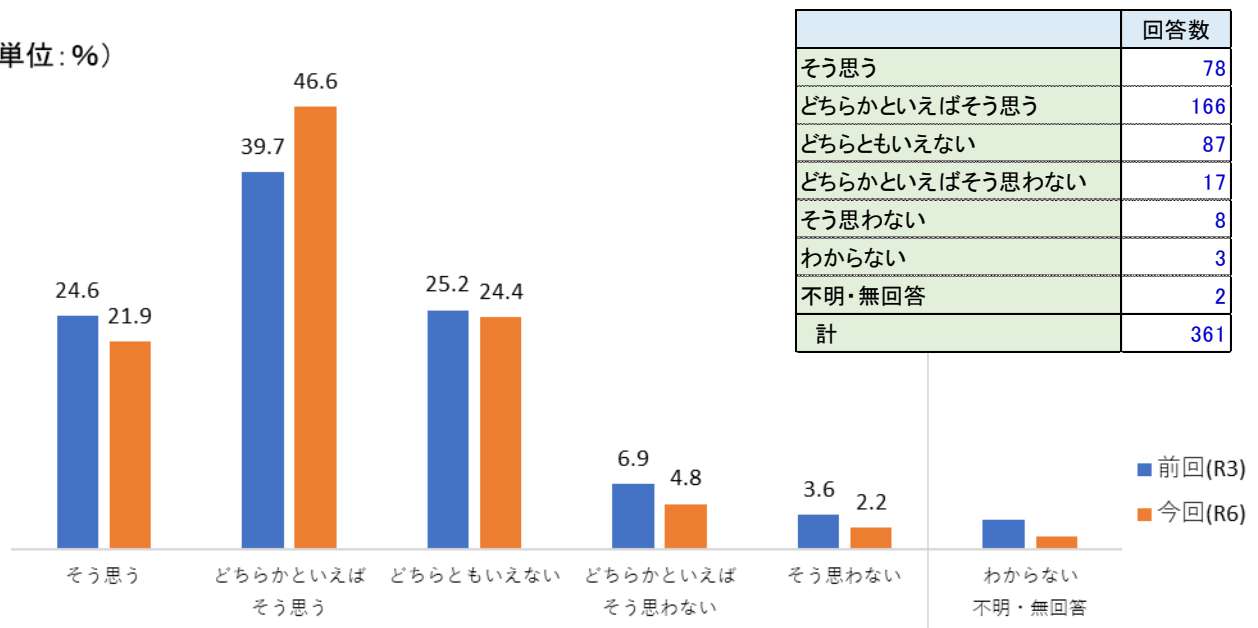
世帯構成別で見ると、世帯員の人数が多い(多世代)ほど肯定的回答が多くなる傾向が見られます。ひとり親家庭は回答数が2名なので、その結果には注意が必要です。

学区別で見ると、「玉津学区」の肯定的回答が 66.7%と最も高く、次いで「中洲学区」が 61.6%となっています。転入者が多い「守山学区」「吉身学区」「速野学区」は比較的、肯定的回答の割合が低くなっています。

② 緑化推進

問5(2) 守山市は、草木など「緑」が多いまちだと思いますか。

(単位: %)

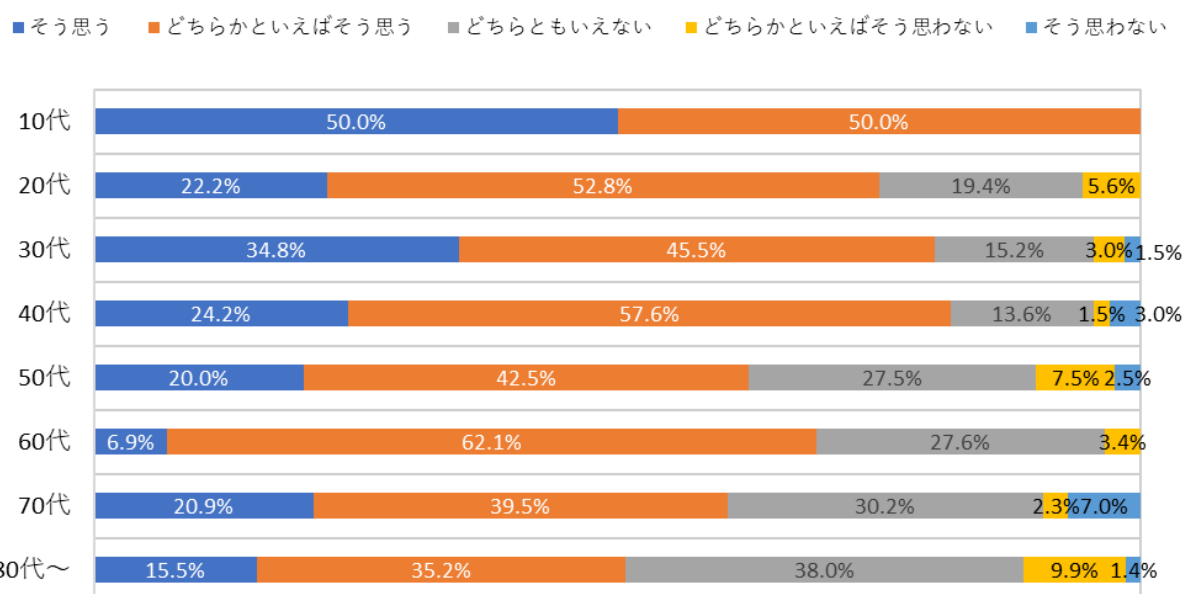


○「どちらかといえばそう思う」が46.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.4%となっています。

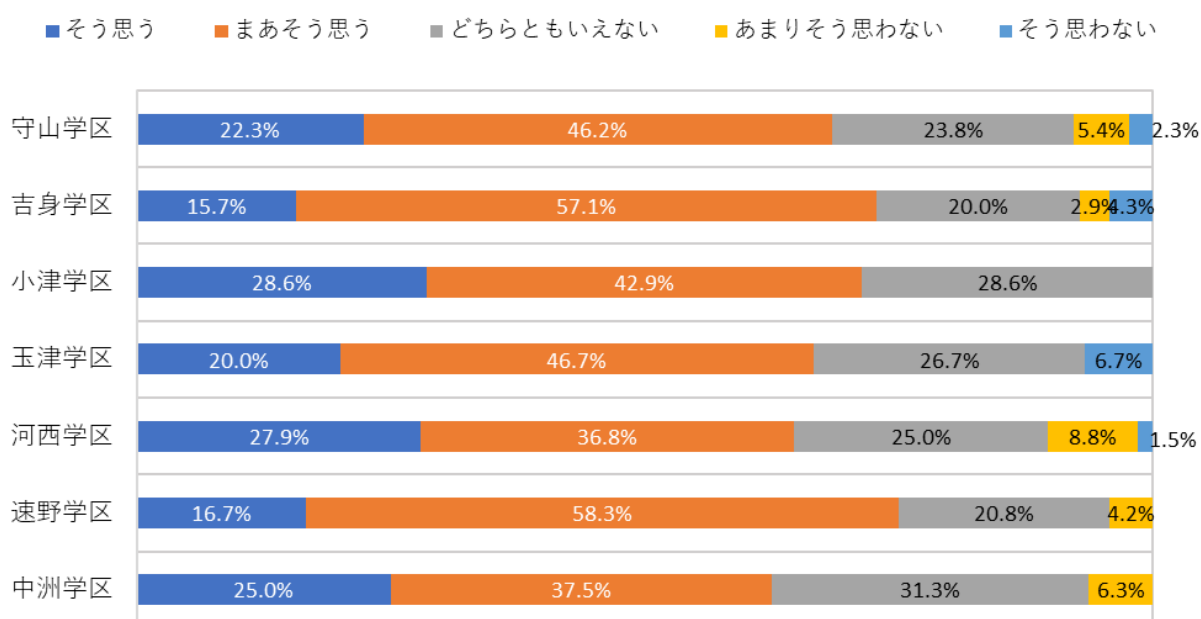
○肯定的回答は68.5%であり、前回調査(64.3%)より4.2%良化しました。

○全体の平均ハート数は3.9♡となっています。

《年齢別》



《学区別》



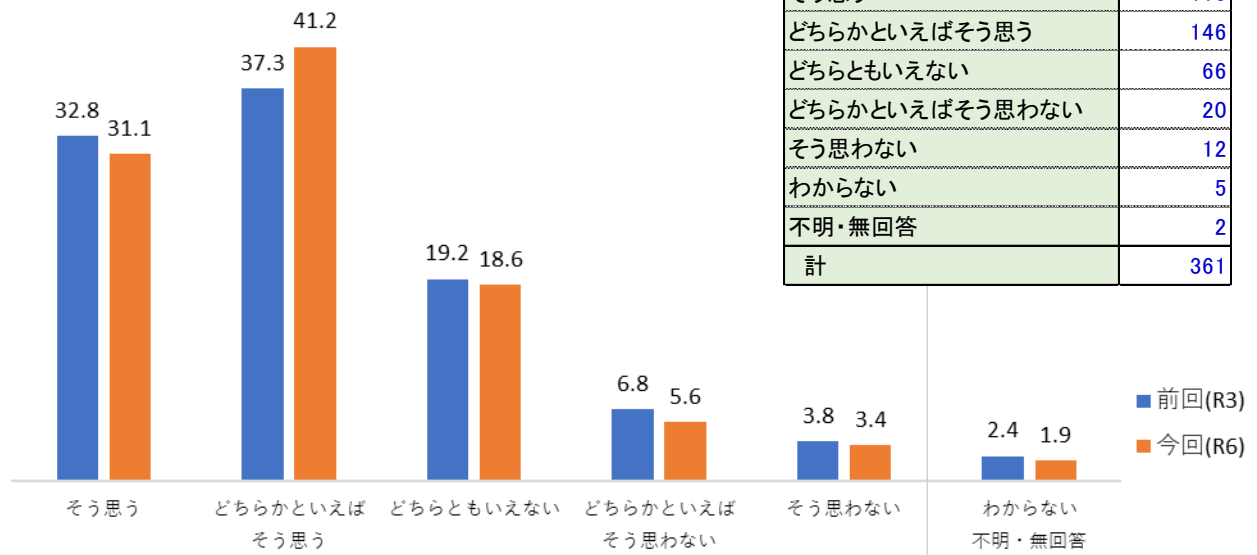
年齢別を見ると、「40代」の肯定的回答が81.8%と最も高く、「80代～」が50.7%と最も低くなりました。40代以下は比較的肯定的回答の割合が高く、50代以下が低いという傾向が見られます。

学区別では、全ての学区で肯定的回答が6割を超えています。居住する学区による回答の傾向は特に見られません。

③ 水辺環境の保全

問5(3) あなたは、琵琶湖や地域の水辺(川など)に親しみを感ずますか。

(単位: %)



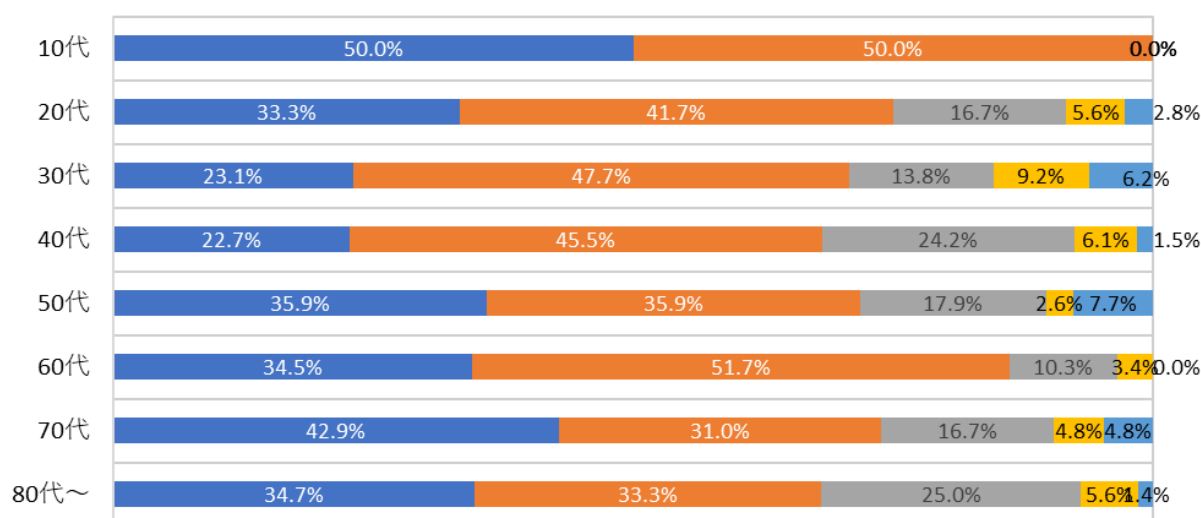
○「どちらかといえばそう思う」が41.2%と最も高く、次いで「感じる」が31.1%となっています。

○肯定的回答は72.3%であり、前回調査(70.1%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は4.0♡となっています。

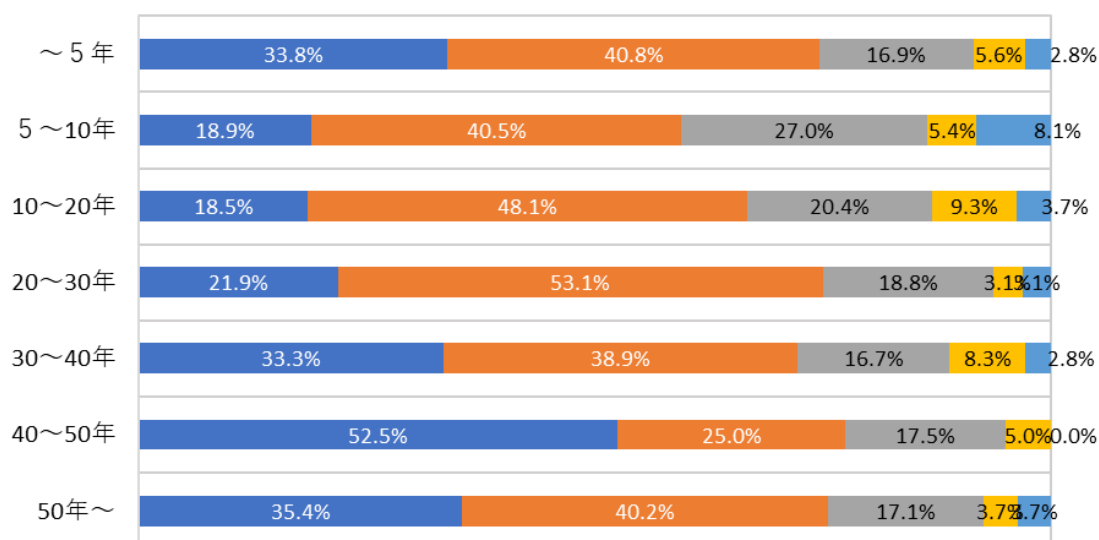
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《居住年数別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



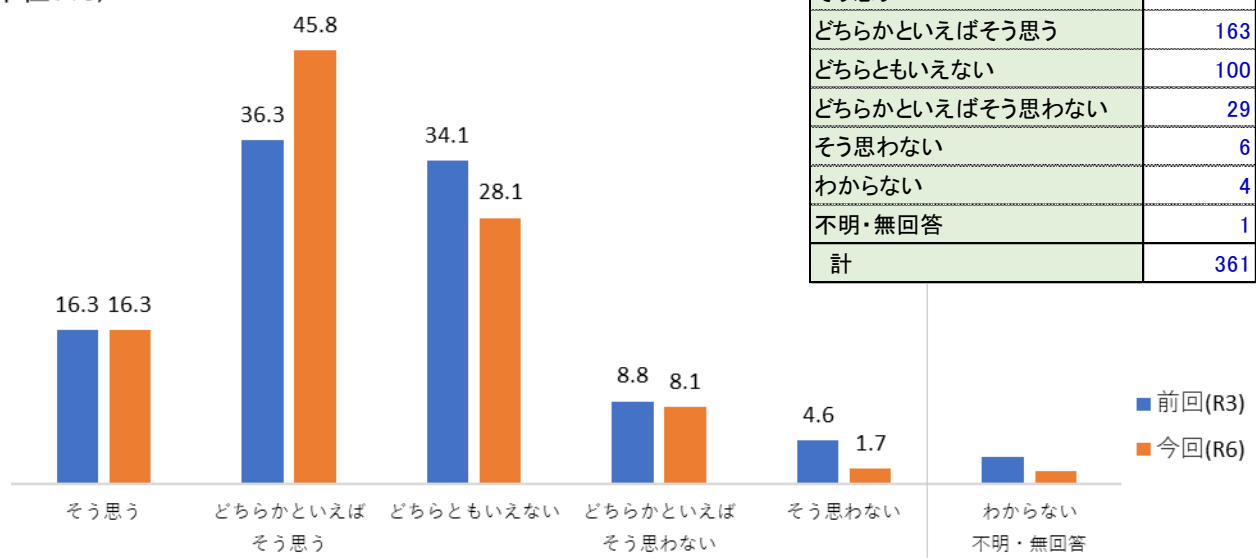
年齢別を見ると、全ての年代で肯定的回答が6割を超えています。そのなかでも、「60代」が86.2%と他の年代よりも高くなっていますが、年代ごとの回答傾向は特に見られません。

居住年数別も同様に、全ての区分で肯定的回答が6割を超えており、居住年数による回答傾向はとくには見られません。

④ 良好な都市景観

問5(4) 守山市は、まちなみ・景観・風景が美しいまちだと思いますか。

(単位: %)

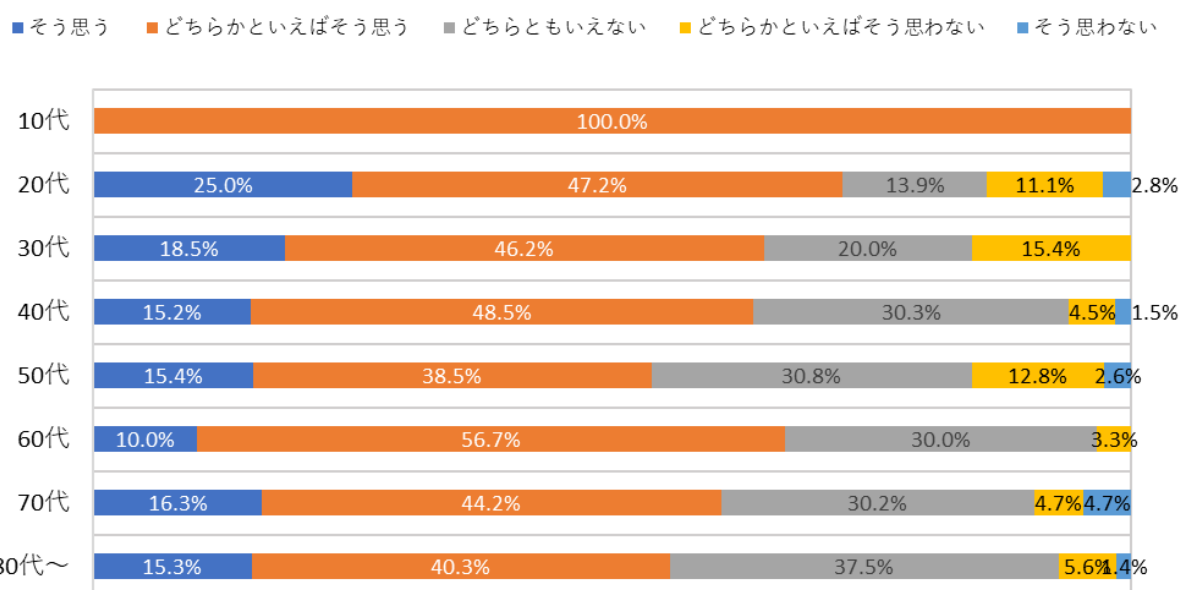


○「どちらかといえばそう思う」が45.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.1%となっています。

○肯定的回答は62.1であり、前回調査(52.6%)から9.5%と大幅に良化しました。

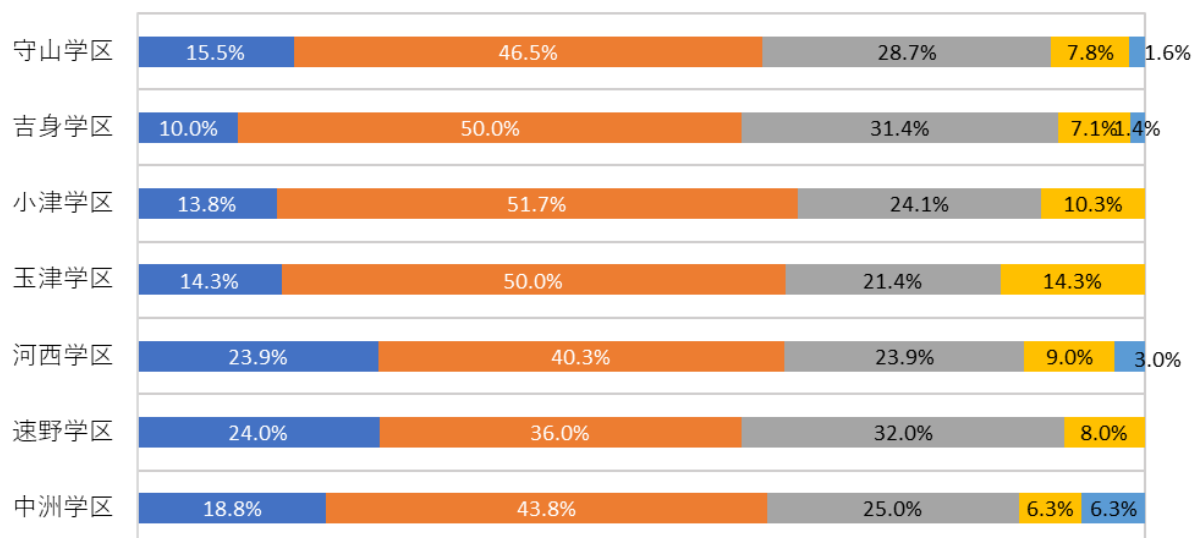
○全体の平均ハート数は3.7♡となっています。

《年齢別》



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



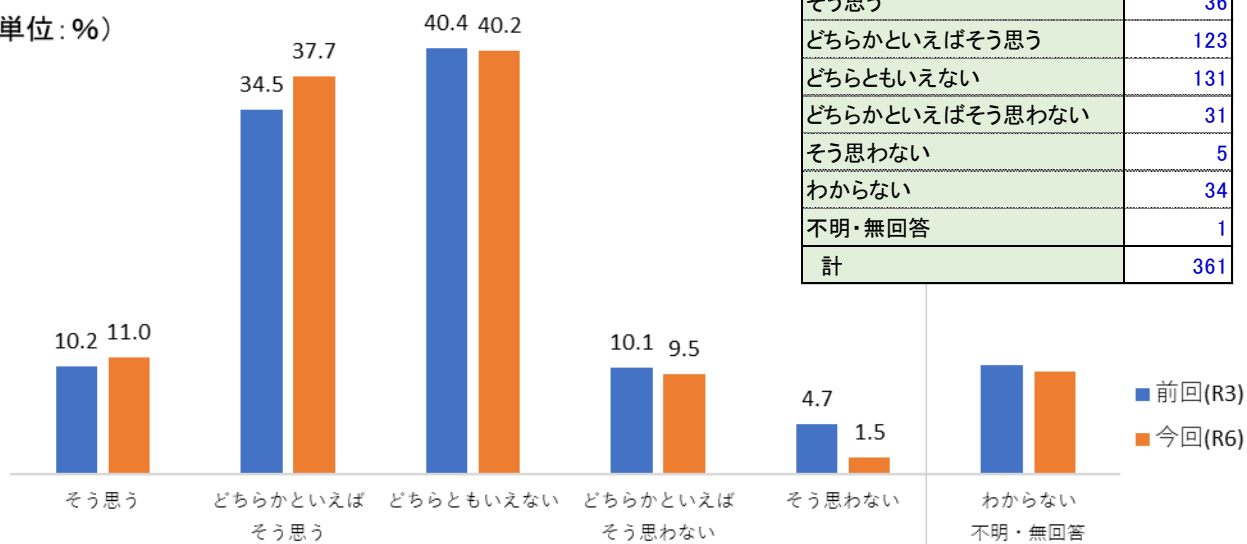
年齢別に見ると、全ての年代で肯定的回答が50%を超えています。

学区別に見ると、最も高いのが「小津学区」の65.5%であるのに対して、最も低いのは「吉身学区」と「速野学区」の60%となっています。最高と最低の差は5.5%であり、居住学区による肯定的回答の割合に特段の傾向は見られません。

⑤ 廃棄物対策など

問5(5) 守山市は、ごみの減量化や節水・節電など地球環境にやさしい取り組みが充実しているまちだと思いますか。

(単位: %)



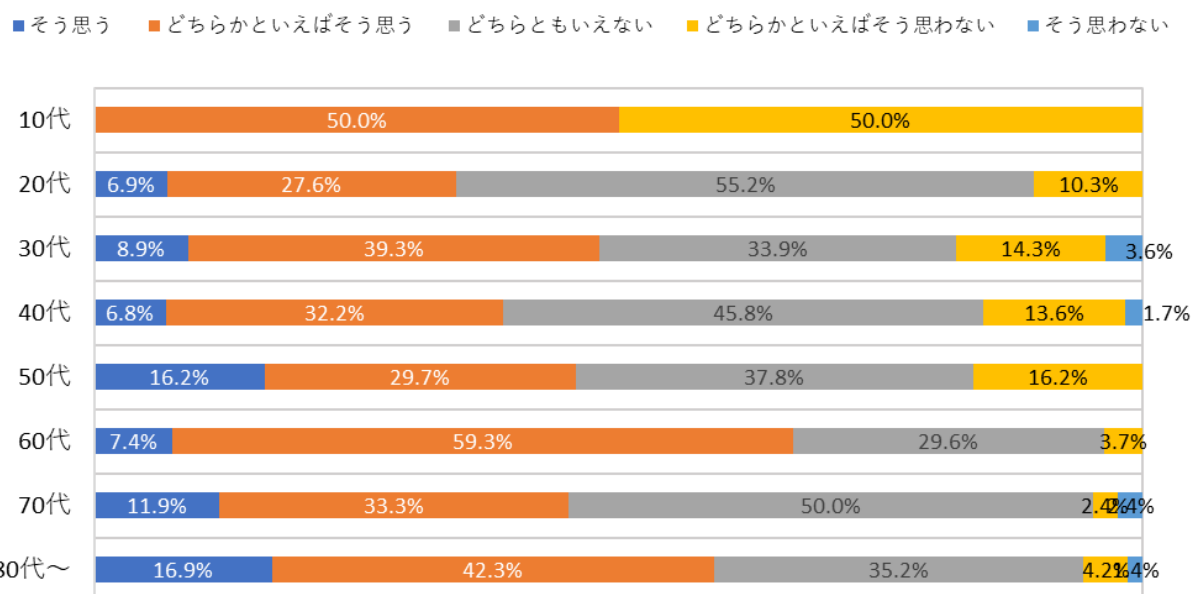
	回答数
そう思う	36
どちらかといえばそう思う	123
どちらともいえない	131
どちらかといえばそう思わない	31
そう思わない	5
わからない	34
不明・無回答	1
計	361

○「どちらともいえない」が40.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が37.7%となっています。

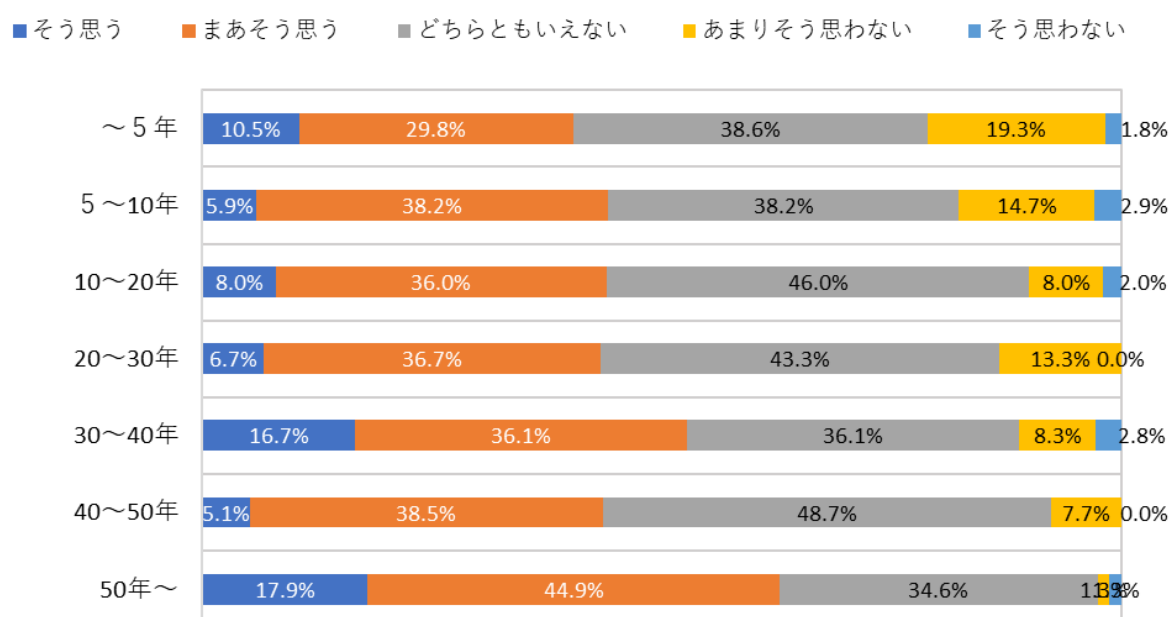
○肯定的回答は48.7%であり、前回調査(44.7%)より4.0%良化しています。

○全体の平均ハート数は3.5♡となっています。

《年齢別》



《居住年数別》



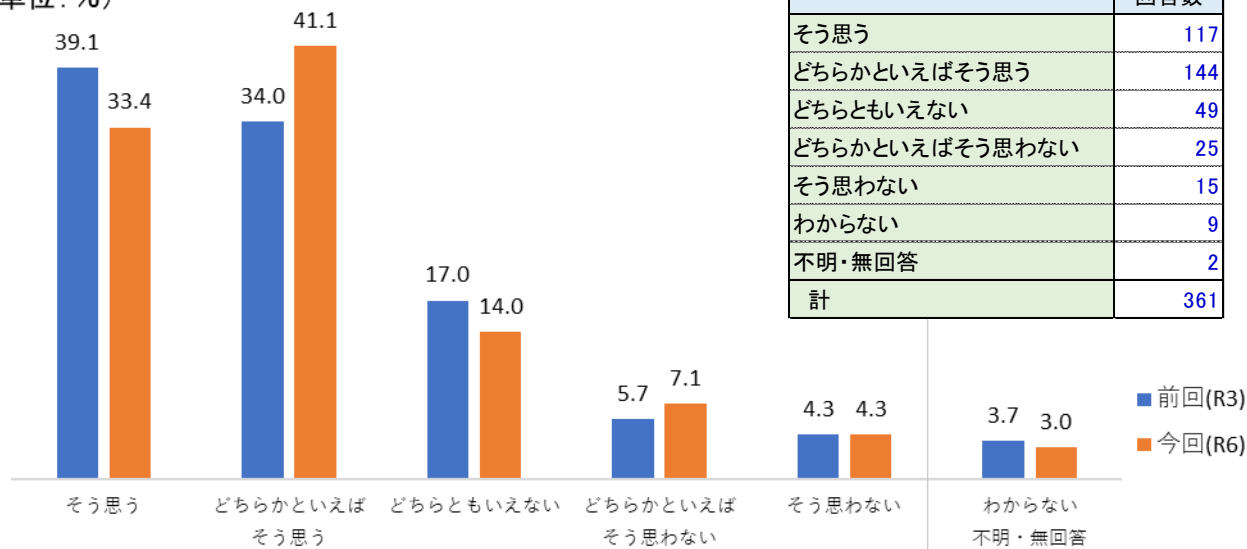
年齢別を見ると、「60代」の肯定的回答が66.7%と最も高くなっています。その一方で、「20代」では34.5%と最も低くなっています。

居住年数別では、「50年～」が62.8%と最も高く、「30～40年」が次いで52.8%となっています。そのほかについては、軒並み40%前半という結果になりました。

⑥ ホタル愛護

問5(6) あなたは、ホタルが飛び交う景色に親しみを感じますか。

(単位: %)

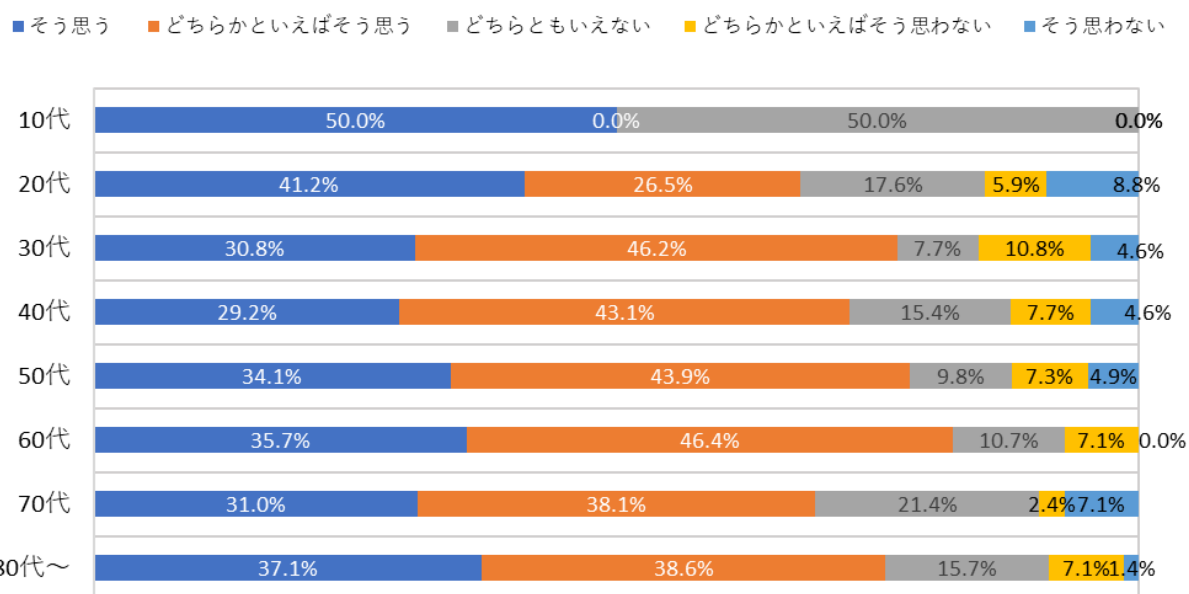


○「どちらかといえばそう思う」が 41.1%と最も高く、次いで「そう思う」が 33.4%となっています。

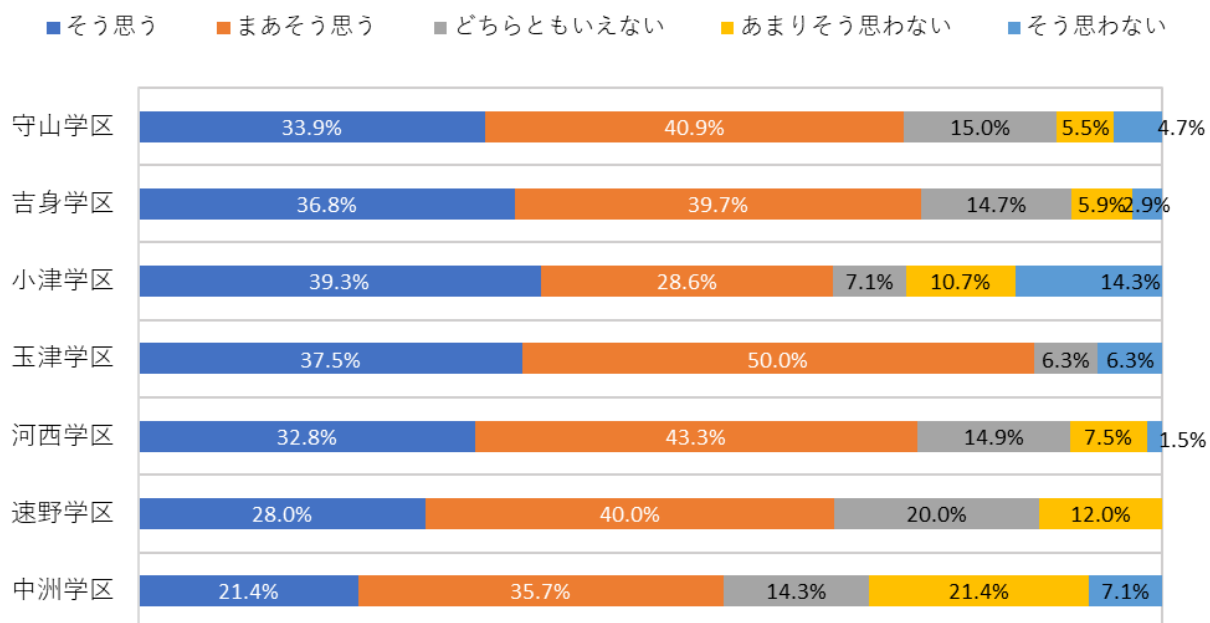
○肯定的回答は 74.5%であり、前回調査(73.1%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は 4.0♡となっています。

《年齢別》



《学区別》



年齢別を見ると、全ての年代で肯定的回答の割合が高くなっており、老若男女問わず市民から親しまれていることが分かります。

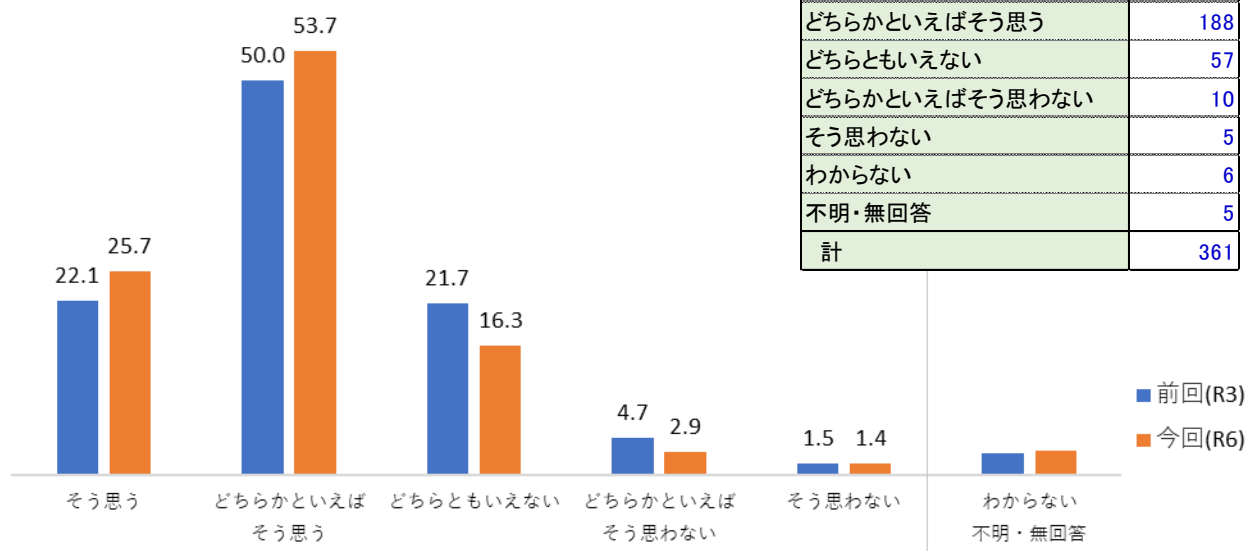
学区別で見ると、ホテルが多く飛翔する学区(守山学区、吉身学区、玉津学区等)ほど肯定的割合が高くなっていることが伺えます。

(4)安全・安心について

① 治安・防犯

問6(1) 守山市は、治安が良く、安心して暮らせるまちだと思いますか。

(単位: %)

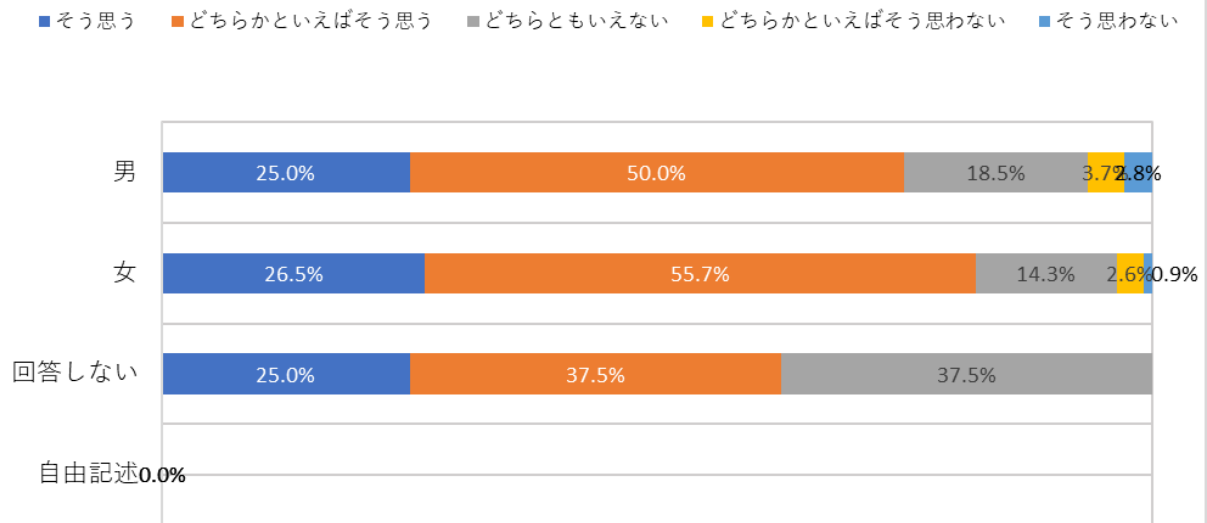


○「どちらかといえばそう思う」が 53.7%と最も高く、次いで「そう思う」が 25.7%となっています。

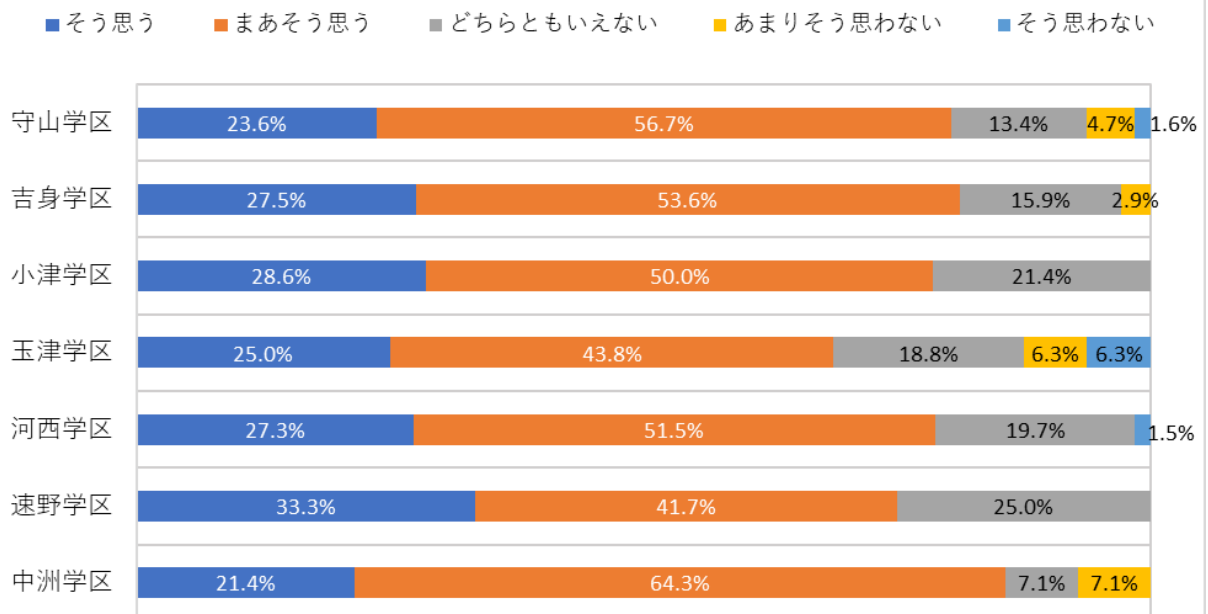
○肯定的回答は 79.4%であり、前回調査(72.1%)から 7.3%良化しました。

○全体の平均ハート数は 4.0♡となっています。

《性別》



《学区別》



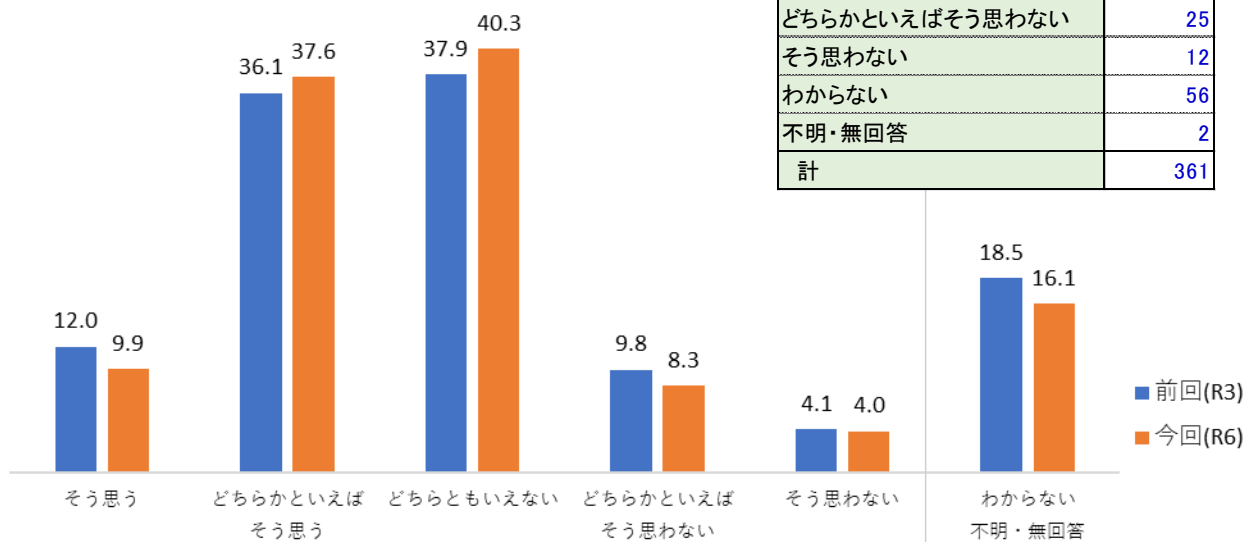
性別で見ると、男性 75%に対して、女性は 82.2%が肯定的な回答となりました。男性に比べて女性のほうが、治安に対する満足度が高い結果となりました。

学区別では、「中洲学区」の肯定的回答が最も高く 85.7%となった一方で、「玉津学区」が 68.8%と最も低くなりました。

② 防災機能の整備

問6(2) 守山市は、大雨・台風・地震などの災害に対する備えができていますか。

(単位: %)



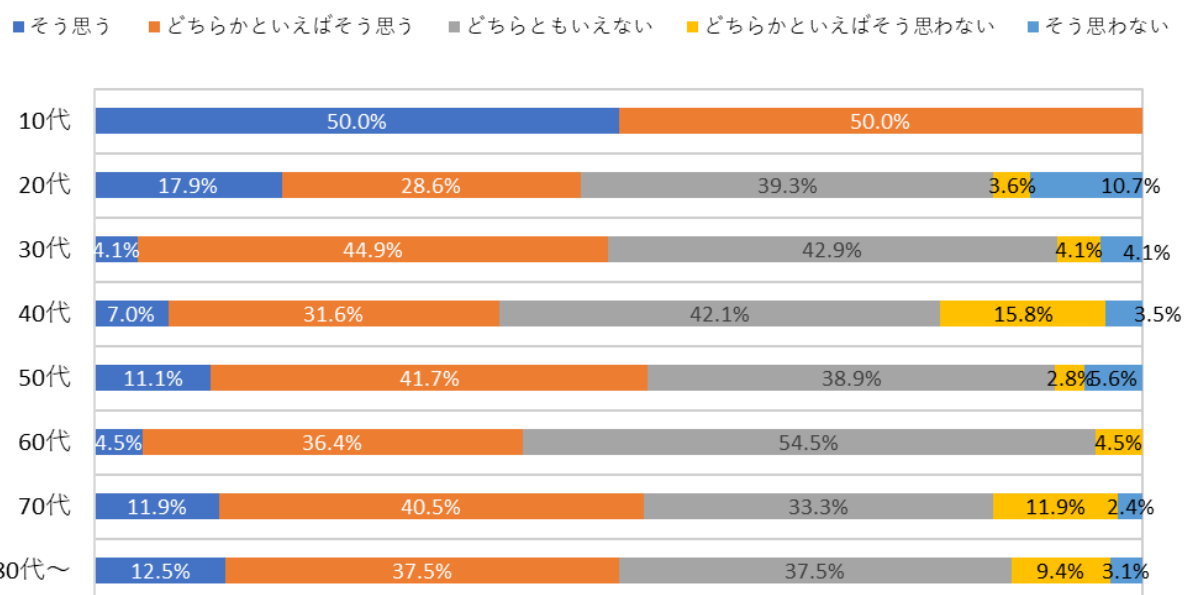
○「どちらともいえない」が40.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が37.6%となっています。

○肯定的回答は47.5%であり、前回調査(48.1%)とほぼ同数となりました。

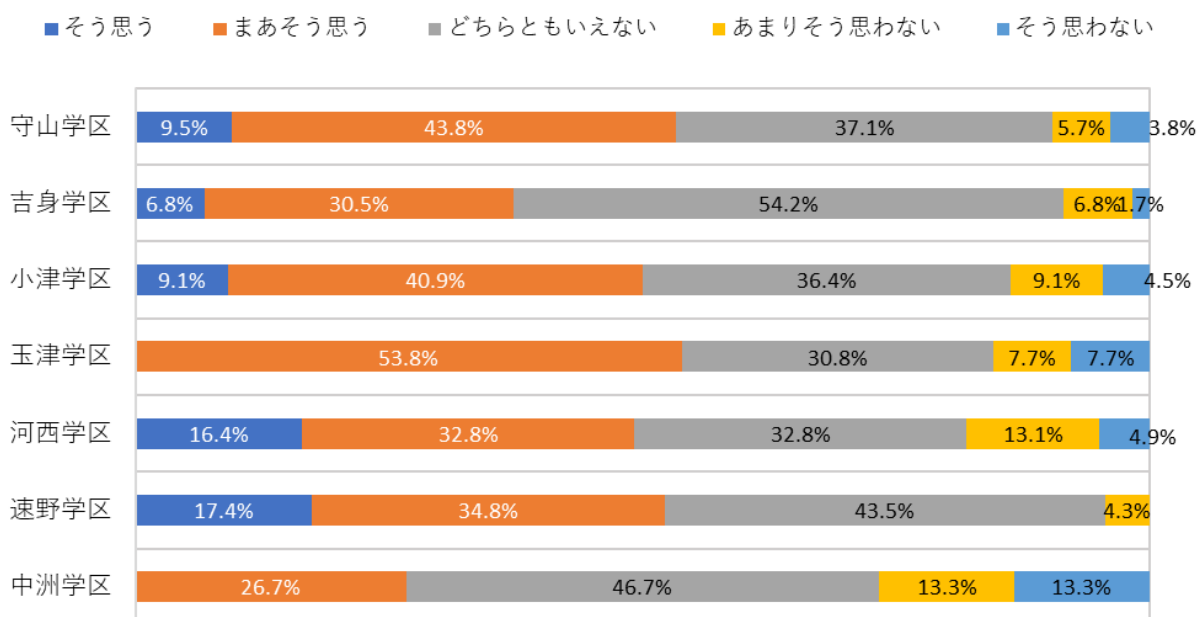
○全体の平均ハート数は3.5♡となっています。

※「わからない」の回答数は56件(全体の16.1%)となっています。

《年齢別》



《学区別》

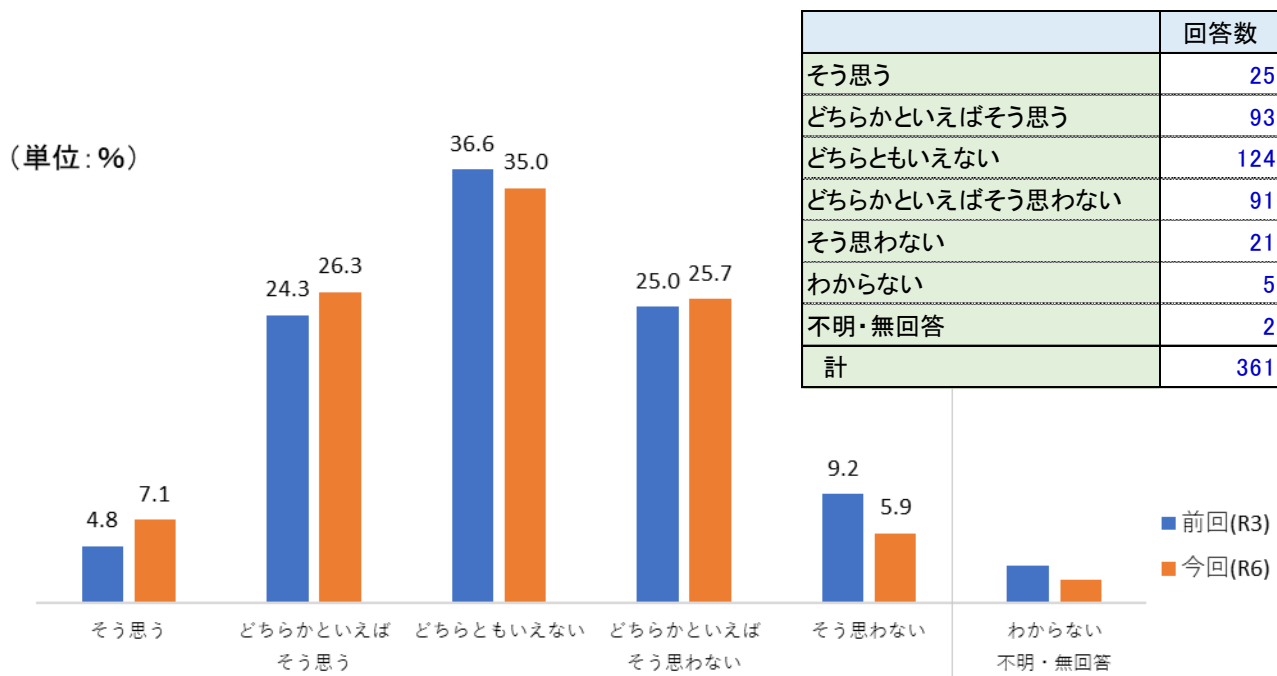


年齢別を見ると、年齢と肯定的回答割合に相関関係は見られません。ただし、「10代」は回答数が2件となっているため、その結果には注意が必要です。

学区別では、「中洲学区」の肯定的回答が26.7%と最も低くなっています。近年は数十年に1度といわれるような大雨が降ることもあり、野洲川の下流にあたる同学区では水害への不安が回答に影響を与えているものと推測できます。

③ 防災意識

問6(3) あなたは、大雨・台風・地震などの災害に対する備えが普段の生活の中でできていると思いますか。



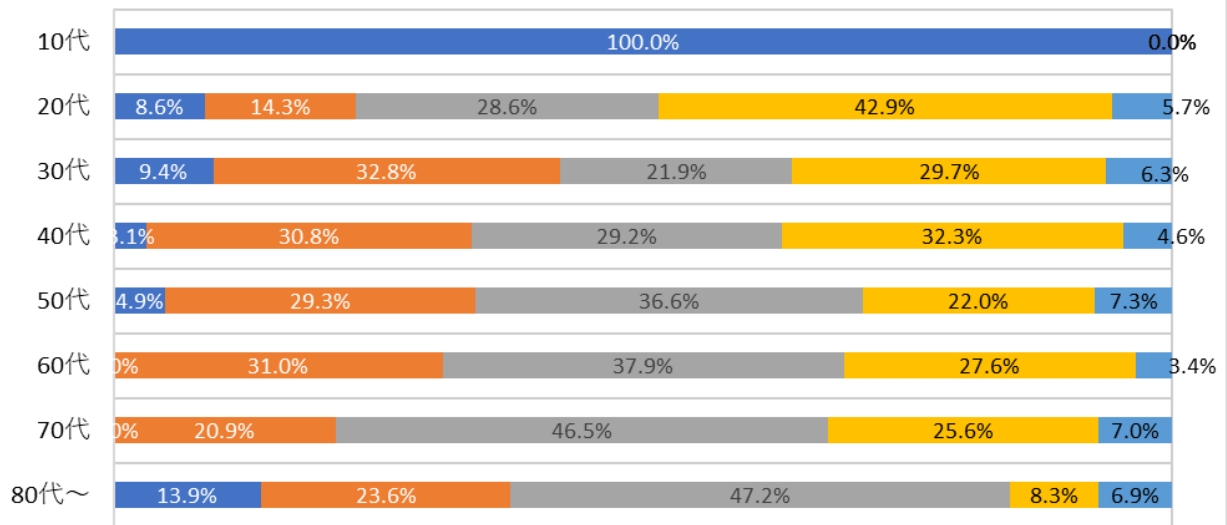
○「どちらともいえない」が 35.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.3%となっています。

○肯定的回答は 33.4%であり、全課調査(29.1%)よりやや良化しています。

○全体の平均ハート数は 3.1♡となっています。

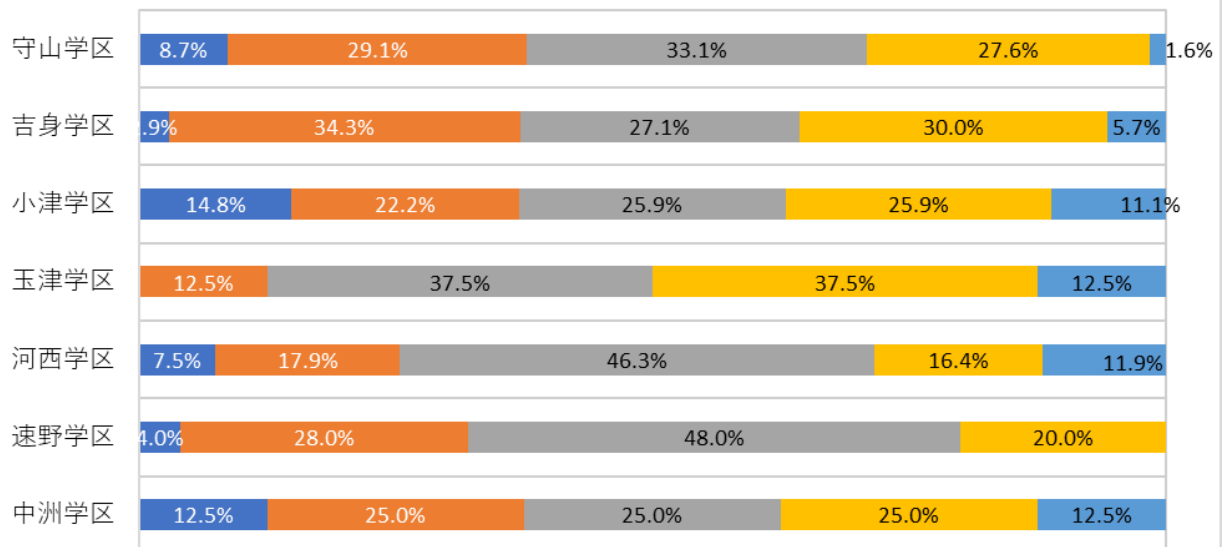
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

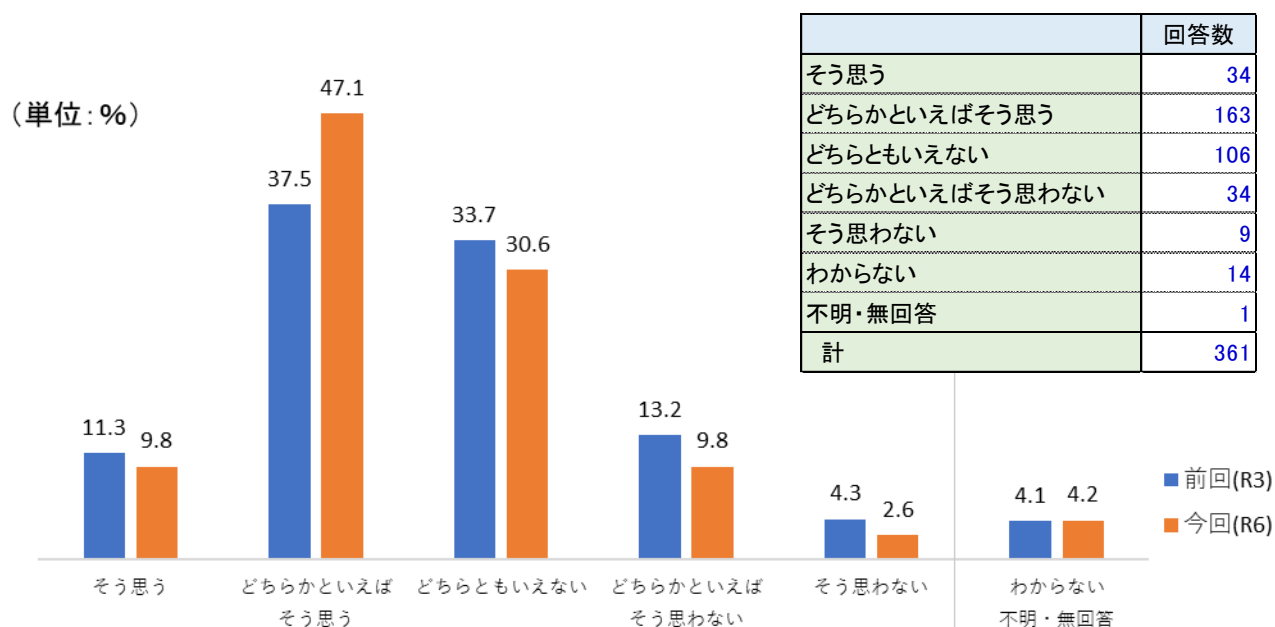


年齢別を見ると、多くの年代で肯定的回答よりも否定的回答の方が割合が高くなっています。ただし、「10代」は回答数が2件となっているため、その結果には注意が必要です。

学区別においても同様に、否定的回答の割合が全体的に高くなっています。「玉津学区」は、問6(2)の守山市の防災への備えでは最も高い肯定的回答の割合となっていました、その一方で市民自らの備えに対する回答は最も低くなっています。

④ 交通安全(ハード)

問6(4) 守山市は、交通安全施設(信号機や道路標識など)が整備されているまちだと思いますか。



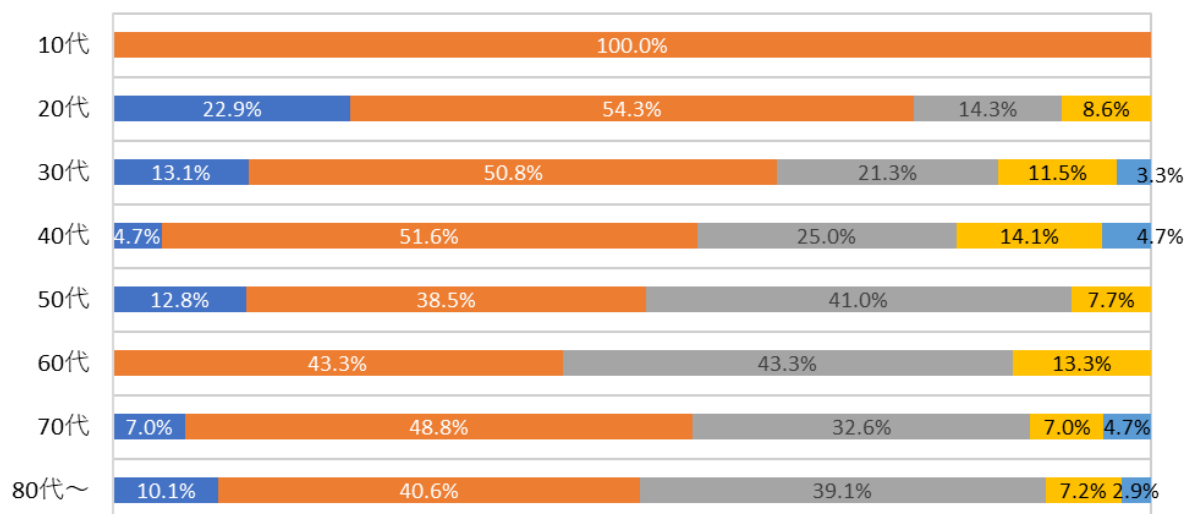
○「どちらかといえばそう思う」が47.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.6%となっています。

○肯定的回答は56.9%であり、前回調査(48.8%)より8.1%良化しました。

○全体の平均ハート数は3.6♡となっています。

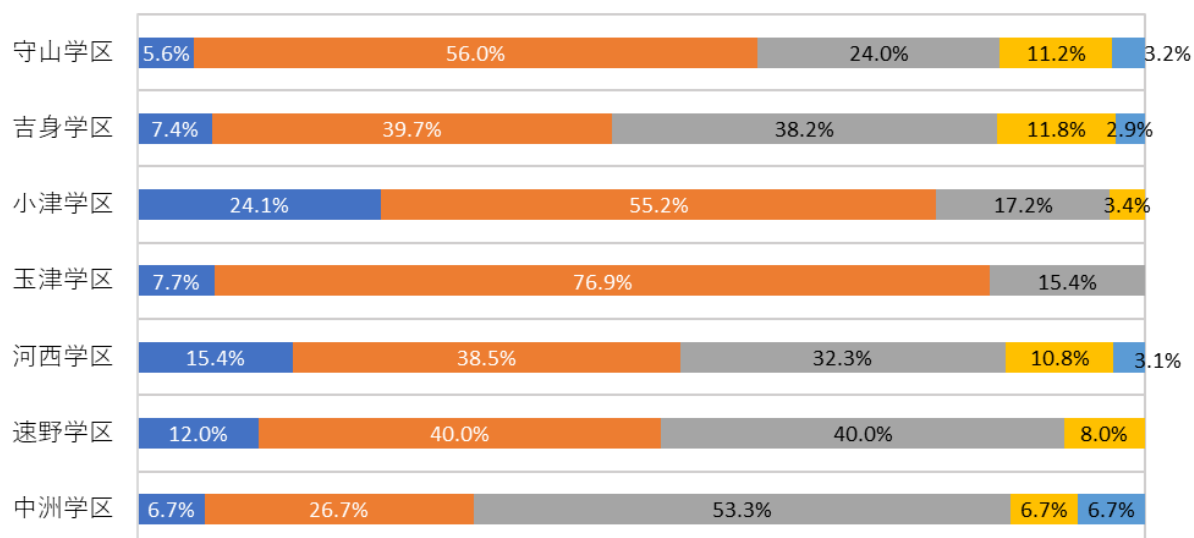
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



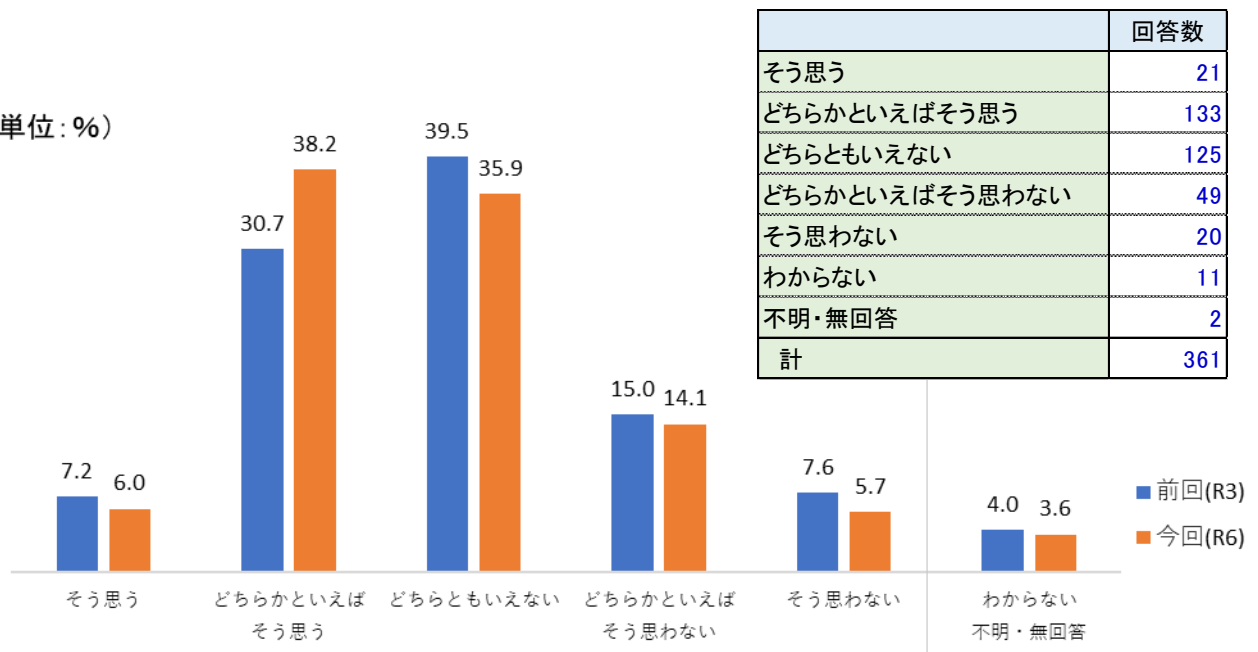
年齢別を見ると、「10代」と「20代」の肯定的回答が高くなっています。ただし、「10代」は回答数が2件となっているため、その結果には注意が必要です。

学区別では、「玉津学区」の肯定的回答が84.6%と最も高くなった一方で、「中洲学区」が33.4%と前回調査に引き続いて最も低い結果となりました。

⑤ 交通安全(ソフト)

問6(5) 守山市は、交通ルールやマナーが守られているまちだと思いますか。

(単位: %)



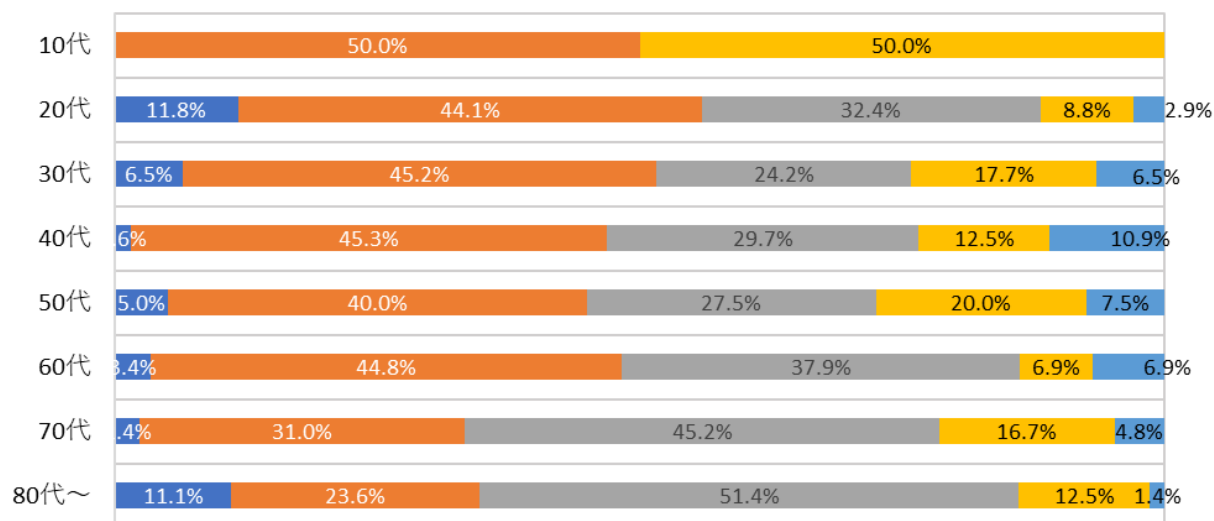
○「どちらかといえばそう思う」が 38.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 35.9%となっています。

○肯定的回答は 44.2%であり、前回調査(37.9%)より 6.3%良化しました。

○全体の平均ハート数は 3.3♡となっています。

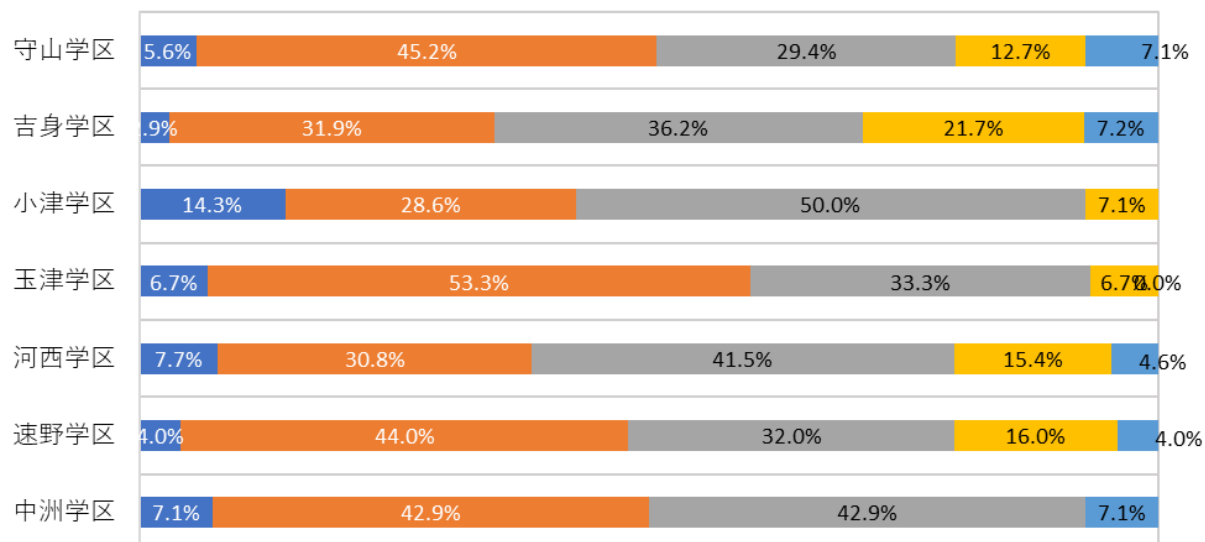
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



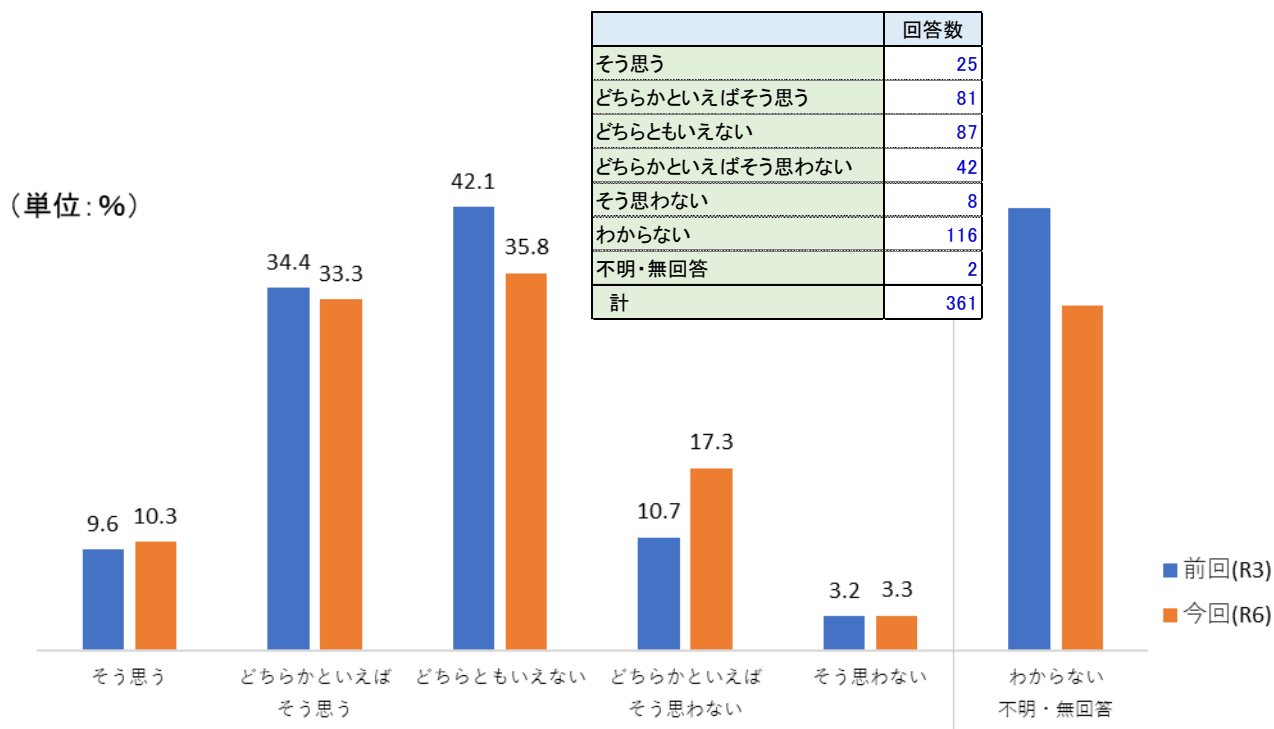
年齢別を見ると、回答数が2件の「10代」を除くと、「20代」の肯定的回答が55.9%と最も高く、次いで「30代」が51.7%となっています。年齢が高くなるにつれて、肯定的回答の割合が低くなる傾向が見られます。

学区別には、「玉津学区」の肯定的回答が60.0%と最も高く、次いで「守山学区」が50.8%となっています。その一方で、「吉身学区」と「河西学区」が低くなっています。

(5)福祉について

① 高齢者福祉の充実

問7(1) 守山市は、高齢者福祉に関する情報やサービスの提供が充実しているまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が35.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が33.3%となっています。

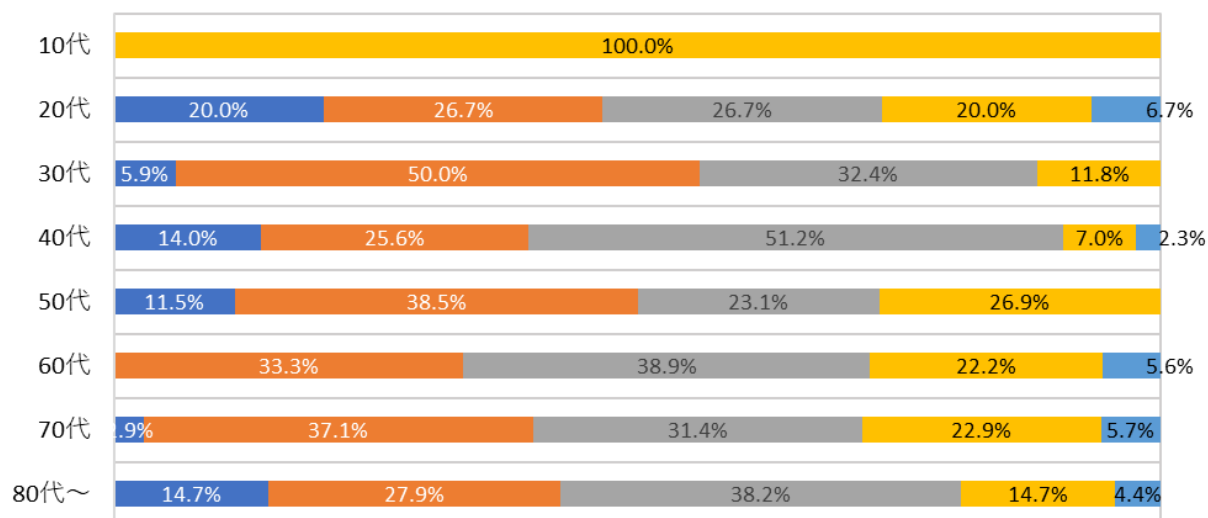
○肯定的回答は43.6%であり、前回調査(44.0%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は3.4♡となっています。

※「わからない」の回答数は116件(全体の約44.2%)となっています。

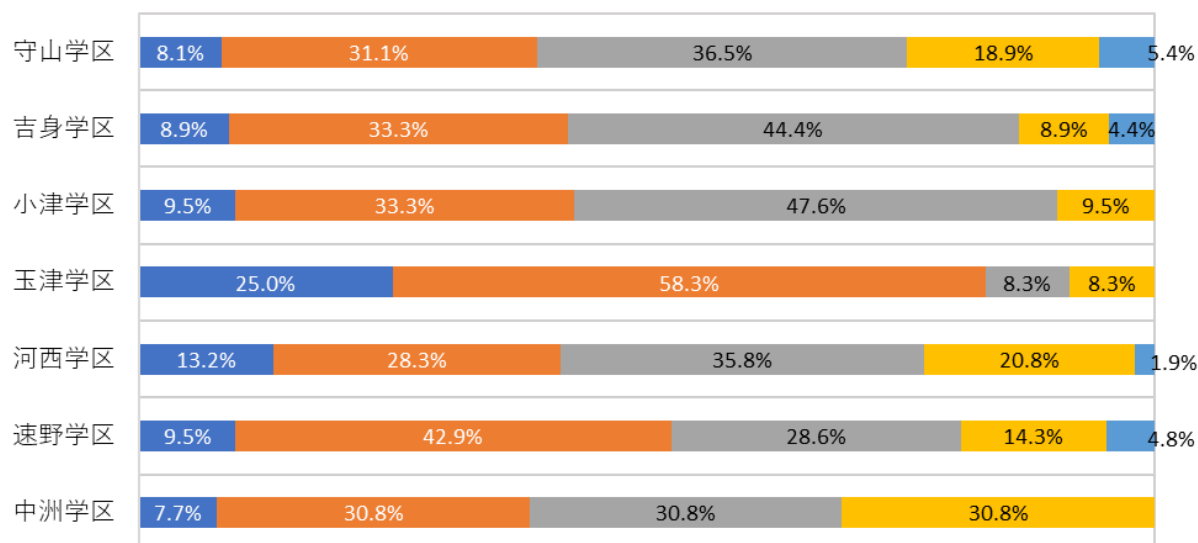
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

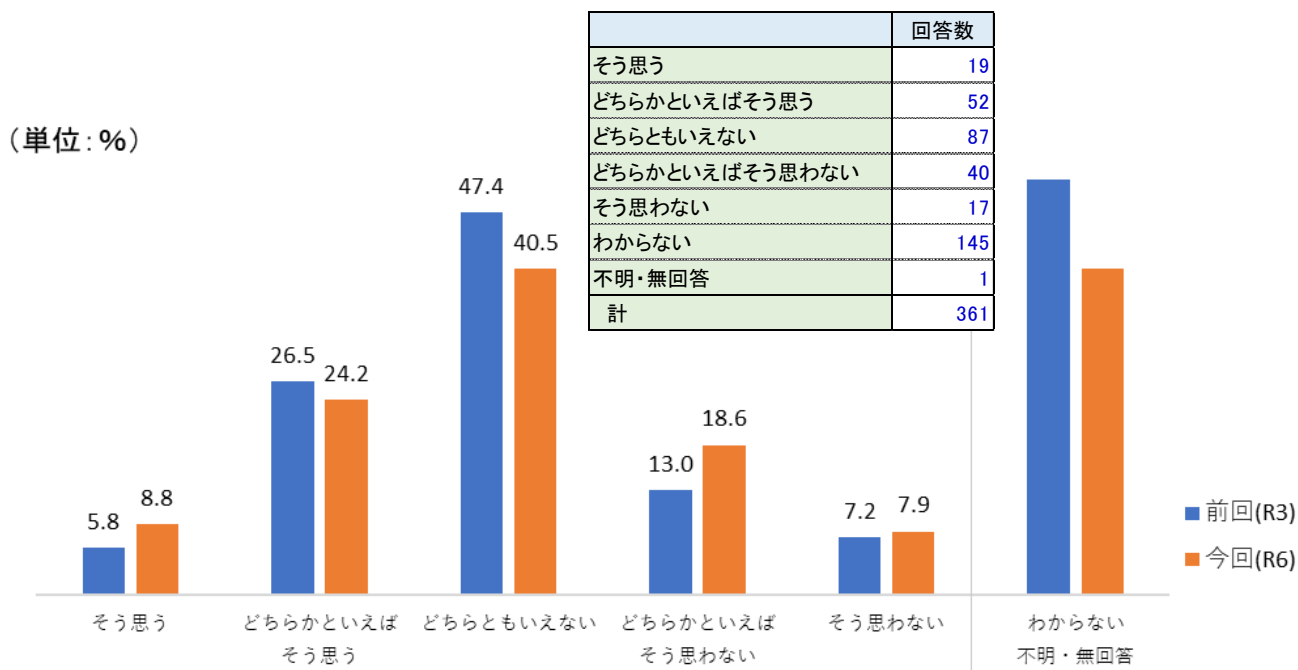


年齢別を見ると、「30代」の肯定的回答が55.9%と最も高く、次いで「50代」が50.0%となっています。

学区別では、「玉津学区」の肯定的回答が83.3%と突出しており、2番目に高い「速野学区」の52.4%と比べても30%以上高い結果となりました。その他の学区は、40%前後となっています。

② 障害者福祉の充実

問7(2) 守山市は、障害者(児)に関する情報やサービスの提供が充実しているまちだと思いますか。



○「どちらともいえない」が 40.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.2%となっています。

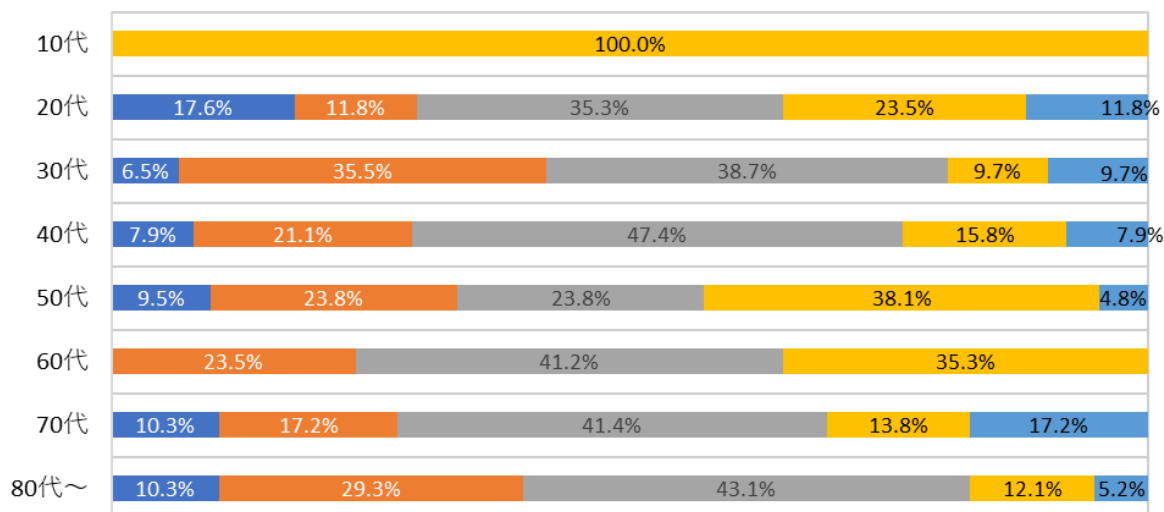
○肯定的回答は 33.0%であり、前回調査(32.3%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は 3.1♡となっています。

※「わからない」の回答数は 145 件(全体の 40.2%)となっています。

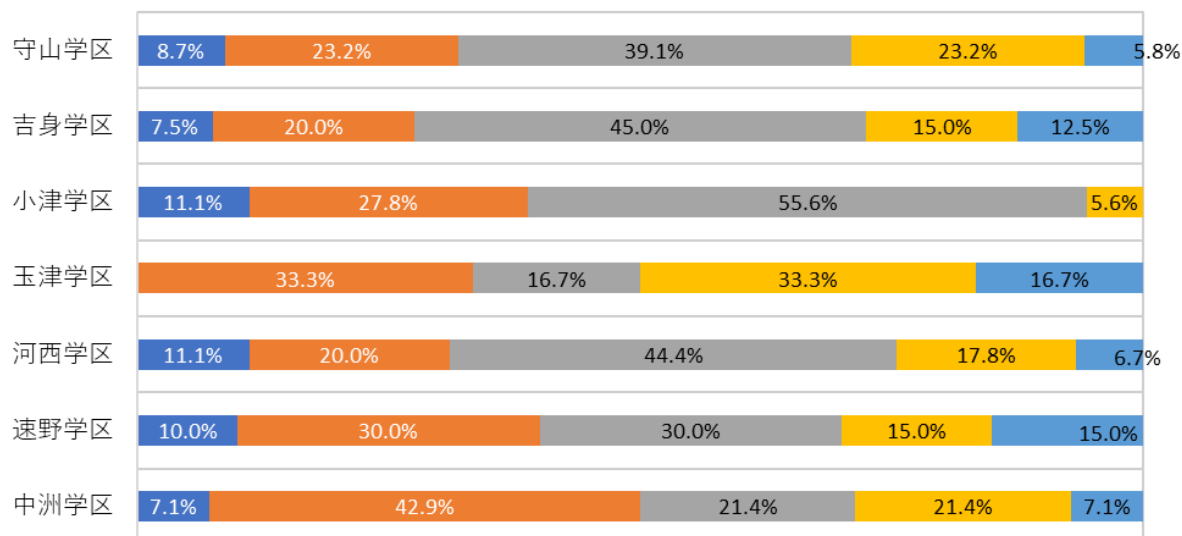
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

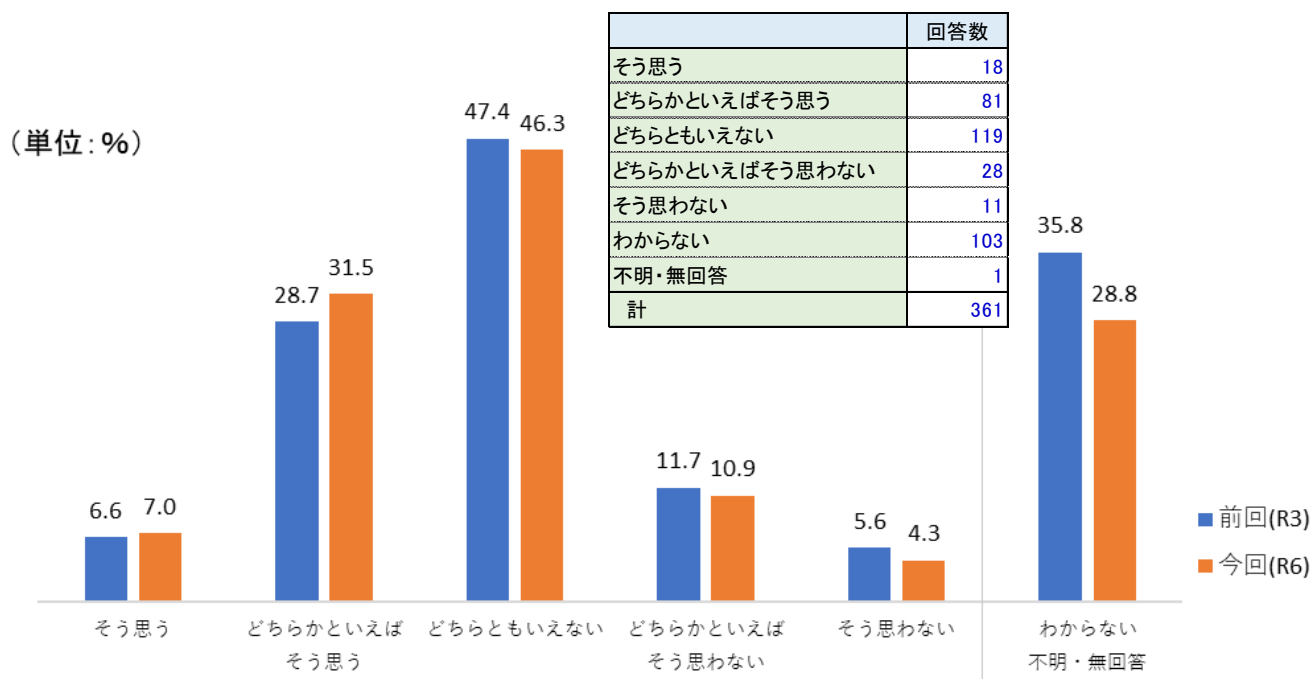


年齢別を見ると、「30代」の肯定的回答が42.0%と最も高く、次いで「80代～」が39.6%となっています。その一方で、「50代」の否定的回答が42.9%と最も高くなっています。

学区別で見ると、前回調査では肯定的回答が最も低かった「中洲学区」が50.0%と最も高くなっています。同様に前回調査で最も肯定的回答が高かった「玉津学区」では、否定的回答が50.0%と最も高くなりました。

③ 多文化共生の推進

問7(3) 守山市は、文化や考え方が異なる者同士でも互いを尊重できる、誰もがともに住みやすいまちだと思いますか。



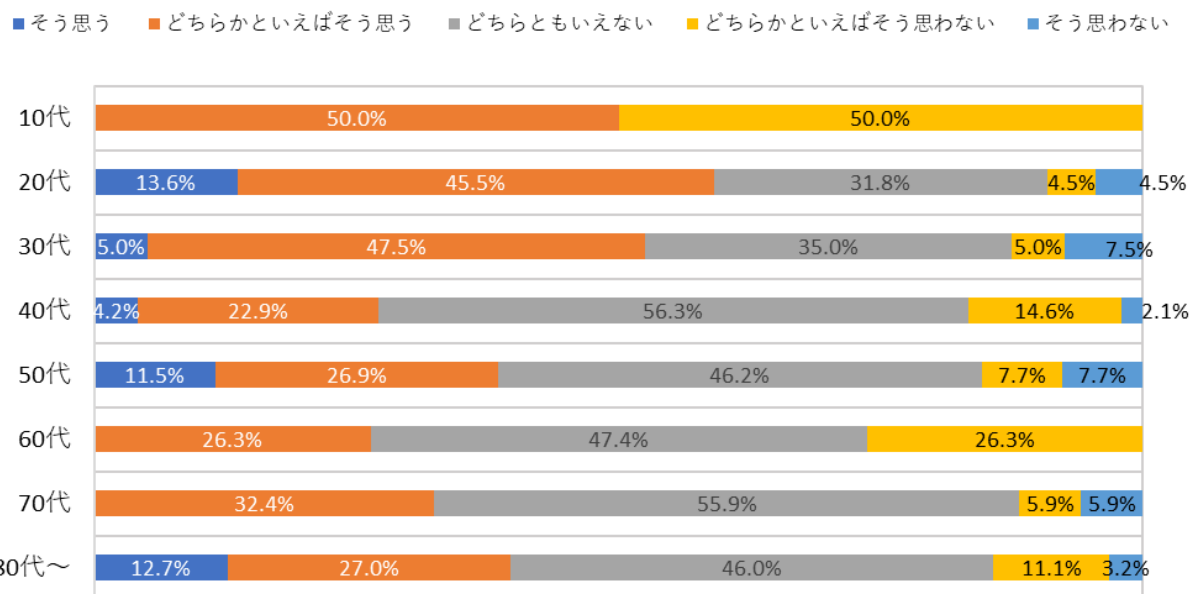
○「どちらともいえない」が46.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.5%となっています。

○肯定的回答は38.5%であり、前回調査(35.3%)より3.2%良化しました。

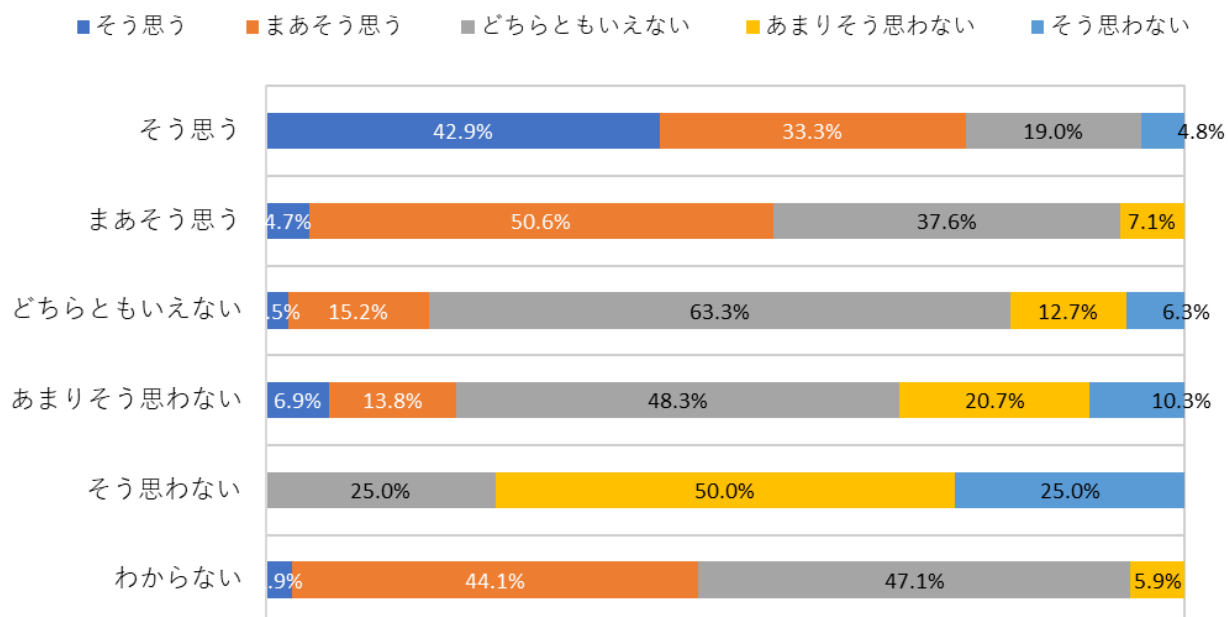
○全体の平均ハート数は3.3♡となっています。

※「わからない」の回答数は103件(全体の28.8%)となっています。

《年齢別》



《市政の反映度別》



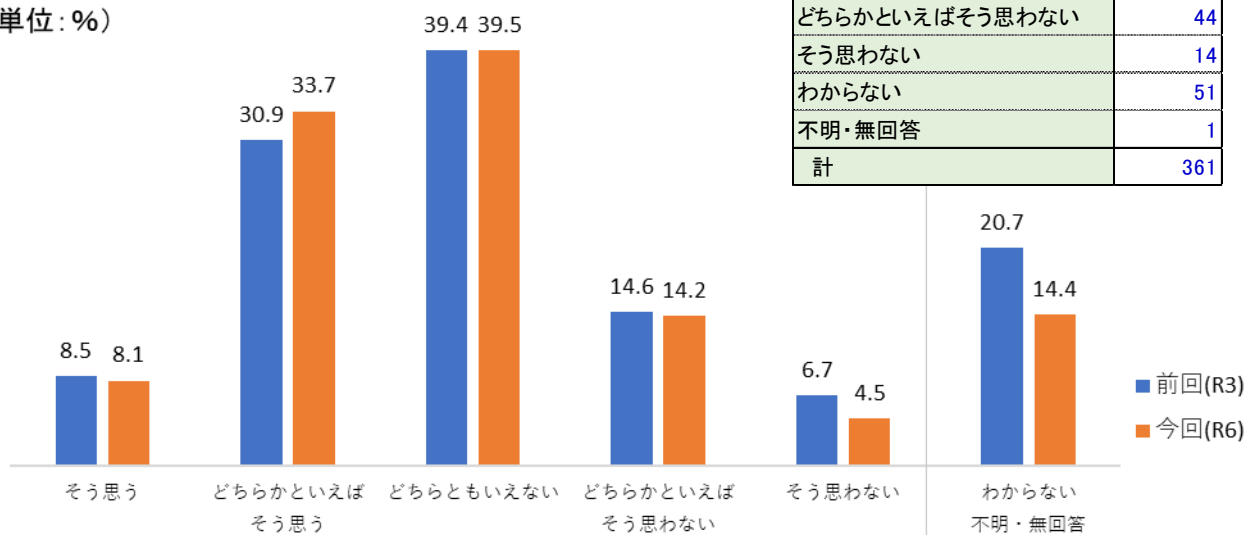
年齢別を見ると、「20代」の肯定的回答が59.1%と最も高く、次いで「30代」が52.5%となっています。30代以下の若年層の方が、多文化共生社会への理解が高い結果となりました。

市政の反映度別では、「守山市政は、住民の意思が活かされているか」の問いで、「そう思う（活かされていると思う）」と回答した方の肯定的回答が76.2%と最も高くなっています。その一方で、「そう思わない（活かされていないと思う）」と回答した方の否定的回答が75.0%と最も高くなっています。

④ 地域福祉の推進

問7(4) 守山市は、地域、近所で困った人がいれば互いに助け合いができるまちだと思いますか。

(単位: %)



	回答数
そう思う	25
どちらかといえばそう思う	104
どちらともいえない	122
どちらかといえばそう思わない	44
そう思わない	14
わからない	51
不明・無回答	1
計	361

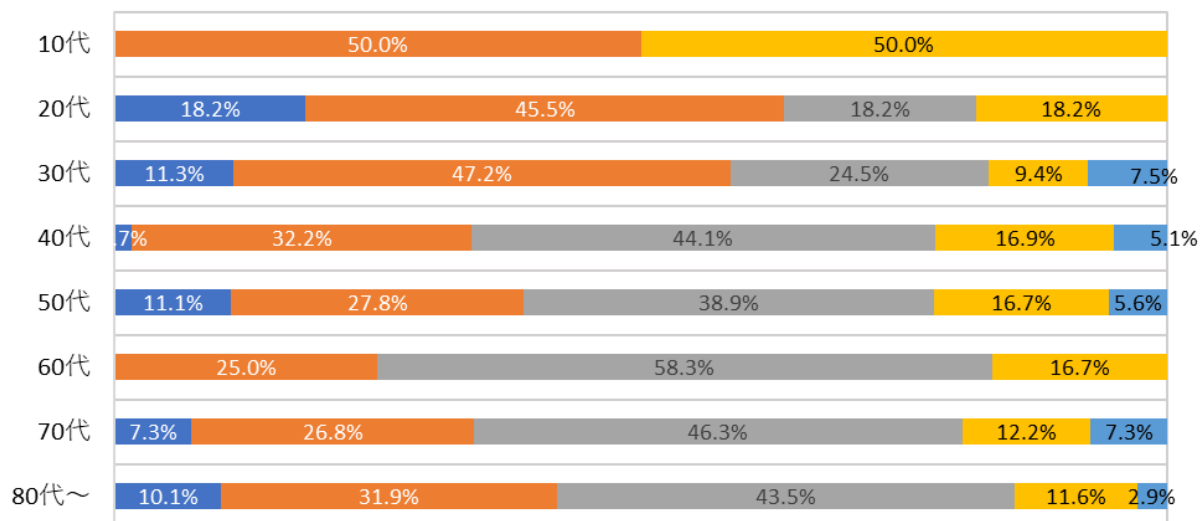
○「どちらともいえない」が 39.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.7%となっています。

○肯定的回答は 41.8 であり、前回調査(39.4%)より 2.4%良化しました。

○全体の平均ハート数は 3.3♡となっています。

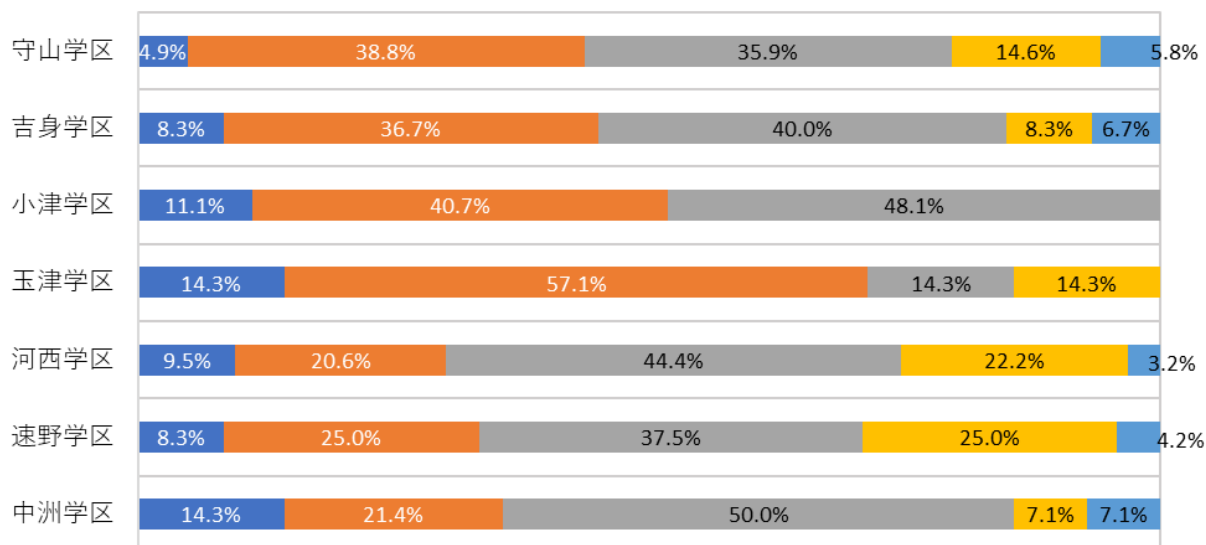
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



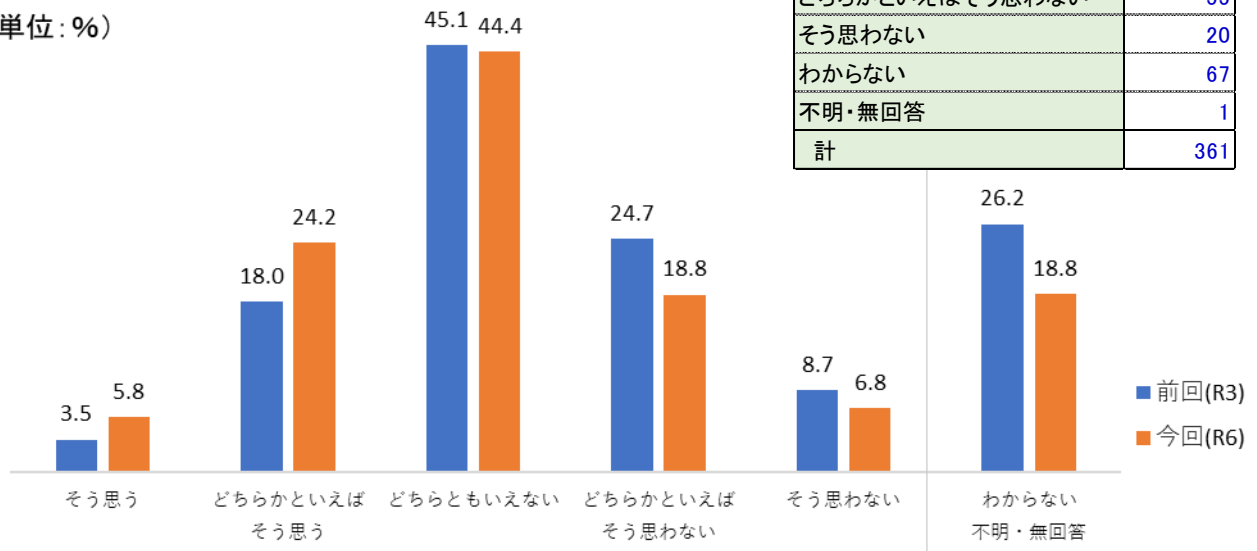
年齢別を見ると、「20代」の肯定的回答が63.7%と最も高く、次いで「30代」が58.5%となっています。30代以下の若年層の方が、地域福祉の推進に協力的であるとの結果となりました。

学区別では、「玉津学区」の肯定的回答が71.4%と最も高くなった一方で、「河西学区」が30.1%と最も低くなっています。

⑤ まちのバリアフリー

問7(5) 守山市は、まちなかのバリアフリーが充実しているまちだと思いますか。

(単位: %)



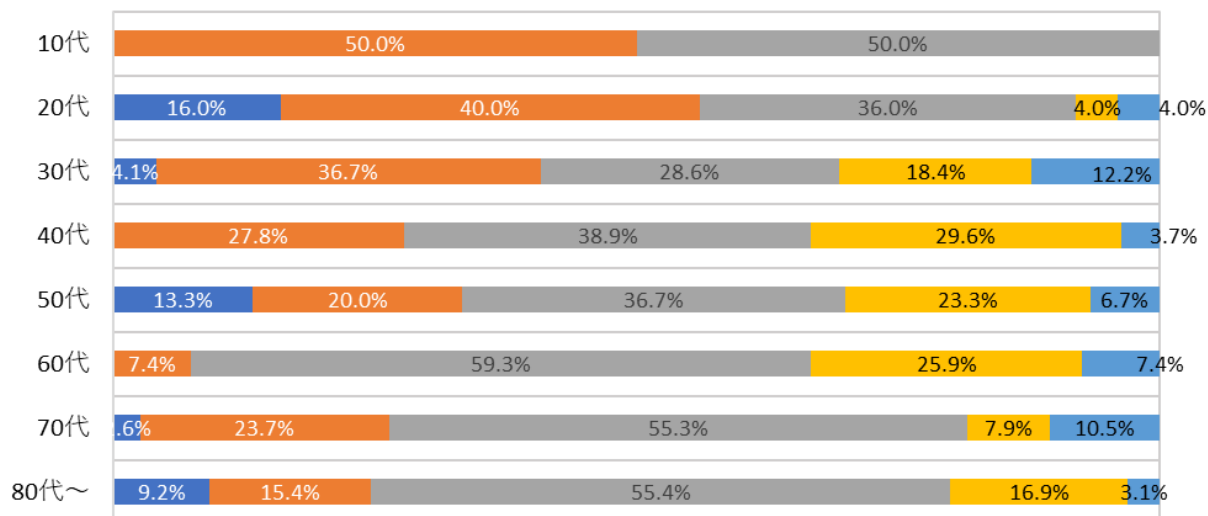
○「どちらともいえない」が44.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.2%となっています。

○肯定的回答は30%であり、前回調査(21.5%)より8.5%と大幅に良化しました。

○全体の平均ハート数は3.1♡となっています。

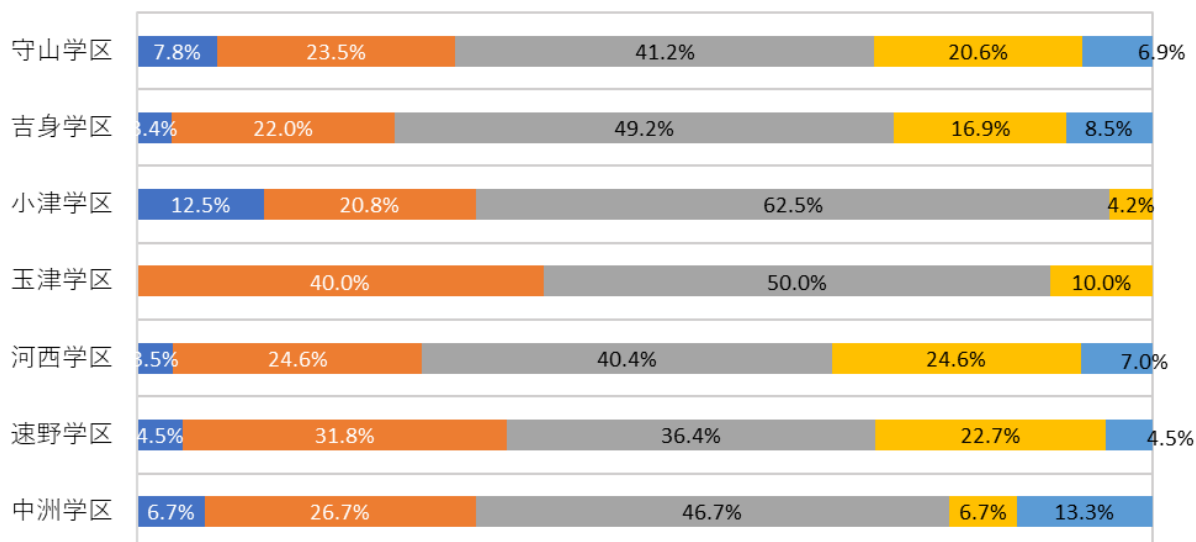
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



年齢別を見ると、「20代」が56.0%と肯定的回答が最も高くなっています。「40代」「60代」については、肯定的回答が否定的回答より低くなっています。

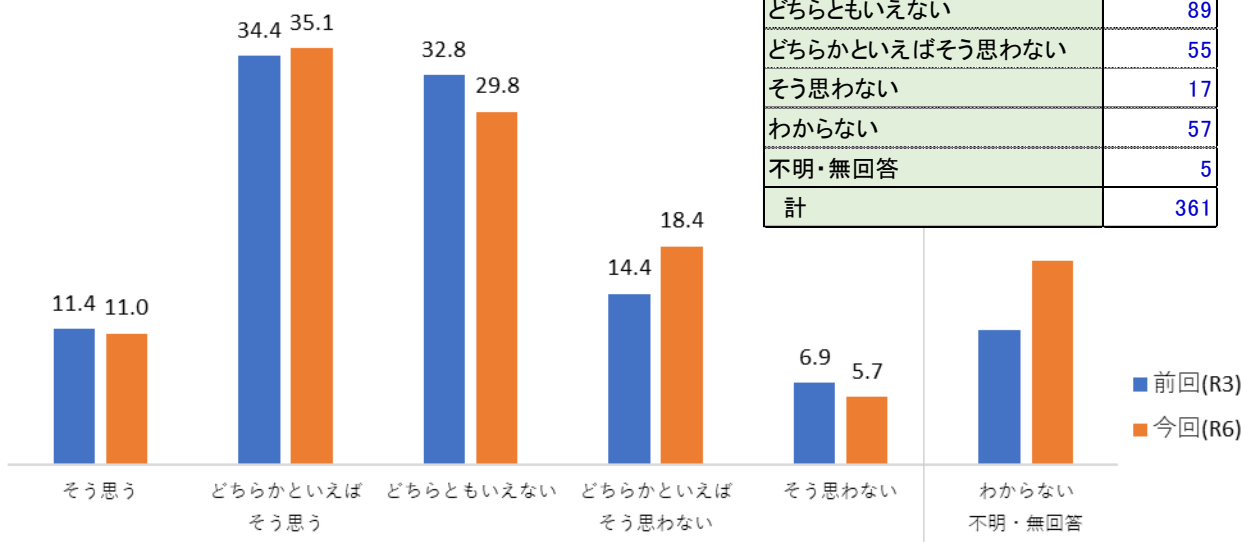
学区別では、前回調査では全ての学区において肯定的回答が否定的回答より低くなっていますが、今回調査では「河西学区」のみとなりました。ただし、いずれの学区においても肯定的回答が低く、否定的回答が高い傾向は引き続き見られます。

(6)暮らしと働きについて

① ワークライフバランス

問8(1) あなたは、仕事と生活のバランスが取れていると思いますか。

(単位: %)



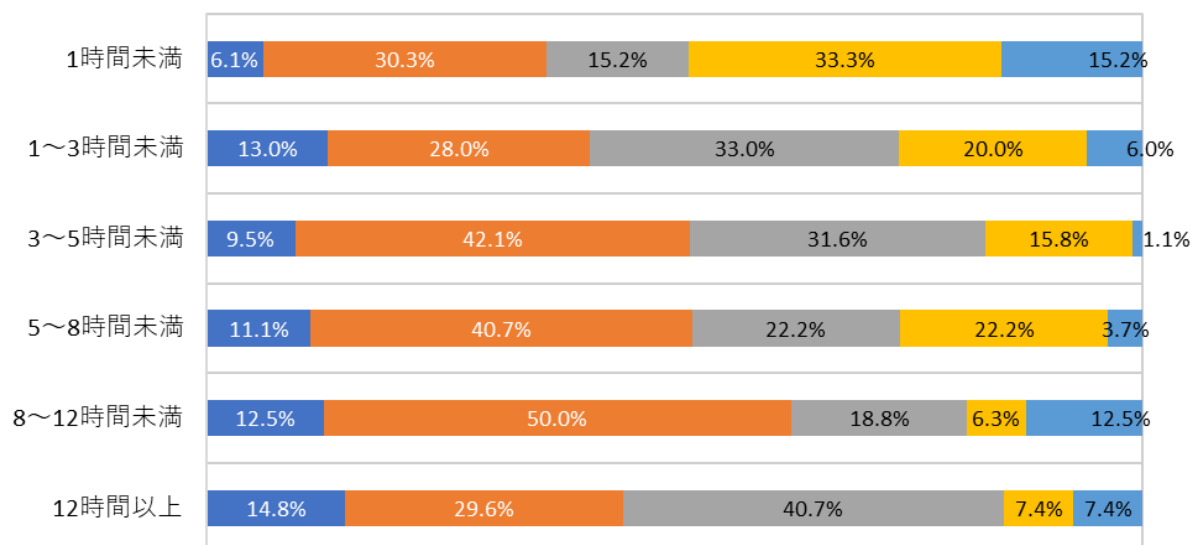
○「どちらかといえばそう思う」が 35.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 29.8%となっています。

○肯定的回答は 46.1%であり、前回調査(45.8%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は 3.3♡となっています。

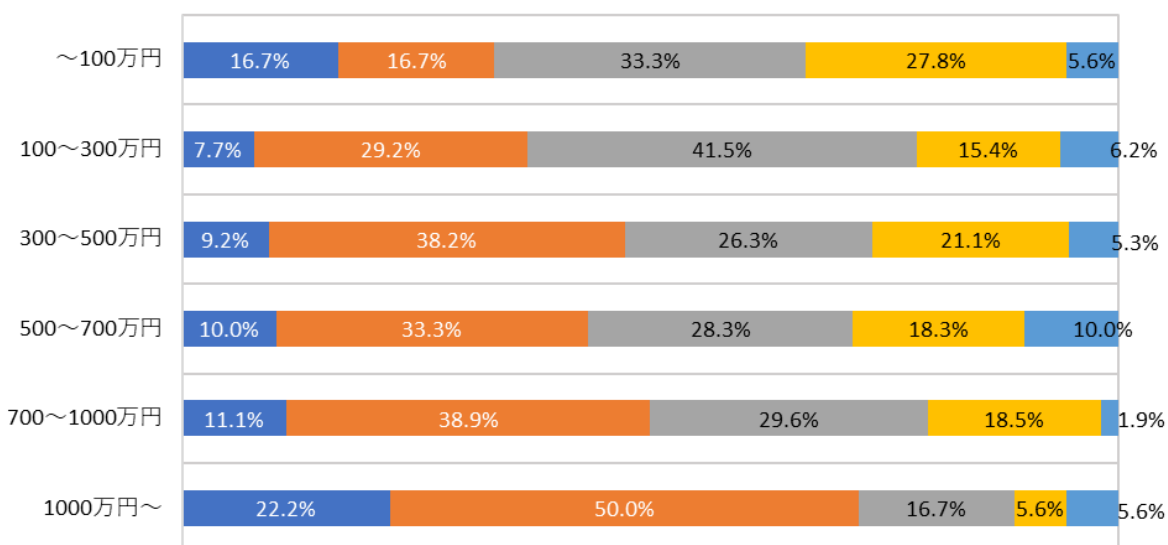
《自由時間別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



《世帯年収別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



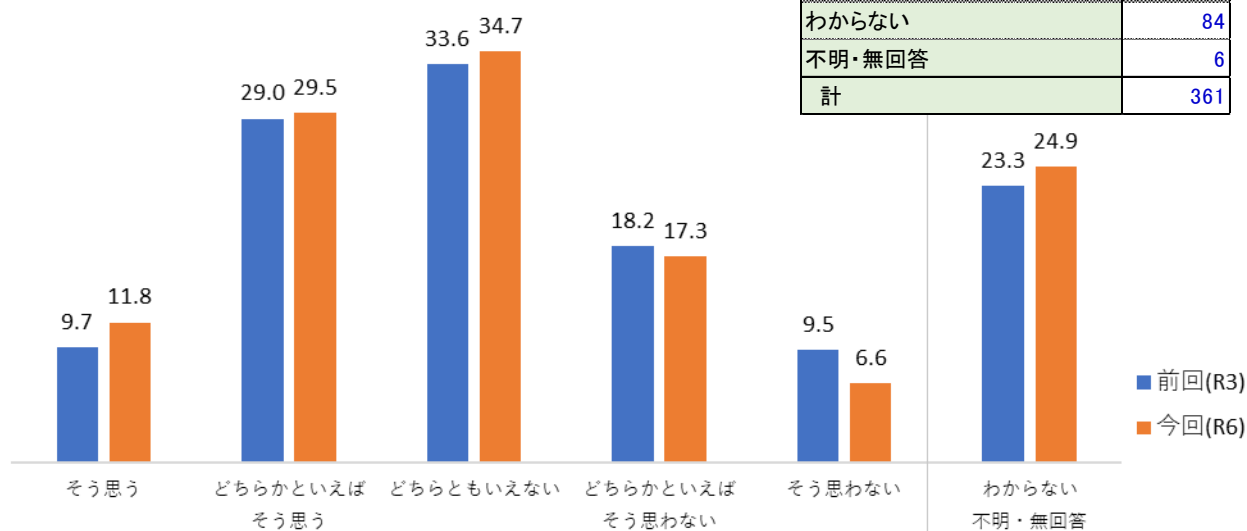
自由時間別で見ると、「1 時間未満」から「8～12 時間未満」までは、右肩上がりで肯定的回答が高くなっていく傾向が見られます。なお、「12 時間以上」は 44.4%となりました。

世帯年収別についても、世帯年収が多いほど肯定的回答が高くなる傾向が見られます。

② 雇用環境の充実

問8(2) 守山市は、通勤圏内に働く場所がある、もしくは仕事を見つけやすく、仕事に就きやすいまちだと思いますか。

(単位: %)



	回答数
そう思う	32
どちらかといえばそう思う	80
どちらともいえない	94
どちらかといえばそう思わない	47
そう思わない	18
わからない	84
不明・無回答	6
計	361

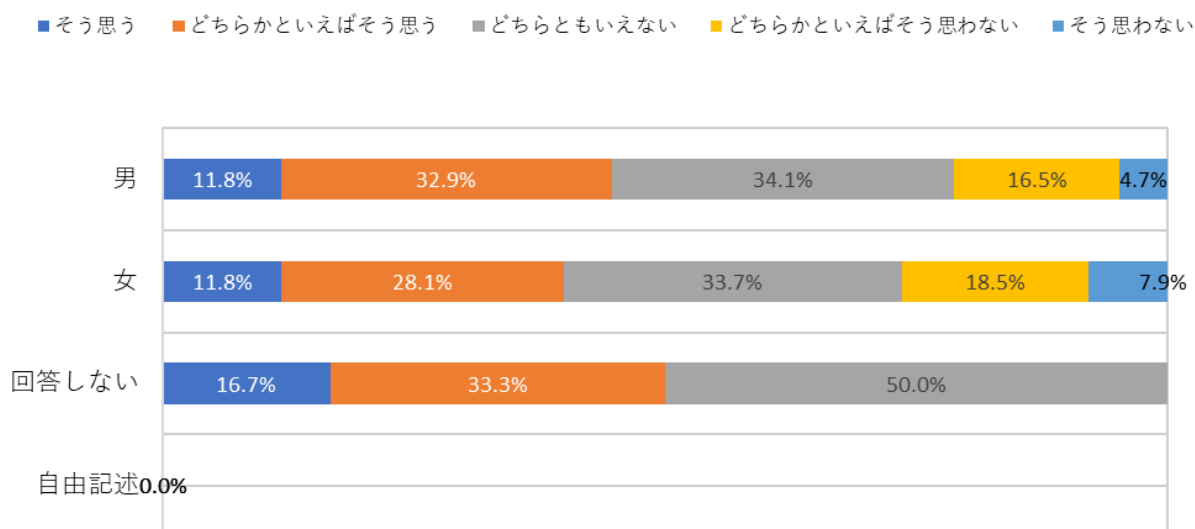
○「どちらともいえない」が 34.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 29.5%となっています。

○肯定的回答は 41.3%であり、前回調査(38.7%)より 2.6%良化しました。

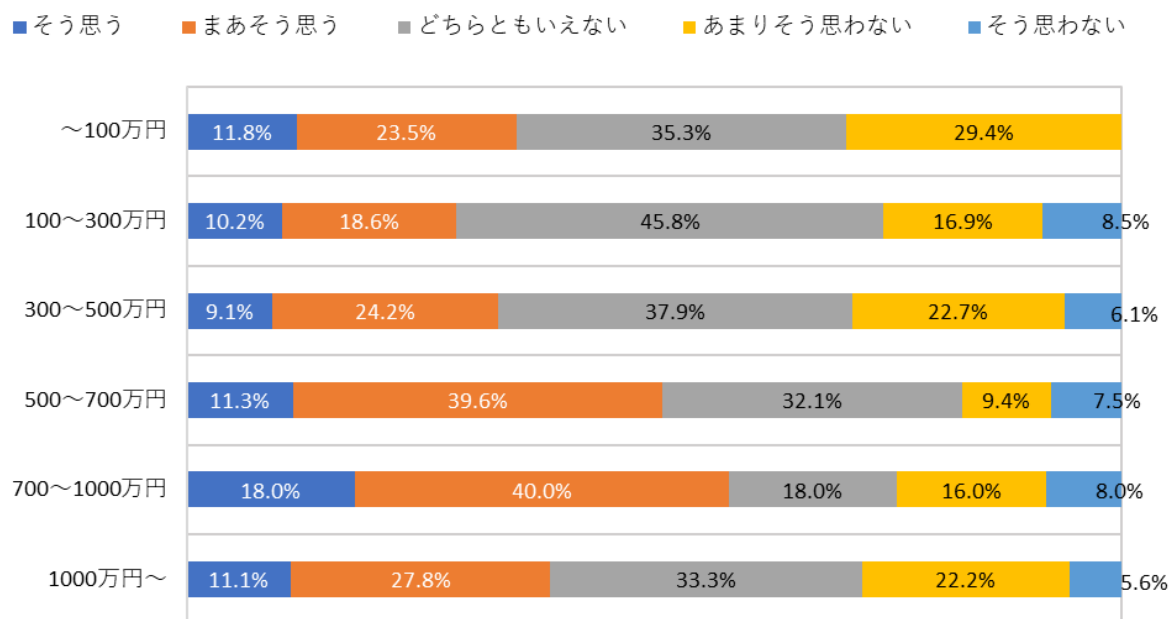
○全体の平均ハート数は 3.3♡となっています。

※「わからない」の回答数は 84 件(全体の 24.9%)となっています。

《性別》



《世帯年収別》



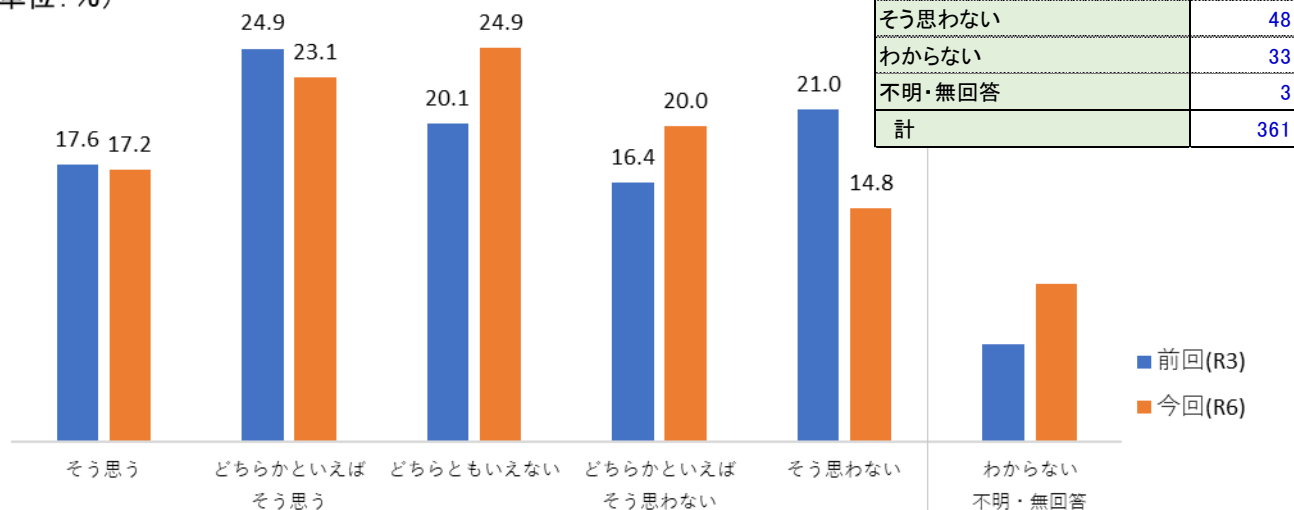
性別を見ると、「男性」の肯定的回答が44.7%と「女性」よりも4.8%高くなりました。前回調査に比べると男女間の差は小さくなりました。

世帯年収別を見ると、「700～1000万円」の肯定的回答が58.0%と最も高く、「100～300万円」が28.8%と最も低くなりました。

③ 移動環境の快適さ

問8(3) あなたは、徒歩や自転車、バスや「モーリーカー」などの公共交通による移動で、生活することは可能ですか。

(単位: %)



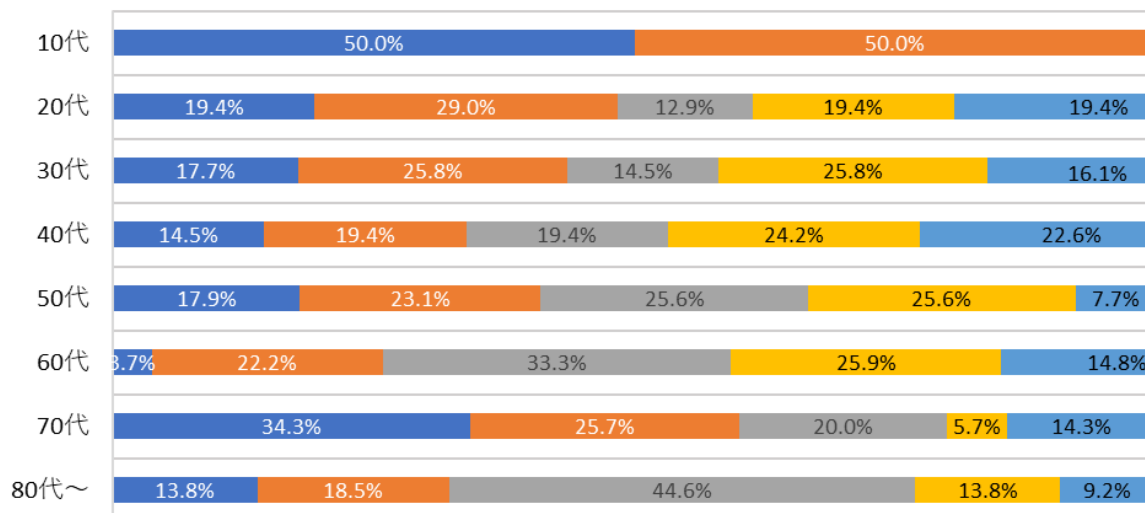
○「どちらともいえない」が 24.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 23.1%となっています。

○肯定的回答の 40.3%に対して、否定的回答は 34.8%となり、その差は 5.5%です。

○全体の平均ハート数は 3.1♡となっています。

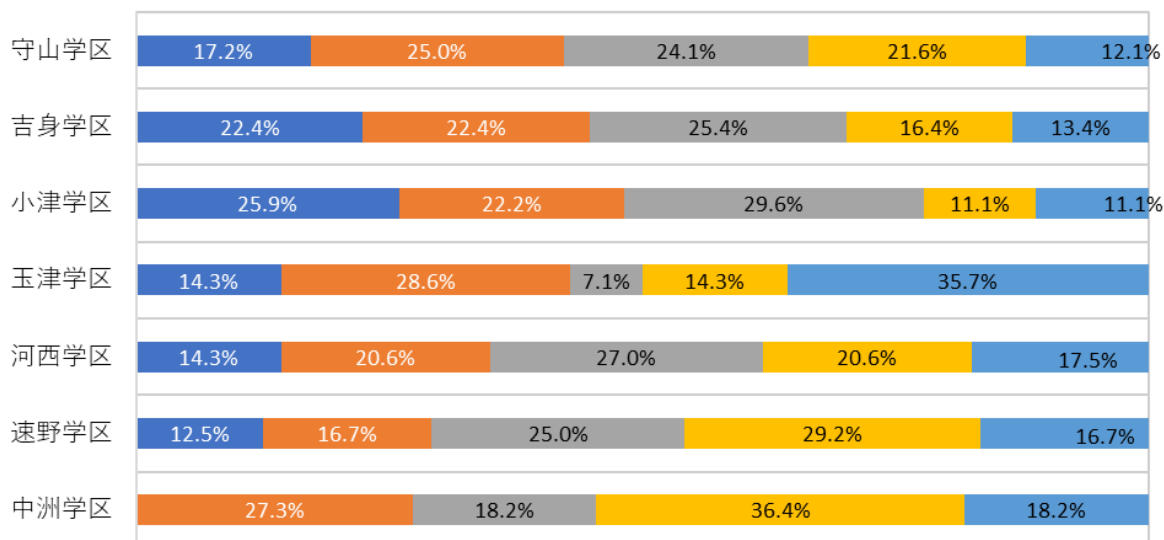
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



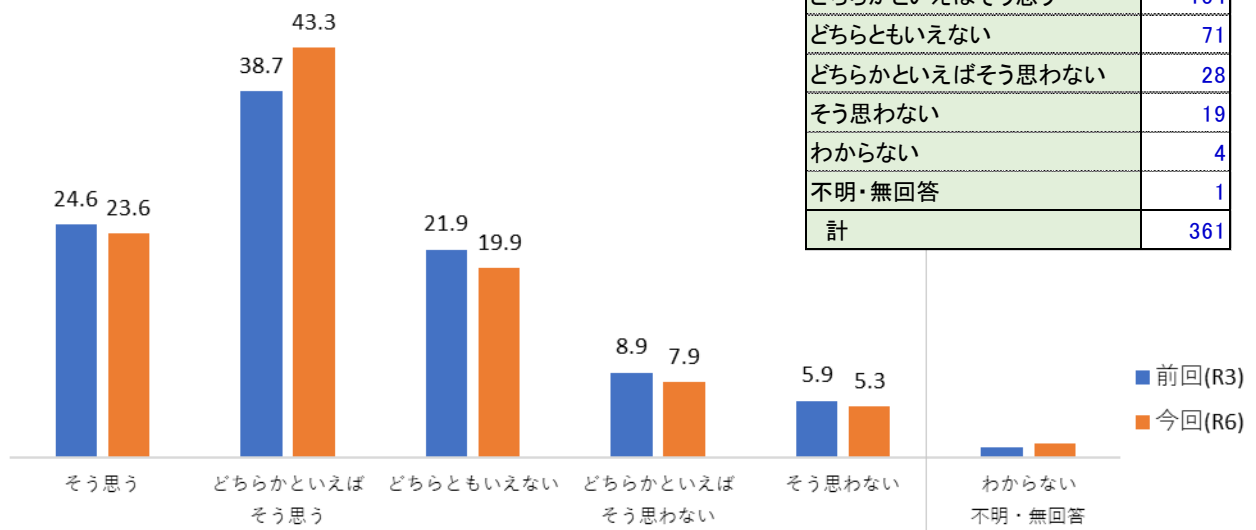
年齢別を見ると、「20代」から「40代」までを中心に否定的回答の割合が高くなっています。回答数が2件の「10代」を除くと、「70代」の肯定的回答が60%と最も高くなっています。

学区別では、「小津学区」の肯定的回答が48.1%と最も高く、次いで「吉身学区」が44.8%となっています。市北部の「速野学区」「中洲学区」は肯定的回答が低く、否定的回答が高い傾向が顕著となっています。

④ 買い物の利便性

問8(4) 守山市は、日常の買い物をするのに便利なまちだと思いますか。

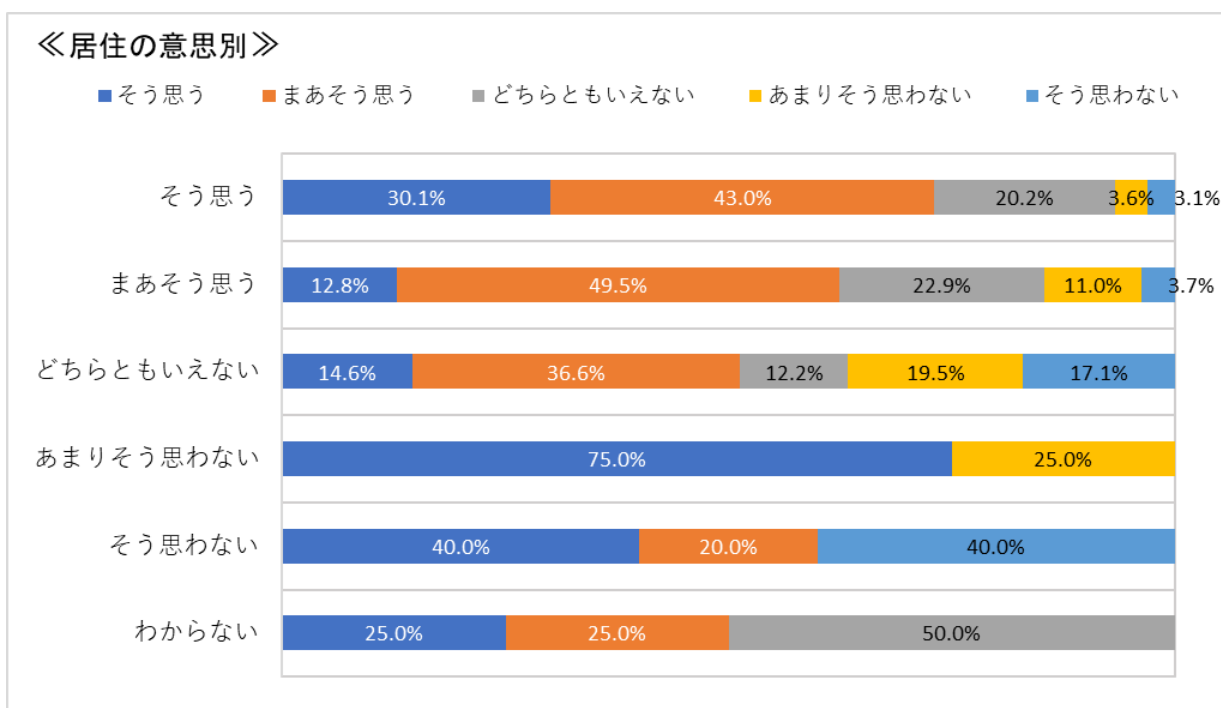
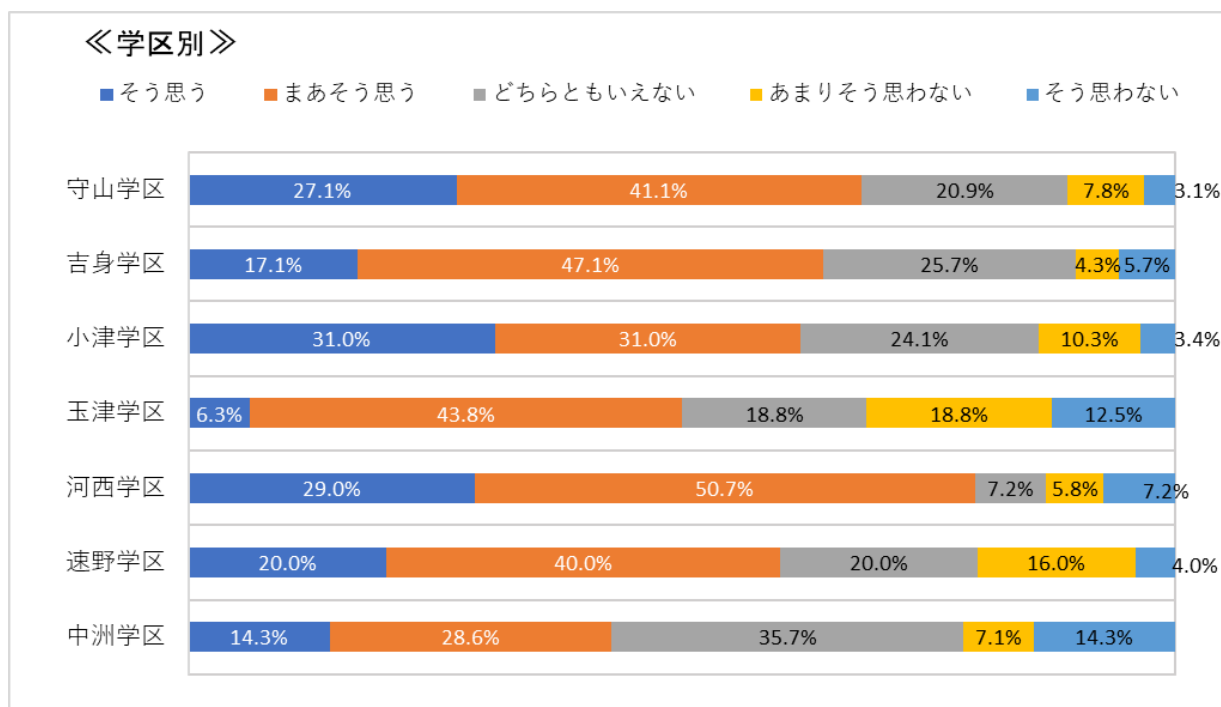
(単位: %)



○「どちらかといえばそう思う」が43.3%と最も高く、次いで「そう思う」が23.6%となっています。

○肯定的回答は66.9%であり、前回調査(63.3%)よりも3.6%良化しました。

○全体の平均ハート数は3.8♡となっています。



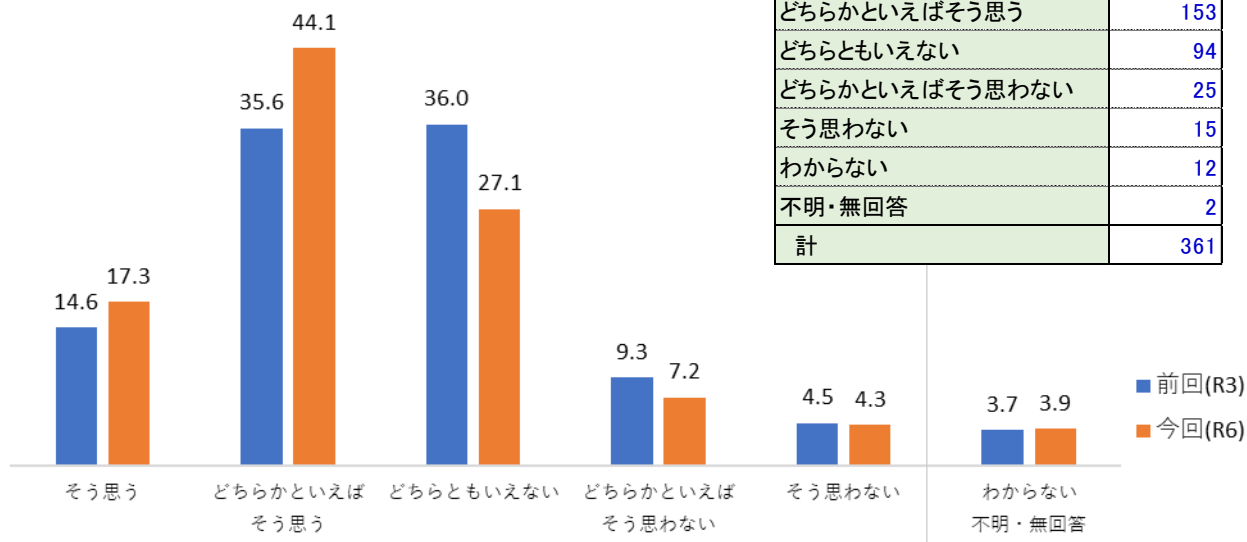
学区別で見ると、「河西学区」の肯定的回答が79.7%と最も高くなっています。同学区には大型ショッピングセンターや家電量販店などが立地していることが回答に影響したものと推測されます。また、守山駅に近い「守山学区」および「吉身学区」も肯定的回答の割合が高くなっています。

居住の意思別で見ると、継続して居住したいと思わない方の40%が「そう思わない」と回答しているものの、本アンケートでは買い物の利便性と居住意思に大きな相関関係は見られませんでした。

⑤ 生活に対する満足感

問8(5) あなたは、生きがいのある充実した生活を送っていますか。

(単位: %)



	回答数
そう思う	60
どちらかといえばそう思う	153
どちらともいえない	94
どちらかといえばそう思わない	25
そう思わない	15
わからない	12
不明・無回答	2
計	361

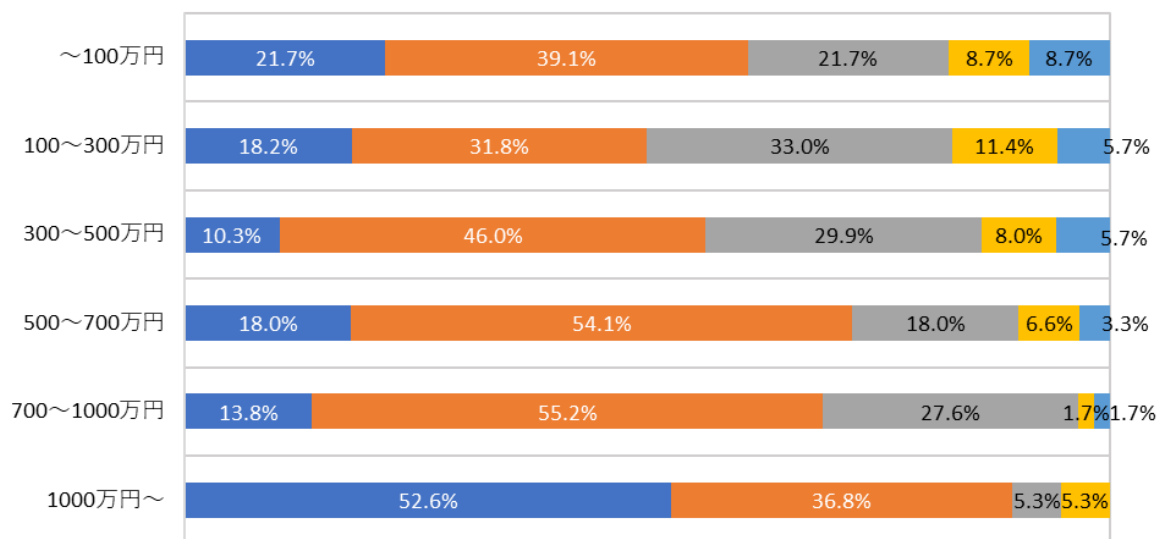
○「どちらかといえばそう思う」が44.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.1%となっています。

○肯定的回答は61.4%であり、前回調査(50.2%)より11.2%と大幅に良化しました。

○全体の平均ハート数は3.7♡となっています。

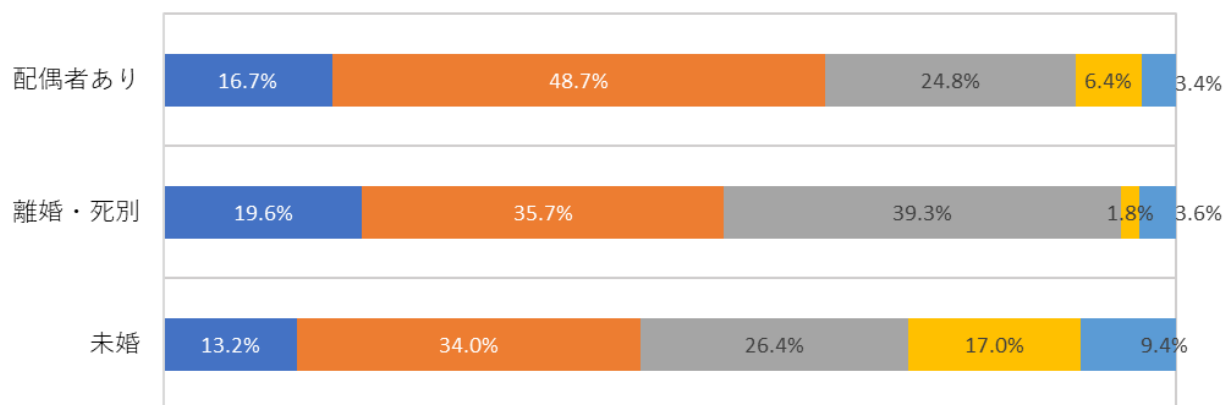
《世帯年収別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



《配偶者の有無別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



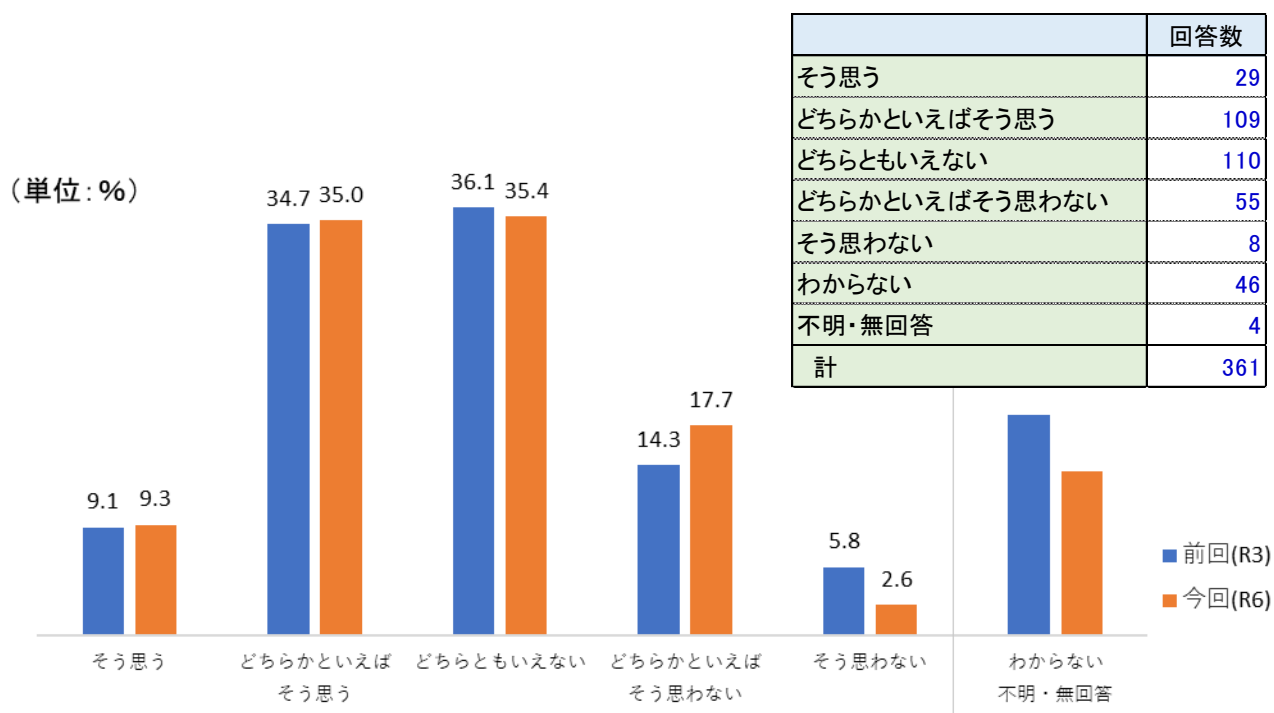
世帯年収別では、「1000 万円～」の肯定的回答が 89.4%と最も高くなっています。前回調査では 61.3%でしたが、28.1%と大幅に良化しました。また、全ての区分でも同様に前回調査より肯定的回答の割合が増加しています。

配偶者の有無別で見ると、「配偶者あり」の肯定的回答が 65.4%となった一方で、「未婚」については 47.2%となりました。配偶者の有無が生活に対する満足度に影響を与えることが分かる結果となりました。

(7)文化・スポーツについて

① 地域行事の保存参加

問9(1) 守山市は、地域の伝統文化行事(祭りなど)に参加する機会が充実しているまら
だと思いませんか。



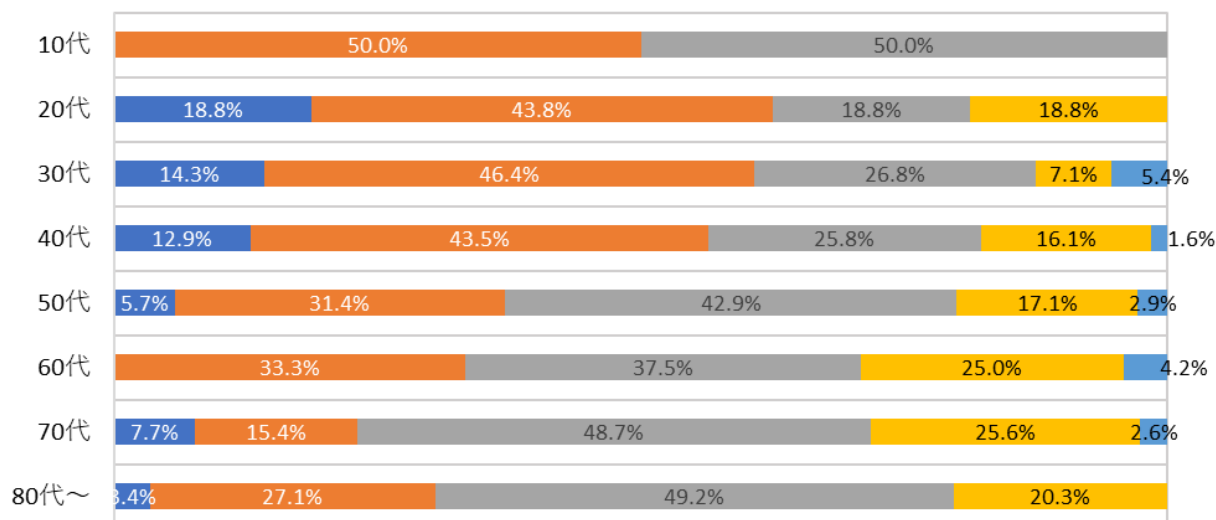
○「どちらともいえない」が35.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が35.0%となっています。

○肯定的回答は44.3%であり、前回調査(43.8%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は3.4♡となっています。

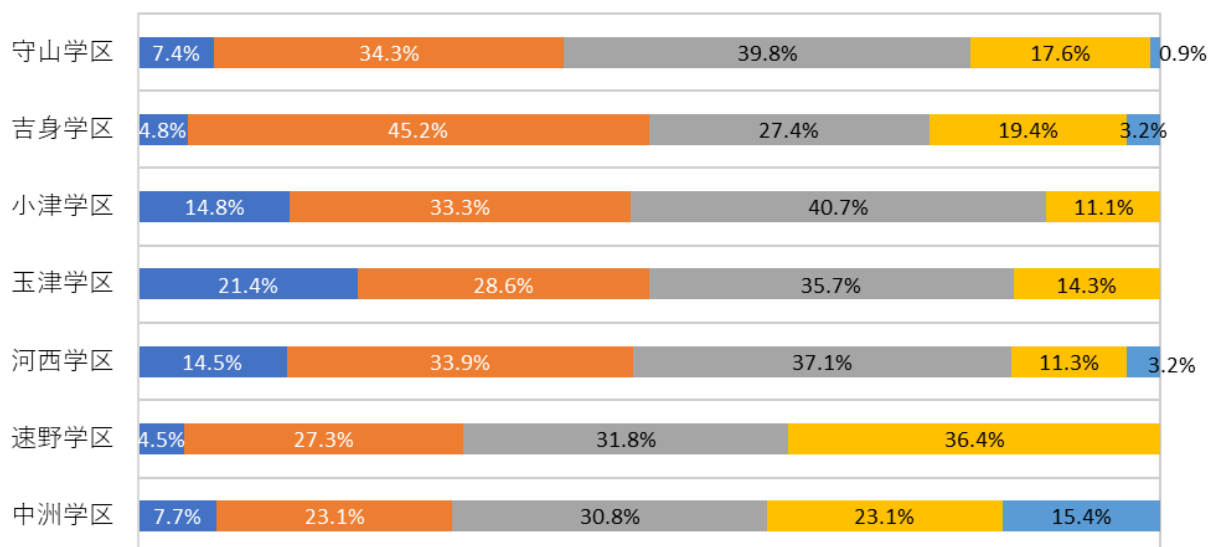
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



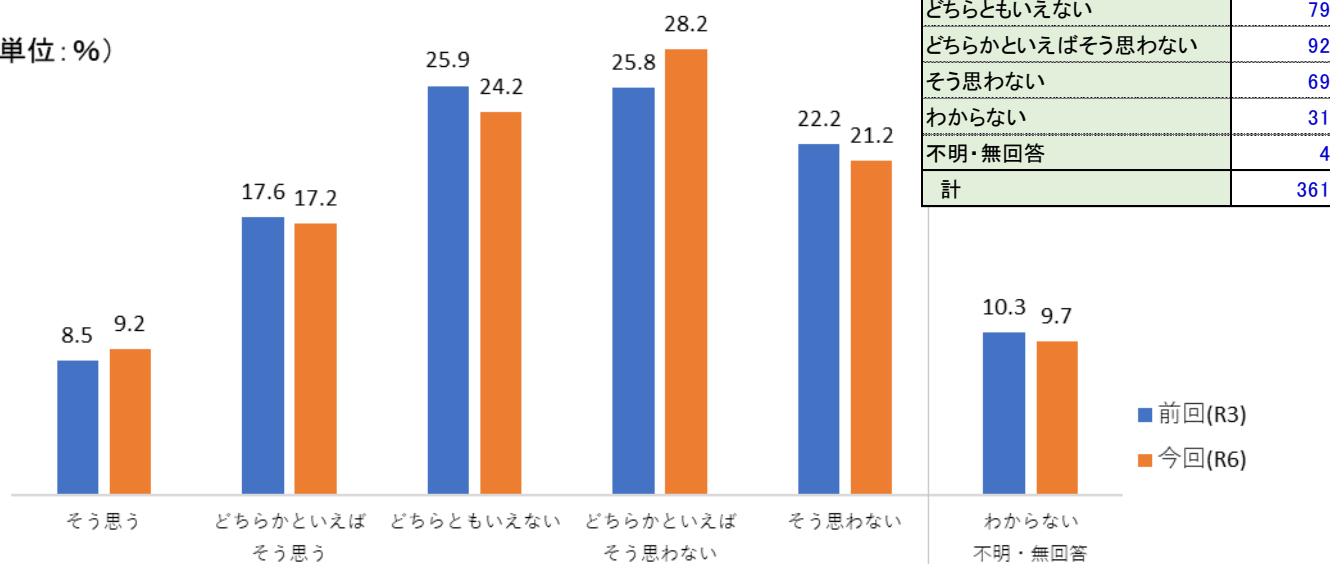
年齢別で見ると、40代以下と50代以上で肯定的回答の割合がはっきりと分かれる結果となりました。自治会活動の担い手不足の影響等で、以前に比べると地域行事が縮小傾向にあると推測できます。

学区別で見ると、「速野学区」や「中洲学区」では肯定的回答よりも否定的回答が多い結果となりました。その他の学区では、肯定的回答が概ね40～50%となっています。

② スポーツ活動の充実

問9(2) あなたは、日常的にスポーツに接する機会があると思いますか。

(単位: %)



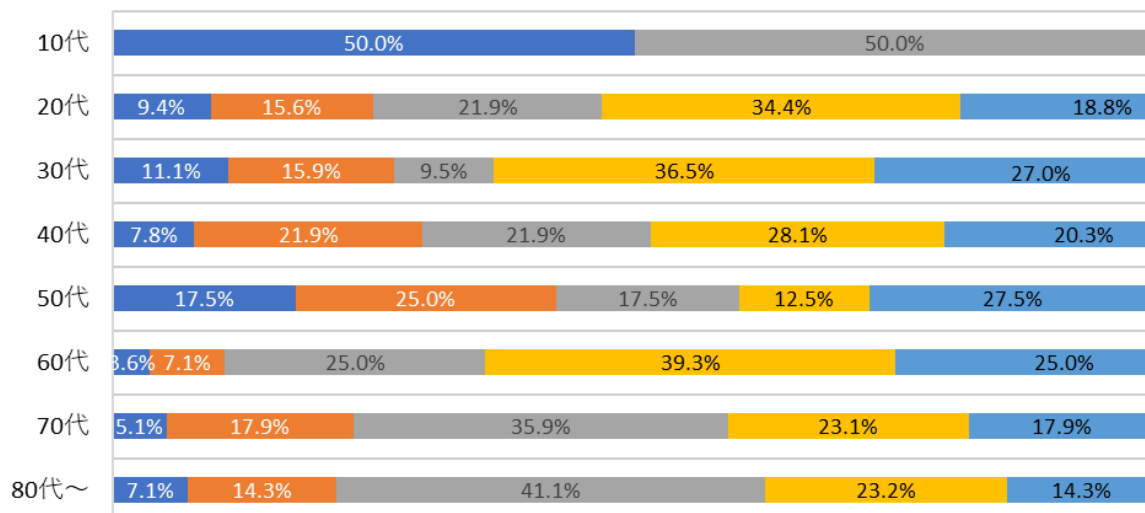
○「どちらかといえばそう思わない」が28.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.2%となっています。

○肯定的回答は26.4%であり、前回調査(26.1%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は2.7♡となっています。

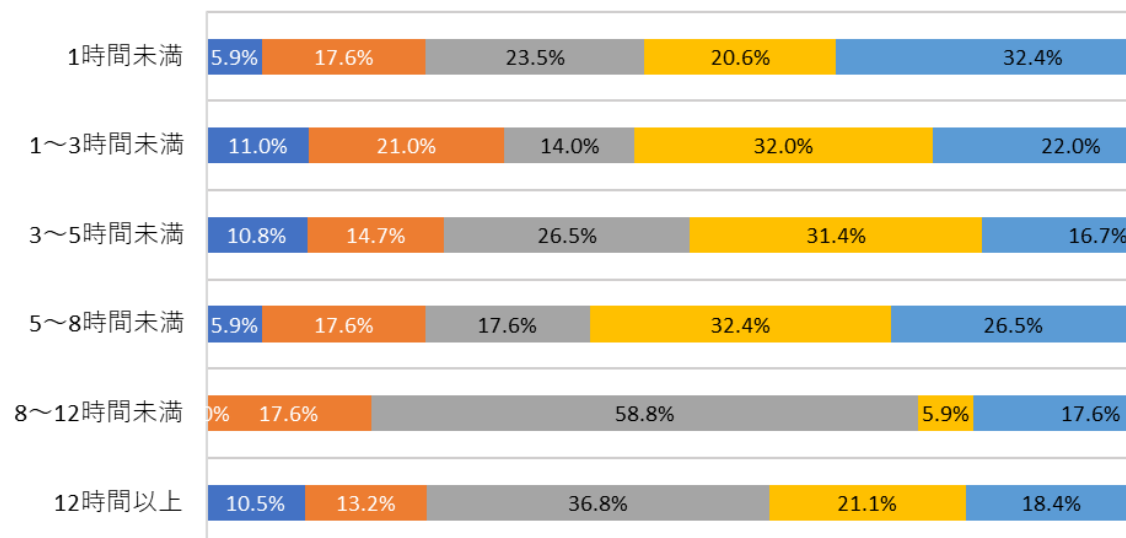
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《自由時間別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



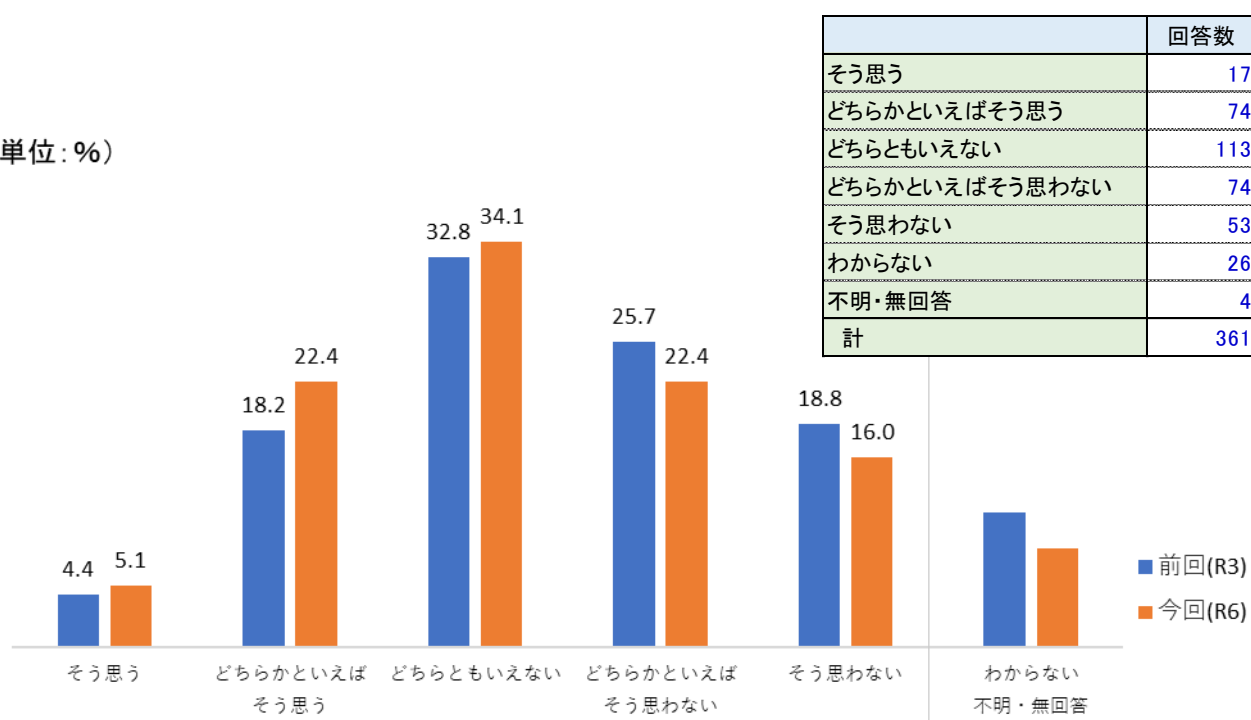
年齢別で見ると、多くの年代で肯定的回答よりも否定的回答が高くなっています。回答数が2名である「10代」を除くと、「50代」で肯定的回答が42.5%と最も高い結果となりました。

自由時間別では、「1～3時間未満」の肯定的回答が32.0%で最も高くなりましたが、このアンケートからは自由時間とスポーツ活動の相関関係は見られませんでした。

③ 芸術活動の充実

問9(3) あなたは、日常的に文化・芸術に接する機会があると思いますか。

(単位: %)



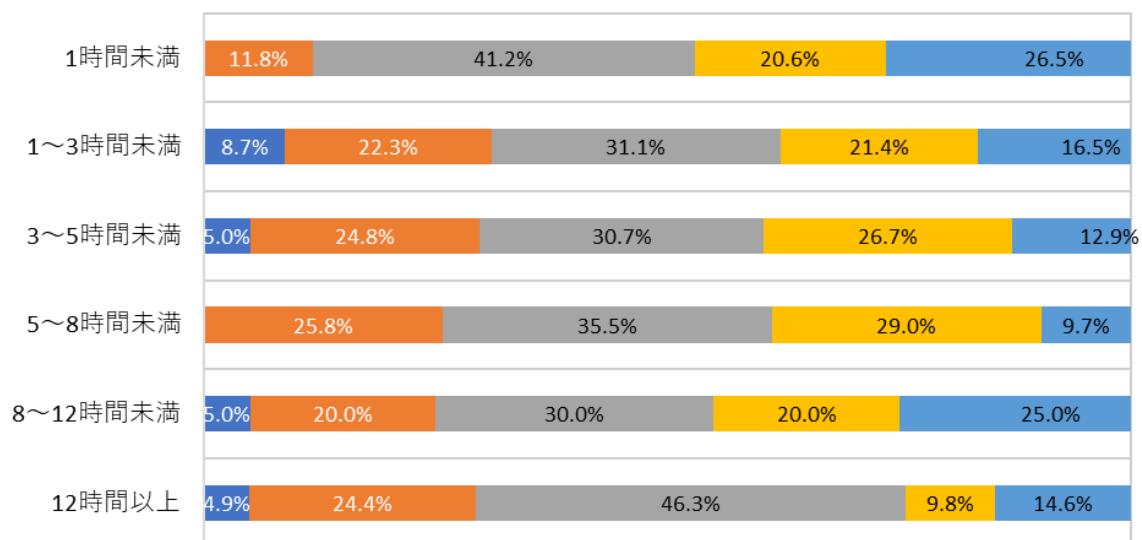
○「どちらともいえない」が 34.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」が 22.4%で同数となっています。

○肯定的回答は 27.5%であり、前回調査(22.6%)より 4.9%良化しましたが、否定的回答を大きく下回っています。

○全体の平均ハート数は 2.8♡となっています。

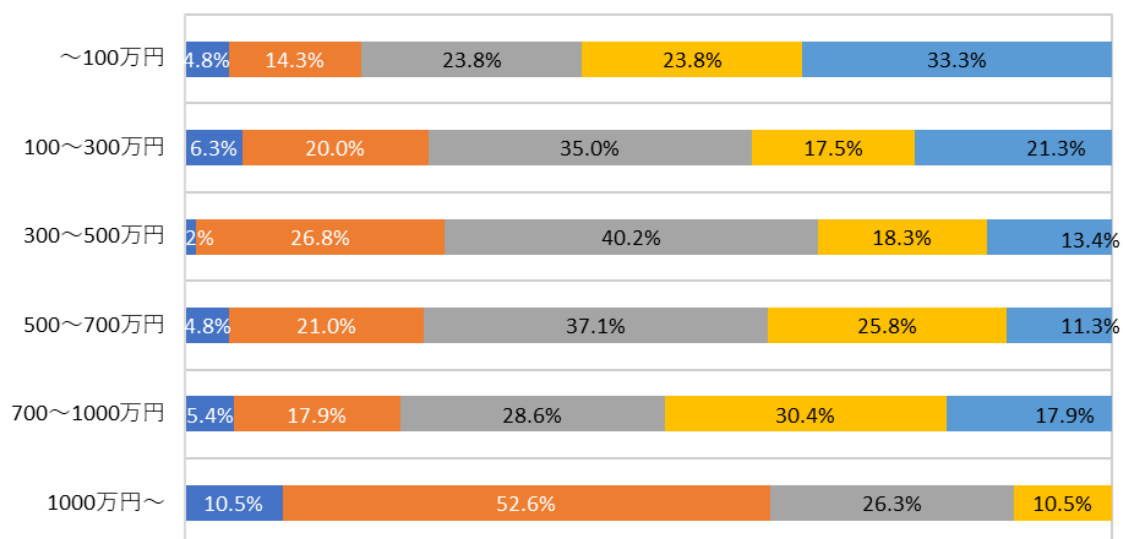
《自由時間別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



《世帯年収別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



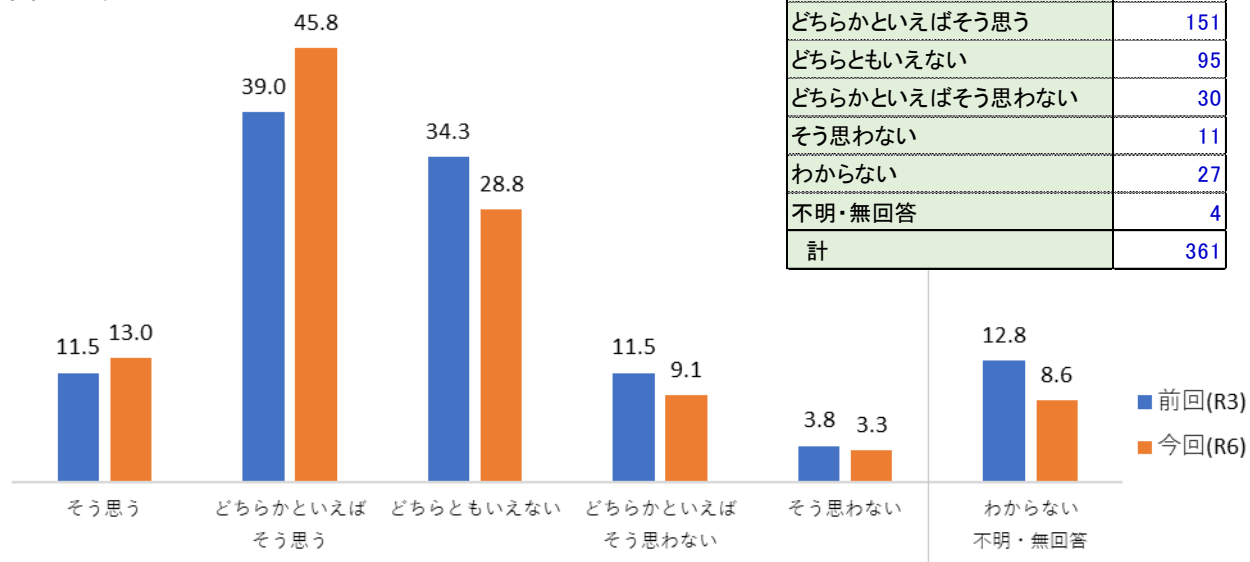
自由時間別で見ると、「1 時間未満」の肯定的回答が 11.8%と最も低くなっていますが、その他の区分では 25%前後となっており、このアンケートでは自由時間と芸術活動に相関関係は見られませんでした。

世帯年収別では、「1000 万円～」の肯定的回答が 63.1%と突出して高くなっていますが、その他の区分ではほぼ同数となっています。「1000 万円～」に限っては、経済的な余裕が芸術活動に接する機会に関連していることが見て取れます。

④ 社会教育資本の整備充実(文化)

問9(4) 守山市は、文化活動に関する施設・環境(市民ホールなど)が整備されているま
ちだと思いませんか。

(単位: %)



	回答数
そう思う	43
どちらかといえばそう思う	151
どちらともいえない	95
どちらかといえばそう思わない	30
そう思わない	11
わからない	27
不明・無回答	4
計	361

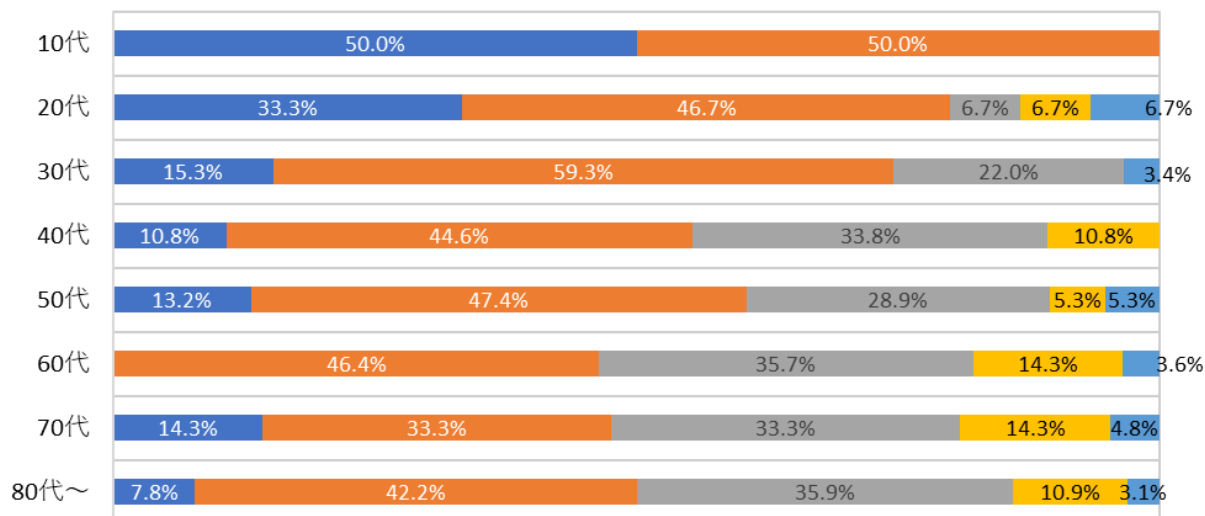
○「どちらかといえばそう思う」が45.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.8%となっています。

○肯定的回答は58.8%であり、前回調査(50.5%)より8.3%良化しました。

○全体の平均ハート数は3.6♡となっています。

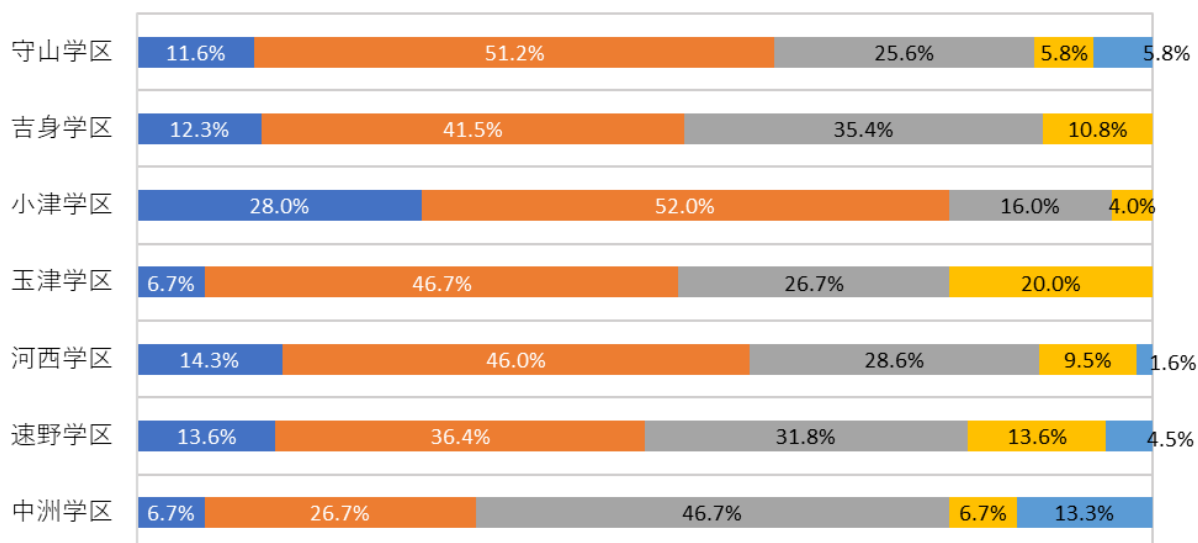
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



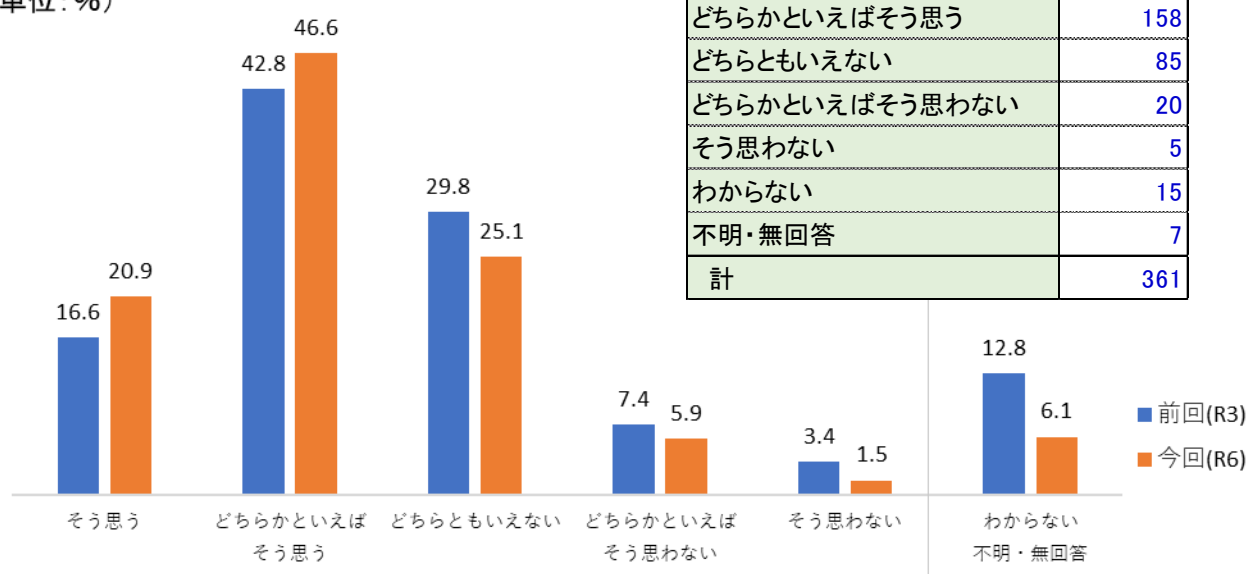
年齢別で見ると、回答数が2名である「10代」を除くと、「20代」で肯定的回答が80.0%と最も高い結果となりました。年齢が高くなるにつれて、肯定的回答が低くなる傾向が見られます。

学区別では、「小津学区」の肯定的回答が80.0%と最も高くなっている一方で、「中洲学区」が33.4%と最も低くなっています。

⑤ 社会教育資本の整備充実(生涯学習)

問9(5) 守山市は、生涯学習のための施設・環境(図書館、公民館など)が充実している
まちだと思いますか。

(単位: %)



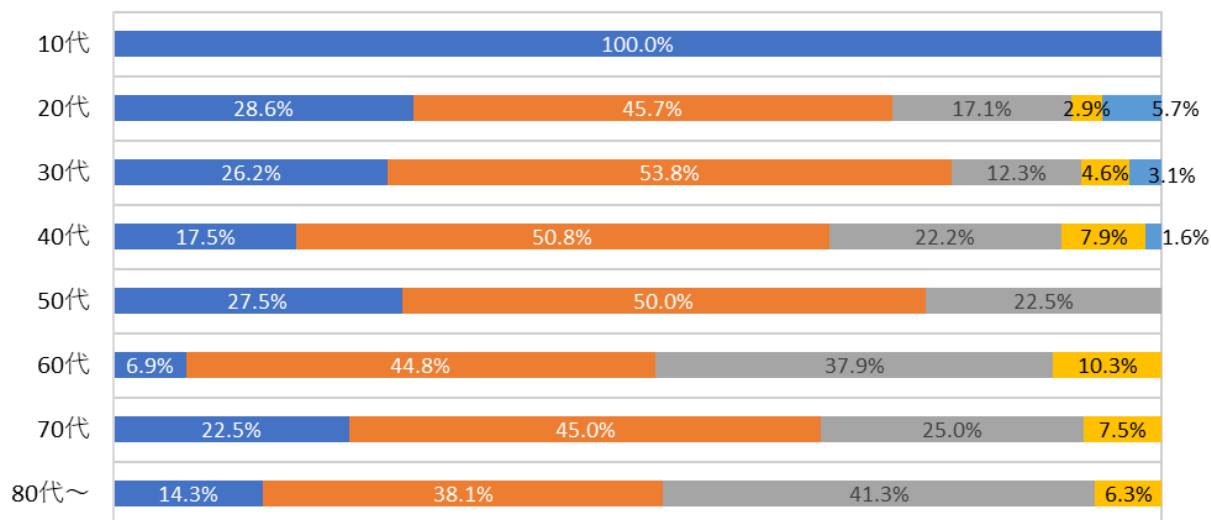
○「どちらかといえばそう思う」が46.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.1%となっています。

○肯定的回答は67.5%であり、前回調査(59.4%)より8.1%良化しました。

○全体の平均ハート数は3.8♡となっています。

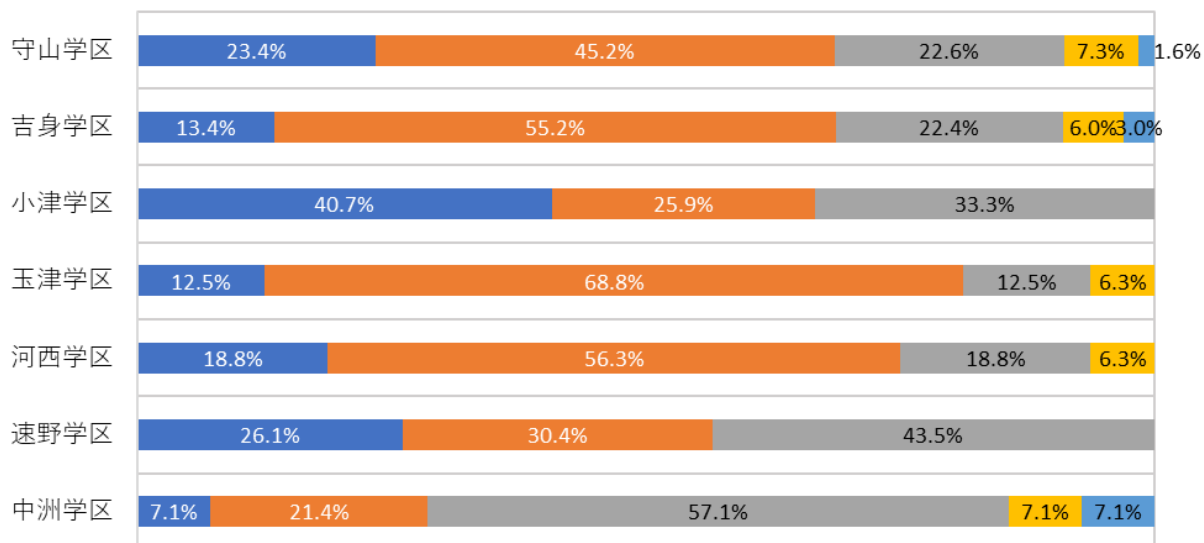
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



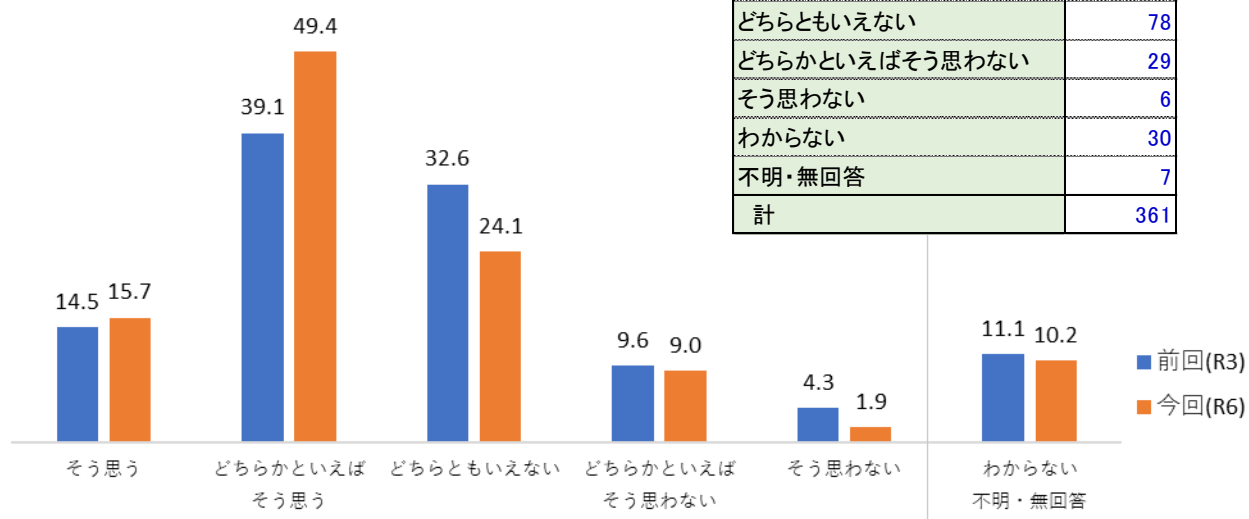
年齢別で見ると、「60代」「80代～」が少し低いものの、その他の年代では肯定的回答の割合が高くなっています。

学区別で見ると、「玉津学区」の肯定的回答が 81.3%と最も高く、「中洲学区」が 28.5%と最も低くなりました。両学区の差は 52.8%となっており、本設問の学区間による満足度の差は大きくなっています。

⑤ 社会教育資本の整備充実(スポーツ)

問9(6) 守山市は、スポーツに関する施設・環境(体育館、運動公園など)が充実しているまちだと思いますか。

(単位: %)



	回答数
そう思う	51
どちらかといえばそう思う	160
どちらともいえない	78
どちらかといえばそう思わない	29
そう思わない	6
わからない	30
不明・無回答	7
計	361

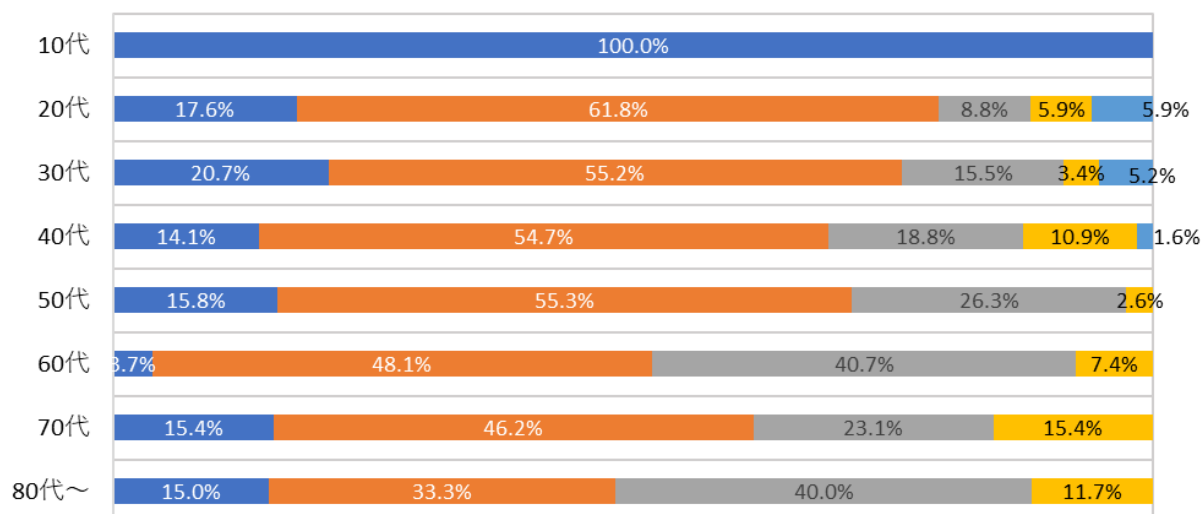
○「どちらかといえばそう思う」が49.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.1%となっています。

○肯定的回答は65.1%であり、前回調査(53.6%)より11.5%と大幅に良化しました。

○全体の平均ハート数は3.7♡となっています。

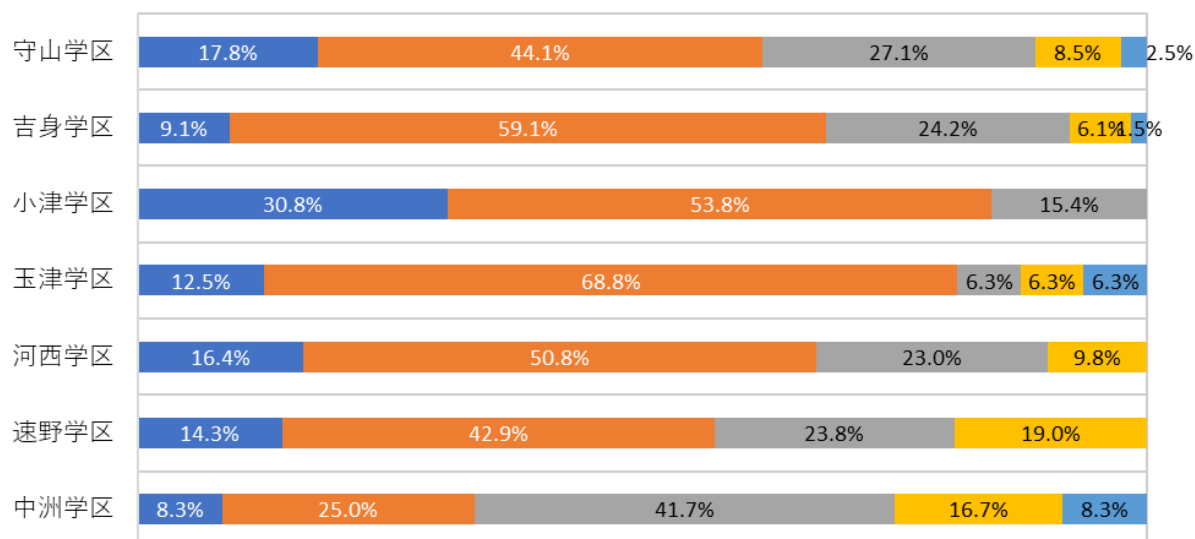
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



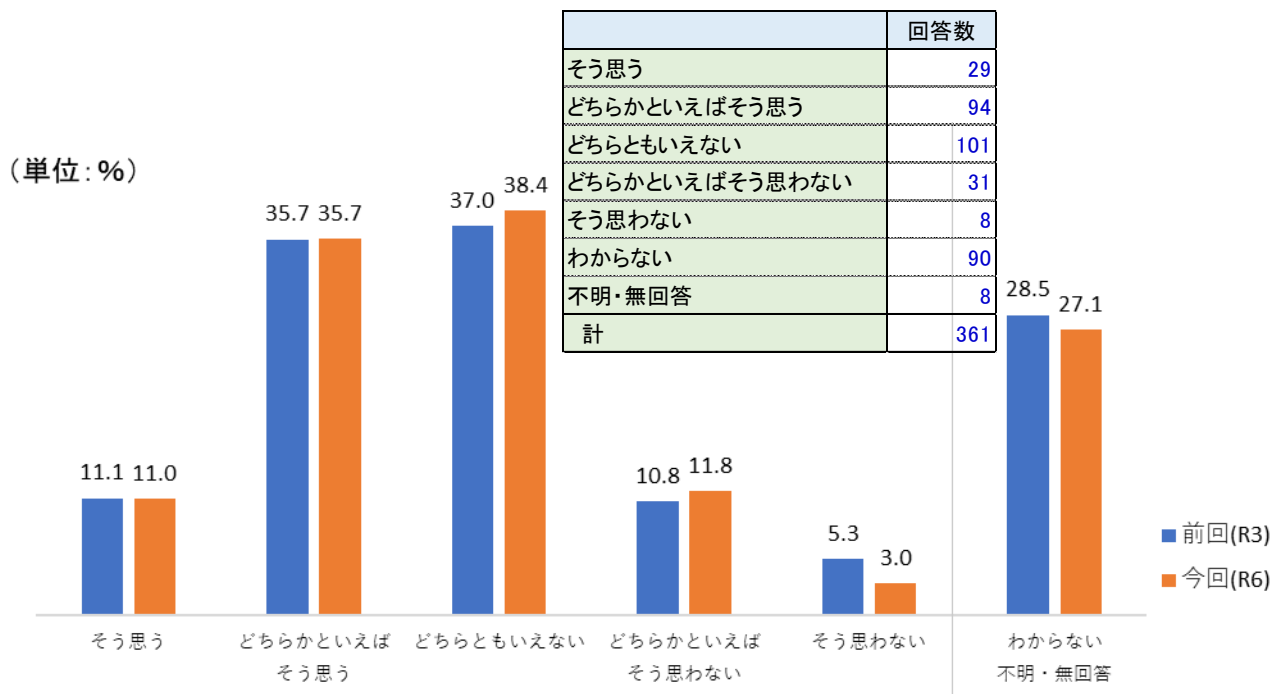
年齢別で見ると、回答数が2名である「10代」を除くと、「20代」で肯定的回答が79.4%と最も高い結果となりました。60代以降の肯定的回答が低くなる傾向が見られます。

学区別では、「小津学区」の肯定的回答が84.6%と最も高く、「中洲学区」が33.3%と最も低くなりました。両学区の差は51.3%となっており、本設問の学区間による満足度の差は大きくなっています。

(8) つながりについて

① 地域と学校との協力

問 10(1) 守山市は、地域と学校が深く結び付いているまちだと思いますか。



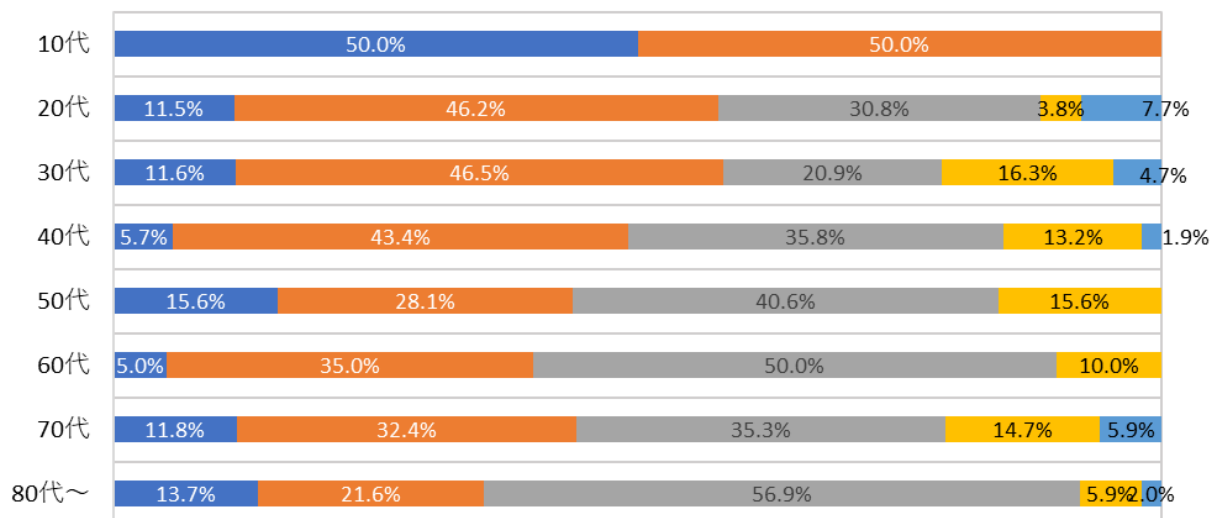
○「どちらともいえない」が 38.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.7%となっています。

○肯定的回答は 46.7%であり、前回調査(46.8%)とほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は 3.4♡となっています。

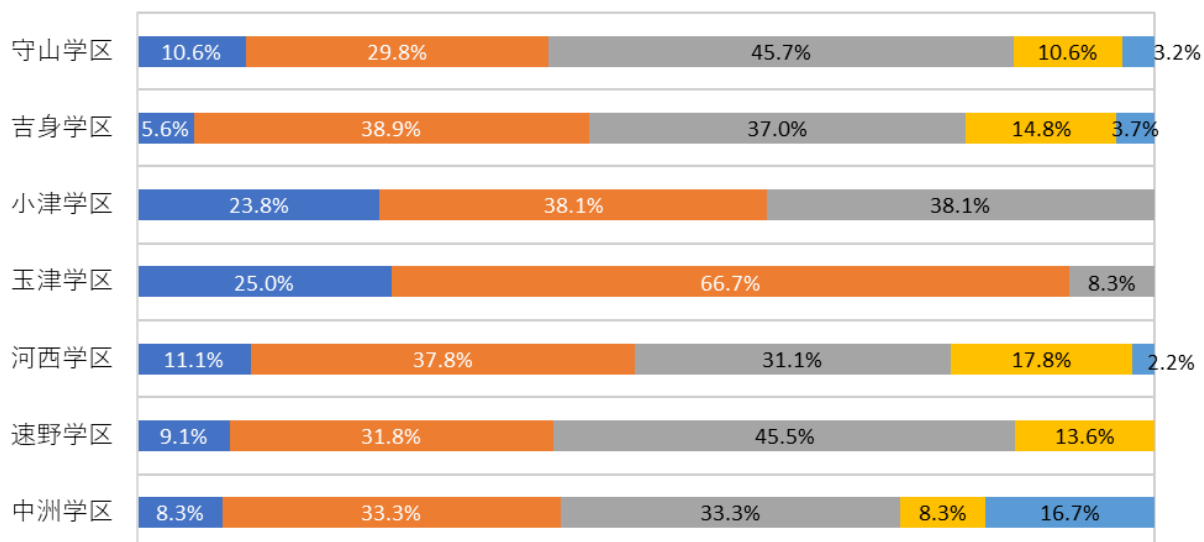
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

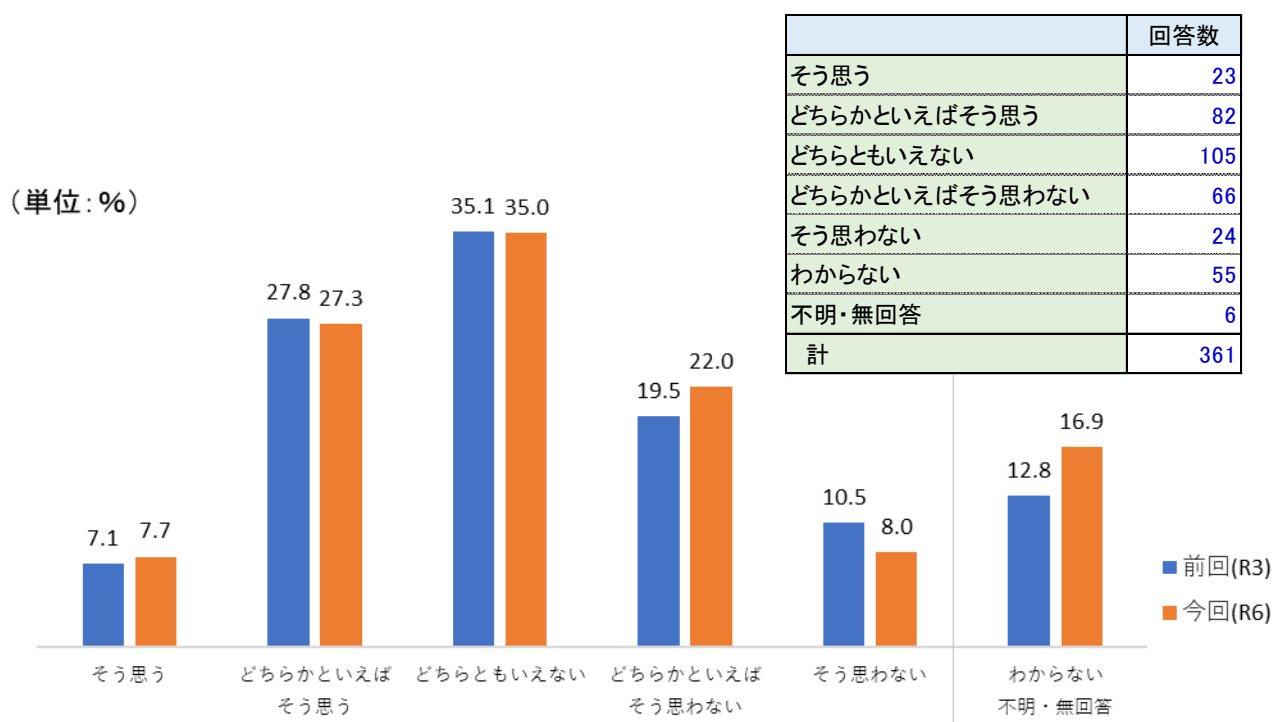


年齢別で見ると、回答数が2名である「10代」を除くと、「30代」で肯定的回答が58.1%と最も高い結果となりました。年代が上がっていくと、肯定的回答の割合が低下していく傾向が見られます。

学区別では、「玉津学区」の肯定的回答が91.7%と最も高く、次いで「小津学区」が61.9%となっており、両学区ともに否定的回答はゼロとなっています。

② 子どもコミュニケーション力の育成

問 10(2) 守山市は、子どもたちが挨拶できているまちだと思いますか。



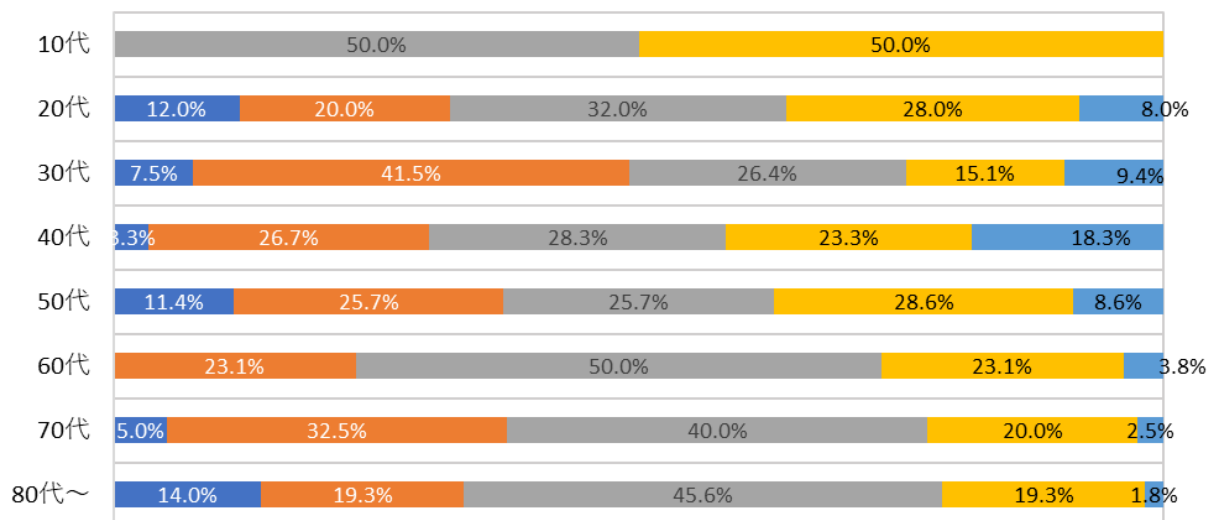
○「どちらともいえない」が 35.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.3%となっています。

○肯定的回答は 35.0%であり、前回調査(34.9%)となり、ほぼ同数となりました。

○全体の平均ハート数は 3.1♡となっています。

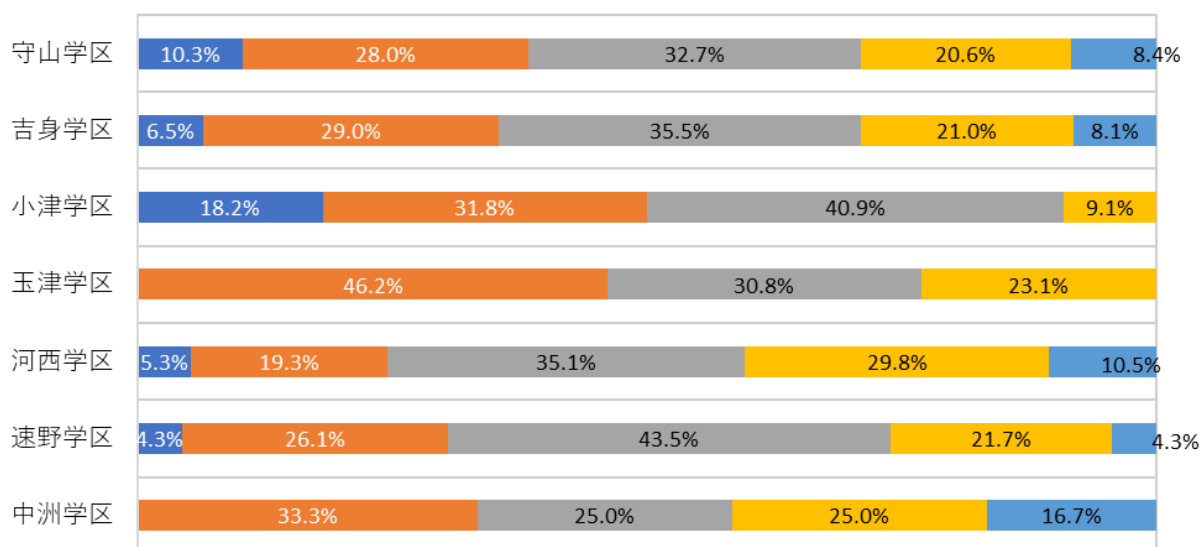
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

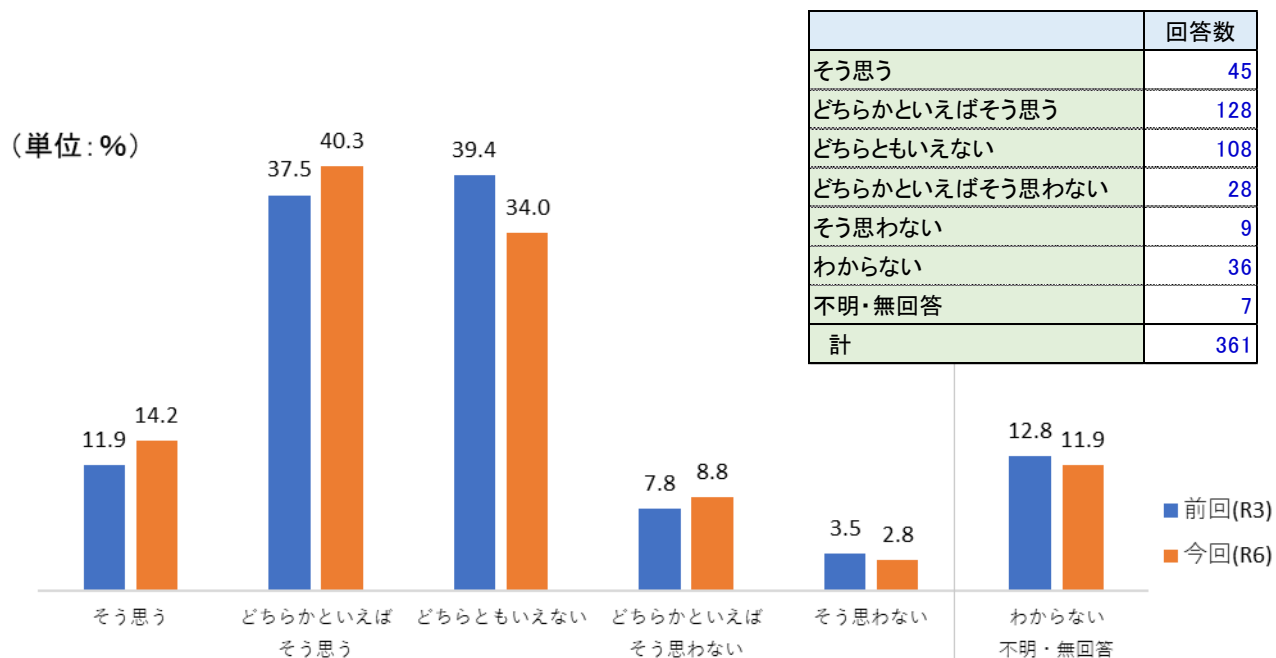


年齢別を見ると、「30代」の肯定的回答が49.0%と最も高く、「60代」が23.1%と最も低くなっています。

学区別では、「小津学区」の肯定的回答が50.0%と最も高く、次いで「玉津学区」が46.2%となっています。最も低かったのは「河西学区」で24.6%となりました。

③ 人権意識の推進

問 10(3) 学校・職場・地域・家庭において、あなた自身の人権が尊重されていると感じますか。

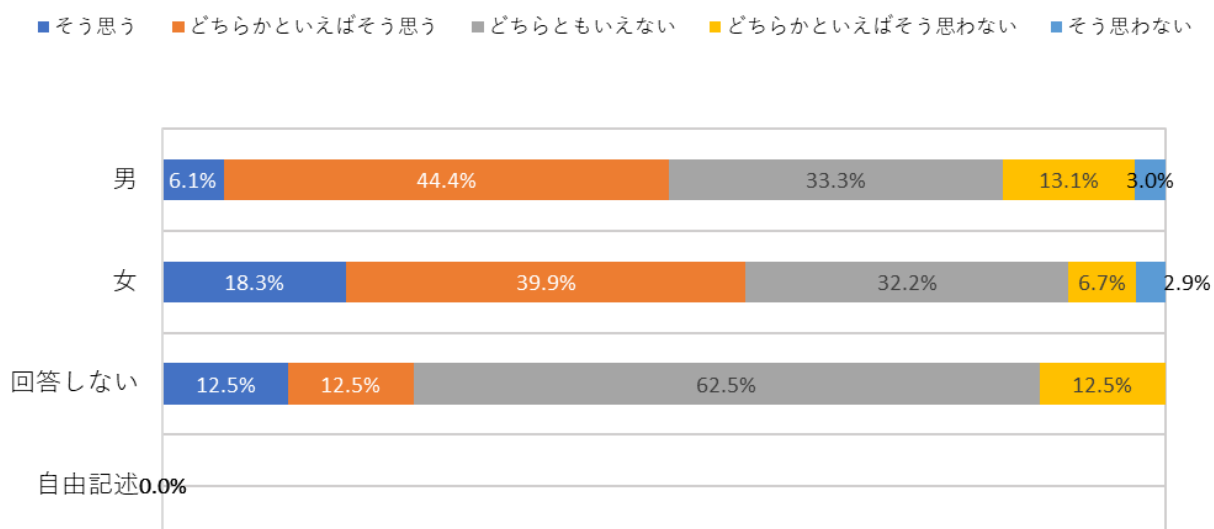


○「どちらかといえばそう思う」が 40.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 34.0%となっています。

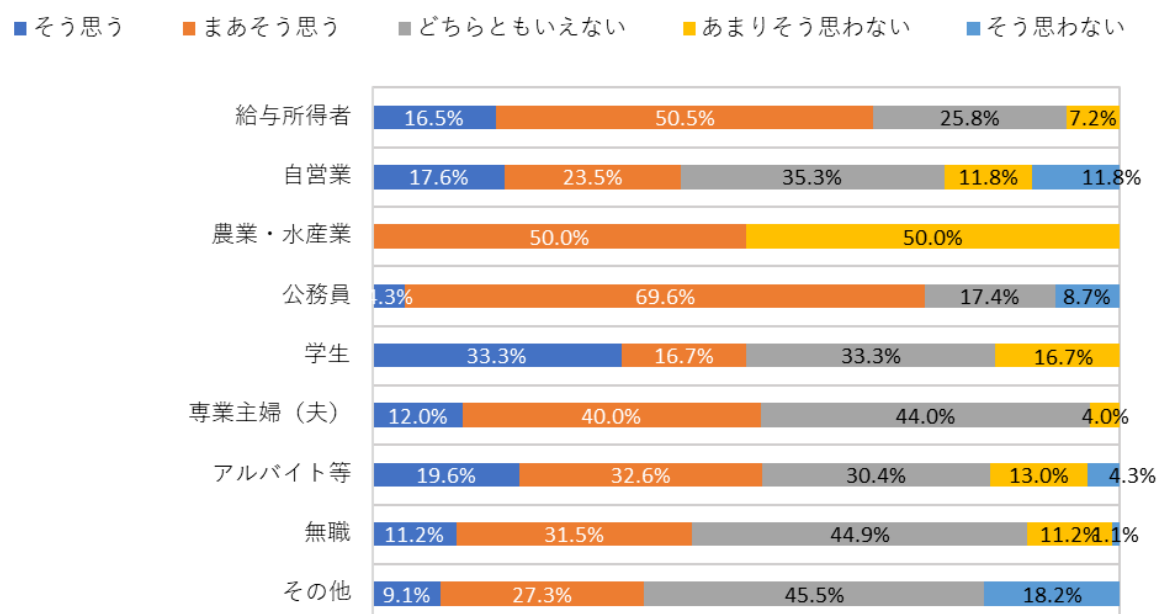
○肯定的回答は 54.5%であり、前回調査(49.4%)より 5.1%良化しました。

○全体の平均ハート数は 3.6♡となっています。

《性別》



《職業別》



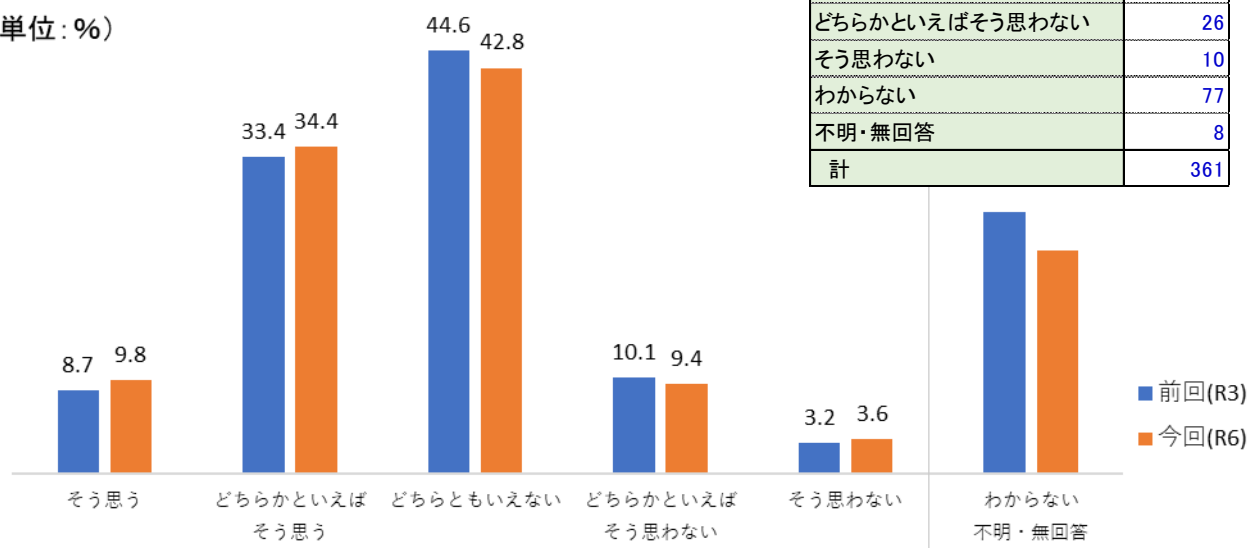
性別で見ると、「男性」の肯定的回答が50.5%に対して、「女性」は58.2%となりました。女性の方が7.7%高くなっています。

職業別では、「公務員」の肯定的回答が73.9%と最も高く、次いで「給与所得者」が67.0%となっています。肯定的回答が50%を下回るものもあり、職業により差が見られます。

④ 男女共同参画社会意識の推進

問 10(4) 守山市は、性別の区別なく、働きやすく、暮らしやすいまちだと思いますか。

(単位: %)



	回答数
そう思う	27
どちらかといえばそう思う	95
どちらともいえない	118
どちらかといえばそう思わない	26
そう思わない	10
わからない	77
不明・無回答	8
計	361

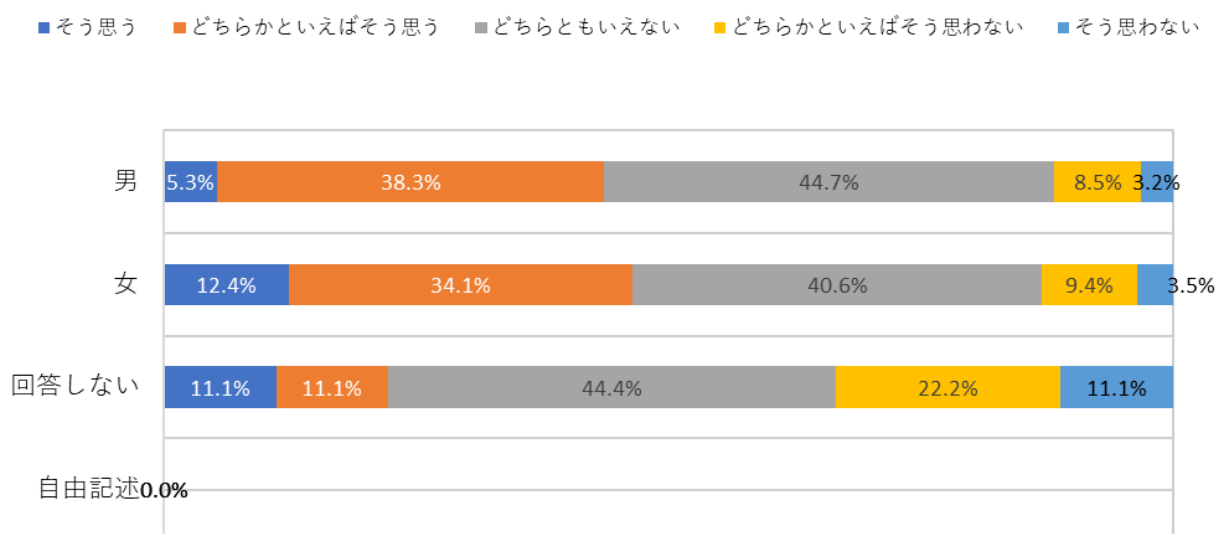
○「どちらともいえない」が 42.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.4%となっています。

○肯定的回答は 44.2%であり、前回調査(42.1%)とほぼ同数となりました。

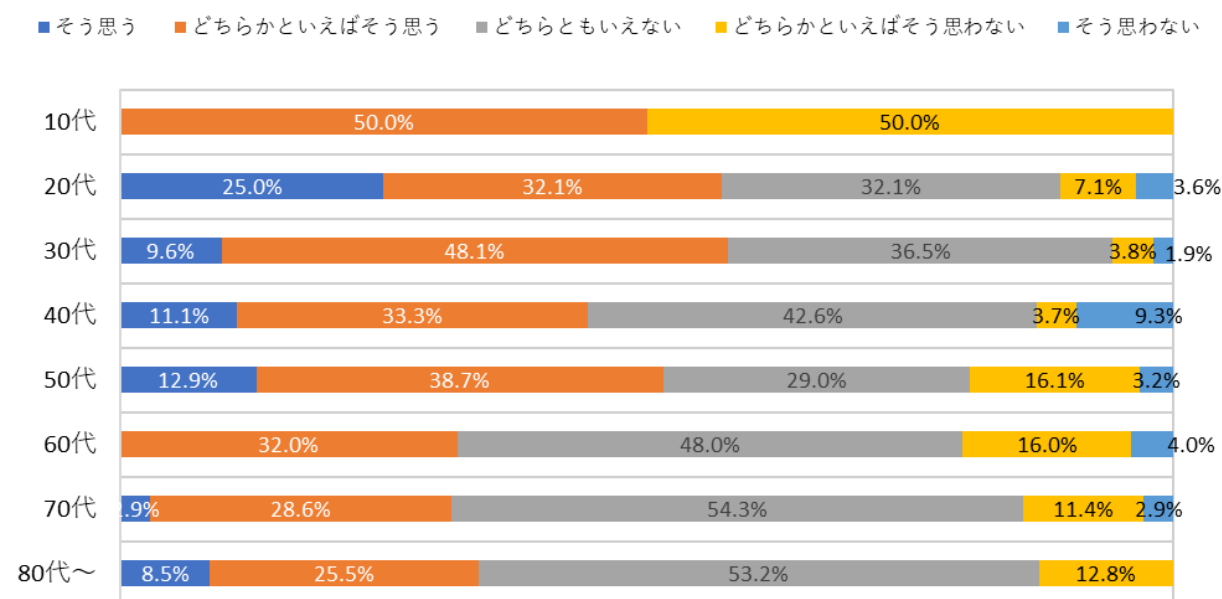
○全体の平均ハート数は 3.4♡となっています。

※「わからない」の回答数は 77 件(全体の 21.3%)となっています。

《性別》



《年齢別》



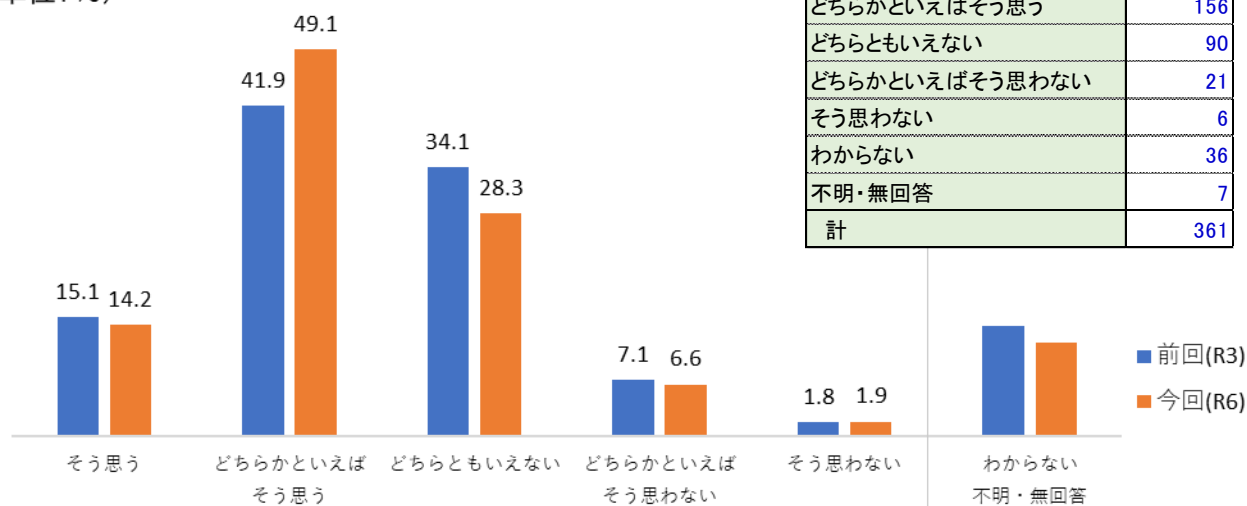
性別で見ると、「男性」の肯定的回答が43.6%に対して、「女性」は46.5%となりました。前回調査では男性の方が14.2%高かったものの、今回調査では女性の方が2.9%高くなりました。

年齢別では、「30代」の肯定的回答が57.7%と最も高く、次いで「20代」が57.1%となっています。60代を境に肯定的回答の割合が低下しています。

⑤ コミュニティ活動の充実

問 10(5) 守山市は、自治会など地縁団体の活動(地域清掃や相互交流など)が活発に行われているまちだと思いますか。

(単位: %)



	回答数
そう思う	45
どちらかといえばそう思う	156
どちらともいえない	90
どちらかといえばそう思わない	21
そう思わない	6
わからない	36
不明・無回答	7
計	361

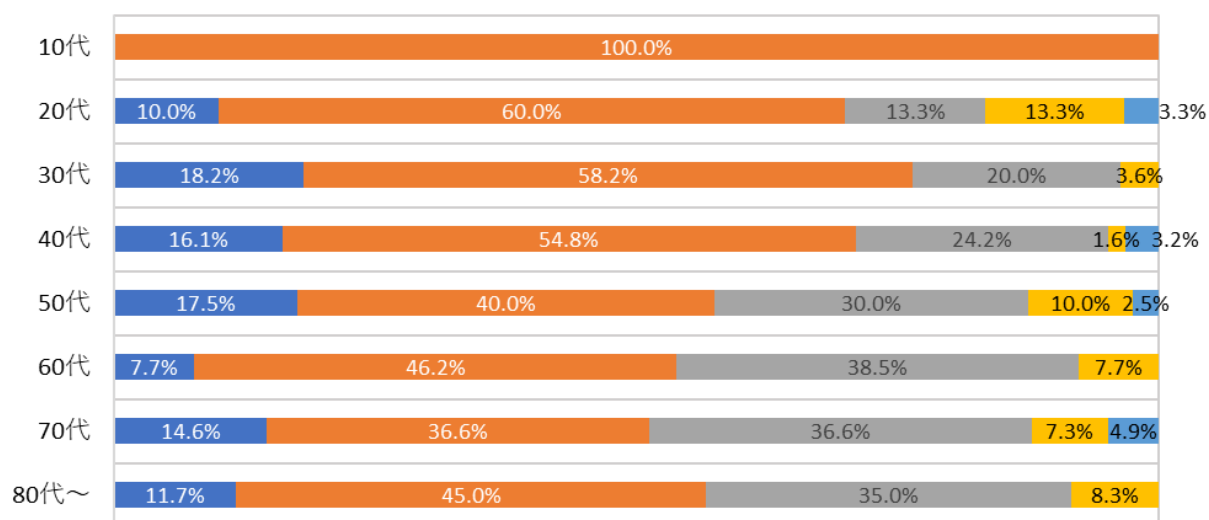
○「どちらかといえばそう思う」が49.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.3%となっています。

○肯定的回答は63.3%であり、前回調査(57.0%)より6.3%良化しました。

○全体の平均ハート数は3.7♡となっています。

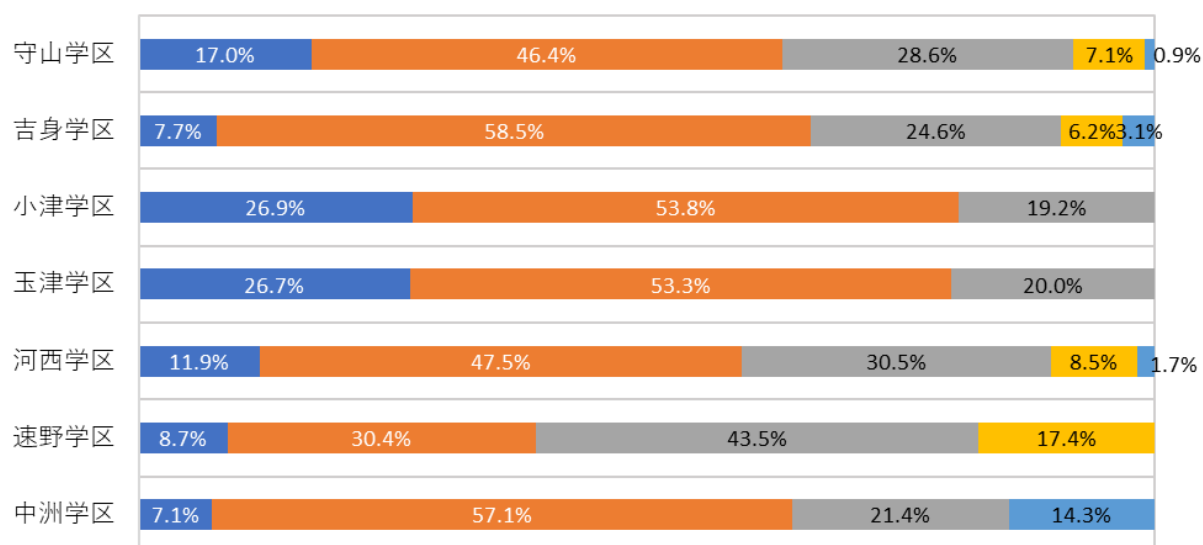
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

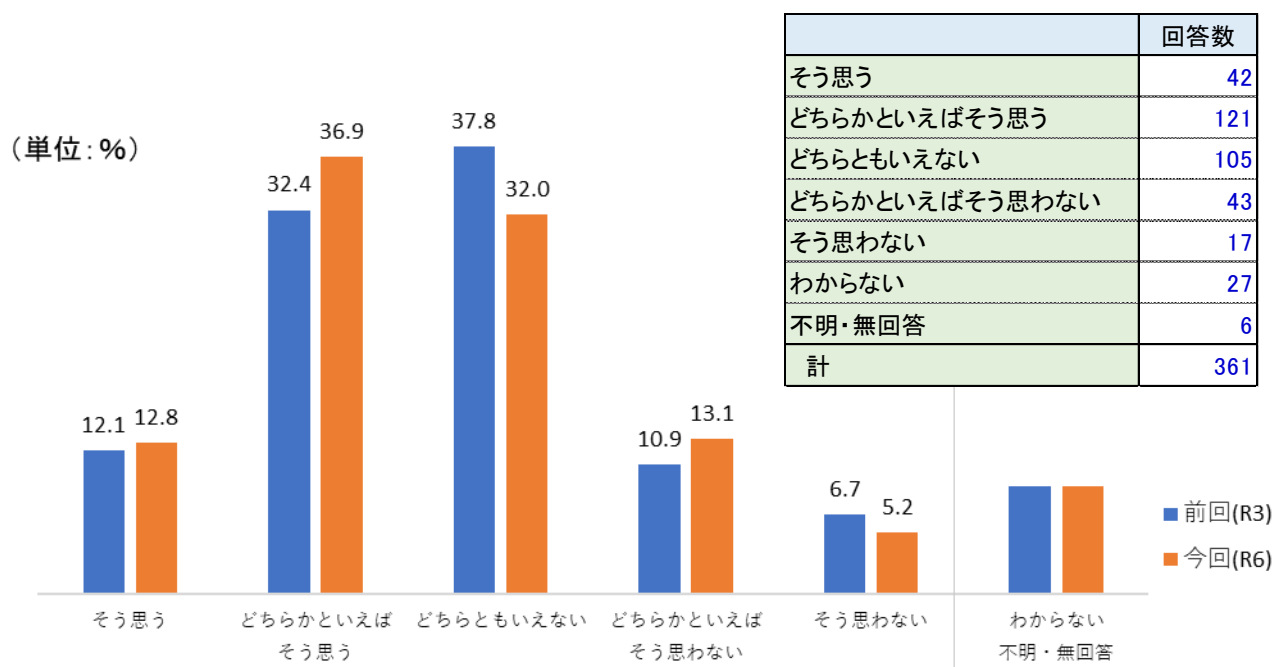


年齢別では、回答数が2名である「10代」を除くと、「30代」で肯定的回答が76.4%と最も高い結果となりました。「50代」を境に肯定的回答の割合がやや低下しますが、全ての年代で50%を超えています。

学区別では、「小津学区」の肯定的回答が80.7%と最も高く、次いで「玉津学区」が80.0%となっています。その一方で、「速野学区」が39.1%と前回調査に続いて最も低くなっています。

⑥ 市民公益活動・協働の推進

問 10(6) あなたは、地域活動や公益活動に参加するなど、社会のために役に立ちたいと思いますか。



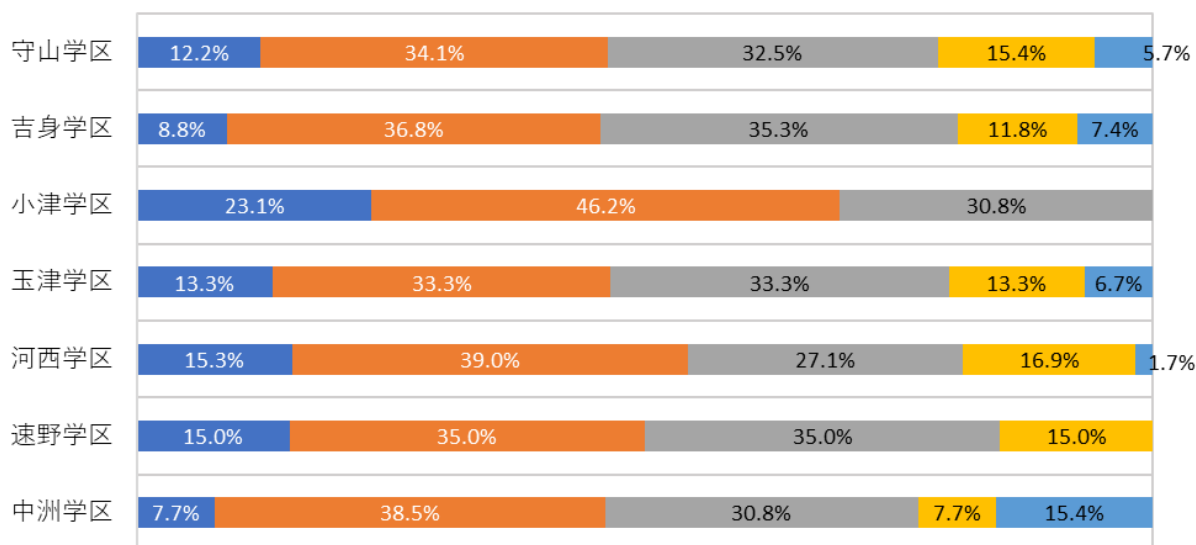
○「どちらかといえばそう思う」が 36.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 32.0%となっています。

○肯定的回答は 49.7%であり、前回調査(44.5%)より 4.7%良化しました。

○全体の平均ハート数は 3.4♡となっています。

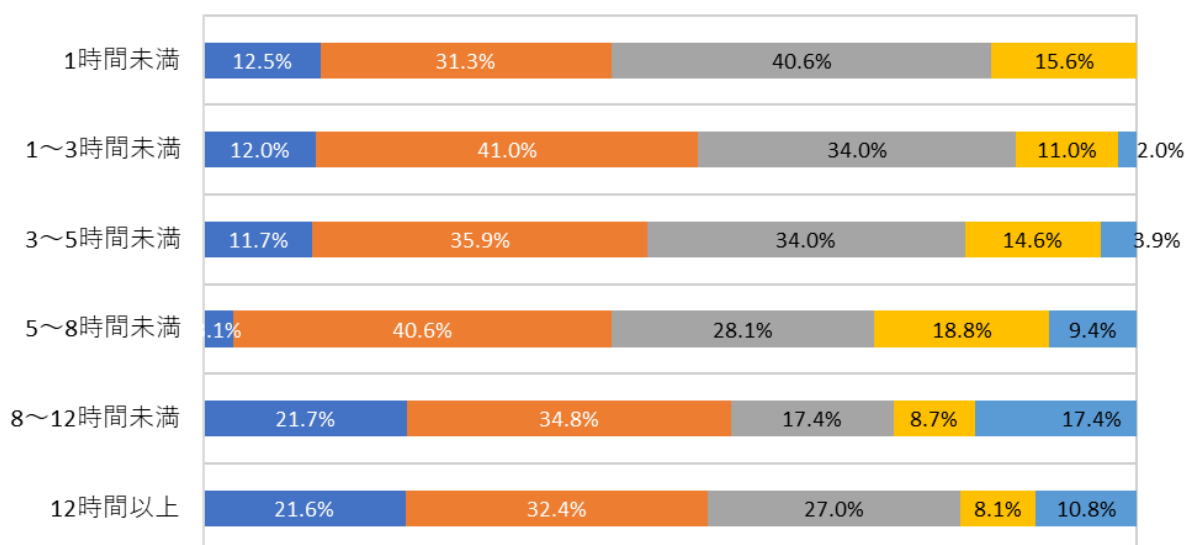
《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



《自由時間別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



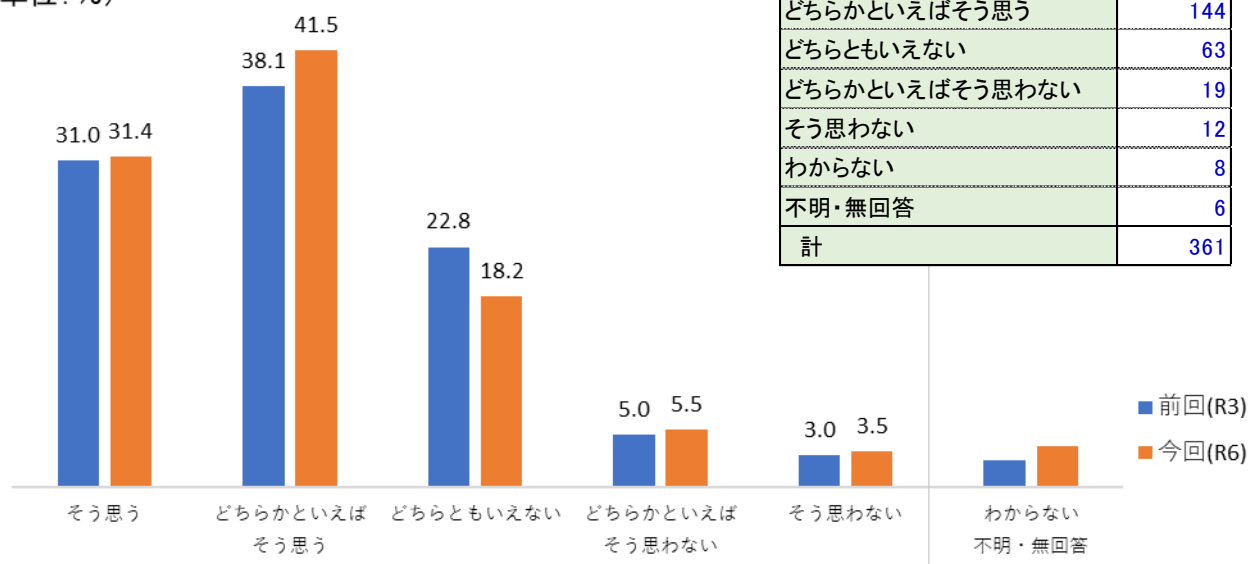
学区別で見ると、「小津学区」の肯定的回答が69.3%と最も高く、次いで「河西学区」が54.3%となっています。その他の学区は、ほぼ同数となりました。

自由時間別では、「8～12 時間未満」の肯定的回答が56.5%と最も高く、「5～8 時間未満」が43.7%と最も低くなりました。今回のアンケートでは、自由時間と地域活動等の相関関係は見られませんでした。

⑦ 地域コミュニケーション

問 10(7) あなたは、地域で顔を合わせたときに、挨拶や声掛けができていますか。

(単位: %)



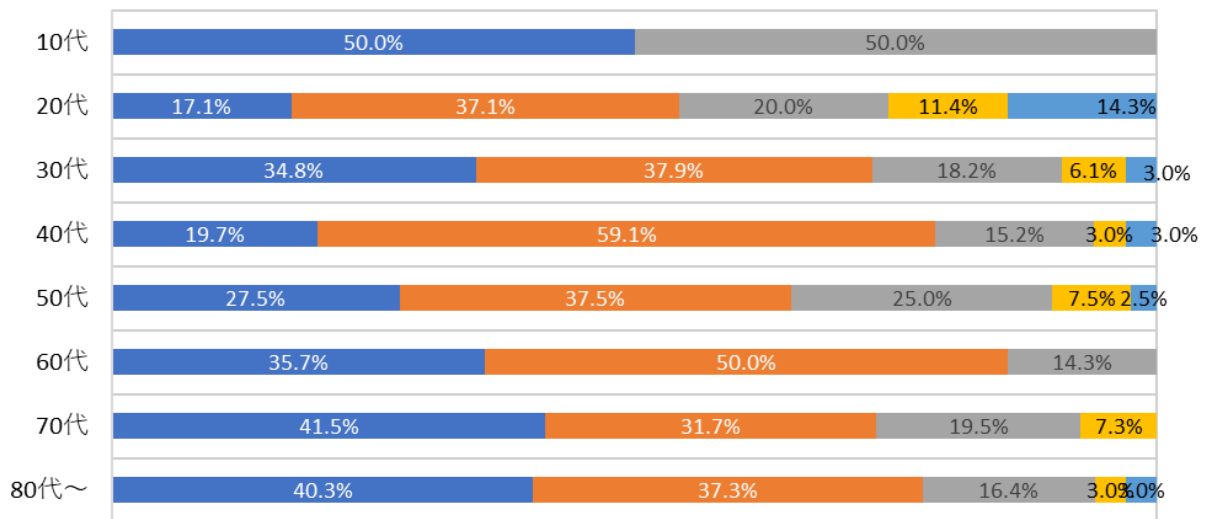
○「どちらかといえばできている」が41.5%と最も高く、次いで「できている」が31.4%となっています。

○肯定的回答は72.9%であり、前回調査(69.1%)より3.8%良化しました。

○全体の平均ハート数は4.0♡となっています。

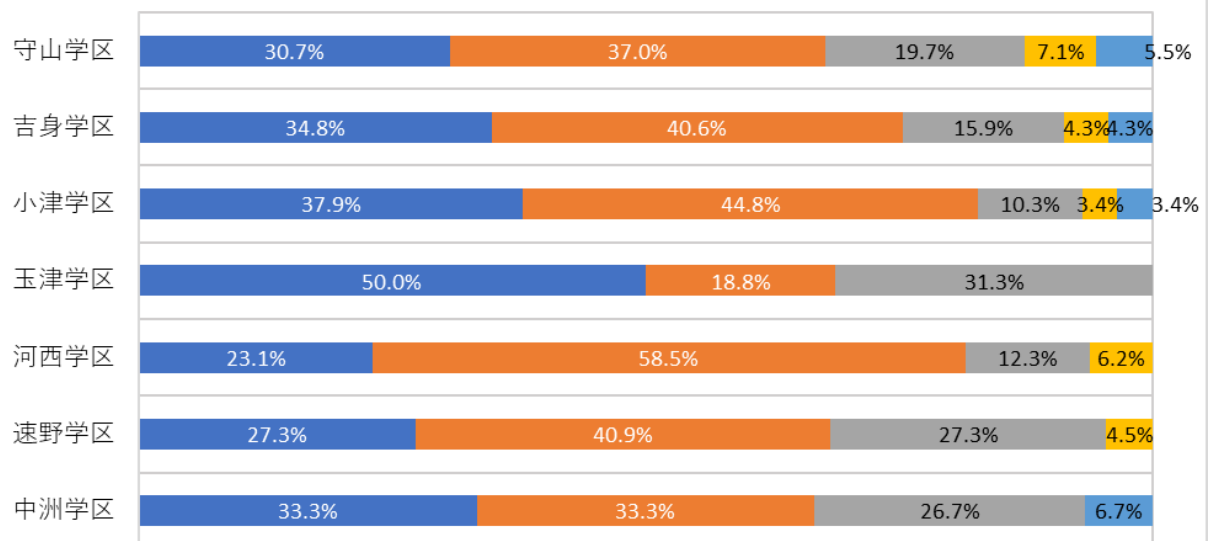
《年齢別》

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



《学区別》

■ そう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



年齢別を見ると、全ての年代で肯定的回答が5割を超えています。「60代」の肯定的回答が85.7%と最も高く、次いで「40代」が78.8%となっています。

学区別で見ると、「小津学区」で82.7%、次いで「河西学区」で81.6%となりました。「中洲学区」が66.6%と最も低くなりましたが、全ての学区において6割超が肯定的回答となりました。

【資料編】

アンケート調査票依頼文	1
アンケートおよび回答用紙	2
守山市市民参加と協働のまちづくり条例および施行規則.....	4

住みやすさ指標（もりやま“大好き”指標）に係る市民意識調査

ご協力をお願い

日ごろから、市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

守山市では「人、自然、びわ湖、みんなが幸せなサステナブルなまちづくり」を目指しております。今般、市民のみなさまの幸せに対する実感や日常生活への思いに関する意識を調査するためアンケートを実施させていただくこととなりました。このアンケート結果は、本市の住みやすさ実感度としての評価に用い、地域課題の解決等に向けた基礎データとして活用するほか、現在策定を進めております本市の将来像や方向性を描く「守山市長期ビジョン 2035」にも反映してまいりたいと考えております。

市民の皆様には、このアンケートの趣旨をご理解賜り、大変お手数とは存じますがご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月 守山市長 森中 高史

ご記入にあたって

- 1 このアンケートは、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から、無作為に選んだ2,000名の方にご協力をお願いするものです。
- 2 このアンケートは無記名方式で実施するとともに、ご回答いただいた内容は統計手法により処理いたしますので、個人が特定されることはありません。
- 3 ご本人が回答いただけない場合は、代理の方お一人がご自身のこととして回答いただけます。ただし、同一人物が複数回ご回答いただくことがないようご注意ください。
- 4 アンケートの回答は、インターネットまたは郵送のどちらかをお選びください。

【インターネット回答を希望される方】

- QRコードまたはURLから回答フォームにアクセスし、ご回答ください
(URL <https://forms.gle/dLi9nKjGyWVsNJt87>)
- インターネットからご回答いただいた方には、コンビニやドラッグストア等でご利用いただけるQUOカードPay100円分を差し上げます



【回答フォーム】

【郵送回答を希望される方】

- 回答は、別添の回答用紙に記入してください
- 回答用紙は機械で読み取るため、濃くはっきりとご記入いただきますようお願いいたします
- 記入後は、同封の返送用封筒に入れていただきポストへ投函してください（切手不要）

同封の市民懇談会の参加の有無に関わらず、アンケートにご協力をお願いいたします

回答期限：インターネット・郵送とも

○お問い合わせ

守山市役所 環境生活部 市民協働課

9月30日（月）まで

TEL:077-582-1149 FAX:077-583-4654

E-mail:shiminkyoudou@city.moriyama.lg.jp



住みやすさ指標に係る市民意識調査（回答用紙）

以下の設問を読み、該当するものに☑してください。裏面にも設問がございますので、最後までご回答いただきますようお願いいたします。

1. 守山市の住み心地についてお答えください

問 1	(1)	守山市は住みやすいまちだと思いますか	「とても住みやすい」 ← 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 → 「とても住みにくい」
	(2)	その数字を選んだ理由を自由にご記入ください【任意】	

2. あなたの幸せ感についてお答えください

問 2	(1)	あなたは現在幸せですか	「とても幸せ」 ← 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 → 「とても不幸せ」
	(2)	その数字を選んだ理由を自由にご記入ください【任意】	

※ 問3～問10は、以下を基準にご回答ください

どう思う (肯定的意見)	←	どう思わない (否定的意見)	→	わからない
5	4	3	2	1
				0

3. あなたの暮らしやお住まいの地域のことについてお答えください

① 健康・医療について

問 3	(1)	あなたは、健康であると思いますか	5 4 3 2 1 0
	(2)	あなたは、病気予防を意識していますか (定期健康診断など)	5 4 3 2 1 0
	(3)	あなたは、介護予防を意識して取り組んでいますか (日頃の体力づくりなど)	5 4 3 2 1 0
	(4)	あなたは、普段の生活のなかで体を動かし たり運動したりしていますか	5 4 3 2 1 0
	(5)	守山市は、必要ときに安心して医療サービスを受けられるまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(6)	あなたは、休養やリラクスのための余暇の時間を十分に取れていると思いますか	5 4 3 2 1 0

② 教育・学習・子育てについて

※ご家族の中に子どもがいないなどの理由から回答しにくい場合は、「0」に☑してください

問 4	(1)	守山市は、安心して子どもを産み育てやすい街だと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(2)	守山市は、保育園・幼稚園・こども園が整備されているまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(3)	守山市は、子育てについて情報交換や交流、相談のできる場所、機会や人が身近にあるまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(4)	守山市は、子どもたちの学びを支える施設(社会教育施設)や環境が充実しているまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(5)	守山市は、子どもたちにとって教育の内容が充実しているまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(6)	守山市は、子どもたちが地域の活動(清掃活動など)に参加する機会が充実しているまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0

③ 環境について

問 5	(1)	あなたは、市内で行われる環境美化活動に積極的に参加していますか	5 4 3 2 1 0
	(2)	守山市は、草木など「緑」が多いまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(3)	あなたは、琵琶湖や地域の水辺(川など)に親しみを感じますか	5 4 3 2 1 0

問 5	(4)	守山市は、まちなみ・景観・風景が美しいまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(5)	守山市は、ごみの減量化や節水・節電など地球環境にやさしい取り組みが充実しているまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(6)	あなたは、ホタルが飛び交う景色に親しみを感じますか	5 4 3 2 1 0

④ 安全・安心について

問 6	(1)	守山市は、治安が良く、安心して暮らせるまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(2)	守山市は、大雨・台風・地震などの災害に対する備えができていますか	5 4 3 2 1 0
	(3)	あなたは、大雨・台風・地震などの災害に対する備えが普段の生活の中でできていると思いますか	5 4 3 2 1 0
	(4)	守山市は、交通安全施設(信号機や道路標識など)が整備されているまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(5)	守山市は、交通ルールやマナーが守られているまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0

⑤ 福祉について

※福祉サービスを利用したことがないなどの理由から回答しにくい場合は、「0」に☑してください

問 7	(1)	守山市は、高齢者福祉に関する情報やサービスの提供が充実しているまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(2)	守山市は、障がい者(児)に関する情報やサービスの提供が充実しているまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(3)	守山市は、文化や考え方が異なる者同士でも互いを尊重できる、誰もがともに住みやすいまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(4)	守山市は、地域、近所で困った人がいれば互いに助け合いができるまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0
	(5)	守山市は、まちなかのバリアフリーが充実しているまちだと思いますか	5 4 3 2 1 0

裏面へお進みください →

⑥ 暮らしと働きについて

問 8	(1)	あなたは、仕事と生活のバランスが取れていると思いますか	5	4	3	2	1	0
	(2)	守山市は、通勤圏内に働く場所がある、もしくは仕事が見つけやすく、仕事に就きやすいまちだと思いますか	5	4	3	2	1	0
	(3)	あなたは、徒歩や自転車、バスやデマンド乗合タクシー「モーリーカー」などの公共交通による移動で、生活することは可能ですか	5	4	3	2	1	0
	(4)	守山市は、日常の買い物をするのに便利なまちだと思いますか	5	4	3	2	1	0
	(5)	あなたは、生きがいのある充実した生活を送っていますか	5	4	3	2	1	0

問 9	(5)	守山市は、生涯学習のための施設・環境（図書館、公民館など）が充実しているまちだと思いますか	5	4	3	2	1	0
	(6)	守山市は、スポーツに関する施設・環境（体育館、運動公園など）が充実しているまちだと思いますか	5	4	3	2	1	0

⑧ つながりについて

問 10	(1)	守山市は、地域と学校が深く結び付いているまちだと思いますか	5	4	3	2	1	0
	(2)	守山市は、子どもたちが挨拶できているまちだと思いますか	5	4	3	2	1	0
	(3)	学校・職場・地域・家庭において、あなた自身の人権が尊重されていると感じますか	5	4	3	2	1	0
	(4)	守山市は、性別の区別なく、働きやすく、暮らしやすいまちだと思いますか	5	4	3	2	1	0
	(5)	守山市は、自治会など地縁団体の活動（地域清掃や相互交流など）が活発に行われているまちだと思いますか	5	4	3	2	1	0
	(6)	あなたは、地域活動や公益活動に参加するなど、社会のために役に立ちたいと思いますか	5	4	3	2	1	0
	(7)	あなたは、地域で顔を合わせたときに、挨拶や声掛けができていますか	5	4	3	2	1	0

⑦ 文化・スポーツについて

問 9	(1)	守山市は、地域の伝統文化行事（祭りなど）に参加する機会が充実しているまちだと思いますか	5	4	3	2	1	0
	(2)	あなたは、日常的にスポーツに接する機会があると思いますか	5	4	3	2	1	0
	(3)	あなたは、日常的に文化・芸術に接する機会があると思いますか	5	4	3	2	1	0
	(4)	守山市は、文化活動に関する施設・環境（市民ホールなど）が整備されているまちだと思いますか	5	4	3	2	1	0

4. あなたご自身についてお答えください

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。

☐ 1. 男 ☐ 2. 女 ☐ 3. 回答しない ☐ 4. 自由記述（ ）

(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。

☐ 1. 10代 ☐ 2. 20代 ☐ 3. 30代 ☐ 4. 40代 ☐ 5. 50代 ☐ 6. 60代 ☐ 7. 70代 ☐ 8. 80代

(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。

☐ 1. 給与所得者（会社員等） ☐ 2. 自営業 ☐ 3. 農業・水産業 ☐ 4. 公務員 ☐ 5. 学生 ☐ 6. 専業の主婦、主夫
☐ 7. アルバイト、パートタイマー ☐ 8. 無職（年金等生活者など） ☐ 9. その他（ ）

(4) あなたが一日あたり自由に使える時間はどのくらいですか。

☐ 1. 1時間未満 ☐ 2. 1～3時間未満 ☐ 3. 3～5時間未満 ☐ 4. 5～8時間未満 ☐ 5. 8～12時間未満 ☐ 6. 12時間以上

(5) あなたの世帯収入（年金を含む）は、おおよそどれくらいですか。

☐ 1. 100万円未満 ☐ 2. 100～300万円未満 ☐ 3. 300～500万円未満 ☐ 4. 500～700万円未満 ☐ 5. 700～1000万円未満 ☐ 6. 1000万円以上

(6) あなたの通勤・通学先は、次のうちどれですか。

☐ 1. 自宅（家事専業・無職を除く） ☐ 2. 自宅以外の市内 ☐ 3. 野洲市・近江八幡市 ☐ 4. 草津市・栗東市 ☐ 5. 大津市
☐ 6. 3～5以外の滋賀県内 ☐ 7. 京都府 ☐ 8. 大阪府 ☐ 9. 7・8以外の滋賀県外 ☐ 10. 通勤・通学していない

(7) あなたのお住まいは、次のうちどれですか。

☐ 1. 戸建て持家 ☐ 2. 戸建て借家 ☐ 3. 分譲マンション ☐ 4. 賃貸マンション・アパート ☐ 5. 社宅、寮 ☐ 6. 市営・県営住宅 ☐ 7. その他（ ）

(8) あなたには配偶者がいますか。

☐ 1. 現在、配偶者がいる（事実婚を含む） ☐ 2. 結婚していたが、離婚・死別等で現在は配偶者がいない ☐ 3. 結婚したことはない

(9) あなたの世帯構成は、次のうちどれですか。

☐ 1. 単身世帯 ☐ 2. 夫婦だけ（事実婚を含む） ☐ 3. 二世帯家族（親と子） ☐ 4. 三世帯家族（祖父母と親と子） ☐ 5. ひとり親家庭 ☐ 6. その他（ ）

(10) あなたがお住いの学区はどこですか。

☐ 1. 守山学区 ☐ 2. 吉身学区 ☐ 3. 小津学区 ☐ 4. 玉津学区 ☐ 5. 河西学区 ☐ 6. 速野学区 ☐ 7. 中洲学区

(11) あなたは、守山市に居住して何年になりますか。

☐ 1. 5年未満 ☐ 2. 5～10年未満 ☐ 3. 10～20年未満 ☐ 4. 20～30年未満 ☐ 5. 30～40年未満 ☐ 6. 40～50年未満 ☐ 7. 50年以上

(12) 今後も守山に住み続けたいですか。

☐ 1. そう思う ☐ 2. まあそう思う ☐ 3. どちらともいえない ☐ 4. あまりそう思わない ☐ 5. そう思わない ☐ 6. わからない

(13) 守山市政は、住民の意思が活かされていると思いますか。

☐ 1. そう思う ☐ 2. まあそう思う ☐ 3. どちらともいえない ☐ 4. あまりそう思わない ☐ 5. そう思わない ☐ 6. わからない

アンケートのご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れて9月30日(月)までにポストへ投函してください。

○守山市市民参加と協働のまちづくり条例

平成22年3月23日

条例第1号

改正 平成24年9月25日 条例第28号

平成26年3月20日 条例第1号

平成28年6月24日 条例第19号

平成29年10月23日 条例第21号

目次

第1章 総則(第1条—第6条)

第2章 市民参画制度の運用(第7条—第12条)

第3章 市民公益活動の促進(第13条・第14条)

第4章 協働の推進(第15条・第16条)

第5章 市民参加および協働のまちづくりの推進体制(第17条)

第6章 その他(第18条)

付則

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、守山市における市民参加および協働の理念を明らかにするとともに、市民および市のそれぞれの役割および責務を明確にし、市民参加および協働のまちづくりに関する基本的な事項およびその仕組みを定めることにより市民が主役のまちづくりを推進し、活力に満ちた地域社会の実現を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによるものとする。

- (1) 市民 市内に在住する個人のほか、市内の事業所等に勤務または市内の学校に通学する個人および市内において事業を行い、または活動する法人その他の団体(自治会、各種団体、ボランティア団体・NPOおよび事業者)をいう。
- (2) 市 市長、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会および固定資産評価審査委員会をいう。
- (3) 市民参加 市民参画および市民公益活動への参加をいう。
- (4) 市民参画 市民が、市の政策および施策の企画立案、実施および評価に至るそれぞれの過程において、責任を持って主体的に参加することをいう。

(5) 市民公益活動 市民が、自主的および自発的に社会のために行う非営利の活動という。

(6) 協働 市民および市または市民相互が共通の目的を達成するために、互いの自主性および特性を尊重し、対等な立場でそれぞれの果たすべき責任および役割を分担し、協力することをいう。

(7) 住みやすさ指標 住みやすさとは、人と人との絆に育まれながら、市民が安心して健康で元気に暮らせることをいい、住みやすさ指標とは、市政の発展および市民福祉の向上を図るため、住み心地および幸せ感の観点から住みやすさの実感の度合いを評価する指標で、規則で定めるものをいう。

(平24条例28・平28条例19・平29条例21・一部改正)

(市の基本姿勢)

第3条 市は、地方自治体としての独自性および自主性を発揮し、市民の創意と活力にあふれた市民が主役のまちづくりを推進するものとする。

(市民の役割)

第4条 市民は、自らがまちづくりの主体であることを自覚し、自らの発言および行動に責任を持って、自主的および自発的な市民参加に努めるものとする。

2 市民は、市民相互の連携、情報共有等を通じて、地域社会の課題の解決およびまちづくりの推進に努めるものとする。

(市の役割)

第5条 市は、市民に対して積極的に市政に関する情報を提供するとともに、情報の共有に努めるものとする。

2 市は、市民に対して市民参加の機会の提供に努めるものとする。

3 市は、市民の意向および意見を的確に把握し、市政に反映させるよう努めるものとする。

4 市は、市民に対して市政に関する説明責任を果たすよう努めるものとする。

5 市は、市民参画に対して参画しやすい環境整備に努めるものとする。

6 市は、市民公益活動に対して積極的な支援に努めるものとする。

(平26条例1・一部改正)

(住みやすさ指標の活用)

第6条 市は、住みやすさ指標を活用し、市民参加および協働を推進するものとする。

2 市は、住みやすさ指標について、市民アンケートを実施し、住みやすさの実感の度合いを把握し、かつ、その結果を公表しなければならない。

(平28条例19・追加)

第2章 市民参画制度の運用

(市民参画の対象)

第7条 市は、原則として市政全般を市民参画の対象とする。

(平28条例19・旧第6条繰下)

(市民参画の時期)

第8条 市は、政策および施策の企画立案、実施および評価の各段階の適正な時期に市民参画を求めるものとする。

(平28条例19・旧第7条繰下)

(市民参画の方法)

第9条 市が市民参画を求めるときは、次の各号に掲げる方法によるものとする。

- (1) パブリックコメント 政策および施策の企画立案がまとまった段階において、その趣旨、内容等を公表し、広く市民の意見または提案を求め、その意見等を考慮して、政策および施策の最終案に反映させる手続きをいう。
- (2) 審議会等 審議会その他の附属機関およびこれらに類するもので、市の基本的な政策および施策の企画立案段階等において、専門的および技術的な立場からの審議、答申、報告等を求める場合に設置する組織をいう。
- (3) 市民説明会 市民に対して直接政策および施策の概要または市の考え方を説明し、市民から広く様々な意見を聴く場合に開催する会合をいう。
- (4) 市民アンケート 広く市民の意向等を把握するために、設定する項目または設問に対して一定期間内に市民から回答または意見を求めることをいう。
- (5) 市民懇談会 市の基本的な政策および施策の企画立案段階等において、無作為抽出の手法を用いて集まった市民により、意見またはアイデアを出し合う会合をいう。
- (6) 市民ワークショップ 市民が自由に意見またはアイデアを出し合いながら、課題、問題点等を抽出し、より良い解決方法を導き出す会合をいう。
- (7) 市民意見聴取制度 市の基本的な政策および施策の企画立案段階等において、その基本的な考え方について、広く市民の意見またはアイデアを聴く制度をいう。
- (8) 市民提案制度 市民公益活動を行う団体等が、自ら掲げるテーマ、市が定めたテーマ等について提案し、または提案した上で自ら実施する制度をいう。
- (9) 市民広聴制度 市政およびまちづくりについて、市民から意見または提言を聞き、市政運営に活かしていく制度をいう。
- (10) その他市が適当と認める方法

(平26条例1・一部改正、平28条例19・旧第8条繰下)

(市民参画の手続き)

第10条 市は、次の各号に掲げる政策および施策を実施しようとする場合、あらかじめ前条に定める方法のうちから2以上のものにより市民参画の手続きを経なければならない。

- (1) 市の基本構想、基本計画その他の基本的な事項を定める計画の策定または変更
- (2) 市政に関する基本方針を定める条例の制定、改正または廃止
- (3) 市民に義務を課し、または市民の権利を制限することを内容とする条例の制定、改正または廃止

(4) 市民の生活に重大な影響を及ぼす条例の制定、改正または廃止

(5) 公共の用に供される大規模な市の施設の設置、改修または廃止

(6) その他市民の関心が高く、市民生活に重大な影響のある制度の導入、改正または廃止

2 市は、前項の規定にかかわらず、次に掲げるものについてはこの手続きを省略することができる。

(1) 軽易な変更、改正、改修等

(2) 緊急に実施しなければならないもの

(3) 法令の規定により対象施策の基準が定められており、その基準に基づいて実施するもの

(4) 地方税の賦課徴収ならびに分担金、使用料および手数料の徴収に関するもの

(5) その他市が認めるもの

(平26条例1・一部改正、平28条例19・旧第9条繰下)

(審議会等の公開および委員の委嘱)

第11条 市は、審議会等の会議について、公開するものとする。ただし、法令または条例等により非公開とされているもののほか、審議事項が個人情報等に関する事項で、審議会等で非公開と決定した場合はこの限りでない。

2 市は、審議会等の委員を委嘱する場合は、委員の年齢構成、男女比率、任期の期間、他の審議会との兼職状況等に配慮するとともに、審議会等の設置目的、性格等を勘案した上で、委員の一部を公募により選考するよう努めるものとする。

3 市は、審議会等の開催に当たっては、委員の氏名、選任の区分等を公表するものとする。

(平28条例19・旧第10条繰下)

(公表の方法)

第12条 市は、市民参画の手続きに関する事項を公表するときは、次に掲げる方法のいずれかによるものとする。

- (1) 市の窓口での供覧または配布
- (2) 市の広報紙への掲載
- (3) 市のホームページへの掲載
- (4) その他市が適当と認めるもの

(平28条例19・旧第11条繰下)

第3章 市民公益活動の促進

(市民公益活動における市民および市の役割)

第13条 市民および市は、市民公益活動の多様性その他の特性を認識し、その社会的な役割および意義を理解した上で市民公益活動を推進し、地域の発展に努めるものとする。

(平28条例19・旧第12条繰下)

(市民公益活動の促進のための方法)

第14条 市は、次の各号に掲げる方法により市民公益活動の促進に努めるものとする。

- (1) 市民への意識啓発 市民公益活動に関する市民の理解および関心を高めることをいう。
- (2) 情報の収集および提供 市民公益活動に必要な情報を収集し、広く市民に提供することをいう。
- (3) 人材の発掘および育成 市民公益活動を担う人材の発掘および育成を図ることをいう。
- (4) 活動の支援 市民公益活動の自主性および主体性を損なわないよう配慮した上で活動拠点の確保、財政等の支援をすることをいう。
- (5) ネットワーク化の推進 市民公益活動の支援を行っている団体または組織と情報交換、連携等を進めることをいう。

(平28条例19・旧第13条繰下)

第4章 協働の推進

(協働の推進)

第15条 市民および市は、それぞれの役割および責任を分担しながら、双方の特性を活かし、互いに連携かつ協力して、協働を推進するものとする。

2 市民は、相互にそれぞれの持つ知識および経験を活かし、連携かつ協力して、協働を推進するものとする。

(平28条例19・旧第14条繰下)

(市民と市の協働の原則)

第16条 市民および市は、次の各号に掲げる原則に基づき、協働に取り組むものとする。

- (1) 対等の原則 市民および市は、対等の関係であることをいう。
- (2) 自主性・自立の原則 市は市民の自主性を尊重し、市民は自立した存在として自己責任を持つことをいう。
- (3) 相互理解の原則 市民および市は、協働の目的を共有し、信頼関係の醸成および相互協力関係を形成することをいう。
- (4) 情報の公開・共有の原則 市民および市は、個人情報の保護に配慮した上でそれぞれが持つ協働に関わる情報を公開し、共有することをいう。
- (5) 評価および説明の原則 市民および市は、協働について評価および説明の責任を果たすことをいう。

(平28条例19・旧第15条繰下)

第5章 市民参加および協働のまちづくりの推進体制

(市民参加および協働のまちづくりの推進体制)

第17条 市は、市民参加および協働のまちづくりを総合的に進めるため、推進体制の強化を図るものとする。

- 2 市は、市民参加および協働のまちづくりの成果を検証するため、市民参画による検証機関を設置することとし、その組織および運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(平28条例19・旧第16条繰下)

第6章 その他

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平28条例19・旧第17条繰下)

付 則

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

付 則(平成24年9月25日条例第28号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

付 則(平成26年3月20日条例第1号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

付 則(平成28年6月24日条例第19号)

この条例は、平成28年7月1日から施行する。

付 則(平成29年10月23日条例第21号)抄
(施行期日)

- 1 この条例は、平成30年4月1日から施行する。

○守山市市民参加と協働のまちづくり条例施行規則

平成26年4月1日

規則第16号

改正 平成27年4月1日規則第49号

平成28年7月1日規則第84号

(趣旨)

第1条 この規則は、守山市市民参加と協働のまちづくり条例(平成22年条例第1号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則で使用する用語の意義は、条例の例による。

(市の役割)

第3条 条例第5条第5項の参画しやすい環境整備とは、必要に応じて、参画しようとする市民に対して、託児、通訳の手配、移動手段の確保等を行うことをいう。

2 市は、条例第9条各号に掲げる市民参画の方法を経て、施策等について意思決定を行ったときは、提出された意見等の概要およびこれらに対する市の考え方を公表するよう努めるものとする。

(平28規則84・一部改正)

(パブリックコメントの実施)

第4条 市は、パブリックコメントを実施するときには、次に掲げる事項を公表する。

- (1) 施策等の原案を作成した目的および背景
- (2) 施策等の原案の概要
- (3) 意見等の提出方法、提出期間および提出先
- (4) 施策等の原案および前3号に掲げる資料の入手方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市が必要があると認めるもの

2 市は、市民が意見等を提出するために必要な期間として、20日間の期間を確保するものとする。ただし、緊急その他やむを得ない理由により当該期間を確保できない場合は、この限りでない。

3 意見等の提出方法は、郵便、ファクシミリ、電子メール、直接持参等の方法のうちから、市が定めるものとする。このときにおいて、いずれの方法においても、氏名および住所の明記を意見等の受付条件とする。

(市民説明会の開催)

第5条 市は、市民説明会を開催するときには、幅広い市民の参画が得られるよう、開催

日時、開催場所等を選定するものとする。

2 市は、市民説明会を開催するときには、参加者に施策等の案についての理解が深まるよう、資料の充実に努めなければならない。

3 市は、市民説明会を開催するときには、開催日時、開催場所、議題等を事前に公表しなければならない。

(市民アンケートの実施)

第6条 市は市民アンケートを実施するときには、アンケートの対象者、対象人数、対象区域等を考慮して幅広い意見等を求めるよう努めなければならない。

第7条 市は、アンケート調査を実施したときには、その結果を公表するものとする。

(市民懇談会の開催)

第8条 市は、市民懇談会を開催するときには、幅広い市民の参画が得られるよう、開催日時、開催場所等を選定するものとする。

2 市は、市民懇談会を開催するときには、施策等の基本的な考え方についての議論が深まるよう適切な運営に努めなければならない。

3 市は、市民懇談会を開催するときには、議題の設定およびファシリテーター(中立的な立場から参加者の発言を促進し、より多くの参加者が議論に参加できるよう、話し合いを進行する者をいう。以下同じ。)の選任等を適切に行い、参加者が自由に意見またはアイデアを出し合えるよう努めなければならない。

(市民ワークショップの開催)

第9条 市は、市民ワークショップを開催するときには、幅広い市民の参画が得られるよう開催日時、開催場所等を選定するものとする。

2 市は、市民ワークショップを開催するときには、施策等の基本的な考え方についての議論が深まるよう適切な運営に努めなければならない。

3 市は、市民ワークショップを開催するときには、議題の設定、ファシリテーターの選任等を適切に行うことで、参加者が自由に意見等を述べ、または議論をすることができ環境を確保し、参加者の意見等の方向性を適切に見出すように努めなければならない。

(市民意見聴取制度の実施)

第10条 市は、市民意見の聴取を実施するときには、幅広い市民の参画が得られるよう体制整備を行い、参加者が自由に意見を出せる環境の確保に努めなければならない。

2 市は、市民意見の聴取を実施するときには、参加者に施策等についての理解が深まるよう、資料の充実に努めなければならない。

(市民提案制度の実施)

第11条 市は、市民公益活動団体が自主的および自発的に取り組むまちづくり活動の実施に要する経費に対し、予算の範囲内で助成金を交付するものとする。

(市民広聴制度の実施)

第12条 市民広聴制度を公開にて実施するときにおいて必要な規定は、第5条の規定を準用する。

(公表の方法)

第13条 市は、報道機関への情報提供等により、条例第12条に規定する公表が行われたことを市民に周知するよう努めなければならない。

2 市は、市民参画手続きを公開において実施したときには、開催記録の作成および結果取りまとめを行い、公表するものとする。

(平28規則84・一部改正)

(住みやすさ指標の把握の方法)

第14条 条例第2条第7号に規定する規則で定めるものは、次の各号に定める項目をいう。

(1) 住み心地 健康・医療、教育・学習・子育て、環境および安全・安心

(2) 幸せ感 福祉、暮らしと働き、文化・スポーツおよびつながり

2 条例第2条第7号で定義する指標は、「もりやま“大好き”指標」という。

3 条例第6条第2項に規定する市民アンケートは、概ね2年に1回実施するものとし、当該アンケートの実施にあたっては、第6条および第7条の規定を準用する。

(平28規則84・追加)

(守山市市民参加と協働のまちづくり推進会議の所掌事務)

第15条 条例第17条の検証機関として守山市市民参加と協働のまちづくり推進会議(以下「協働のまちづくり推進会議」という。)を置き、市の諮問に応じて次に掲げる事項について審議する。

(1) 市民参加と協働のまちづくりの取組み成果の検証

(2) 市民参画および協働のまちづくりの一層の推進に係る施策等の検討

(平28規則84・旧第14条繰下・一部改正)

(組織)

第16条 推進会議は、守山市市民参加と協働のまちづくり推進委員(以下「委員」という。)20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市が委嘱する。

(1) 市民参加と協働のまちづくりに精通した者

- (2) 学識経験を有する者
- (3) 公募による市民
- (4) その他市が必要と認めた者

(平28規則84・旧第15条繰下)

(任期)

第17条 委員の任期は、2年間とする。ただし、委員が欠けたときにおける補欠委員の任期はその残任期間とする。

2 前項の規定にかかわらず、他の委員の任期途中で新たに委嘱された委員の任期は、その残任期間とする。

3 委員は、再任することができる。

(平28規則84・旧第16条繰下)

(委員長および副委員長)

第18条 推進会議に委員長および副委員長を置き、委員長は委員の互選により選出し、副委員長は委員長が指名する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 この規則に定めるもののほか、推進会議の運営について必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、または委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平28規則84・旧第17条繰下)

(会議)

第19条 推進会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 推進会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができないものとする。

3 推進会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(平28規則84・旧第18条繰下)

(専門部会)

第20条 推進会議は、その所掌事務を分掌させるため、必要に応じ専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、推進会議から付議された事項を所掌する。

3 専門部会所属の委員は、委員長が指名する。

4 専門部会に部会長および副部会長を置く。

- 5 部会長および副部会長は、専門部会に所属する委員の互選によって定める。
- 6 部会長は、専門部会の事務を総理し、専門部会の経過および結果を推進会議に報告する。
- 7 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代理する。

(平28規則84・旧第19条繰下)

(関係者の出席)

第21条 委員長は、推進会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を推進会議に出席させて、意見の聴取または資料の提出を求めることができる。

(平28規則84・旧第20条繰下)

(報償)

第22条 推進会議に出席した委員および前条第2項の規定により推進会議に出席したものに対し、予算の範囲内において日額5,000円の報償金を支払うものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、公務で出席した公務員またはそれに準ずる者に対しては、報償金は支払わないものとする。

(平28規則84・旧第21条繰下)

(事務局)

第23条 推進会議の事務局は、環境生活部市民協働課に置く。

(平27規則49・一部改正、平28規則84・旧第22条繰下)

(委任)

第24条 この規則の施行に関し必要な事項は、市が別に定める。

(平28規則84・旧第23条繰下)

付 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 守山市市民参加と協働のまちづくり推進会議設置規則(平成23年規則第23号)は、廃止する。

付 則(平成27年4月1日規則第49号)

この規則は、公布の日から施行する。

付 則(平成28年7月1日規則第84号)

この規則は、公布の日から施行する。